Mazda ROADSTER

“Zoom-Zoom”・・・

それは英語で「ブー、ブー」という車の走行音をあらわす、子供言葉です。
誰でも、子供の頃は、動くことに対するあこがれがありました。
車のエンジン音が響くと、ドキドキする感じ。
カラダがビュンビュン流れる時の、快感。
めまいがするようなうれしさ。

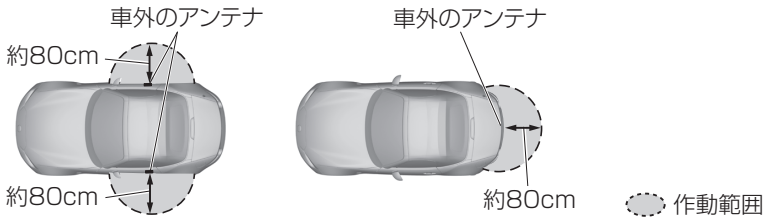
きっと、みんな知っていたはずです。
でも、大人になると、ちょっと忘れていたりする。
それを、マツダは忘れません。
それが、私たちの“Zoom-Zoom”の意味。

小さい時に知っていた、
ウズウズするような走る喜びを忘れていない皆様のために、
素晴らしいクルマを作り続けます、という
私たちの新しいブランド・パーソナリティのコア・エッセンスです。

アドバンストキー

●アドバンストキーの作動範囲（ドア、トランクの施錠/解錠）

ドア、トランクの施錠/解錠　　**トランクの解錠**



●ドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠

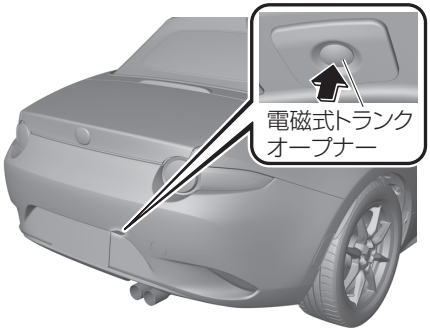
キーを携帯し、ドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、トランク、フューエルリッドが施錠/解錠します。



	施錠時	解錠時
非常点滅灯/チャイム	1回作動	2回作動

●トランクを開けるとき

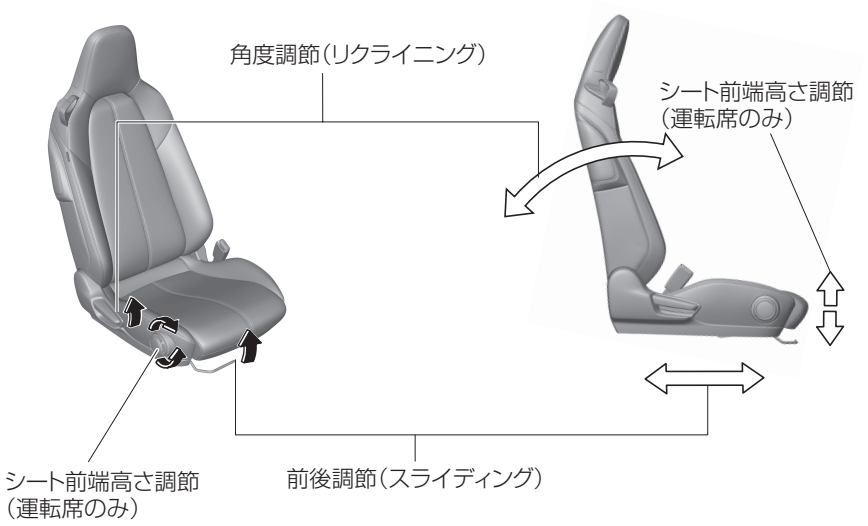
キーを携帯し、電磁式トランクオープナーを押してトランクを持ち上げます。



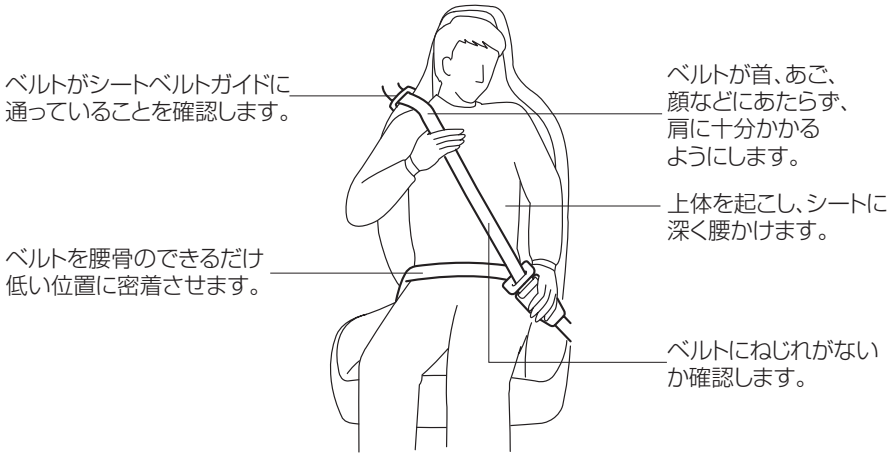
詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

シート、シートベルト、ハンドル、ミラーの調節

●シート



●シートベルト

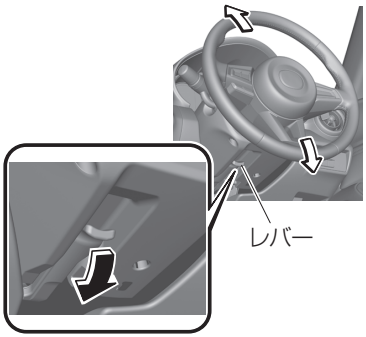


詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

運転する前に

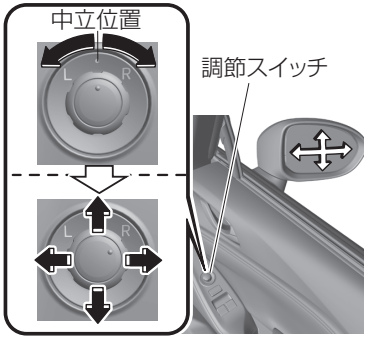
●ハンドル

レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節し、調節後は、レバーを押し上げて固定します。

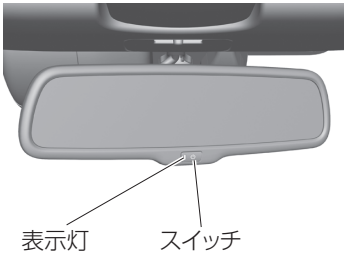


●ドアミラー

1 調節スイッチを運転席側（R）または助手席側（L）にまわします。
2 調節スイッチを操作して、後方が十分確認できるように調節します。



●ルームミラー（オートタイプ）



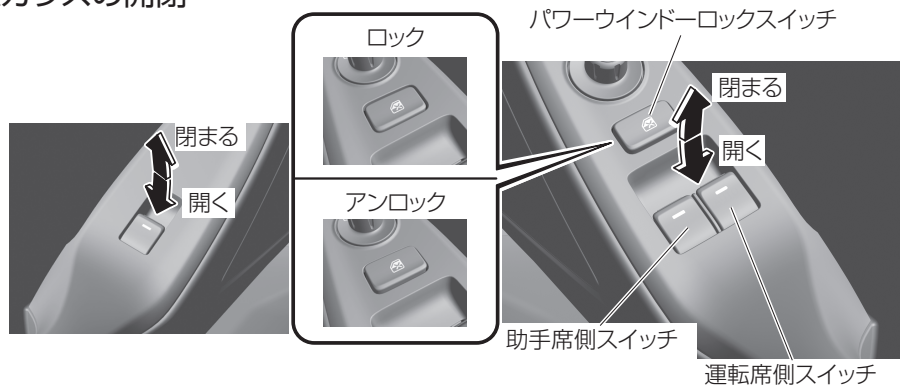
電源ポジションがONのとき、後続車からのヘッドランプの光を自動で軽減します。

スイッチを押すごとにON、OFFが切り替わります。スイッチがONのときは表示灯が点灯します。

電源ポジションがONのときチェンジレバー/セレクトレバーをRにいれると防眩機能は一時停止します。

詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

窓ガラスの開閉

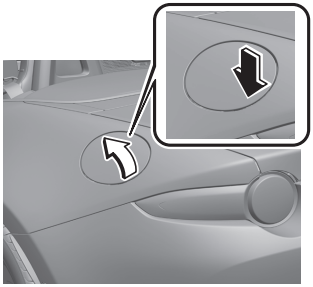


助手席　　**運転席**

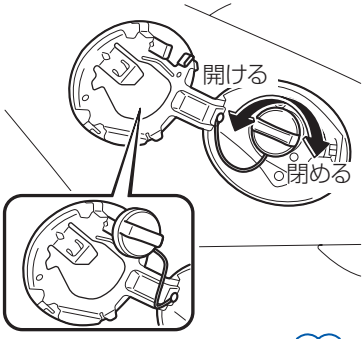
電源ポジションがONのとき、スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。
助手席の窓ガラスは、運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。

給油するとき

使用燃料		無鉛プレミアム (無鉛ハイオク) ガソリン
タンク容量 (参考値)	ソフトトップ車	40 L
	リトラクタブルファストバック車	45 L



ドアを解錠した状態でフューエルリッドの端を押すとフューエルリッドが浮きます。

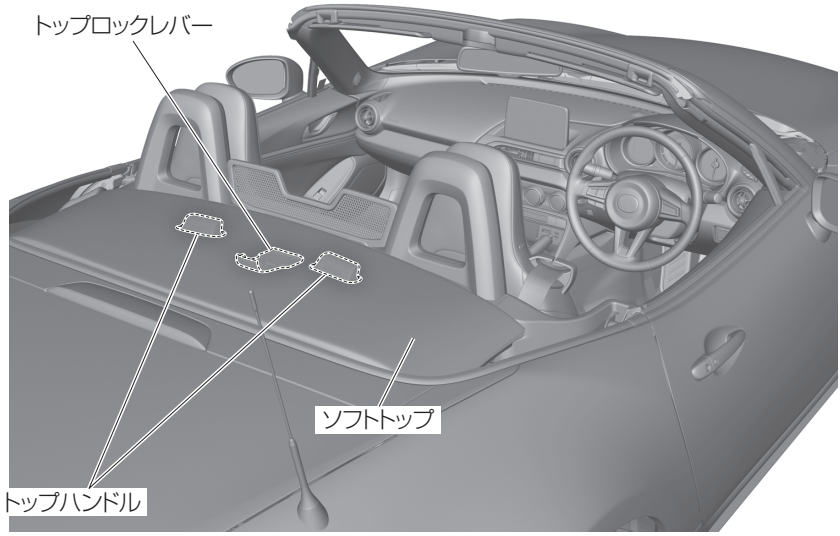


取りはずしたキャップは、フューエルリッドの内側にかけます。
キャップを閉めるときは、カチッと1回音がするまで締め付けてください。

詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

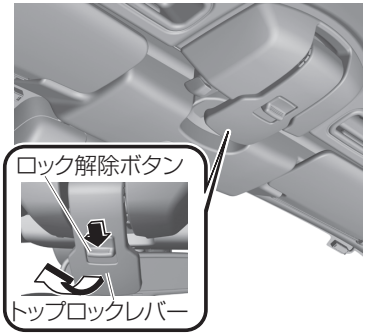
ソフトトップの開閉

ソフトトップを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全な場所に停車してから行なってください。

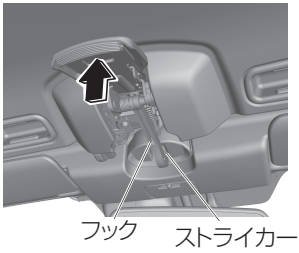


詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

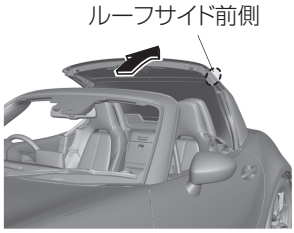
●ソフトトップを開けるとき



1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンがかかっている場合は、エンジンを止めます。
3. ソフトトップが格納される部分に、物が置かれていないことを確認します。
4. ロック解除ボタンを前方に押しながら、トップロックレバーを手前に引いてロックを解除します。



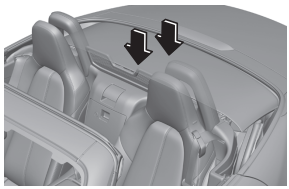
5.フックをストライカーからはずします。



6. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持って、ソフトトップを車両後方へ引きます。



7. リアガラスを手で軽く押さえながら、ソフトトップを後方へ移動し、折りたたみます。

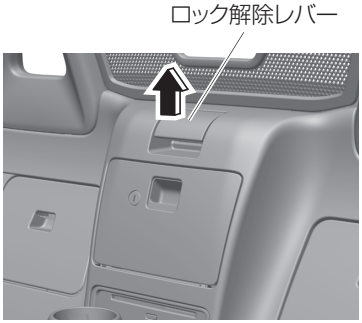


8. ソフトトップの後側を押さえた状態で、前側をカチッと音がするまで押さえつけます。
ソフトトップをゆさぶり、確実にロックされたことを確認します。

詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

運転する前に

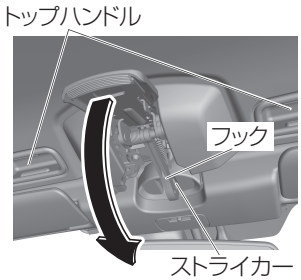
●ソフトトップを閉めるとき



1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンがかかっている場合は、エンジンを止めます。
3. ロック解除レバーを上に引き、ロックを解除します。



4. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持ちながら、ゆっくりと引き上げます。

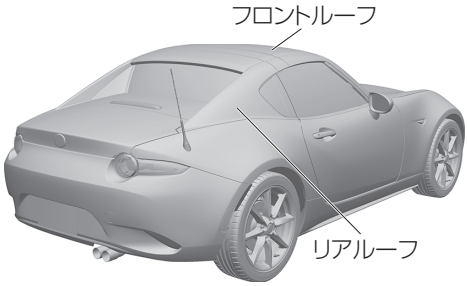


5. シートに座り、トップハンドルを持って、ソフトトップをフロントガラス側に押し当てます。
   フックがストライカーにかかっていることを確認し、トップロックレバーをゆっくり動かして、カチッと音がするまで押し上げます。

詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

リトラクタブルハードトップの開閉

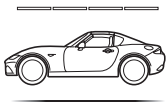
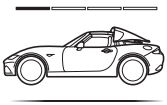
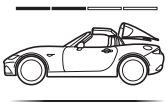
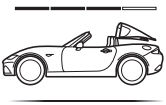
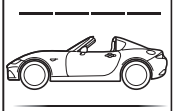
リトラクタブルハードトップは、スイッチ操作により、ルーフ、窓ガラスが連動して作動し、フロントルーフをリアルーフ下に格納するシステムです。
ルーフを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全な場所に停車してから行なってください。



●リトラクタブルハードトップ作動表示

ルーフ開閉状態表示

ルーフの開閉状態を、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。
以下の表はルーフを開けるときの表示例です。

作動	作動前	作動中			作動完了
ルーフの状態	ルーフ閉	リアルーフ開	リアルーフ開 フロントルーフ開	リアルーフ開 フロントルーフ収納	リアルーフ閉
表示					

●リトラクタブルハードトップの作動条件

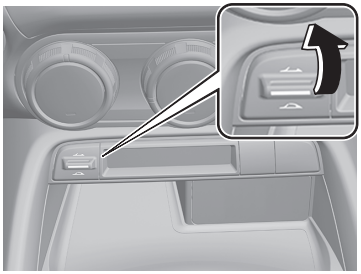
次の条件をすべて満たしているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作するとルーフを開閉することができます。

- 電源ポジションがONのとき。
- チェンジレバー/セレクトレバーがR以外のとき。
- 車速が10km/h以下のとき。
- トランクが閉まっているとき。
- 車両の傾斜角度が15度以下のとき。

詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

●ルーフを開けるとき

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルに、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れていることを確認します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. エンジンがかかっていない場合は、エンジンをかけます。



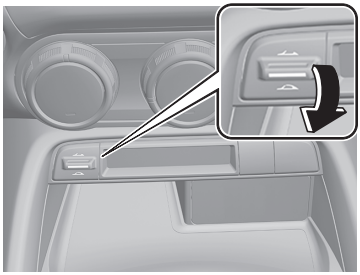
知識

エンジンを止めたままで、ルーフを開閉しないでください。
バッテリーがあがるおそれがあります。

4. フロントルーフが完全に開くまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押し続けます。

●ルーフを閉めるとき

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルに、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れていることを確認します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. エンジンがかかっていない場合は、エンジンをかけます。



知識

エンジンを止めたままで、ルーフを開閉しないでください。
バッテリーがあがるおそれがあります。

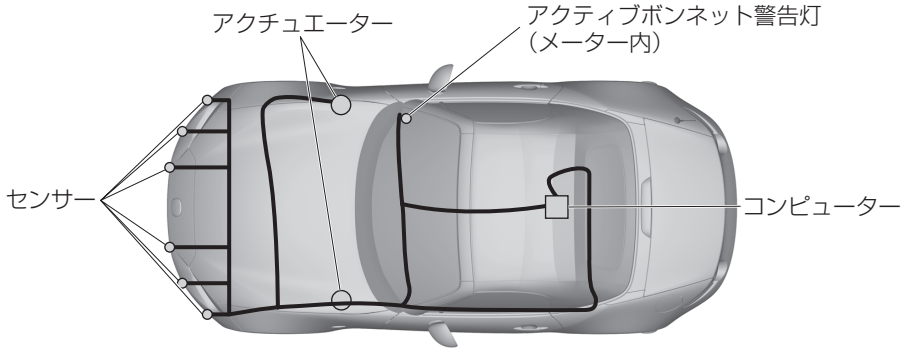
4. シートを一番前の位置にしているときは、少し後ろに下げます。
5. リアルーフが完全に閉まるまで、リトラクタブルハードトップスイッチを閉側に押し続けます。

詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

アクティブボンネット

● アクティブボンネットとは

万一、歩行者と衝突して、一定以上の衝撃が車両前部に加わったとき、ボンネットの後端を瞬時に持ち上げ、エンジンルーム内の部品との空間を広く保つことで、歩行者の頭部がボンネットに衝突したときの衝撃をやわらげます。電源ポジションがONのとき、作動速度範囲内で走行中に、歩行者やその他の物体との衝突により、フロントバンパー裏に取り付けているセンサーが一定以上の衝撃を感知すると、システムが作動し、ボンネットを持ち上げます。



詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

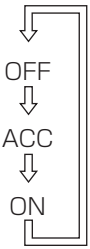
運転するときに

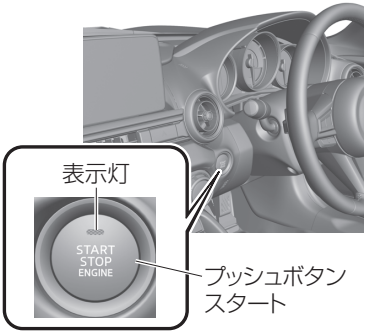
エンジンの始動と停止

● 電源ポジション（エンジンスイッチ）

マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏まない状態で、プッシュボタンスタートを押すごとにOFF、ACC、ONの順に電源ポジションが切り替わります。ONからもう一度、プッシュボタンスタートを押すとOFFへもどります。

電源ポジションの切り替わり





● エンジンをかけるとき

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. マニュアル車は、チェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
3. キーを携帯していることを確認します。
4. 以下のペダルを踏みながら、プッシュボタンスタートを押してエンジンを始動させます。
   マニュアル車:ブレーキペダル、クラッチペダル
   オートマチック車:ブレーキペダル

● エンジンの停止

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルの位置、オートマチック車はセレクトレバーをPの位置にします。
2. プッシュボタンスタートを押します。エンジンが停止し、電源ポジションがOFFになります。

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

i-stop (アイ・ストップ)

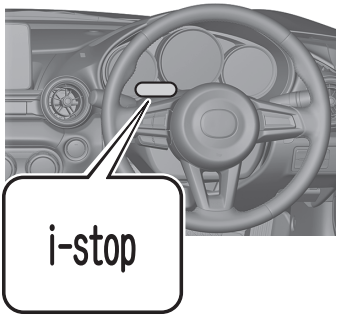
●i-stopとは

i-stopは、燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

●アイドリングストップ・再始動

知識

・次の条件のときに、i-stop 表示灯 (緑) が点灯します。
　・走行中にアイドリングストップする条件を満たしたとき
　・アイドリングストップ中のとき



・エンジンが再始動すると、i-stop 表示灯 (緑) が消灯します。

マニュアル車

1. ブレーキペダル、次にクラッチペダルを踏み込んで、車両を停車させます。
2. クラッチペダルを踏み込んだまま、チェンジレバーをニュートラルの位置にします。クラッチペダルから足を放したあと、アイドリングストップします。
3. クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動します。

オートマチック車

1. 走行状態 (Rレンジ、Mレンジの2速固定モード時以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。
2. D/M (2速固定モードではない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動します。
3. セレクトレバーがNまたはPレンジでは、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーをD/M (2速固定モードではない) またはRレンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行なってください。)

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

●i-stop表示灯/i-stop警告灯

i-stop表示灯 (緑)

i-stop

走行中にアイドリングストップする条件を満たしたとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。
エンジンが再始動すると消灯します。

i-stop警告灯 (橙)

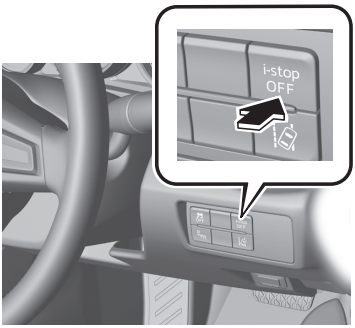
i-stop

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
i-stop OFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯します。

●i-stop警告チャイム

アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。

●i-stop OFFスイッチ



i-stopの解除
- スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけます。
- メーター内のi-stop警告灯 (橙) が点灯します。

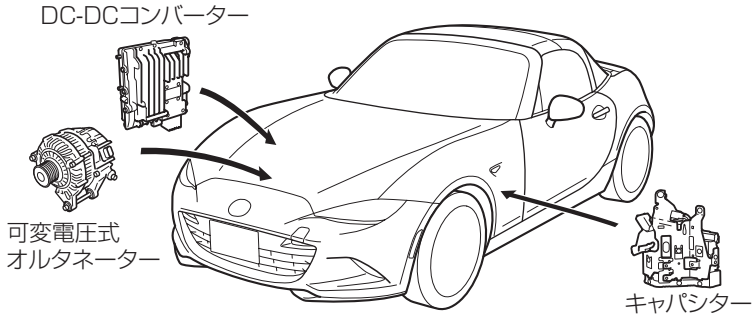
i-stopの作動
- スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけます。
- メーター内のi-stop警告灯 (橙) が消灯します。

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

i-ELOOP

●i-ELOOPとは

車が減速する際に発生する運動エネルギーを利用して発電を行うことで、発電に使うエンジン負荷をおさえ、走りの性能と燃費の向上に貢献するシステムです。
大量の電気を瞬時に蓄え、適時に無駄なく電装品の電源として活用します。



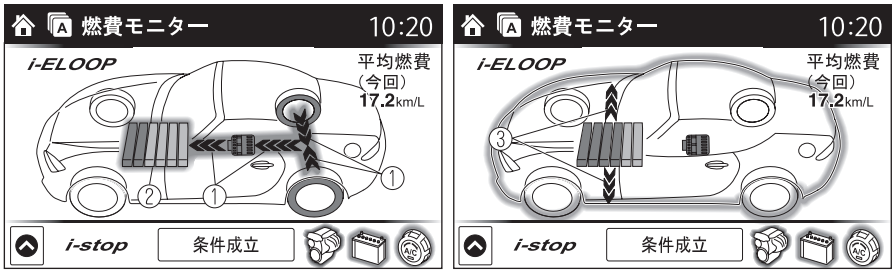
⚠ 注意

禁止

次のものには高電流が流れているため触れないでください。
- **可変電圧式オルタネーター**
- **DC-DCコンバーター**
- **キャパシター**

●状態表示

センターディスプレイにi-ELOOPのエネルギー回生状況を表示します。



① 減速エネルギーを利用して発電した電気の量と、発電した電気が蓄電器に流れている状態を表示します。表示は発電量が増えると太くなります。
② 蓄電器に蓄えている電気の量を表示します。
③ 蓄電器に蓄えられた電気を電装品に供給している状態を表示します。(車全体が同時に発光します。)

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

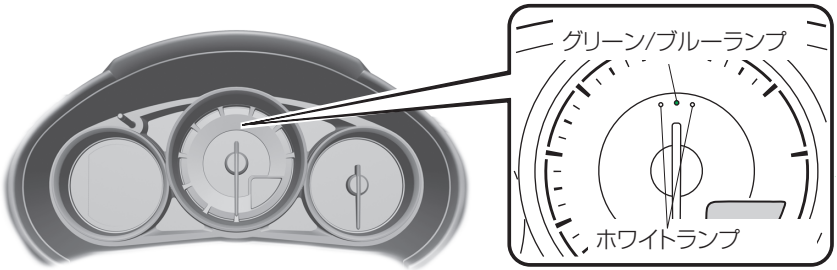
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)

●インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) とは

「i-DM」はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

●インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプ

走行中の運転操作 (アクセル、ブレーキ、ハンドル) の状態を診断し、ランプの色で運転者に運転操作の状況を知らせます。(コーチング機能)



運転操作の状況は、次のように表示されます。

ランプの種類	内容
グリーンランプ	やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。
ブルーランプ	しなやかな運転を示します。特に以下の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。 **走行タイプ1** 適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。 **走行タイプ2** 加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。
ホワイトランプ	体が揺れる運転を示します。やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまりよくない運転です。

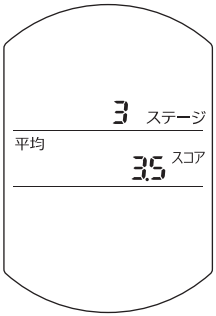
詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

●インテリジェント･ドライブ･マスター (i-DM) 表示

運転の評価をスコア (点数) で表示します。スコアに応じてステージが決まります。
ステージは1stステージから3rdステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。

マツダコネクト非装備車

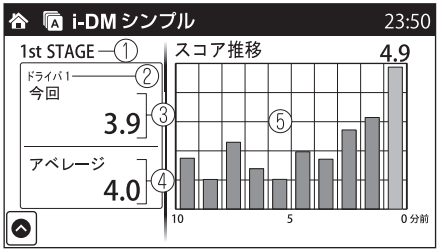
運転終了後、電源ポジションをONからOFFにしたとき、現在のステージ、今回のスコア (現在の評価値) とアベレージスコア (過去10回のスコアの平均値) を表示します。



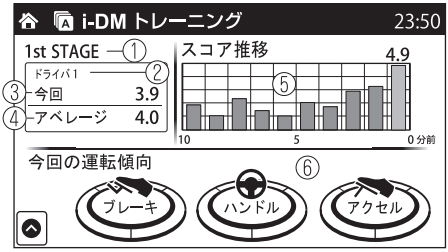
マツダコネクト装備車

インテリジェント･ドライブ･マスター (i-DM) の情報をセンターディスプレイに表示します。
表示にはシンプルモードとトレーニングモードの2種類あります。

(シンプルモード)



(トレーニングモード)



① 現在のステージを表示します。
② ドライバ名を表示します。
③ 今回のスコアを表示します。
④ アベレージスコアを表示します。
⑤ スコアの推移を棒グラフで表示します。各グラフは1分間のスコアを示し、過去10分間の記録を表示します。最新のグラフは右側にハイライト表示されます。信号待ちや一定速走行など運転操作が無かった場合はゼロのグラフが表示されます。
⑥ 今回の運転操作傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージはやや急な運転の多さを示し、青のゲージはしなやかな運転の多さを示します。

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

警告表示/警告灯、表示/表示灯

(赤)	ブレーキ警告灯
	充電警告表示/警告灯
	オイル警告灯
(赤)	高水温警告表示/警告灯
	電動パワーステアリング警告表示/警告灯
	マスター警告表示/警告灯
(橙)	電動バキュームポンプ警告灯
	ABS警告灯
	エンジン警告灯
i-stop (橙)	i-stop警告灯
i-ELOOP	i-ELOOP警告表示/警告灯
AT	オートマチックトランスミッション 警告表示/警告灯
	エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯
	アクティブボンネット警告灯
	リトラクタブルハードトップ警告表示
(橙)	KEY警告表示
(赤)	KEY警告表示/警告灯
(橙)	ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯
	ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警告表示
	車線逸脱警報システム警告表示/警告灯
	LEDヘッドランプ警告灯
	燃料残量警告表示/警告灯
PASS	シートベルト警告灯
	半ドア警告灯
	半ドア警告表示
	トランク開警告表示

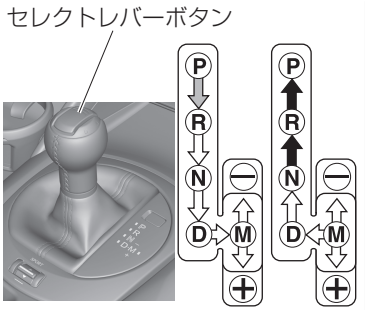
(白/緑)	KEY表示/表示灯
	セキュリティ表示灯
	リトラクタブルハードトップ表示灯
	レンチ表示/表示灯
(青)	低水温表示灯
i-stop (緑)	i-stop表示灯
	セレクトレバー位置表示
	車幅灯表示灯
	ヘッドランプ上向き表示灯
	方向指示/非常点滅表示灯
	TCS/DSC作動表示灯
OFF	DSC OFF表示灯
SPORT	セレクトモードインジケーター
(緑)	ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC)表示灯
OFF	ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF表示灯
OFF	車線逸脱警報システムOFF表示灯

メーター内にマスター警告灯が点灯したとき、マツダコネクト装備車は、センターディスプレイで点灯理由を確認できます。

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

オートマチックトランスミッション

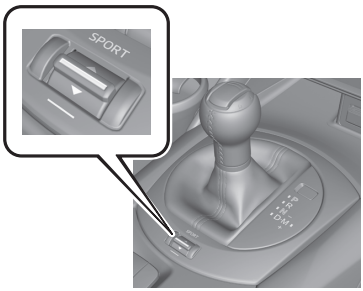
● セレクトレバーの操作



レバー操作	
⇨	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーボタンを押して操作します。
⇨	セレクトレバーボタンを押さずそのまま操作します。
➡	セレクトレバーボタンを押して操作します。

ドライブセレクション

ドライブセレクションとは、車両の走行モードを切り替えることができるシステムです。
高速道路での合流や追い越し加速時など、高い車両応答性が求められるときにご使用ください。



ドライブセレクションスイッチを **SPORT** 側（前方）に押すと、スポーツモードになります。
ドライブセレクションスイッチを ——— 側（手前）に引くと、スポーツモードが解除されます。

● セレクトモードインジケーター

スポーツモードを選択しているときに、メーター内のセレクトモードインジケーターが点灯します。



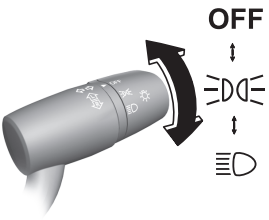
詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

運転するときに

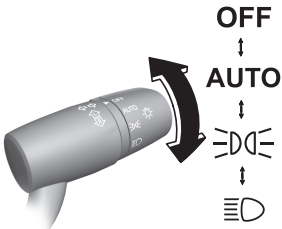
スイッチの使いかた

●ヘッドランプ/方向指示器

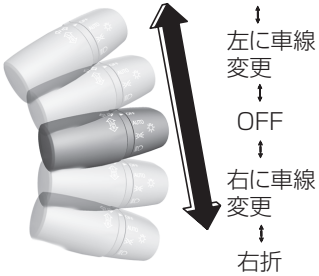
標準タイプ



オートライト機能付きタイプ



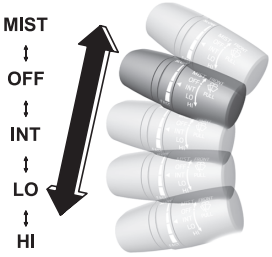
方向指示器



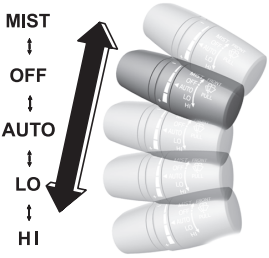
●ワイパー/ウォッシャー

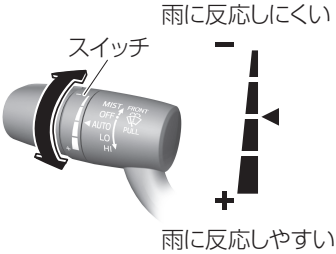
ワイパー

標準タイプ



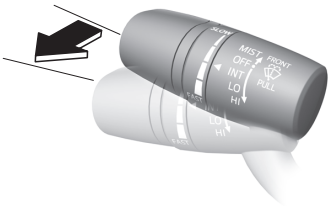
オートワイパー機能付きタイプ





レバーを AUTO の位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

ウォッシャー



詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

i-ACTIVSENSEについて

●i-ACTIVSENSEとは

i-ACTIVSENSE（アイ・アクティブセンス）とは、フォワードセンシングカメラ（FSC）やレーダーセンサーなどを利用したマツダの先進安全・運転支援システムの総称です。

各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

認知支援システム

夜間視界

・アダプティブフロントライティングシステム（AFS）
・ハイ・ビーム・コントロールシステム（HBC）

左右側面・後側方認知

・車線逸脱警報システム
・ブラインド・スポット・モニタリング（BSM）

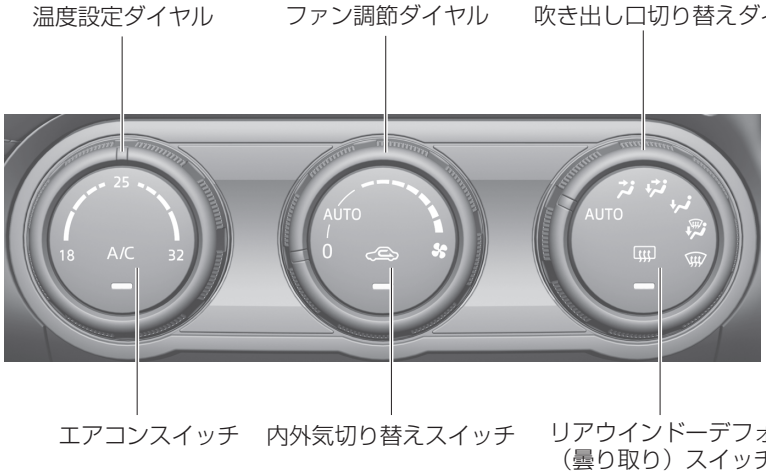
駐車場発進時後方認知

・リア・クロス・トラフィック・アラート（RCTA）

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

快適装備の使いかた

フルオートエアコン

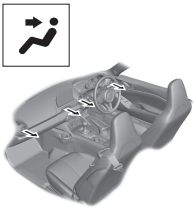


●通常の使いかた

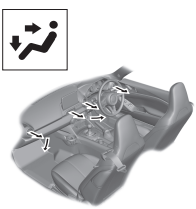
1. 吹き出し口切り替えダイヤルをAUTOの位置にします。設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自動で行います。
2. 内外気切り替えスイッチを外気導入（表示灯消灯）にします。
3. ファン調節ダイヤルをAUTOの位置にします。設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御されます。
4. エアコンスイッチを押してエアコンを作動（表示灯点灯）させます。
5. 温度設定ダイヤルをまわして希望の温度に調節します。
6. 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを0の位置にします。

●吹き出し口の選択

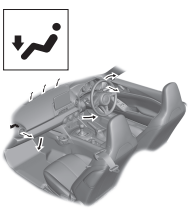
上半身に送風するとき



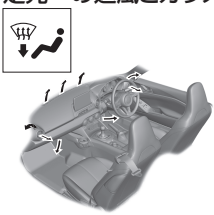
上半身、足元に送風するとき



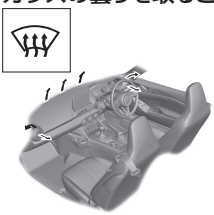
主に足元に送風するとき



足元への送風とガラスの曇りを取るとき



ガラスの曇りを取るとき



詳しくは第3章「快適装備の使いかた」をお読みください。

日常点検

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。
「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

● エンジンルームをのぞいて

・エンジンオイルの量
・冷却水の量
・ウォッシャー液の量
・ブレーキ液の量
・バッテリー液の量

● 全体を見まわして

・ウォッシャー液の噴射状態
・ワイパーの払拭状態
・灯火装置および方向指示灯の点灯、または点滅具合、汚れ、損傷
・タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常摩耗、溝の深さなど

● 運転席にすわって

・ブレーキペダルの踏みしろ (踏み込んだときの床板とのすき間)
・ブレーキの効き
・パーキングブレーキの引きしろ
・エンジンのかかり具合、異音
・エンジンの低速および加速の状態

ランプ類、電気装置が作動しない

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

詳しくは第4章「お手入れのしかた」または、
別冊のメンテナンスノート「日常点検整備のしかた」をお読みください。

MEMO

目次

イラスト目次　2 ページ

詳細目次　12 ページ

1 ***運転する前に*** 21 ページ

運転する前に必要な操作と取り扱い

2 ***運転するときに*** 97 ページ

運転するときに必要な操作と取り扱い

3 ***快適装備の使いかた*** 223 ページ

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

4 ***お手入れのしかた*** 413 ページ

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

5 ***トラブルが起きたら*** 465 ページ

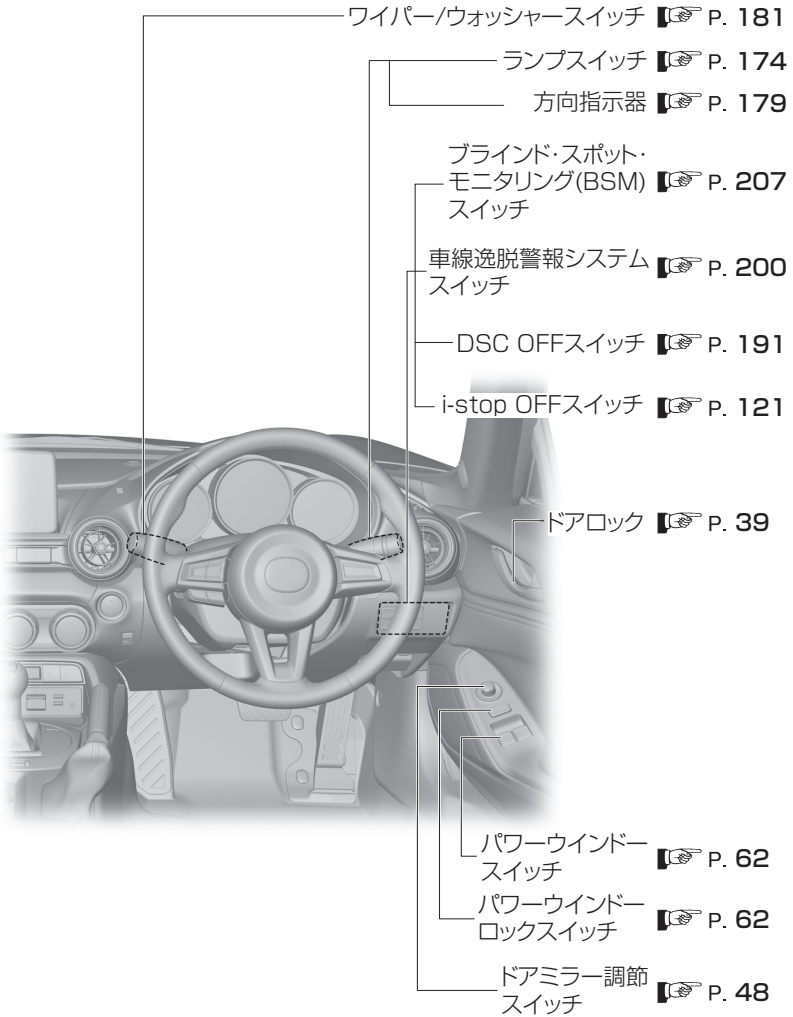
車が故障したとき、事故にあったときの処置

車両スペック　531 ページ

さくいん　545 ページ

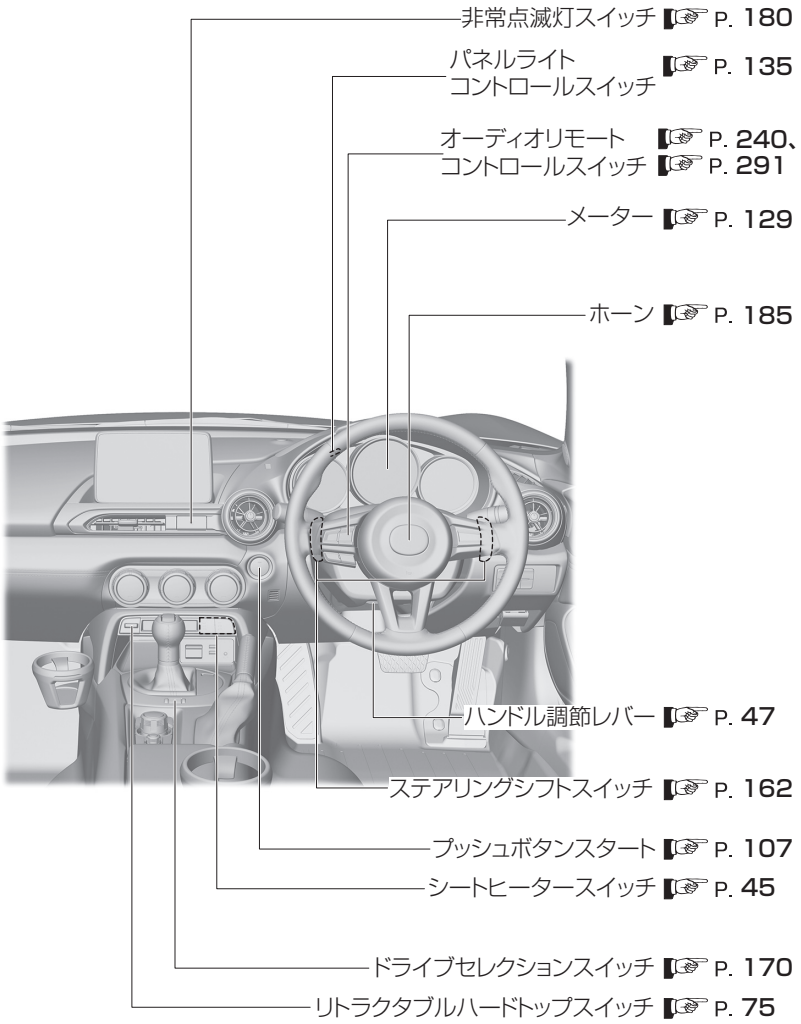
イラスト目次

ハンドルまわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

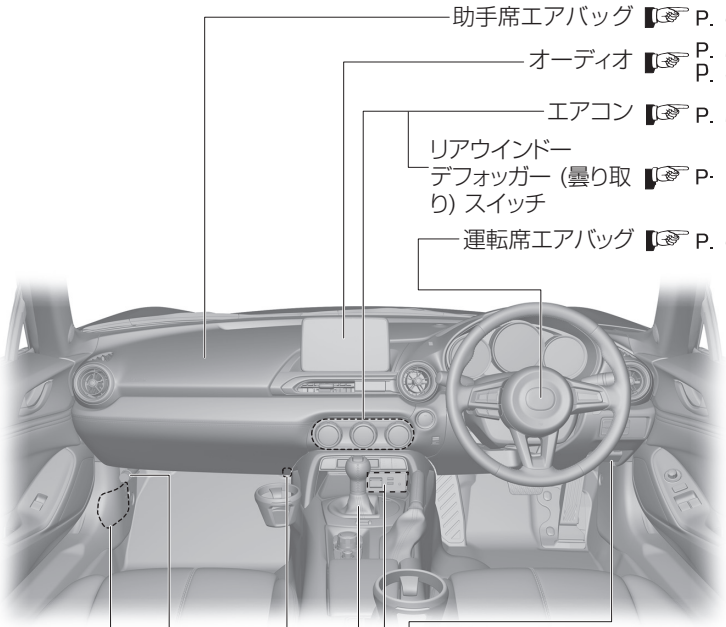
運転席まわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

イラスト目次

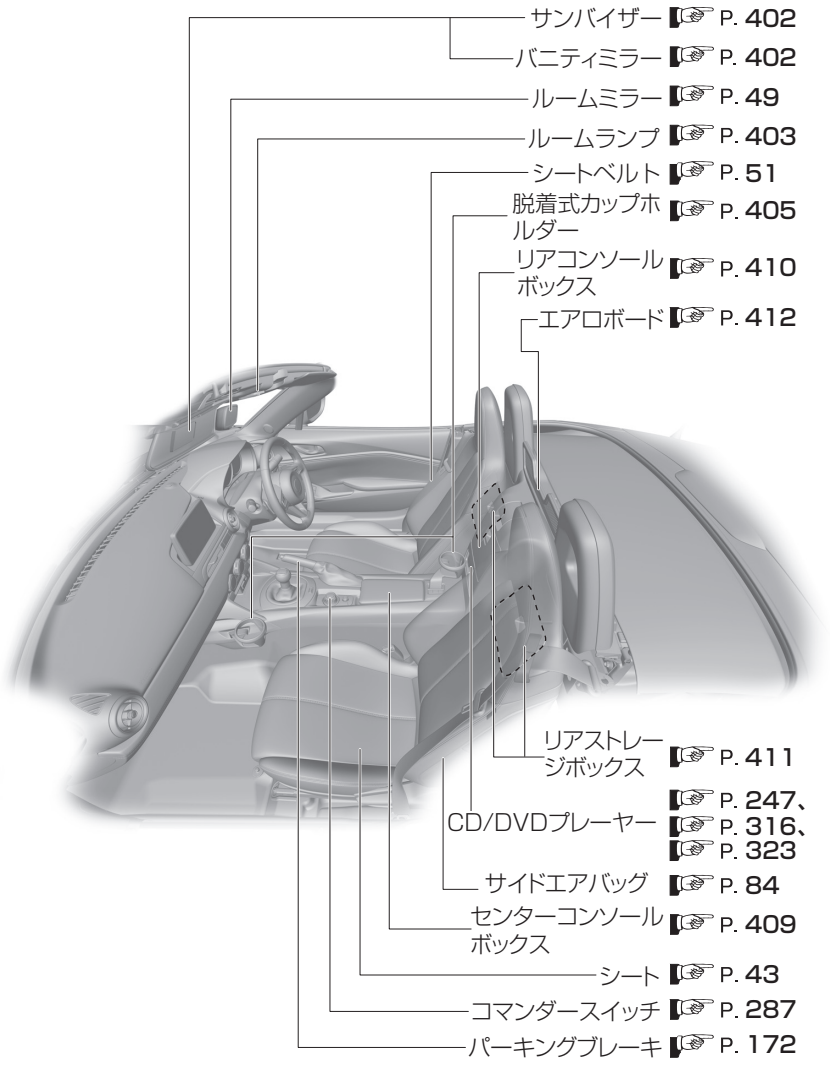
インストルメントパネルまわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

室内

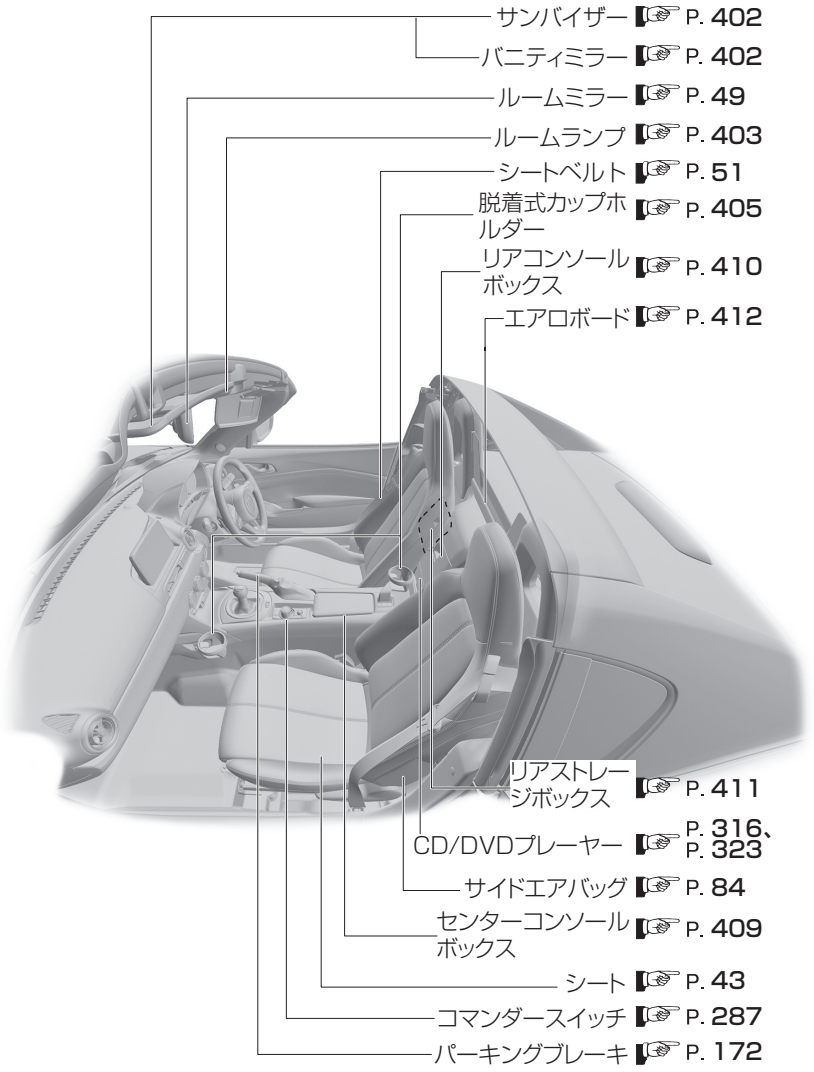
ソフトトップ



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

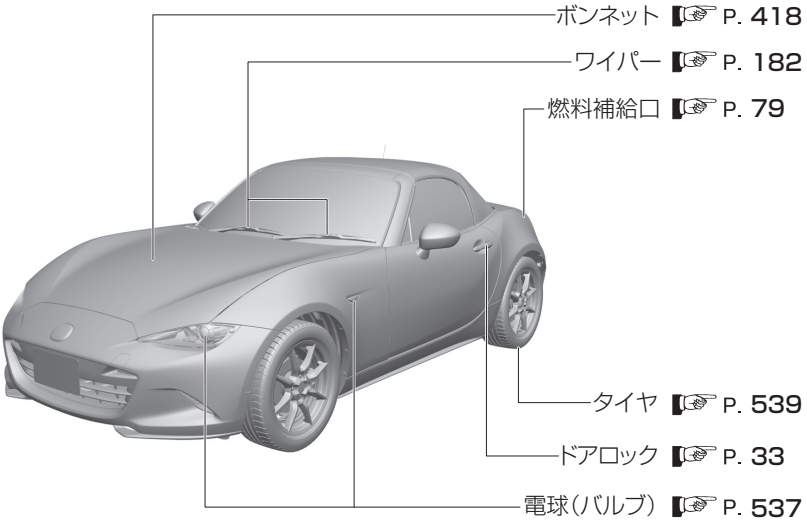
イラスト目次

リトラクタブルファストバック



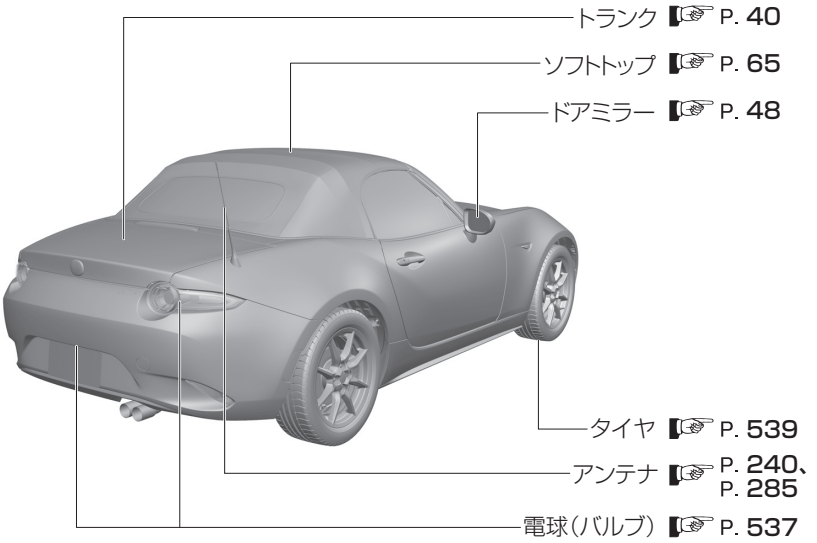
グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

フロント外観(ソフトトップ)



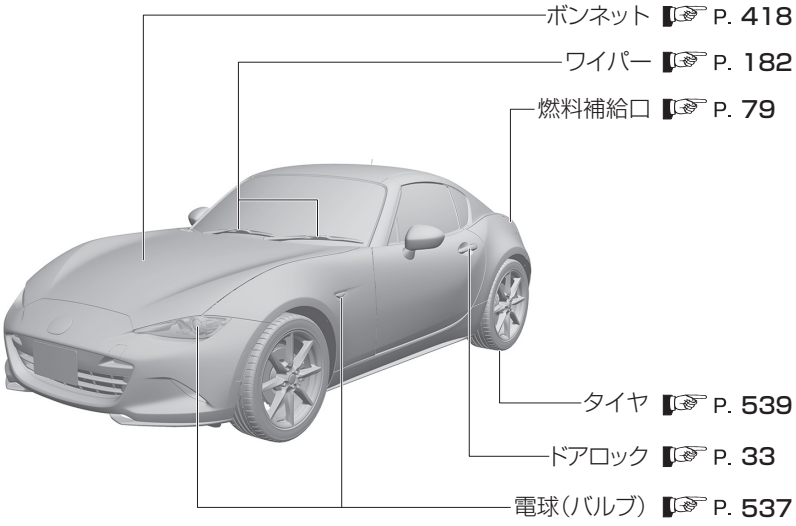
グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

リア外観(ソフトトップ)



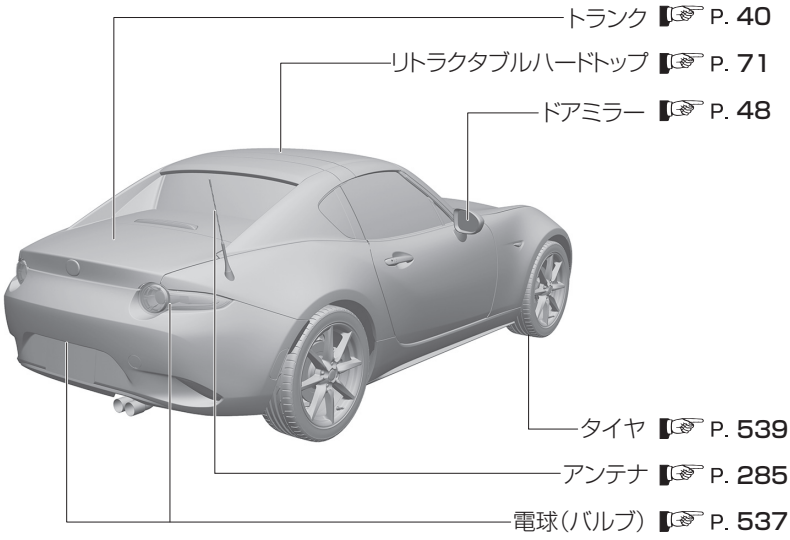
グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

フロント外観(リトラクタブルファストバック)



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

リア外観(リトラクタブルファストバック)



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

MEMO

詳細目次

1 運転する前に

安全なドライブのために 24
お出かけ前に....24
お子さまを乗せるとき....26
安全装備について....26

キー 27
キーについて....27

ドア 33
ドアの開閉....33

トランク 40
トランクの開閉....40

シート 43
正しい運転姿勢....43
シートの調節....44

ハンドル 47
ハンドルの調節....47

ドアミラー 48
ドアミラーの操作....48

ルームミラー 49
ルームミラーの操作....49

シートベルト 51
シートベルトの種類....51
シートベルトの正しい着用のしかた....52
3点式シートベルト....55

お子さまの安全 57
お子さま専用シートについて....57
チャイルドシートを固定するとき....61

ウインドー 62
窓ガラスの開閉....62
ソフトトップ 65
ソフトトップの開閉....65
リトラクタブルハードトップ 71
リトラクタブルハードトップの開閉....71
燃料補給口 78
給油するとき....78
盗難防止システム 81
イモビライザーシステム....81
SRS エアバッグシステム 83
SRS エアバッグシステムについて....83
エアバッグの種類....83
エアバッグの注意点....84
アクティブボンネット 93
アクティブボンネットについて....93
安全に運転をしていただくために 96
積雪、寒冷時の取り扱い....96

2 運転するときに

安全なドライブのために 100
運転するとき....100
運転装置について....102
こんなことにも注意....102
駐停車するとき....105
お子さまを乗せるとき....106

エンジンの始動と停止 107
電源ポジション (エンジンスイッチ)....107
エンジンの始動....108
エンジンの停止....114
i-stop について....115
i-ELOOP について 124
i-ELOOP とは....124
燃費モニター 125
燃費モニター....125
メーター、警告灯、表示灯の見方 129
メーター....129
マルチインフォメーションディスプレイ....136
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)....143
警告灯、表示灯....149
トランスミッションの使いかた 156
マニュアルトランスミッション....156
オートマチックトランスミッション....158
ドライブセレクションについて 170
ドライブセレクションとは (オートマチック車)....170
ブレーキ 172
ブレーキの操作....172
サスペンション 173
車高調整式サスペンション....173
スイッチの使いかた 174
ランプスイッチ....174
方向指示器....179
非常点滅灯スイッチ....180
ワイパー/ウォッシャースイッチ....181
リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ....185

ホーン..... 185

ABS について 186

ABS とは..... 186

ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) について 187

ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) とは..... 187

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について 188

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは..... 188

トラクションコントロールシステム (TCS) について 189

TCS とは..... 189

ダイナミック･スタビリティ･コントロール (DSC) について 190

DSC とは..... 190

i-ACTIVSENSE について 193

i-ACTIVSENSE とは..... 193
AFS (アダプティブフロントライティングシステム) について... 194
ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) とは..... 194
車線逸脱警報システムとは..... 197
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) とは..... 203
リア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA) とは..... 208
フォワードセンシングカメラ (FSC) について..... 212
レーダーセンサー (リア) について..... 215

メンテナンスモニター 217

メンテナンスモニター..... 217

様々な状況での運転のときは 219

悪天候での運転..... 219

環境保護のために 221
経済的な運転....221

3 快適装備の使いかた

空調 224
エアコンの上手な使いかた....224
吹き出し口....225
マニュアルエアコン....227
フルオートエアコン....229
オーディオ 233
オーディオをご使用の前に....233
アンテナ....240
オーディオの操作方法....240
オーディオソースの使いかた....245
マツダコネクト 264
マツダコネクトでできること....264
マツダコネクト 4 つの操作方法....266
マツダコネクトをご使用の前に....268
アンテナ....285
マツダコネクトの操作方法....286
マツダコネクトの設定....296
オーディオソースの使いかた....302
Bluetooth®をご使用の前に....361
Bluetooth®ハンズフリー....375
トラブルシューティング....396
室内装備 402
サンバイザー....402
室内照明....402
電源ソケット....404
脱着式カップホルダー....405
収納....409
エアロボード....412

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 414
必ずまもる 414
お車に触れるときはけがに注意する 415

点検、整備 416
点検整備について 416
定期点検 418
日常点検の前に 418
日常点検 420
その他の手入れ 427

ヒューズ切れ、電球切れのとき 428
ヒューズの受け持つ装置 428
ランプ類、電気装置が作動しないとき 433

電池交換 446
電池を交換するときは 446

車の手入れ 449
外装の手入れ 449
内装の手入れ 457

季節の準備 461
冬にそなえて 461
夏にそなえて 463

環境保護のために 464
廃棄物を処理するときは 464

5 トラブルが起きたら

故障したとき 468
路上で動けなくなったとき 468
スタックしたとき 469

踏切内で動けなくなったとき.....469
緊急用具の取り扱い 471
発炎筒.....471
工具の格納場所.....472
パンクしたとき 473
タイヤパンク応急修理キット.....473
バッテリーがあがったとき 482
バッテリーあがりについて.....482
オーバーヒートしたとき 486
オーバーヒートについて.....486
フューエルリッドが開かなくなったとき 488
フューエルリッドが開かなくなったときは.....488
キーが作動しないとき 489
キー一時停止機能.....489
けん引について 490
けん引してもらうとき.....490
故障車をけん引するとき.....491
万一事故が起きたとき 493
警告灯/表示灯 494
警告灯が点灯、点滅したときは.....494
マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されたときは.....504
センターディスプレイにメッセージが表示されたときは.....505
警報チャイム 507
チャイムがなったときは.....507
トランク 511
トランクが開けられなくなったとき.....511

ルーフが閉まらなくなったとき　518
ルーフが閉まらなくなったときは.....518

MEMO

1 運転する前に

安全なドライブのために 24
お出かけ前に 24
お子さまを乗せるとき 26
安全装備について 26
キー 27
キーについて 27
ドア 33
ドアの開閉 33
トランク 40
トランクの開閉 40
シート 43
正しい運転姿勢 43
シートの調節 44
ハンドル 47
ハンドルの調節 47
ドアミラー 48
ドアミラーの操作 48
ルームミラー 49
ルームミラーの操作 49
シートベルト 51
シートベルトの種類 51
シートベルトの正しい着用のしかた 52
3 点式シートベルト 55
お子さまの安全 57
お子さま専用シートについて 57
チャイルドシートを固定するとき 61
ウインドー 62

1 運転する前に

窓ガラスの開閉 62
ソフトトップ 65
ソフトトップの開閉 65
リトラクタブルハードトップ 71
リトラクタブルハードトップの開閉 71
燃料補給口 78
給油するとき 78
盗難防止システム 81
イモビライザーシステム 81
SRS エアバッグシステム 83
SRS エアバッグシステムについて 83
エアバッグの種類 83
エアバッグの注意点 84
アクティブボンネット 93
アクティブボンネットについて 93
安全に運転をしていただくために 96
積雪、寒冷時の取り扱い 96

MEMO

お出かけ前に

日常点検は必ず実施する

416 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

426 ページの「バッテリーの点検」をよくお読みください。

日常点検としてタイヤを定期的に点検する

423 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

78 ページの「給油するとき」をよくお読みください。

燃料補給時の注意

78 ページの「給油するとき」、80 ページの「フューエルキャップの開閉」をよくお読みください。

荷物を積むときは固定する

荷物を積むときは、助手席にそのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定してください。走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

可燃物、危険物は積まない

燃料の入った容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

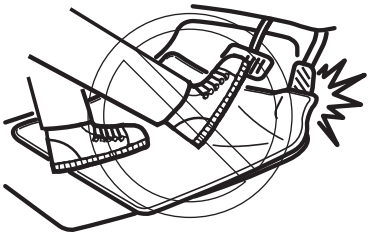
運転席足元には物を置かない

運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると、ペダルを正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。 収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマットは車に合ったものを使用する



フロアマットは純正品を使用することをおすすめします。
フロアマットは車に合ったものを使用し、大きすぎるフロアマットを使用しないでください。
フロアマットを車に敷くときは次の点を守ってください。

- フロアマットは重ねて使用しない。
- フロアカーペットの上のフックでしっかり固定して使用する。

守られていないと、フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引っかかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

キーは運転者が携帯する

30 ページの「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」、33 ページの「ドアの開閉」をよくお読みください。

正しい運転姿勢に調節する

43 ページの「正しい運転姿勢」をよくお読みください。

シートベルトは全員着用する

52 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」をよくお読みください。

外気取り入れ口をふさがない

224 ページの「エアコンを使用する前に」をよくお読みください。

お子さまを乗せるとき

お子さまにもシートベルトを着用させる

52 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」、84 ページの「エアバッグの注意点」をよくお読みください。

チャイルドシートは正しく取り付ける

57 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

ドア、窓ガラス、ソフトトップ、リトラクタブルハードトップの開閉やシートなどの調節は大人が操作する

33 ページの「ドアの開閉」、65 ページの「ソフトトップの開閉」、71 ページの「リトラクタブルハードトップの開閉」をよくお読みください。

窓から手や顔を出させない

62 ページの「窓ガラスの開閉」をよくお読みください。

安全装備について

SRS エアバッグシステムの注意

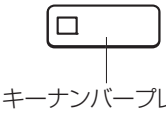
83 ページの「SRS エアバッグシステム」をよくお読みください。

アクティブボンネットの注意

93 ページの「アクティブボンネット」をよくお読みください。

キーについて

キーナンバープレート



お客様以外の方にキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

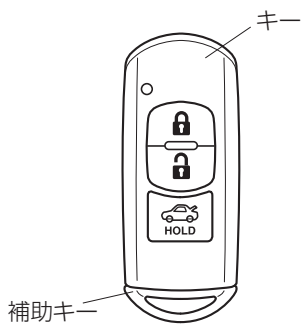
知識

- **保管するときは**
  キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- **紛失したときは**
  万一、キーを紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにキーを作ることができます。マツダ販売店にご相談ください。

キー

知識

- キーは必ず運転者が携帯してください。
- キーを紛失したときのために、スペアのキーを保管しておいてください。



キーを携帯することにより、キーを取り出すことなく次の操作ができます。

- エンジンを始動/停止する。

(アドバンストキーレス機能装備車)

- ドア、トランク、フューエルリッドを施錠/解錠する。
- トランクを開ける。

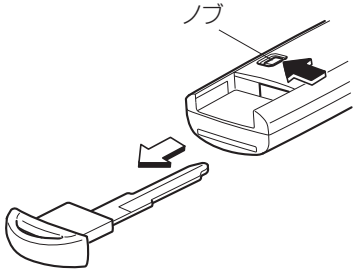
またリモートコントロールの操作にも使用します。
キーは 2 本あります。

キー

補助キー

キーに内蔵されています。
ドア、トランク、フューエルリッド、リアコンソールボックスの施錠/解錠に使用します。

補助キーの取りはずしかた



ノブを押したまま、補助キーを引き出します。

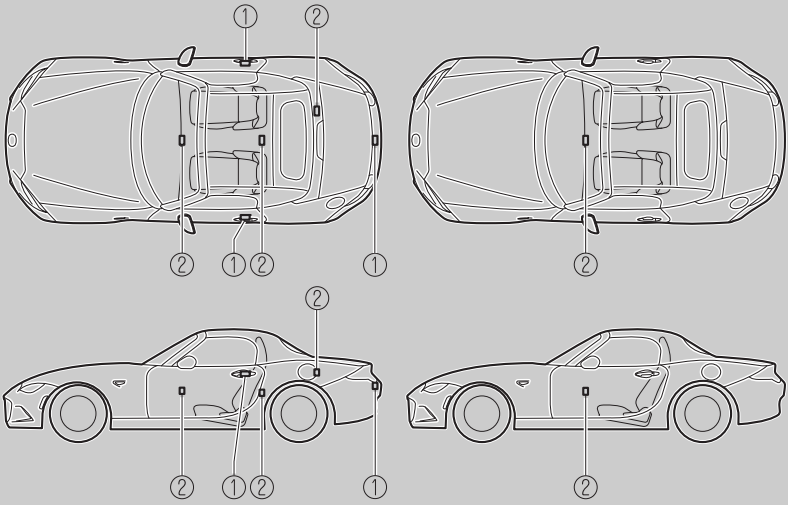
キーの注意点

⚠警告

禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は車内·車外のアンテナから約 22cm 以内に医療用機器を近づけない。電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

（アドバンストキーレス機能装備車）　（アドバンストキーレス機能非装備車）



①車外のアンテナ　②車内のアンテナ

⚠警告

必ず守る

次にある以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

- **植込み型心臓ペースメーカー**
- **植込み型除細動器**

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

必ず守る

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。
ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。
また、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。
詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

⚠注意

必ず守る

キーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはキーが正常に作動しないことがあります。

- **携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき**
- **金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき**
- **パソコンなどの電化製品の近くに置いたとき**
- **純正品以外の電子機器を取り付けたとき**
- **近くに電波を発する設備があるとき**

禁止

キーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。

必ず守る

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- **強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。**
- **分解しないでください。**
- **重い物を上に置かないでください。**
- **直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。**
- **磁石や金属などの磁気を帯びた製品を近づけないでください。**
- **システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。**

禁止

航空機内ではキーを操作しないでください。
キーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、キーのスイッチが容易に押されないように注意してください。

知識

- **電池の寿命について**
  電池の寿命は、約 1 年程度です。メーターに KEY 表示灯 (緑) が点滅したまたはディスプレイに KEY 警告表示が表示した場合は、新しい電池と交換してください。
  電池の消耗度合いによってはメーターに KEY 表示灯 (緑) が点滅しないまたはディスプレイに KEY 警告表示が表示しない場合もありますので、1 年を目安に電池の交換をおすすめします。



- **キーの紛失について**
  キーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、マツダ販売店にご相談ください。
- **キーを追加するときは**
  別売りのキーを購入される場合、お手持ちのキーとあわせて、同じ車両で 6 個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。

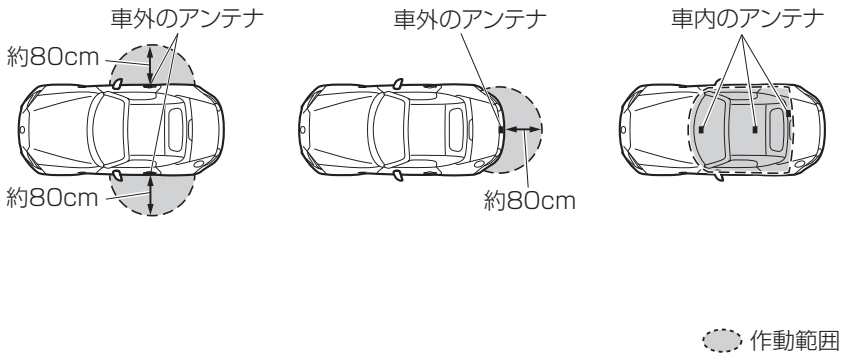
アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作

アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、ドア、トランクの施錠/解錠、エンジンの始動/停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、トランクの施錠/解錠ができます。
→34 ページ「キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能装備車)」

機能の作動範囲

キーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

ドア、トランクの施錠/解錠　　トランクの解錠　　エンジンの始動



知識

- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
  - 電池が消耗しているとき
    電池交換の目安は 30 ページをお読みください。
  - 強い電波、ノイズのある場所
  - 窓ガラスやドアハンドル、トランクに近づきすぎた場合
- 次のような場所にキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - 小物入れなど
- 次のような場所にキーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては、キーが車内にあってもドアが施錠される場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - 小物入れなど
  - 携帯電話などの通信機器の近く
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
  車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがありますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作

キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、エンジンの始動/停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、トランクの施錠/解錠ができます。
→38 ページ「キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能非装備車)」

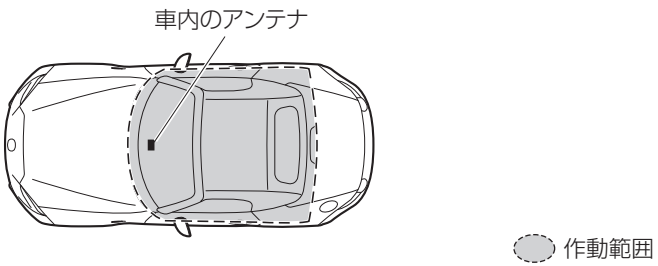
機能の作動範囲

キーを携帯し、作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

知識

- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
  - 電池が消耗しているとき
    電池交換の目安は 30 ページをお読みください。
  - 強い電波、ノイズのある場所
- 次のような場所にキーを置くとエンジンの始動ができない場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - 小物入れなど
- 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがありますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

エンジンの始動



ドアの開閉

⚠警告

ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。
半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまにドアの開閉をさせない。
手、足、首などをはさみ重大な傷害につながるおそれがあります。

半ドア警告灯/警告表示が点灯/表示したまま走行しない。
走行中に、ドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

ドアを開閉するときは、強風や傾斜地など周囲の状況を確認して開閉してください。指をはさんだり、ドアが通行人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

バッテリーあがりなどで自動で窓ガラスが上下作動しなくなったときは、窓ガラスを室内側へ押しながらゆっくり開閉してください。窓ガラスとソフトトップ/ルーフが干渉してドアが開閉できなくなったり、窓ガラスが破損するおそれがあります。

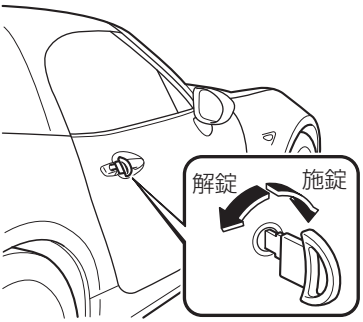
知識

- **車から離れるときは**
  必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。
- 次のような場所にキーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては、キーが車内にあってもドアが施錠される場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - 小物入れなど
  - 携帯電話などの通信機器の近く

知識

- ドアを開けると自動で窓ガラスが少し下がり、ドアを閉めると自動で窓ガラスが上がります。これは密閉性を向上させるための機能で異常ではありません。
  車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは、自動で窓ガラスが上下作動しなくなります。上下作動しなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
  →64 ページ「自動開閉機構」

補助キーによる施錠/解錠



運転席ドアに、補助キーを差し込み、まわすとすべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。

キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能装備車)

知識

施錠/解錠するときに鳴るチャイムを鳴らないように設定を変更することができます。また、音量を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
変更する場合は次の手順で行なってください。

1. 電源ポジションを OFF にして、すべてのドア、トランクを閉めます。
2. 運転席ドアを開けます。
3. 運転席ドアを開けてから、30 秒以内にキーのロックスイッチを 5 秒以上長押しします。すべてのドア、トランク、フューエルリッドが解錠され、現在設定されている音量でチャイムが鳴ります。 (現在の設定がチャイムを鳴らないように設定している場合は鳴りません。)
   キーのロックスイッチを押すごとに設定が切り替わり、設定される音量でチャイムが鳴ります。 (チャイムを鳴らないように設定した場合は鳴りません。)

知識

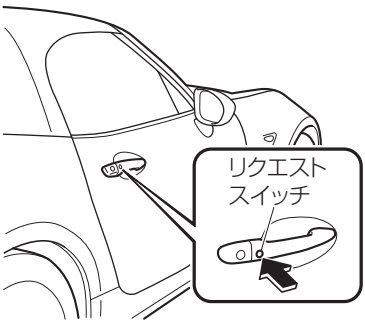
4. 次のいずれかを行なって設定の変更を終了します。
   - 電源ポジションを ACC か ON にする。
   - 運転席ドアを閉める。
   - トランクを開ける。
   - 10 秒間キーの操作をしない。
   - キーのロックスイッチ以外のスイッチを押す。
   - リクエストスイッチを押す。

リクエストスイッチ

キーを携帯し、ドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、トランク、フューエルリッドが施錠/解錠します。

知識

施錠について
いずれかのドアが開いていると施錠できません。



施錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
解錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、トランク、フューエルリッドが確実に施錠されたことを確認してください。

知識

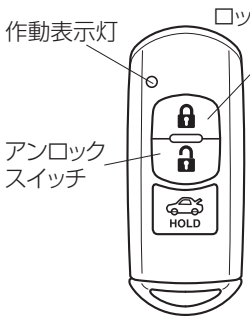
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
オートロック機能
キーを携帯してすべてのドアを閉めると、チャイムが 1 回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約 3 秒後に自動的にすべてのドア、トランク、フューエルリッドを施錠します。 (作動範囲から出ない場合でも約 30 秒後に自動的に施錠します。) ただし、次のようなときは施錠されません。
  - 車内に別のキーがあるとき。
  - ドア、トランクが完全に閉まる前に作動範囲を出たとき。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
施錠されるまでの時間を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
  - いずれかのドアまたはトランクを開ける。
  - 電源ポジションを OFF 以外にする。
- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
  - 電源ポジションが OFF 以外のとき
  - いずれかのドアが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



施錠するとき
ロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
解錠するとき
アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

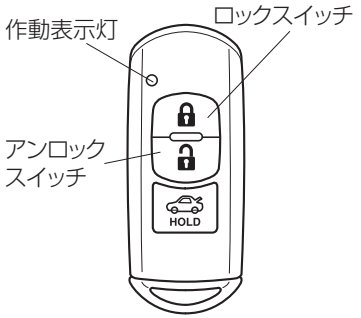
- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  施錠されるまでの時間を変更することができます。
  →541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
  - いずれかのドアまたはトランクを開ける。
  - 電源ポジションを OFF 以外にする。

キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能非装備車)

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
  - 電源ポジションが OFF 以外のとき
  - いずれかのドアが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。

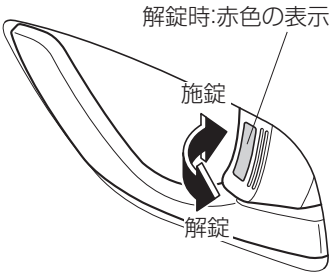


- 施錠するとき
  ロックスイッチを押します。
  非常点滅灯が 1 回作動します。
- 解錠するとき
  アンロックスイッチを押します。
  非常点滅灯が 2 回作動します。

知識

- **作動のお知らせについて**
  - スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
  - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  施錠されるまでの時間を変更することができます。
  →541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
  - いずれかのドアまたはトランクを開ける。
  - 電源ポジションを OFF 以外にする。

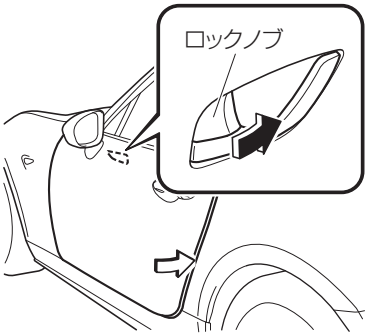
ロックノブによる施錠/解錠



運転席ドアのロックノブを操作すると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠/解錠ができます。
助手席ドアのロックノブを操作すると、助手席ドアの施錠/解錠ができます。

車外から操作するとき

助手席ドアは車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。



知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、ロックノブを施錠側にすると解錠側にはね返るためこの方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

トランクの開閉

⚠警告

禁止 **トランクルーム内に人を乗せない。**
トランクルームに閉じ込められると中から開けられません。また、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **トランクリッドは必ず閉めてから走行する。**
開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

⚠注意

必ず守る **トランクリッドを開ける前に、トランクリッドの雪や氷などの付着物を取り除いてください。トランクリッドを開けたときに、雪や氷などの重みでトランクリッドが閉まり、けがをするおそれがあります。**

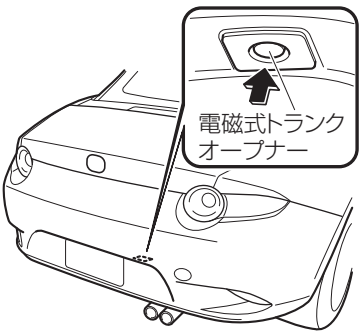
必ず守る **強風時にトランクリッドを開閉するときは、注意して開閉してください。トランクリッドが風にあおられると、急に閉まり、けがをするおそれがあります。**

必ず守る **トランクリッドを開けるときは全開にして、トランクリッドが止まることを確認してください。トランクリッドを途中で止めると、振動や突風などでトランクリッドが閉まり、けがをするおそれがあります。**

必ず守る **トランクルームの荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。**

トランクを開けるとき

電磁式トランクオープナーの操作による開けかた



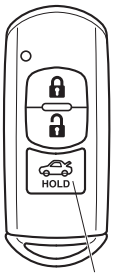
ドアを解錠し、電磁式トランクオープナーを押しトランクを持ち上げます。
アドバンストキーレス機能装備車はキーを携帯して電磁式トランクオープナーを押すと、施錠されている状態でもトランクを開けることができます。

知識

(アドバンストキーレス機能装備車)

- ドア、トランクが施錠されている状態から、電磁式トランクオープナーを押してトランクを開けるときは、すぐに解錠されないことがあります。
- ドアが施錠されている状態から、車内にキーを入れたままトランクを閉めると、トランクは閉まりますが、施錠されません。電磁式トランクオープナーを押すことにより、トランクを開けることができます。ただし、この操作をしてもトランクを開けることができないときは、トランクを押さえつけるようにして完全に閉めてから電磁式トランクオープナーを押して開けてください。

リモートコントロール機能による開けかた



トランクスイッチ

トランクスイッチを約 1 秒押すと開きます。

知識

バッテリーあがりや電気系統の故障などで、トランクの解錠ができず開けられなくなったときは応急処置を行なうと、トランクを開けることができます。
→511 ページ「トランクが開けられなくなったとき」

トランク

トランクを閉めるとき

トランクリッドをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。
トランクリッドを閉めたあとは、電磁式トランクオープナーを押さずにトランクリッドを動かし、確実に閉まっていることを確認してください。

⚠警告

必ず守る

トランクリッドを閉めたあとは、トランクリッドをゆさぶって確実に閉まっていることを確認する。
走行中にトランクリッドが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

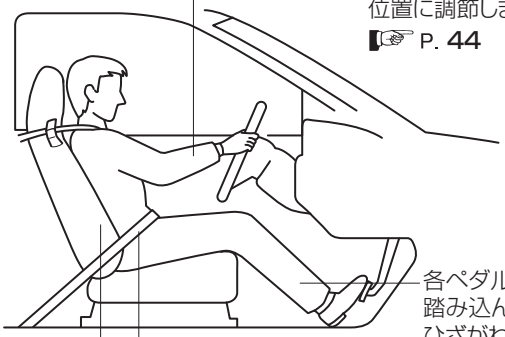
⚠注意

必ず守る

トランクリッドを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。
万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節してください。



⚠警告

シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。

必ず守る

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが損傷した場合は必ずマツダ販売店で点検を受ける。

必ず守る

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシート内部のエアバッグシステムの部品が本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。衝突後やシートクッションが破れたり、ウレタンまで達するほどの損傷の場合は、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。

禁止

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

シート

⚠警告

背もたれは必要以上に倒さない。

禁止

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下にすべり込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートの下に物を置かない。

禁止

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

シートを操作する際は、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。

シートの調節

⚠警告

必ず守る

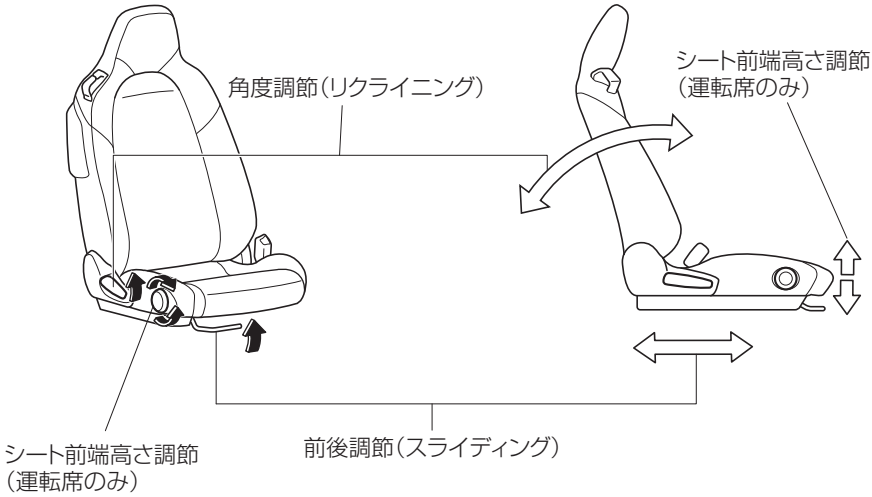
操作後は確実にロックされていることを確認する。
走行中シートが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

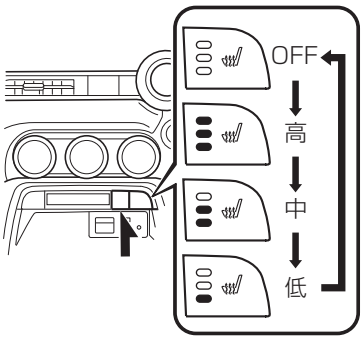
シートを前後に動かすときや、後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、シートが急に動き、けがをするおそれがあります。

シートの使いかた



シートヒーターの使いかた グレード/仕様別装備

シートを温めることができます。



電源ポジションが ON のとき、スイッチを押すと作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
スイッチを押すごとに、図のように作動状態が切り替わります。

シート

⚠注意

必ず守る **次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意してください。**

- **乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方**
- **皮膚の弱い方**
- **疲労の激しい方**
- **深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を使用された方**

禁止 **毛布や座布団など保温性のよいものをかけた状態で使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。**

禁止 **仮眠するときは使用しないでください。低温やけどをするおそれがあります。**

禁止 **突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピンなどでシートクッションをつきささないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。**

禁止 **シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。**

知識

エンジン回転中に使用してください。エンジンを止めたままで、シートヒーターを長時間使用するとバッテリーがあがるおそれがあります。

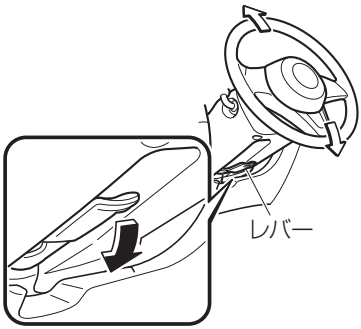
ハンドルの調節

⚠警告

調節は必ず車両を停止した状態で行なう。
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実に固定されていることを確認する。
走行中ハンドルが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



1. レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
2. 調節後は、レバーを引き上げて固定します。

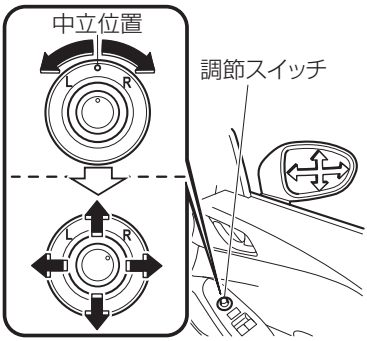
ドアミラーの操作

⚠警告

調節は走行前に行なう。
走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。
必ず守る

ドアミラーの角度調節

電源ポジションが ACC または ON のとき調節ができます。

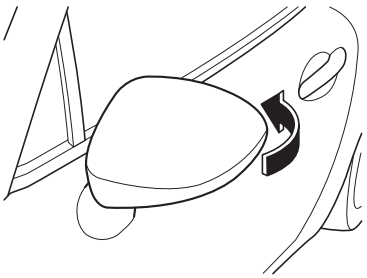


1. 調節スイッチを運転席側 R または助手席側 L のどちらか調節したいミラー側にまわします。
2. 調節スイッチを操作して、後方が十分確認できるように調節します。
3. ミラーの調節後は、調節スイッチを中立位置にもどします。

ドアミラーを格納するとき

⚠注意

ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。
禁 止



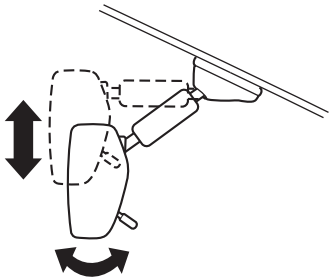
ミラー本体を手で倒して格納します。
走行前には、ミラー本体を手で持ち、ロックするところまでもどします。

ルームミラーの操作

⚠警告

調節は走行前に行なう。
走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。
必ず守る

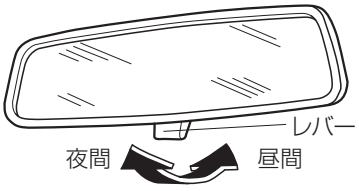
ルームミラーの角度/高さ調節



ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調節します。

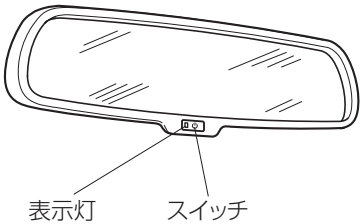
後続車のヘッドランプがまぶしいとき

マニュアルタイプ



通常はレバーを押した状態にします。
夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引いて切り替えます。

オートタイプ

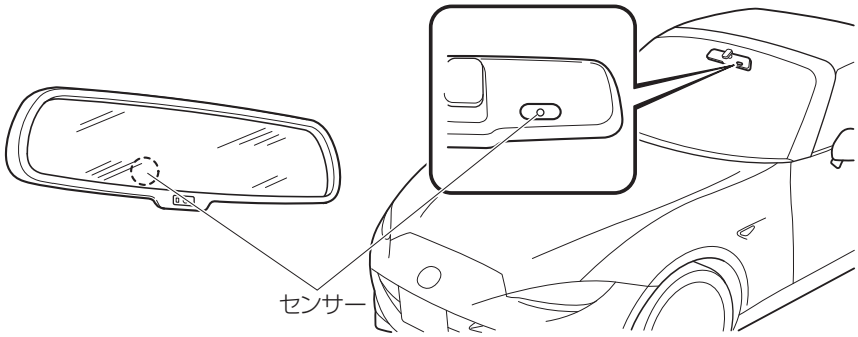


電源ポジションが ON のとき、後続車からのヘッドランプの光を自動で軽減します。
スイッチを押すごとに ON、OFF が切り替わります。
スイッチが ON のときは表示灯が点灯します。

ルームミラー

知識

センサーについて
センサーをガラスクリーナーでふいたり、ステッカーやカバーなどで覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



電源ポジションが ON のときチェンジレバー/セレクトレバーを R に入れると防眩機能は一時停止します。

シートベルトの種類

シートベルトの機構
プリテンショナー&ロードリミッター機構付 ELR3 点式シートベルト

知識

- **プリテンショナー機構について**
  - 車両前方または側方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
  - プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがありますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物 (カス) が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- **事故などにあったときは**
  プリテンショナー&ロードリミッター機構付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

ELR (緊急時固定) 機構

3 点式シートベルトには ELR (緊急時固定) 機構が装備されています。
シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

プリテンショナー機構

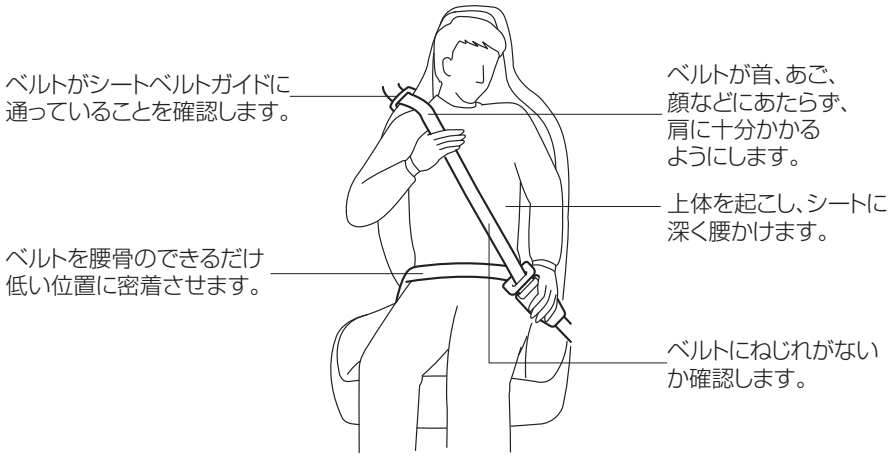
シートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。
車両前方または側方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

ロードリミッター機構

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。
シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

シートベルトの正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



⚠警告

着用について

必ず守る **シートベルトは全員が着用する。**
着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **シートベルトは正しく着用する。**
着用しないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用する。**
シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。

禁止 **1 つのシートベルトを同時に 2 人以上で使用しない。**
2 人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **シートベルトの改造や交換をしない。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけない。**
万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告

禁止 **ベルトがねじれた状態で使用しない。**
ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な事故につながるおそれがあります。

禁止 **肩ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕の下に通して着用しない。**
ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **背もたれは必要以上に倒さない。**
急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下にすべり込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる。**
シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用する。**
ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰部ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



禁止 **シートベルトのバックルの中に異物を入れない。**
異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

必ず守る **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



シートベルト

⚠警告

必ず守る **シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのチャイルドシート、ジュニアシートを使用する。**
チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスについて

禁止 **シートベルトを分解しない。**
分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

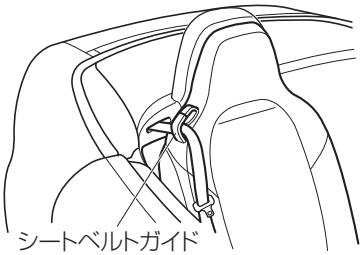
必ず守る **事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがあるので、必ずマツダ販売店で点検を受ける。**
そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店に相談する。**
プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしない。**
正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

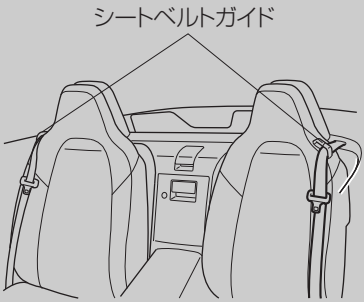
必ず守る **シートベルトやシートベルトガイドが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。**



3 点式シートベルト

⚠ 警告

シートベルトを着用するときはシートベルトガイドに必ず通す。
通さずに使用すると万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な障害につながるおそれがあります。



シートベルトを着用するとき



1. プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。
2. ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

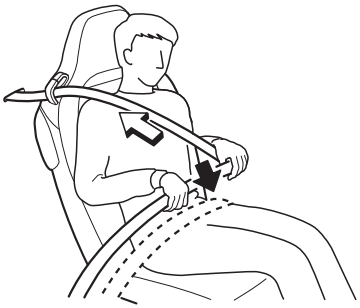
知識

ベルトがロックして引き出せないときは
一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

シートベルト

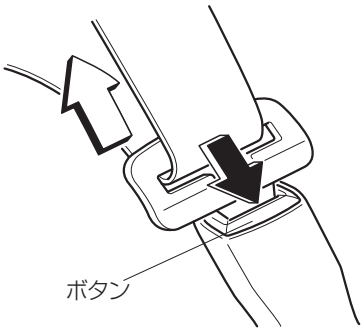


3. ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



4. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。

シートベルトをはずすとき



はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

シートベルト着用忘れチャイム

運転席/助手席シートベルトを着用していないまま、車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。 (鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)
シートベルトを着用すると鳴り止みます。

お子さま専用シートについて

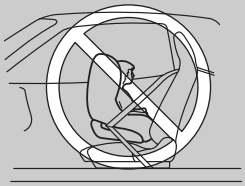
シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。
車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプの 2 種類があります。
シートベルト固定タイプのチャイルドシートは、助手席のシートベルトを使用してシートに固定します。
この車両は、ISOFIX 対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジが装備されていないため、ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートを取り付けることができません。
お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

⚠警告

必ず守る **お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。**
お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従う。正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。**

必ず守る **助手席には絶対にチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。
助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼り付けられています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。



警告ラベル



知識

ISO は International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略です。

お子さま専用シートの種類

UNECE 44 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。

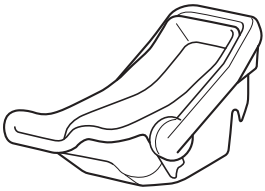
知識

- UNECE は United Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。
- UNECE 44 法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重
0	10kg まで
0 +	13kg まで
I	9～18kg
II	15～25kg
III	22～36kg

本書では、3 種類のお子さま専用シートについて説明します。
取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

ベビーシート
UNECE 44法規の
グループ0、0+に相当



チャイルドシート
UNECE 44法規の
グループIに相当



ジュニアシート
UNECE 44法規の
グループII、IIIに相当



シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

⚠警告

お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認する。
誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。
必ず守る

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (シートベルト固定タイプ)

質量グループ	着座位置
	助手席
0 (10kg まで)	X
0+ (13kg まで)	X
I (9～18kg まで)	L
II (15～25kg まで)	L
III (22～36kg まで)	L

上表の記号について:
L =マツダ純正のお子さま専用シートを前向きに取り付けることができます。取り付けられるお子さま専用シートについては、マツダ販売店にご相談ください。
X =お子さま専用シートを取り付けることはできません。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (ISOFIX 対応タイプ)

質量グループ	サイズ等級	器具	着座位置
			助手席
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
		(1)	X

お子さまの安全

質量グループ	サイズ等級	器具	着座位置
			助手席
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	X
		(1)	X
0 + (13kg まで)	E	ISO/R1	X
	D	ISO/R2	X
	C	ISO/R3	X
		(1)	X
I (9～18kg まで)	D	ISO/R2	X
	C	ISO/R3	X
	B	ISO/F2	X
	B1	ISO/F2X	X
	A	ISO/F3	X
		(1)	X
II (15～25kg まで)		(1)	X
III (22～36kg まで)		(1)	X

上表の記号について:
(1) サイズ等級識別表示 (A～G) のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。
X =お子さま専用シートを取り付けることはできません。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表（アイサイズ対応タイプ）

	着座位置
	助手席
アイサイズ対応お子さま専用シート	X

上表の記号について:
X ＝お子さま専用シートを取り付けることはできません。

チャイルドシートを固定するとき

シートベルトを使用するとき

⚠注意

シートを前後に動かすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、シートが急に動き、けがをするおそれがあります。

お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。
また、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

窓ガラスの開閉

パワーウインドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

⚠警告

窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意する。特にお子さまには十分気をつけてください。万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにパワーウインドースイッチの操作をさせない。万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまが同乗しているときは、パワーウインドーロックスイッチをロックの位置にしておく。お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

窓から手や顔を出させない。走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

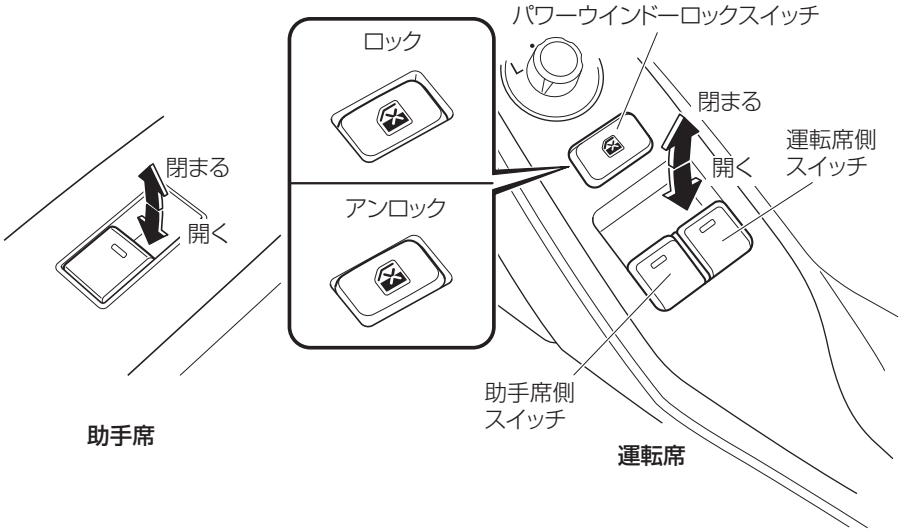
⚠注意

次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- **窓ガラスが閉まりきる直前**
- **スイッチを引き続けたままの状態**

窓ガラスの開閉のしかた

電源ポジションが ON のとき、スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。
助手席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。



知識

- 電源ポジションを ACC または OFF にしたあとでも、全席の窓ガラスを約 40 秒間、開閉することができます。
- 窓ガラスの開閉動作が止まったあともスイッチを操作し続けると、窓ガラスを開閉できなくなることがあります。
  窓ガラスの開閉ができないときはしばらく待って、再度操作してください。

自動開閉機構

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

知識

- ドアを開けた状態では窓ガラスは全閉しません。
- **自動開閉機構が作動しなくなったときは**
  車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または窓ガラスの開閉動作が止まったあともスイッチを操作し続けたときは、自動開閉機構が正常に作動しなくなります。
  次の操作で復帰させてください。
  1. ドア、ソフトトップ/ルーフを閉めます。
  2. 電源ポジションを ON にします。
  3. スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
  4. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約 2 秒間引き上げ続けます。

  ドア、ソフトトップ/リトラクタブルハードトップ開閉時の窓ガラスの自動作動が正常に作動しなくなったときも上記の操作を行なって復帰させてください。

はさみ込み防止機構

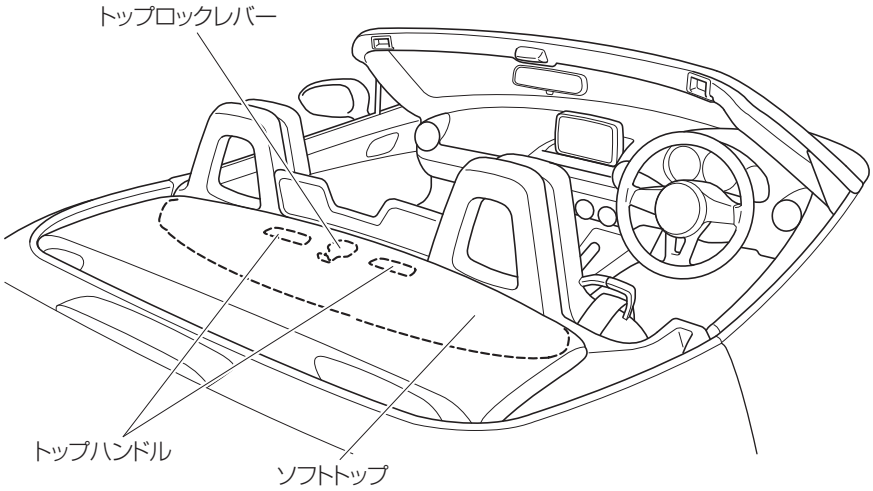
窓ガラスを自動で閉めるとき (→64 ページ「自動開閉機構」) に、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。

知識

- はさみ込み防止機能が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、窓枠の周囲に異物がないかを確認し、スイッチを引き続けて窓ガラスを閉めてください。
- 以下のようなときに、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
  - 自動で窓ガラスを閉めている途中で強い衝撃を感知したとき
  - 極低温化で自動で窓ガラスを閉めたとき

ソフトトップの開閉

ソフトトップを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全な場所に停車してから行なってください。



⚠警告

禁止 **風が強いときにはソフトトップを開閉しない**
風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止 **走行中は、車両から手や頭などを出さない**
走行中に車外のものにあたったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る **ソフトトップを開けた状態で乗り降りするときは、フロントガラスの角に頭や身体をぶつけないように注意してください。けがをするおそれがあります。**

必ず守る **ソフトトップを開閉するときは、フレームなどで手や指をはさまないよう慎重に行なってください。**

ソフトトップ

⚠注意

ソフトトップ周辺に落ち葉などがあるときは取り除いてください。ドレーンフィルターに落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。ドレーンフィルターの清掃は、年に 1 回程度行なってください。
→450 ページ「洗車するとき」

ソフトトップを開けるときは、リアウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチが OFF になっていることを確認してください。デフォッガーの熱でソフトトップや内装材が損傷するおそれがあります。

ソフトトップは高品質の幌生地を使用しているため、手入れの方法を誤ると生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすおそれがあります。
→451 ページ「ソフトトップの手入れ」 グレード/仕様別装備

ソフトトップがぬれた状態で折りたたまないでください。品質低下やカビの原因になります。

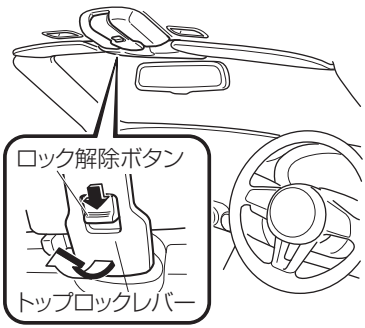
外気温が 5° C 以下のときはソフトトップを開閉しないでください。凍結などにより、ソフトトップが損傷するおそれがあります。

知識

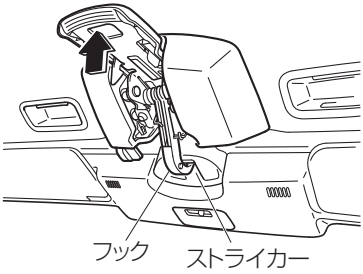
- 盗難やいたずら防止のため、また雨から室内を保護するために、車から離れるときはソフトトップや両側ドア、窓ガラスが確実に閉まっていることを確認してください。
- ソフトトップの開閉により、自動で窓ガラスが下がります。これは操作性を向上させるための機能で異常ではありません。車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは、自動で窓ガラスが下がらなくなります。下がらなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
→64 ページ「自動開閉機構」

ソフトトップを開けるとき

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンがかかっている場合は、エンジンを止めます。
3. ソフトトップが格納される部分に、物が置かれていないことを確認します。



4. ロック解除ボタンを前方に押しながら、トップロックレバーを手前に引いてロックを解除します。



5. フックをストライカーからはずします。

知識

窓ガラスが自動で下がらない場合は、窓を全開にする、またはドアを開けてください。

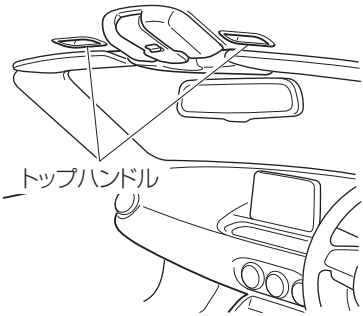


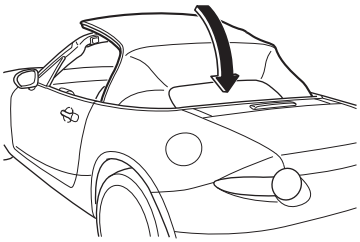
6. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持って、ソフトトップを車両後方へ引きます。

ソフトトップ

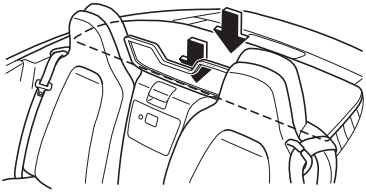
知識

トップハンドルを使うと、車内からソフトトップを開けることができます。





7. リアガラスを手で軽く押さえながら、ソフトトップを後方へ移動し、折りたたみます。



8. ソフトトップの後側を押さえた状態で、前側をカチッと音がするまで押さえつけます。
ソフトトップをゆさぶり、確実にロックされたことを確認します。

警告

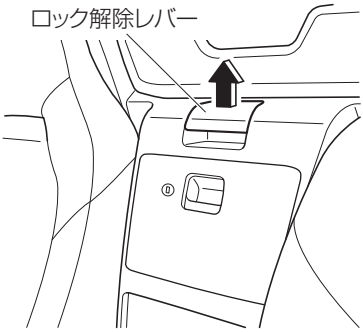
必ず守る **折りたたんだソフトトップの上に荷物などを置かない。**
走行中に飛散し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

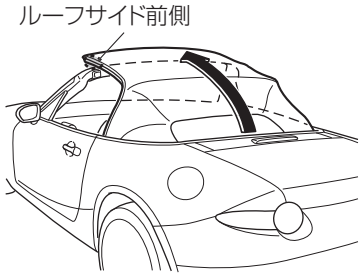
禁 止 **折りたたんだソフトトップの上に座らないでください。ソフトトップの損傷や、転落してけがをするおそれがあります。**

ソフトトップを閉めるとき

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンがかかっている場合は、エンジンを止めます。



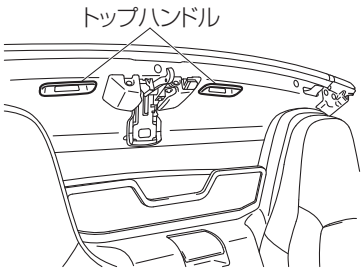
3. ロック解除レバーを上に引き、ロックを解除します。

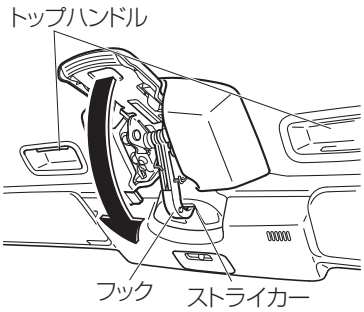


4. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持ちながら、ゆっくりと引き上げます。

知識

- 窓ガラスが自動で下がらない場合は、窓を全開にする、またはドアを開けてください。
- トップハンドルを使うと、車内からソフトトップを閉めることができます。

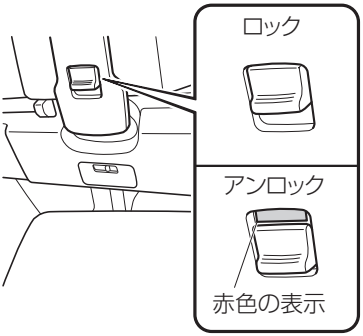




5. シートに座り、トップハンドルを持って、ソフトトップをフロントガラス側に押し当てます。フックがストライカーにかかっていることを確認し、トップロックレバーをゆっくり動かして、カチッと音がするまで押し上げます。

⚠注意

必ず守る **ロック解除ボタンに赤色の表示が見えているときは、ソフトトップがロックされていません。ソフトトップをもとにもどすときは確実にロックし、赤色の表示が見えないことを確認してください。ロックしないまま走行すると、ソフトトップが不意に開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。**



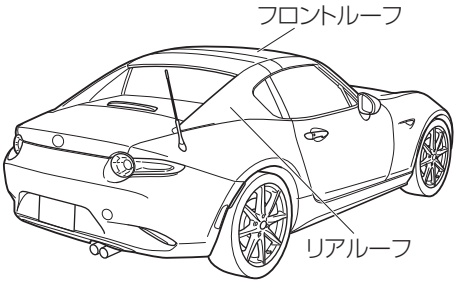
必ず守る **ソフトトップ（幌）の汚れを水で洗い流すとき、窓ガラスと幌の合わせ目付近に直接水をかけないでください。車内に水が入るおそれがあります。**
→451 ページ「ソフトトップの手入れ」 グレード/仕様別装備

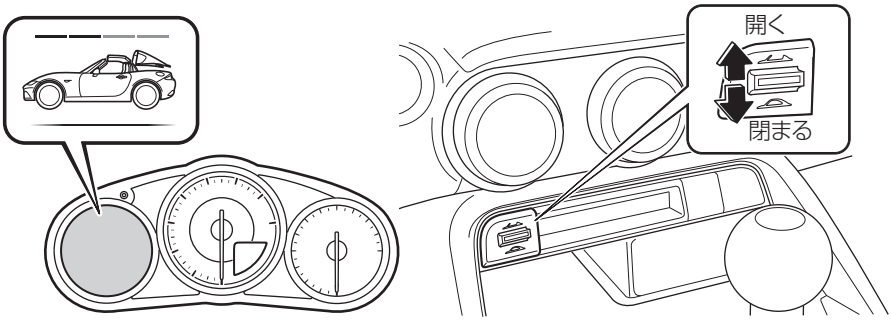
知識

- ソフトトップを長期間開けた状態で放置すると幌が収縮し、ソフトトップを閉めるときにトップロックレバーのフックがストライカーにかかりにくくなることがあります。
- トップロックレバーをロックしてもソフトトップの閉まりが悪い場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

リトラクタブルハードトップの開閉

リトラクタブルハードトップは、スイッチ操作により、ルーフ、窓ガラスが連動して作動し、フロントルーフをリアルーフ下に格納するシステムです。
ルーフを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全な場所に停車してから行なってください。





⚠警告

ルーフを開閉するときは、周囲に人がいないことを確認する
ルーフを動かしたとき、車両にはさまれるなど思わぬ事故につながるおそれがあります

必ず守る

車両が動いているときは、シートベルトを着用しシートに座る
車内で立ったり、リアルーフまたはコンソールの上に座ると、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

走行中は、車両から手や頭などを出さない
走行中に車外のものにあたったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

リトラクタブルハードトップ

⚠注意

必ず守る **ルーフを開けた状態で乗り降りするときは、フロントガラスの角に頭や身体をぶつけないように注意してください。けがをするおそれがあります。**

禁止 **ルーフが半開の状態では走行しないでください。ルーフが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

禁止 **お子さまにルーフの操作をさせないでください。お子さまが誤って操作すると、不意にルーフが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだりするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。**

禁止 **リアルーフやミドルルーフの周辺およびフロントルーフの格納部に荷物を置かないでください。荷物やハードトップが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る **ルーフ周辺に落ち葉などがあるときは取り除いてください。排水口が詰まるおそれがあります。**

必ず守る **ルーフを開けるときは、リアウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチがOFFになっていることを確認してください。デフォッガーの熱でルーフや内装材が損傷するおそれがあります。**

必ず守る **ルーフを開閉するときは、ルーフの上や上方（地上高約 1.6m）に障害物がないことを確認してください。ルーフや障害物を損傷するおそれがあります。**

禁止 **ルーフを開閉しているときは、ルーフに荷重をかけないでください。ルーフの開閉機構が損傷するおそれがあります。**

禁止 **ルーフの汚れを水で洗い流すとき、窓ガラスとルーフの合わせ目付近に直接水をかけないでください。車内に水が入るおそれがあります。**
→453 ページ「リトラクタブルハードトップの手入れ」 グレード/仕様別装備

必ず守る **ルーフを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全かつ水平な場所に停車してから行なってください。坂道や段差に乗り上げた状態で開閉すると、ルーフの開閉機構が損傷するおそれがあります。**

禁止 **自動洗車機（コイン洗車機）や高圧洗車機を使用しないでください。ルーフが損傷するおそれがあります。**

禁止 **外気温が低く、ルーフおよびその周辺が凍結している場合は、無理に開閉しないでください。ルーフが損傷するおそれがあります。**

禁止 **ルーフがぬれているときは、ルーフを開けないでください。車内に水が入り、故障につながるおそれがあります。**

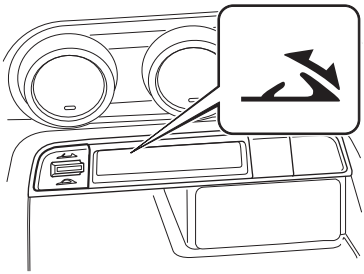
禁止 **風が強いときにはルーフを開閉しないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります**

知識

- ルーフを開けて走行するときは、車内の荷物が風で飛ばされないようにしてください。
- 車から離れるときは、盗難やいたずら防止のため、また雨から室内を保護するために、ルーフや両側ドア、窓ガラスが確実に閉まっていることを確認してください。
- ルーフの開閉により、自動で窓ガラスが下がります。これは操作性を向上させるための機能で異常ではありません。車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは、自動で窓ガラスが下がらなくなります。下がらなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
→64 ページ「自動開閉機構」

リトラクタブルハードトップ作動表示

作動表示灯



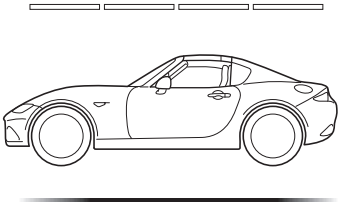
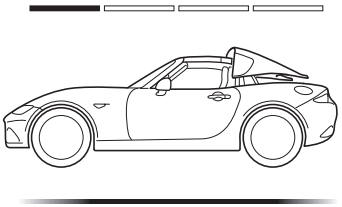
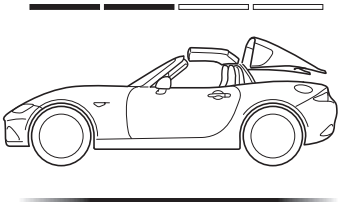
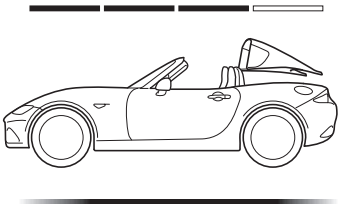
点灯時
ルーフが半開であることをお知らせします。
点滅時
ルーフが開閉中であることをお知らせします。（スイッチ操作中）
消灯時
ルーフが全開または全閉であることをお知らせします。

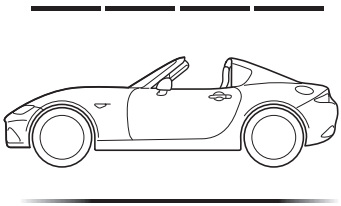
知識

作動表示灯の点滅が早いときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

ルーフ開閉状態表示

ルーフの開閉状態を、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。
以下の表はルーフを開けるときの表示例です。

作動	ルーフの状態	マルチインフォメーションディスプレイ表示
作動前	ルーフ閉	
作動中	リアルーフ開	
	リアルーフ開 フロントルーフ開	
	リアルーフ開 フロントルーフ収納	

作動	ルーフの状態	マルチインフォメーションディスプレイ表示
作動完了	リアルーフ閉	

リトラクタブルハードトップの作動条件

次の条件をすべて満たしているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作するとルーフを開閉することができます。

- 電源ポジションが ON のとき。
- チェンジレバー/セレクトレバーが R 以外のとき。
- 車速が 10 ｋm/ｈ以下のとき。
- トランクが閉まっているとき。
- 車両の傾斜角度が 15 度以下のとき。

⚠注意

禁止

開閉作動中に車速が 10km/h を超えるとルーフの開閉が途中で停止します。ルーフが途中で止まると、後方の視界が悪くなったり、ルーフが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。 交通状況に応じて車を停車させて、再度スイッチを操作してルーフの開閉を完了させてください。

知識

作動条件をすべて満たしているにも関わらず開閉できない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。
緊急時は、応急処置として手動で閉めることができます。
→518 ページ「ルーフが閉まらなくなったとき」

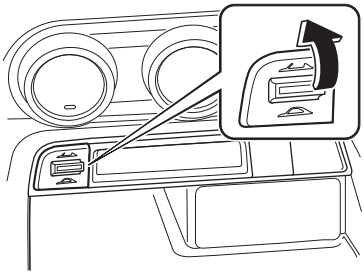
ルーフを開けるとき

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルに、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れていることを確認します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. エンジンがかかっていない場合は、エンジンをかけます。

リトラクタブルハードトップ

知識

エンジンを止めたままで、ルーフを開閉しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。



4. フロントルーフが完全に開くまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押し続けます。

知識

- リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押すと、チャイムが鳴ります。
- 窓ガラスが閉まっているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作すると、窓ガラスが少し開きます。ルーフの開作動が完了するまでリトラクタブルハードトップスイッチを開側に押し続けると窓ガラスはもとの位置にもどります。ただし、条件によっては窓ガラスがもとの位置にもどらない場合があります。
- リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押している間は作動表示灯が点滅し、ルーフが開きます。
- 開けているときにスイッチから手をはなすと、ルーフは止まります。もう一度スイッチを開側に押すと、再び開きます。
- 作動が完了するとチャイムが鳴り、作動表示灯が消灯します。
- 半開の状態から開くときは、リアルーフが完全に開いたあと、フロントルーフが開きます。

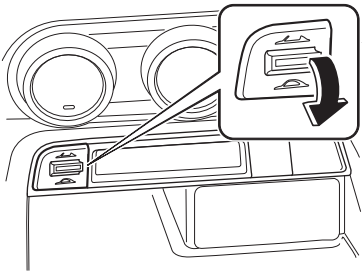
ルーフを閉めるとき

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルに、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れていることを確認します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. エンジンがかかっていない場合は、エンジンをかけます。

知識

エンジンを止めたままで、ルーフを開閉しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

4. シートを一番前の位置にしているときは、少し後ろに下げます。



5. リアルーフが完全に閉まるまで、リトラクタブルハードトップスイッチを閉側に押し続けます。

知識

- リトラクタブルハードトップスイッチの閉側を押すと、チャイムが鳴ります。
- 窓ガラスが閉まっているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作すると、窓ガラスが少し開きます。ルーフの閉作動が完了するまでリトラクタブルハードトップスイッチを閉側に押し続けると窓ガラスはもとの位置にもどります。ただし、条件によっては窓ガラスがもとの位置にもどらない場合があります。その場合はパワーウインドースイッチで窓ガラスを完全に閉めてください。
- リトラクタブルハードトップスイッチの閉側を押している間は作動表示灯が点滅し、ルーフが閉まります。
- 閉めているときにスイッチから手をはなすと、ルーフは止まります。もう一度スイッチを閉側に押すと、再び閉まります。
- 作動が完了するとチャイムが鳴り、作動表示灯が消灯します。

給油するとき

⚠警告

必ず守る **燃料補給時には必ずエンジンを止める。また、燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけない。**
火災につながるおそれがあります。

必ず守る **燃料を補給するときは、必ず次の点を守る。**
身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- **燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。**
- **静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。**
- **静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なってください。**
- **再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。**

必ず守る **給油ノズルは確実に燃料補給口へ差し込む。**
給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。

必ず守る **給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しない。**
オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。

必ず守る **気化した燃料を吸い込まないよう注意する。**
人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

⚠注意

禁止 **指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない。**
→531 ページ「燃料」
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、灯油、高濃度アルコール含有燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- **エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。**
- **エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。**
- **ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。**

必ず守る **燃料を補給するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。**

⚠注意

燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗装はがれの原因となります。

必ず守る

燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

必ず守る

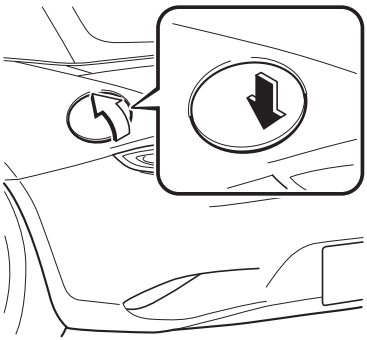
知識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、エンジンの性能を十分発揮できないことがあります。
  また、エンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだときに、異音が聞こえることがあります。
- **バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。**
  バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格 (JIS) や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ·ガソリン」、および「いい！スリー」の 2 つがあり、いずれの製品も使用できます (商品マーク参照)。



燃料補給口は車の左側後方にあります。燃料計が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

フューエルリッドの開閉



ドアを解錠した状態でフューエルリッドの端を押すとフューエルリッドが浮きます。
フューエルリッドはドアの施錠/解錠に連動しています。
車から離れるときは、必ずドアを施錠してください。
→33 ページ「ドアの開閉」
閉めるときはカチッと音がするまでフューエルリッドを押しつけます。

燃料補給口

知識

フューエルリッドを閉めたあと、ドアを施錠してください。
ドアを施錠したあとフューエルリッドを閉めると、フューエルリッドは施錠されません。

フューエルキャップの開閉

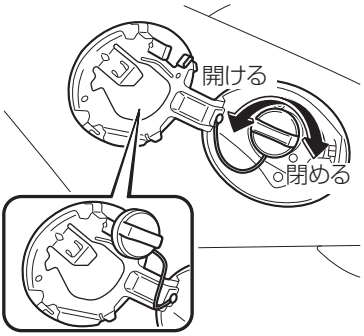
警告

必ず守る **フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずす。**
急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **フューエルキャップは確実に閉める。**
キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

注意

禁止 **純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。**



取りはずしたキャップはフューエルリッドの内側にかけます。
キャップを閉めるときは、カチッと 1 回音がするまで締め付けてください。

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。
万一、キーが電池切れや故障の場合は、電池切れ時のエンジン始動手順を行なうとイモビライザーシステムが解除され、エンジンを始動できます。
→112 ページ「エンジンをかけるとき」

⚠注意

キーの故障を防ぐために次のことを守る。

- **システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。**
- **強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。**
- **磁気を帯びた製品を近づけないでください。**
- **インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。**

システムの作動



電源ポジションを ON から ACC または OFF にするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。

システムの解除

登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、エンジンを始動できます。そのときセキュリティ表示灯は約 3 秒間点灯した後消灯します。

エンジンが始動しないときは

次のような場合、エンジンの始動ができない場合があります。

- キーを (車内でも) 感知しにくい場所に置いている。
- 携帯電話、テレビ、ラジオ、トランシーバーなどからの電波でシステムが影響を受けている。

処置方法

一度、電源ポジションを OFF にもどし、キーを別の場所に置いて、再度エンジンを始動してください。
→30 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
→32 ページ「キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」

盗難防止システム

セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は (点灯/点滅したままなど)、一度電源ポジションを OFF にもどし、しばらく待って再度エンジン始動してください。
3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、マツダ販売店で点検を受けてください。

運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合は

エンジンを停止せず、そのままマツダ販売店で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できないことがあります。

知識

イモビライザーシステムを修理するときは
コードを再登録するために、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。

キーを追加するときは

- キーを紛失したときのために、スペアのキーを保管しておいてください。
- キーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でキーを追加することはできません。

キーを紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。登録されていないキーではエンジンを始動することができません。

SRS エアバッグシステムについて

SRS とは Supplemental Restraint System (サプルメンタルレストレイントシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。
エアバッグは、電源ポジションが ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。
SRS エアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

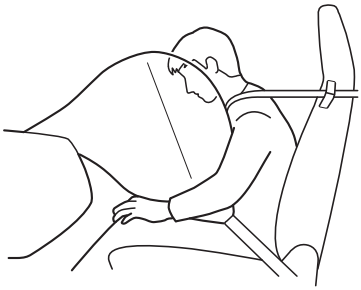
エアバッグの種類

運転席エアバッグ



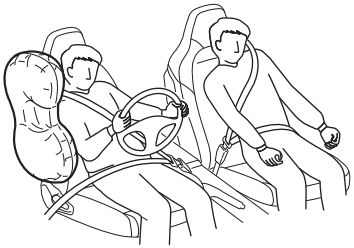
運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。

助手席エアバッグ



助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。

サイドエアバッグ グレード/仕様別装備



サイドエアバッグはシート背もたれの外側部分に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。

エアバッグの注意点

⚠警告

お車に乗る前に

必ず守る **運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。**
SRS エアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。
シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートに座ったときは

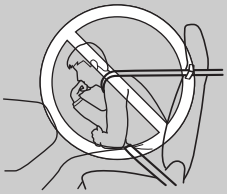
禁止 **ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしない。**
エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



⚠警告

禁止

シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。
エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは

必ず守る

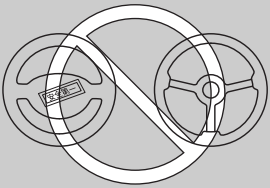
お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。
シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのチャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。



こんなことにも注意

禁止

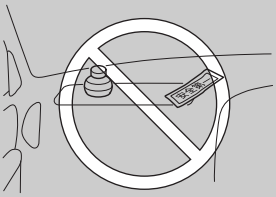
ハンドルを交換しない。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしない。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



SRS エアバッグシステム

⚠警告

禁止 **インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリー用品、手荷物などの物を置かない。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けない。**
エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止 **車両前部にグリルガードなどを装着しない。**
SRS エアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **サスペンションの改造をしない。**
車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **SRS エアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRS エアバッグシステムの回路診断をしない。**
正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスや廃車について

必ず守る **事故後は必ずマツダ販売店で点検を受ける。**
エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店に相談する。**
これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理**
- **ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理**
- **インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理**
- **シートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理**
- **車両前部または側部の修理**
- **オーディオなど用品の取りはずし、取り付け**

⚠警告

必ず守る **車を廃車にする場合は、必ずマツダ販売店に相談する。**
不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

サイドエアバッグについて

禁止 **シート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らない。**
シートに座ったときは、ドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止 **シートにシートカバーを使用しない。**
シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **ドアやシート付近にカップホルダーなどのアクセサリー用品を取り付けない。**
サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **シートの下に荷物などを置かない。**
シートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止 **エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。**

禁止 **ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイドエアバッグが作動するおそれがあります。**

SRS エアバッグシステム

知識

エアバッグの作動について

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物 (カス) が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 助手席エアバッグが膨らむときに窓ガラスが破損することがあります。

エアバッグの作動条件について

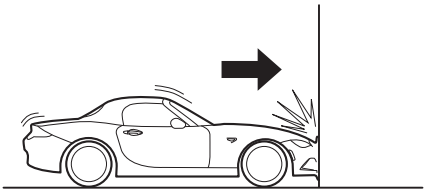
運転席/助手席エアバッグは正面衝突において、サイドエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。
車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。
したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

エアバッグが作動するとき

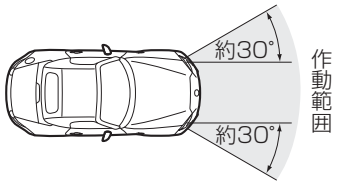
運転席/助手席エアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき



正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

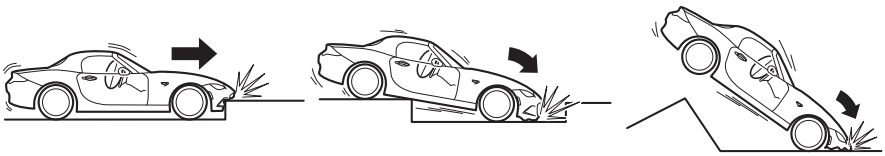


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

中央分離帯や縁石などに衝突したとき

深い穴や溝に落ちたとき

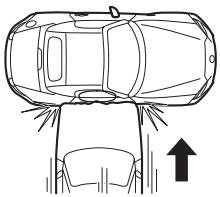
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



サイドエアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に衝突されたとき

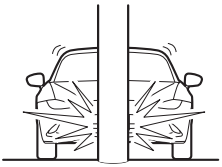


エアバッグが作動しにくいとき

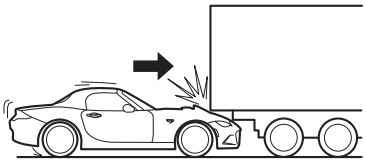
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

運転席/助手席エアバッグ

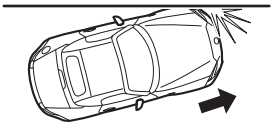
立木や電柱に衝突したとき



トラックの下などに潜り込んだとき

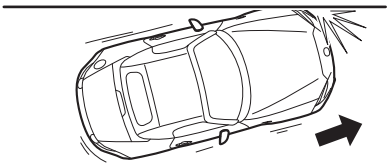


斜め前方に衝突したとき

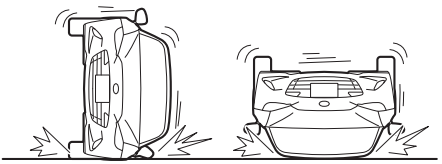


サイドエアバッグ

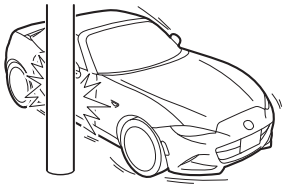
斜め前方に衝突したとき



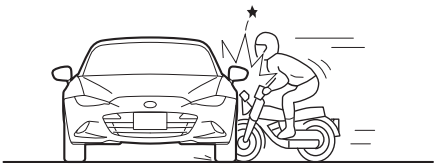
横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき



2輪車が側面に衝突したとき

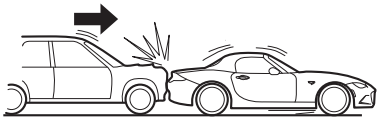


エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

運転席/助手席エアバッグ

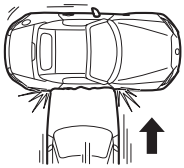
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき

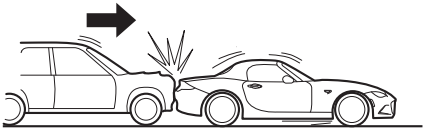


横方向から衝突されたとき

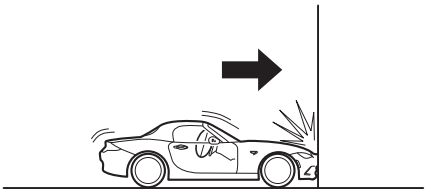


サイドエアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



EDR (イベントデータレコーダー) について

本車両は、SRS エアバッグおよびアクティブボンネット制御のためのコンピューターを搭載しています。
そのコンピューターは、システムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、次のデータを記録･蓄積する EDR を装備しています。

記録するデータ

EDR は下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- 作動に関する情報 (加速度波形など)
- 故障診断情報

知識

EDR は会話などの音声や映像は記録しません。

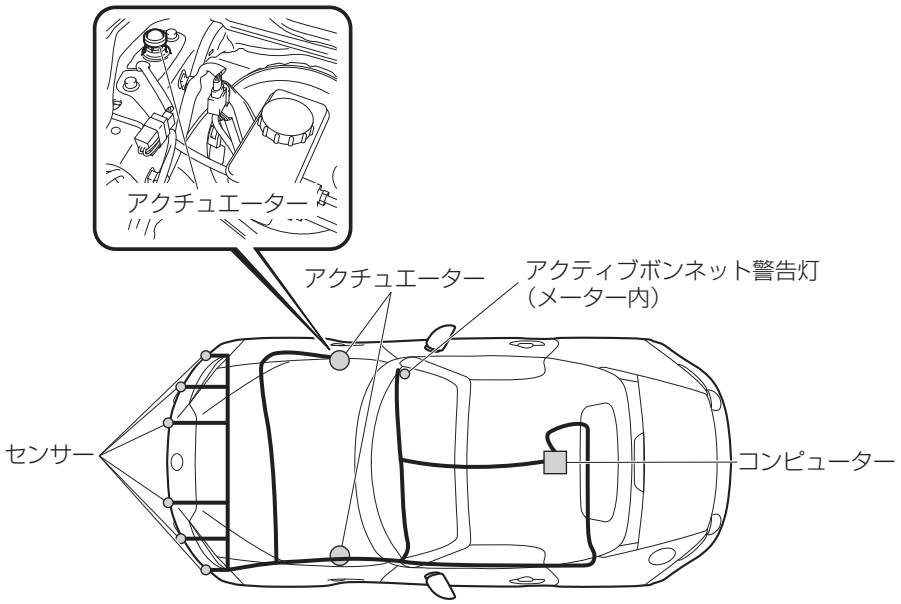
データの開示について

マツダおよびマツダの委託先は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得･利用することがあります。
なお、取得したデータは次の場合を除き、第三者へ開示･提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

アクティブボンネットについて

万一、歩行者と衝突して、一定以上の衝撃が車両前部に加わったとき、ボンネットの後端を瞬時に持ち上げ、エンジンルーム内の部品との空間を広く保つことで、歩行者の頭部がボンネットに衝突したときの衝撃をやわらげます。電源ポジションが ON のとき、作動速度範囲内で走行中に、歩行者やその他の物体との衝突により、フロントバンパー裏に取り付けているセンサーが一定以上の衝撃を感知すると、システムが作動し、ボンネットを持ち上げます。



⚠警告

必ず守る

アクティブボンネットが作動したときは、必ずマツダ販売店に相談する。
アクティブボンネットが作動したとき、ボンネットオープナーを引くと、さらにボンネットが上がります。ボンネットが上がったまま走行すると視界が妨げられ、おもわぬ事故につながるおそれがあります。また、ボンネットを無理に押しもどさないでください。作動したボンネットは手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。アクティブボンネットが作動したあとマツダ販売店まで運転する場合は、持ち上がったボンネットが視界の妨げにならないことを確認したあと、十分に速度を落とし注意して運転してください。

アクティブボンネット

⚠注意

アクティブボンネットが作動した直後は、アクチュエーターに触れないでください。作動直後はアクチュエーターが熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。

禁止

取り扱いについて

- ボンネットが完全に閉まっていないと、正常に作動しないおそれがあります。走行前に必ず確認してください。
- 電源ポジションを ON にしたあと、約 8 秒間はシステムが正常に作動しないことがあります。
- 四輪とも同一指定サイズのタイヤを使用してください。異なるサイズのタイヤを使用すると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパー周辺に衝撃が加わったときは、アクティブボンネットが作動しなくてもセンサーが損傷している可能性があります。必ずマツダ販売店で点検を受けてください。
- アクティブボンネットの部品や配線を取りはずしたり修理しないでください。また、電気テスターを使ってシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しないおそれがあります。修理や交換作業が必要なときはマツダ販売店にご相談ください。
- フロントバンパー、ボンネット、サスペンション、エアロパーツ、ホイールをマツダ純正品以外に交換しないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパーにマツダ純正品以外を取り付けないでください。また、ボンネットに物を取り付けないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、アクチュエーターに荷重を加えないでください。アクチュエーターが損傷し、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 部品を装着するときは、マツダ販売店にご相談ください。不適切に取り付けると、衝撃を正しく検知できず、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 廃車にするときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。正しく取り扱わないと、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- アクティブボンネットは、一度作動すると再使用できません。マツダ販売店で交換してください。

作動するとき、しないとき

作動するとき

次のような衝撃を受けたときに作動します。

- 作動速度範囲での走行時、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を正面から受けたとき (衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、一定以上の衝撃が加われば作動します。また、軽い物、小さな動物や他の小さな物体でも衝突の状況、速度によっては作動することがあります。)
- その他に、次のような車両下部やフロントバンパーに衝撃を受けたときも作動することがあります。
  - 縁石に衝突したとき
  - 深い溝や穴に落ち込んだとき
  - ジャンプして地面にぶつけたとき
  - 駐車場のスロープ、うねりのある道路、突起物や落下物などにぶつけたとき

作動しにくいとき

次のような場合は、衝撃を感知しにくいため、作動しないことがあります。

- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったとき
- かばんなど衝撃を吸収できるものを携帯した歩行者と衝突したとき

作動しないとき

次のようなときには作動しません。

- 作動速度範囲外での走行時にフロントバンパーが衝撃を受けたとき
- 横方向や後部から衝撃を受けたとき
- 横転、転覆したとき (事故の状況、形態によっては、アクティブボンネットシステムが作動することがあります。)

積雪、寒冷時の取り扱い

お車に乗る前に

ルーフ/幌、ボンネットに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。
  またボンネットに雪が積もったまま走行すると、万一のときにアクティブボンネットが作動しにくくなるおそれがあります。
  走行前に取り除いてください。
- 気温が 5°C 以下のときは、ソフトトップの開閉操作をしないでください。凍結により幌生地が損傷するおそれがあります。

ガラスに雪や霜がついているときは

- 視界を確保するため、雪や霜を取り除いてください。
- プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。
  プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

ドアなどが凍結しているときは

- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。
  無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウインドー、ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。
  無理に動かそうとすると故障の原因になります。

お車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。
ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

2 運転するときに

安全なドライブのために 100
運転するとき....100
運転装置について....102
こんなことにも注意....102
駐停車するとき....105
お子さまを乗せるとき....106
エンジンの始動と停止 107
電源ポジション (エンジンスイッチ)....107
エンジンの始動....108
エンジンの停止....114
i-stop について....115
i-ELOOP について 124
i-ELOOP とは....124
燃費モニター 125
燃費モニター....125
メーター、警告灯、表示灯の見方 129
メーター....129
マルチインフォメーションディスプレイ....136
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)....143
警告灯、表示灯....149
トランスミッションの使いかた 156
マニュアルトランスミッション....156
オートマチックトランスミッション....158
ドライブセレクションについて 170
ドライブセレクションとは (オートマチック車)....170
ブレーキ 172
ブレーキの操作....172
サスペンション 173
車高調整式サスペンション....173

2 運転するときに

スイッチの使いかた 174
ランプスイッチ....174
方向指示器....179
非常点滅灯スイッチ....180
ワイパー/ウォッシャースイッチ....181
リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ....185
ホーン....185
ABS について 186
ABS とは....186
ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) について 187
ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) とは....187
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について 188
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは....188
トラクションコントロールシステム (TCS) について 189
TCS とは....189
ダイナミック･スタビリティ･コントロール (DSC) について 190
DSC とは....190
i-ACTIVSENSE について 193
i-ACTIVSENSE とは....193
AFS (アダプティブフロントライティングシステム) について....194
ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) とは....194
車線逸脱警報システムとは....197
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) とは....203
リア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA) とは....208
フォワードセンシングカメラ (FSC) について....212
レーダーセンサー (リア) について....215

2 運転するときに

メンテナンスモニター 217
メンテナンスモニター....217
様々な状況での運転のときは 219
悪天候での運転....219
環境保護のために 221
経済的な運転....221

運転するとき

走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

坂道ではエンジンブレーキを使う

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。
下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。
高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避けてください。スリップするおそれがあります。また、走行中にチェンジレバーをニュートラル位置に入れたままにしないでください。エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。
エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で、低速ギヤほどよく効きます。

オートマチック車は走行中にセレクトレバーを N にいれない

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

すべりやすい路面では慎重に運転する

ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態 (ハイドロプレーニング現象) になるおそれがあります。
高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストをするだけではなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響を及ぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

水たまり走行後や洗車後はブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあり危険です。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

横風が強いときは慎重に運転する

横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行したり、必要以上に半クラッチ操作を行わないでください。

- クラッチやブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

ブレーキ操作は右足で

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

警告灯が点灯/点滅したら車を止める

走行中に警告灯が点灯/点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯/点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パンクやバースト (破裂) してもあわてない

走行中タイヤがパンクやバースト (破裂) したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。
急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。
次のようなときはパンクやバースト (破裂) が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

スタックした状態から脱出するときは注意する

469 ページの「スタックしたとき」をよくお読みください。

床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する

安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。
異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じるとき。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

運転装置について

オートマチック車を運転するとき

166 ページの「オートマチック車を運転するときに」、158 ページの「オートマチック車の特性」、108 ページの「エンジンをかける前に」をよくお読みください。

タイヤについて

423 ページの「タイヤの点検」、414 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、462 ページの「タイヤチェーンの取り付け」をよくお読みください。

けん引してもらうとき

490 ページの「けん引してもらうとき」をよくお読みください。

こんなことにも注意

発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

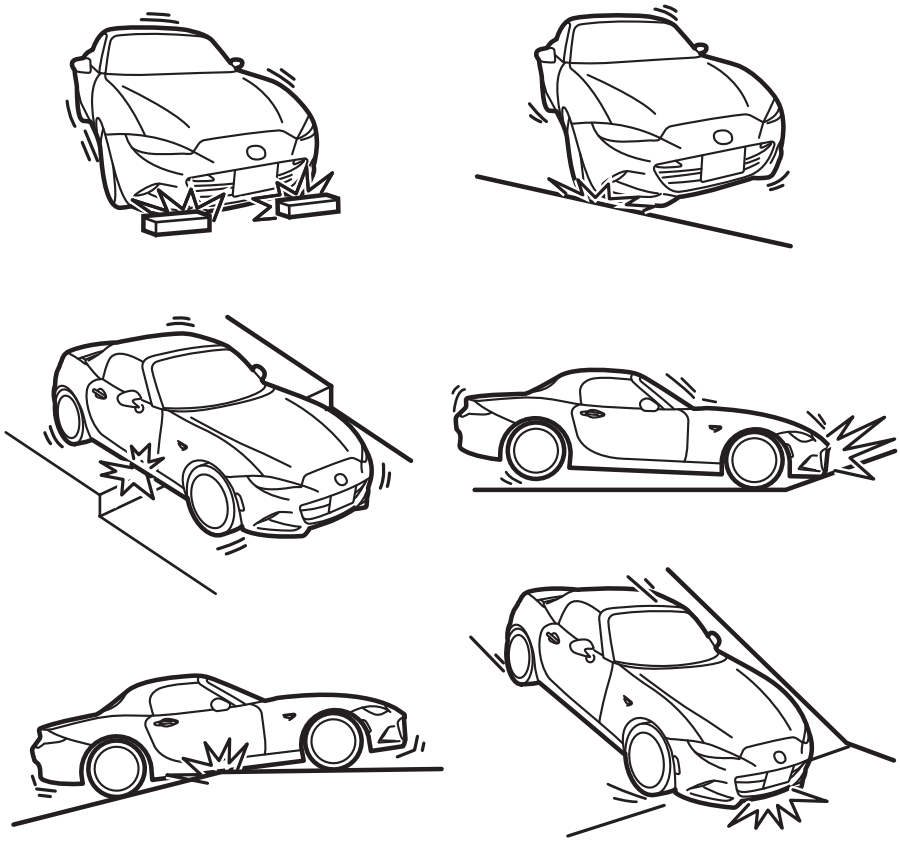
運転中は携帯電話を使用しない

運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



違法改造はしない

414 ページの「違法改造はしない」をよくお読みください。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

414 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、423 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

タイヤバルブキャップは純正品を使用する

423 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

414 ページの「部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する」をよくお読みください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

414 ページの「ナンバープレートは正しい位置に取り付ける」をよくお読みください。

アクセサリーを取り付けない

フロントガラスや窓ガラス、また、その周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、アクセサリーの吸盤が凸レンズの働きをして、火災につながるおそれがあります。

エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

486 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

エンジンルーム内に物を置き忘れない

416 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない

486 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

バッテリーの取り扱いに気をつける

482 ページの「バッテリーあがりについて」をよくお読みください。

航空機内ではキーを操作しない

27 ページの「キー」をよくお読みください。

一酸化炭素中毒に気をつける

自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色/無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい/吐き気/頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死に至ることがあります。万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気を取り入れてください。そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

ライターやメガネを車内に放置しない

炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

駐停車するとき

燃えやすい物のそばに車を止めない

車を止める時には、次の点を守ってください。

- そばに枯れ草など、燃えやすいものがない場所に止めてください。走行したあとは排気管が高温になっているため、火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくと火災につながるおそれがあります。

仮眠するときはエンジンを止める

エンジンをかけたままで仮眠しないでください。無意識にチェンジレバー/セレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入りやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へ入りやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりかける

坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりかけ、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れてください。
急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車の移動はエンジンをかける

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する

車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

お子さまを乗せるとき

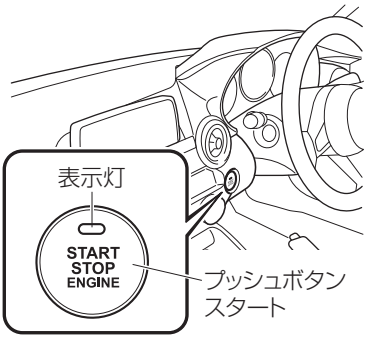
車から離れるときはお子さまも一緒につれていく

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

電源ポジション (エンジンスイッチ)

各位置の働き



マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏まない状態で、プッシュボタンスタートを押すごとに OFF、ACC、ON の順に電源ポジションが切り替わります。ON からもう一度、プッシュボタンスタートを押すと OFF へもどります。

電源ポジション	働き
OFF	プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が、消灯します。
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどの電装品が使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が、点灯します。
ON	全ての電装品が使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が、点灯します。 (エンジン回転中は、プッシュボタンスタートの表示灯は消灯します。)

知識

- **ハンドルがロックされているときは**
  プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅します。ハンドルを左右に動かしながら、プッシュボタンスタートを押して、ハンドルのロックを解除してください。
- プッシュボタンスタートを押して、エンジンが始動する前に燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションを ON のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。電源ポジションを ACC (オートマチック車は、セレクトレバーが P の位置になっていること) で放置した場合は、約 25 分間で電源ポジションが OFF になります。
- マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっぱいに踏み込んだ状態で、プッシュボタンスタートを押すとエンジンが始動します。電源ポジションの切り替えを行なう場合は、ペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してください。

エンジンの始動

エンジンをかける前に

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. マニュアル車はチェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーが P の位置にあることを確認します。
3. 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。
→43 ページ「正しい運転姿勢」

クラッチスタートシステムについて (マニュアル車)

クラッチスタートシステムとは、クラッチペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してもエンジンを始動させない装置で、車が動き出すのを防止します。
エンジンを始動するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでください。

知識

エンストで動けなくなったとき
ギヤを入れたままプッシュボタンスタートを押し続けても車は動きません。
→470 ページ「エンストで動けなくなったとき」

エンジンをかけるとき

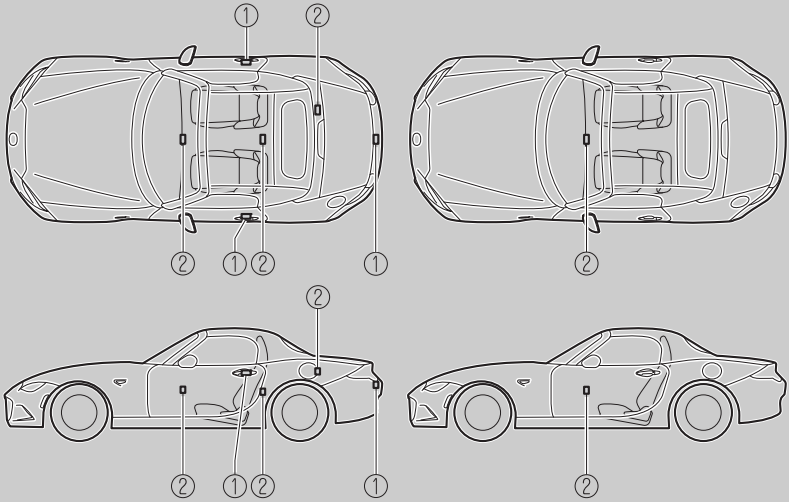
⚠警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は車内･車外のアンテナから約 22 cm 以内に医療用機器を近づけない。

禁止

電波により､医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

（アドバンストキーレス機能装備車）　（アドバンストキーレス機能非装備車）



①車外のアンテナ　②車内のアンテナ

次にある以外の医療用機器を使用している方は､キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

必ず守る

- **植込み型心臓ペースメーカー**
- **植込み型除細動器**

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

プッシュボタンスタートシステム機能､アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

必ず守る

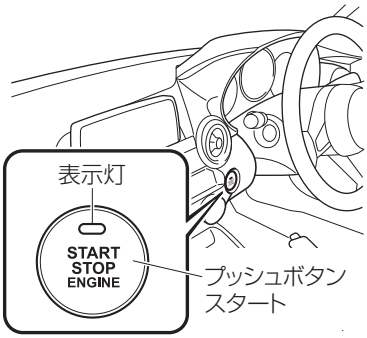
ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため､キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また､アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

エンジンの始動と停止

知識

- キーは必ず運転者が携帯してください。
- 電源ポジションの状態 (OFF、ACC、ON) に関係なく、エンジンを始動できます。

1. キーを携帯していることを確認します。
2. エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けます。
3. マニュアル車は、エンジンが完全に始動するまで、クラッチペダルをいっぱいに踏み込み続けます。
4. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯し、メーター内の KEY 表示灯 (緑) が点灯、またはマルチインフォメーションディスプレイに KEY 表示が表示されるのを確認します。
   プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅するときは、キーの電池切れなどが考えられます。
   →112 ページ「キーが電池切れしたときのエンジン始動」





KEY表示灯(緑)

5. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯している状態でプッシュボタンスタートを押します。

注意

必ず守る **プッシュボタンスタートに異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがありますが、ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。**

知識

- 次のようなときは、メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイに KEY 警告表示が表示され、エンジンをかけることができません。



KEY警告灯(赤)

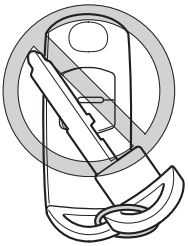
  - キーの電池切れ
  - キーが作動範囲内にない
    →30 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
    →32 ページ「キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
  - キーを車内でも感知しにくい場所に置いている
  - キーに類似した他社のキーが作動範囲内にある
- プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅しているときは、通常の操作ではエンジンを始動できない場合があります。マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっぱいに踏み込み、エンジンが完全に始動するまでプッシュボタンスタートを押し続けてください。
- エンジン始動後、プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) は消灯し、電源ポジションは ON 状態になります。
- 冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- 冷間始動後は、排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。
- プッシュボタンスタートを押して、エンジンが始動する前に燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- **(マニュアル車 (i-stop 装備車))**
  エンスト時、エンジンが完全停止したあと約 3 秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。
  ただし次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んでも再始動させることができません。
  - 運転席のドアが開いているとき
  - 運転席のシートベルトが装着されていないとき
  - エンスト後にクラッチペダルを完全に放していないとき
  - エンジンが完全に止まっていない状態でクラッチペダルを踏んだとき

キーが電池切れしたときのエンジン始動

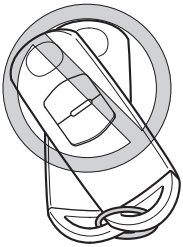
⚠注意

キーの使用について
次のような状態にしないでください。車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- **キーに他のキーの金属部や金属製のものが接している**



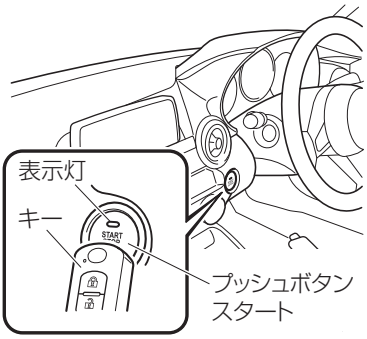
- **キーにスペアのキーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある**



- **キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある**

キーの電池切れなどで、エンジンが始動できないときは、次の手順でエンジンを始動することができます。

1. エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. マニュアル車は、エンジンが完全に始動するまで、クラッチペダルをいっぱいに踏み込み続けます。
3. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅するのを確認します。



4. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅中に、キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れます。

5. プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯に変わったら、プッシュボタンスタートを押します。

知識

- マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンが始動しないようになっています。
- プッシュボタンスタート機能に異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがありますが、ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。
- キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れるときは、ロックスイッチ側を上にして、ボタンに触れてください。プッシュボタンスタートに触れたときにボタンを押してしまうとエンジンが始動することがあります。
- プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯しない場合は、最初から操作を行なってください。それでも点灯しない場合はマツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションの切り替えを行なう場合は、プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯に変わったあと、マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを放してからプッシュボタンスタートを押してください。電源ポジションが ACC、ON、OFF の順に切り替わります。なお、電源ポジションが OFF になると、それ以降は電源ポジションの切り替えができませんので、エンジンを始動する場合は最初から操作を行なってください。

エンジンの停止

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルの位置、オートマチック車はセレクトレバーを P の位置にします。
2. プッシュボタンスタートを押します。エンジンが停止し、電源ポジションが OFF になります。

⚠注意

禁止 **緊急時以外は、走行中にエンジンを停止しないでください。**

必ず守る **車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。**

知識

- **キーの電池容量について**
  電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたとき、キーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内の KEY 表示灯 (緑) が点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイに KEY 警告表示が表示されます。新しい電池と交換してください。
  →446 ページ「キー」
- **電源ポジションについて**
  オートマチック車はセレクトレバーが P 以外の位置のときに、プッシュボタンスタートを押してエンジンを停止させると、電源ポジションは ACC になります。
- **電源ポジションを OFF にせずに車から離れると**
  メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイに KEY 警告表示が表示され、警告チャイムが鳴ります。
  →507 ページ「チャイムがなったときは」
- **エンジンルームの冷却について**
  エンジンルームを早期に冷却するため、電源ポジションを ON から OFF にしても、エアコンの ON/OFF にかかわらずクーリングファンが数分間回転することがあります。

緊急エンジン停止

車両が停止していなくてもプッシュボタンスタートを押し続ける、または素早く何度も押すとエンジンが停止します。電源ポジションは ACC になります。

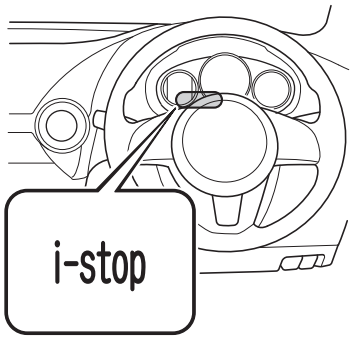
i-stop について グレード/仕様別装備

i-stop (アイ･ストップ) は、燃費向上･排気ガスの低減･アイドリング騒音低下のため、信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止･再始動させる機能です。

アイドリングストップ･再始動

知識

- 次の条件のときに、i-stop 表示灯 (緑) が点灯します。
  - 走行中にアイドリングストップする条件を満たしたとき
  - アイドリングストップ中のとき



- エンジンが再始動すると、i-stop 表示灯 (緑) が消灯します。

マニュアル車

1. ブレーキペダル、次にクラッチペダルを踏み込んで、車両を停車させます。
2. クラッチペダルを踏み込んだまま、チェンジレバーをニュートラルの位置にします。クラッチペダルから足を放したあと、アイドリングストップします。
3. クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動します。

オートマチック車

1. 走行状態 (R レンジ、M レンジの 2 速固定モード時以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。
2. D/M (2 速固定モードではない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動します。

3. セレクトレバーが N または P レンジでは、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) または R レンジへ操作すると再始動します。 (安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行なってください。)

作動条件

作動するとき

次の条件のとき i-stop 表示灯 (緑) が点灯して、アイドリングストップします。

- エンジン暖機後
- エンジンを始動し、一度走行したあと
- ボンネットを閉めて、エンジンを始動したとき
- バッテリーの状態が良好のとき
- すべてのドア、トランク、ボンネットが閉まっているとき
- 運転席シートベルトを着用しているとき
- **(マニュアルエアコン)**
  - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  以外の位置になっているとき
  - 最大風量以外のとき
  - 吹き出し風の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
- **(フルオートエアコン)**
  - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  以外の位置になっているとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルが最大暖房または最大冷房 (A/C ON) 以外の位置になっているとき
  - 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
- i-stop 警告灯 (橙) が点灯/点滅していないとき
- キーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能が正常なとき
- ブレーキ負圧が十分に高いとき
- ハンドルを操作していないとき
- **(マニュアル車)**
  - 車速が 3km/h 以下のとき
  - チェンジレバーがニュートラルの位置のとき
  - クラッチペダルを踏んでいないとき

- **(オートマチック車)**
  - 車両が停車しているとき
  - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジのとき
  - オートマチックトランスミッションフルードが十分に暖まっているとき
  - オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
  - ハンドルがほぼ直進状態のとき (直進状態にしていてもハンドルに力をかけているとアイドリングストップしない場合があります。アイドリングストップさせたいときは、ハンドルにかけている力をゆるめてください。)
  - ブレーキペダルを踏んで停車させたとき
  - 急制動ではないとき

作動しないとき

次の条件のとき、アイドリングストップしません。

- 走行せずにアイドリングを続けていているとき
- **(マニュアルエアコン)**
  - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  の位置でファン調節ダイヤルが 0 以外のとき
  - 最大風量のとき
  - 吹き出し風の温度がエアコンの設定温度から大きく外れているとき
- **(フルオートエアコン)**
  - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  の位置になっているとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルが最大暖房または最大冷房 (A/C ON) の位置になっているとき
  - 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れているとき
- 外気温が非常に低い、または高いとき
- 気圧が低いとき (標高が高いところを走行しているとき)
- **(オートマチック車)**
  - 急な坂道で停車したとき
  - 停車時のハンドルが直進状態でないとき
- **(リトラクタブルハードトップ装備車)**
  - リトラクタブルハードトップが作動しているとき

知識

アイドリングストップするまでに時間がかかるとき

- 車両を長時間使用しなかったときなどでバッテリーが放電したとき
- 外気温が高いとき、または低いとき
- バッテリー交換などによりバッテリー端子をはずしたあと

知識

エンジンが再始動しないとき
アイドリングストップ中に次の操作を行なうと安全確保のため自動でエンジンは再始動しません。通常の操作でエンジンを始動してください。

- ボンネットを開けたとき
- **(マニュアル車)**
  チェンジレバーがニュートラル以外の位置で、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
- **(オートマチック車)**
  セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジで、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

エンジンの停止時間が短くなる、または次のアイドリングストップが可能になるまでの時間が長くなるとき

- 外気温が高いとき、または、低いとき
- バッテリーの放電が進んだとき
- 車両電装品の消費電力が多いとき

アイドリングストップ中にエンジンが自動で再始動するとき
次のようなときは自動でエンジンを再始動します。

- i-stop OFF スイッチをチャイムが鳴るまで押し続けたとき
- 外気温が非常に低い、または高いとき
- **(マニュアルエアコン)**
  - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  の位置でファン調節ダイヤルを 0 以外にしたとき
  - 最大風量にしたとき
  - 吹き出し風の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
- **(フルオートエアコン)**
  - エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルを  の位置にしたとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルを最大暖房または最大冷房 (A/C ON) の位置にしたとき
  - 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
- 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
- アイドリングストップしてから 2 分経過したとき
- バッテリーの放電が進んだとき
- **(マニュアル車)**
  - チェンジレバーがニュートラルの位置で、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

知識

- **(オートマチック車)**
  - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジで、アクセルペダルを踏んだとき
  - セレクトレバーを R レンジにしたとき
  - セレクトレバーを N または P レンジから D/M (2 速固定モードではない) レンジにしたとき
  - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジのまま、ハンドル操作をしたとき
  - セレクトレバーが M レンジで、2 速固定モードにしたとき
  - セレクトレバーが N または P レンジで、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
- **(リトラクタブルハードトップ装備車)**
  - リトラクタブルハードトップスイッチを操作したとき

アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作したとき (オートマチック車)

- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) レンジから N または P レンジへ操作するとブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) または R レンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行なってください。)
- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) レンジから N または P レンジへ操作し、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき、自動でエンジンが再始動します。

バッテリー端子をはずしたとき

バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、バッテリーを交換したときは、i-stop の機能を確認する必要がありますので、マツダ販売店にご相談ください。

i-stop 警告灯 (橙)/i-stop 表示灯 (緑)

i-stop は、安心かつ快適にご使用いただくために、運転者の操作状況や、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、i-stop 警告灯 (橙)/i-stop 表示灯 (緑) によりさまざまな注意を運転者にお知らせします。

知識

マツダコネクト装備車は、i-stop の作動状況を燃費モニターの作動状況表示に表示します。
→126 ページ「i-stop/i-ELOOP 状態表示」

i-stop 警告灯 (橙)

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- i-stop OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯します。
- アイドリングストップ中に次の操作を行なうと i-stop 警告灯 (橙) が点灯します。この場合、安全確保のため自動でエンジンは再始動しません。通常の操作でエンジンを始動してください。
  - ボンネットを開けたとき
  - **(マニュアル車)**
    - チェンジレバーがニュートラル以外の位置で、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
  - **(オートマチック車)**
    - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジで、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

知識

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき
- エンジンがかかっている状態で、i-stop OFF スイッチを操作しても点灯し続けるとき

点滅するとき

システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

i-stop 表示灯 (緑)

点灯するとき

- アイドリングストップ中に点灯し、エンジンが再始動すると消灯します。
- 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと点灯します。

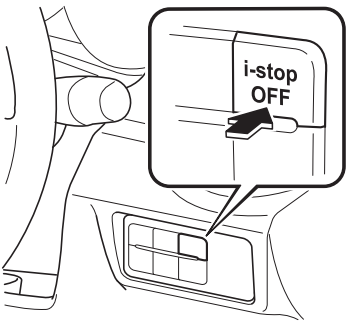
点滅するとき

- **(マニュアル車)**
  - アイドリングストップ中、チェンジレバーをニュートラル以外の位置にしたとき点滅し、アイドリングストップ中であることをお知らせします。
    クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動し消灯します。
- **(オートマチック車)**
  - ブレーキペダルを強く踏まずに停車させたとき点滅します。ブレーキペダルの踏力が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。

i-stop 警告チャイム

- アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。
- アイドリングストップ中に次の操作を行なうとチャイムが鳴ります。この場合、安全確保のため自動でエンジンは再始動しません。通常の操作でエンジンを始動してください。
  - **(マニュアル車)**
    チェンジレバーがニュートラル以外の位置で運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
  - **(オートマチック車)**
    セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジで運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

i-stop OFF スイッチ



スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけると、i-stop の作動が解除され、メーター内の i-stop 警告灯 (橙) が点灯します。もう一度チャイムが鳴るまで押しつづけると i-stop が作動可能な状態になり、i-stop 警告灯 (橙) が消灯します。

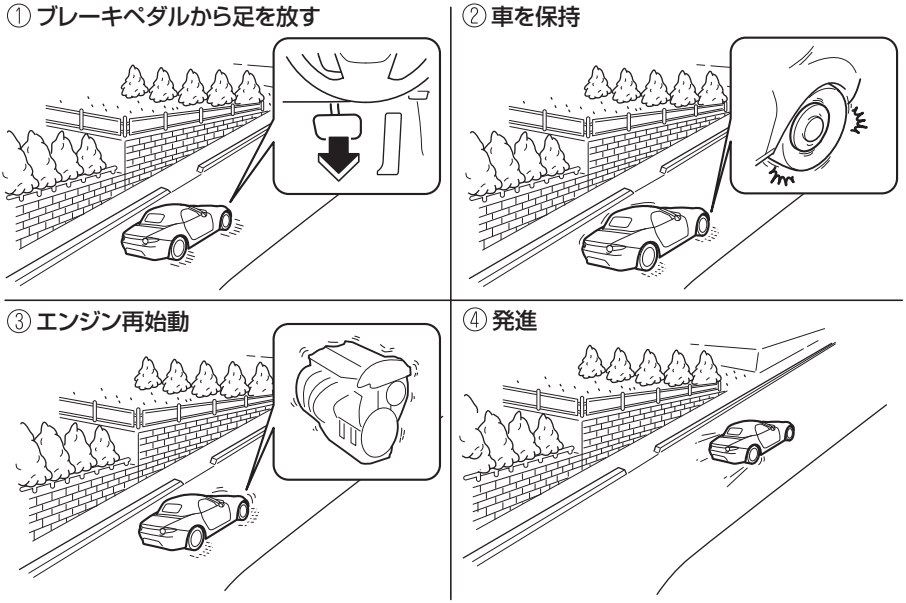
知識

i-stop を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると i-stop は作動可能な状態にもどります。

発進補助装置について (オートマチック車)

i-stop 装備車には発進補助機能が装備されています。これは次のような状態でブレーキペダルから足を放したときに、坂道などで車両が動き出すことを防ぐ機能です。

- アイドリングストップ中 (車両の後退防止)
- 再始動時 (急なクリープ現象発生による車両の飛び出し防止)
  ブレーキペダルを放してエンジンが再始動したときに、ブレーキまたはオートマチックトランスミッションの制御により車両が急に動き出すことを防止しています。



⚠警告

必ず守る

システムを過信しない

発進補助機能は、あくまでアイドリングストップ状態から車両を発進させる際に、ブレーキから足を放したあと最長 4 秒間作動する補助装置です。システムを過信して操作すると、意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあるため非常に危険です。発進時は周囲の安全を確認してセレクトレバーやブレーキペダル、アクセルペダルを適切に操作してください。道路の勾配や積載、けん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

⚠警告

必ず守る **発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放す**

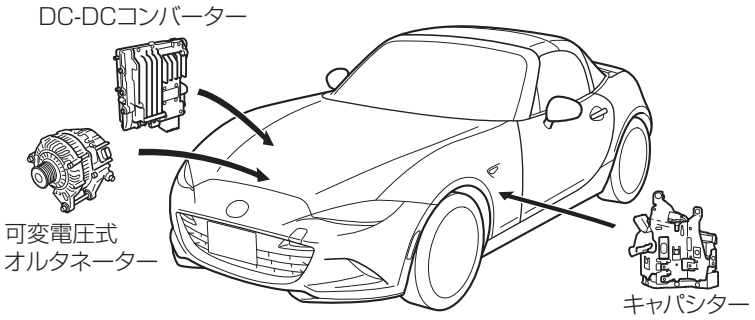
アイドリングストップ中にセレクトレバーを N レンジに操作し、ブレーキペダルから足を放したときは、ブレーキ力が徐々に解除されます。発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放してください。セレクトレバーが N レンジの状態では、発進補助機能が解除されたあとに意図せず車両が動き出す可能性がありますのでご注意ください。

知識

- 急な坂道で停車したときは、アイドリングストップしないため発進補助機能は作動しません。
- 発進補助機能の作動により、ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、ブレーキから音が発生したり、ブレーキペダルが振動したりすることがありますが、異常ではありません。

i-ELOOP とは グレード/仕様別装備

車が減速する際に発生する運動エネルギーを利用して発電を行うことで、発電に使うエンジン負荷をおさえ、走りの性能と燃費の向上に貢献するシステムです。
大量の電気を瞬時に蓄え、適時に無駄なく電装品の電源として活用します。



⚠注意

禁止 **次のものには高電流が流れているため触れないでください。**

- **可変電圧式オルタネーター**
- **DC-DC コンバーター**
- **キャパシター**

必ず守る **キャパシターを廃棄する場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。**
詳しくは次の URL を参照ください。
http://mazda.com/recycle/capa/

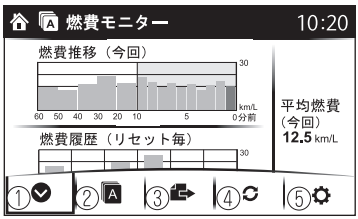
知識

- i-ELOOP のエネルギー回生状況を燃費モニターの i-stop/i-ELOOP 状態表示に表示します。
→126 ページ 「i-stop/i-ELOOP 状態表示」

燃費モニター グレード/仕様別装備

センターディスプレイ内の各アイコンを操作することにより i-stop/i-ELOOP 状態表示*1、燃費情報、i-stop 効果*1 を切り替え表示します。また、運転終了後、エンディング表示が ON のときは、今回の運転のエネルギー効率実績などを表示します。

1. ホーム画面の (A) アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 燃費モニターを選択します。
3. コマンダースイッチを操作、または画面にタッチしてメニューを表示します。
4. メニュー内のアイコンを選択します。各アイコンは次のように機能します。



① メニュー表示を閉じます。
② アプリケーション画面にもどります。
③ 燃費モニターの表示を、i-stop/i-ELOOP 状態表示*1、i-stop 効果表示*1、燃費情報の順に切り替えます。
④ 燃費データをリセットします。
⑤ 次のセッティング画面を表示します。

- エンディング表示の ON/OFF 切り替え
- 燃費データのリセットをトリップメーター (TRIP A) と同期させる機能の ON/OFF 切り替え

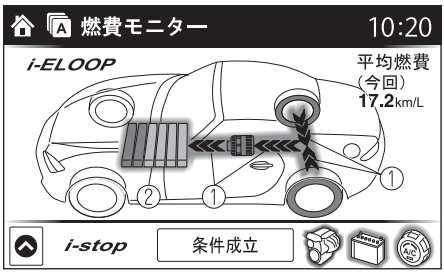
知識

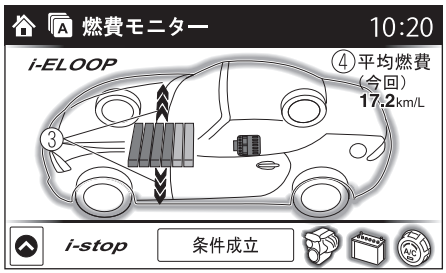
電源ポジションを ON から OFF にしたときの燃費モニター画面が、次回電源ポジション ON したとき、最初の燃費モニター画面になります。

*1 i-stop 装備車

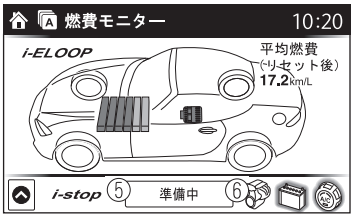
i-stop/i-ELOOP 状態表示 (i-stop 装備車)

i-stop の作動状況、および i-ELOOP のエネルギー回生状況を表示します。

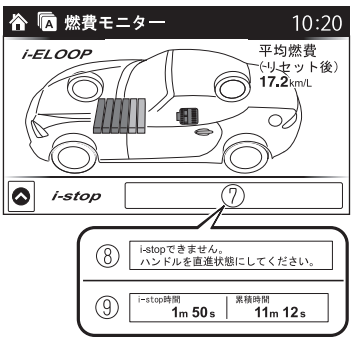




① 減速エネルギーを利用して発電した電気の量と、発電した電気が蓄電器に流れている状態を表示します。表示は発電量が増えると太くなります。
② 蓄電器に蓄えている電気の量を表示します。
③ 蓄電器に蓄えられた電気を電装品に供給している状態を表示します。(車全体が同時に発光します。)
④ 平均燃費を表示します。



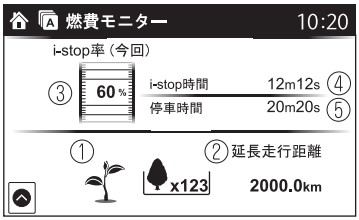
⑤ アイドリングストップが可能かどうかの準備状況を表示します。
⑥ アイドリングストップ準備状況をアイコン (エンジン、バッテリーおよびエアコン) の色で表示します。準備ができたアイコンは発光します。発光していないアイコンは準備ができていないことを知らせます。



⑦ 車両停止時のアイドリングストップ状況を表示します。
⑧ アイドリングストップしていないとき、アイドリングストップするために必要な運転者の操作を表示します。
⑨ アイドリングストップ中、現在のアイドリングストップ時間と累積のアイドリングストップ時間を表示します。

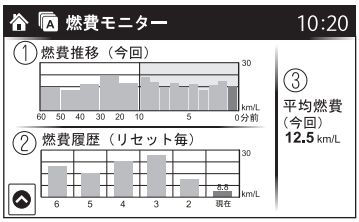
i-stop 効果表示 (i-stop 装備車)

エネルギー効率実績を表示します。

画面表示	状態	
	①	システムの効果により削減された二酸化炭素 (CO_2) 排出量に応じてリーフ (葉) が成長します。成長したリーフは累計され、本数を表示します。
	②	アイドリングストップで延ばすことが出来た全走行距離を表示します。
	③	全停車時間のうち、アイドリングストップの割合を表示します。
	④	アイドリングストップした時間を表示します。
	⑤	全停車時間を表示します。

燃費情報

燃費に関する情報を表示します。

画面表示	状態	
	①	過去 60 分間の燃費を表示します。 • 過去 1～10 分間は、1 分間毎の燃費を表示します。 • 過去 10～60 分間は、10 分間毎の燃費を表示します。
	②	過去 5 回分のリセット時の平均燃費とリセット後 (現在) の平均燃費を表示します
	③	走行開始後の平均燃費を 1 分間毎に算出して表示します。

燃費モニター

知識

- 燃費データは、次の操作を行なうとリセットされます。
  - メニュー画面からリセットスイッチを押す。
  - 燃費モニターとトリップメーターを同期させる機能が ON のとき、トリップメーターで TRIP A をリセットする。
  - トリップコンピューターに表示される平均燃費情報を消去する。
- 燃費データリセット後、平均燃費算出中は“———”が表示されます。
- 燃費データは、メニュー画面からリセットスイッチを押すとリセットできます。また、燃費モニターとトリップメーターを同期させる機能が ON のときは、燃費モニターの燃費データをリセットする、またはトリップメーターの TRIP A をリセットすると、燃費データと TRIP A が同時にリセットされます。

エンディング表示

燃費モニターのエンディング表示が ON の場合は、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、エネルギー効率実績 (i-stop 装備車)、燃費に関する情報 (i-stop 非装備車) を表示します。

知識

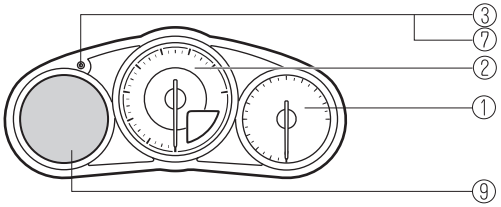
燃費モニターと i-DM のエンディング表示を両方 ON にしているときは、両方のエンディングが表示されます。

メーター

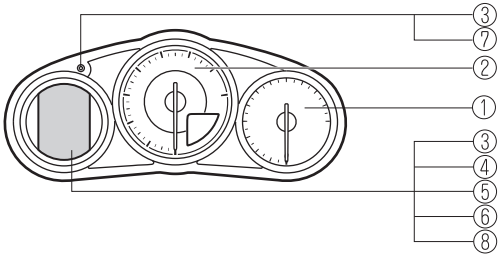
メーターはグレードや仕様により異なります。

メーター

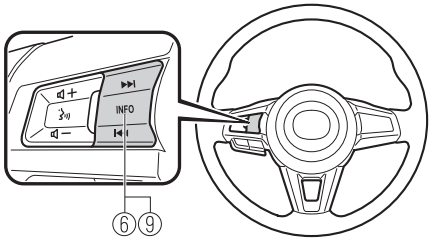
タイプA
（マルチインフォメーションディスプレイ装備車）



タイプB
（マルチインフォメーションディスプレイ非装備車）



ステアリングスイッチ



(1) スピードメーター..... 130 ページ
(2) タコメーター..... 130 ページ
(3) オドメーター/トリップメーター..... 130 ページ
(4) 水温計..... 134 ページ
(5) 燃料計..... 134 ページ
(6) トリップコンピューター..... 132 ページ
(7) パネルライトコントロールスイッチ..... 135 ページ
(8) 外気温表示..... 136 ページ

(9) マルチインフォメーションディスプレイ.....136 ページ

スピードメーター

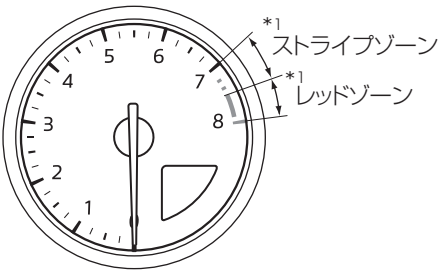
走行速度を km/h で示します。

タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

⚠注意

必ず守る **指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）に入らないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。**

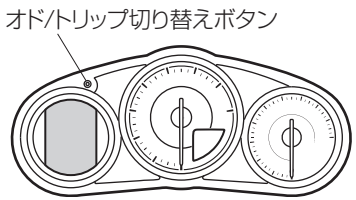


*1 仕様により範囲が異なります。

知識

ストライプゾーンはレッドゾーンに入らないようにするために、早めの変速を促すゾーンです。

オドメーター/トリップメーター（マルチインフォメーションディスプレイ非装備車）



オドメーター/トリップメーターが表示されているとき、オド/トリップ切り替えボタンを押すごとに、オドメーターとトリップメーターの表示が切り替わります。

オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

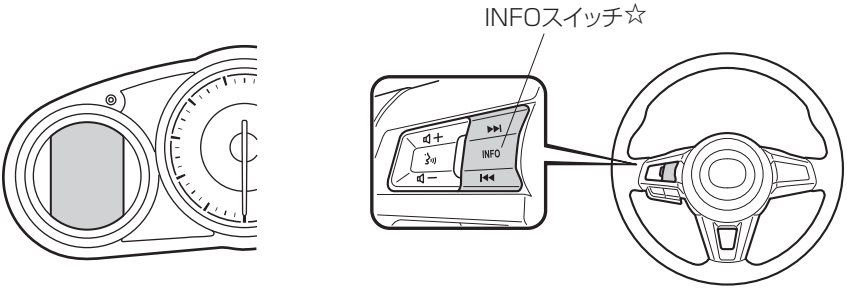
トリップメーター

一定区間の走行距離を km 単位で示します。
右側の数字は 100m 単位です。
2 種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。
たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。
トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのときオド/トリップ切り替えボタンを 1 秒以上押し続けます。

知識

- 電源ポジションが ACC または OFF のとき、オドメーター/トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します (ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え/リセットされます)。
  - 電源ポジションを ON から ACC または OFF にした後の約 10 分間。
  - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約 10 分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。
  - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
  - 走行距離が 9999.9km を超えたとき。
  - **(マツダコネクト装備車)**
    燃費モニターとトリップメーターを同期させる機能が ON のときは、燃費モニターで燃費データのリセットを行なう、またはトリップメーターで TRIP A をリセットすると、燃費データと TRIP A が同時にリセットされます。
    →125 ページ「燃費モニター」 グレード/仕様別装備

トリップコンピューター (マルチインフォメーションディスプレイ非装備車)



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

電源ポジションが ON のとき、次の情報を表示します。

- (ステアリングスイッチ非装備車)
  - 走行可能距離表示
- (ステアリングスイッチ装備車)
  - 走行可能距離表示
  - 平均燃費表示
  - 瞬間燃費表示
  - 平均車速表示

  INFO スイッチを押すごとに表示を切り替えます。

知識

- 表示される数値は、周囲の状況、走行条件などにより、正しい数値を表示しないことがあります。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

トリップコンピューターに異常があるときは、マツダ販売店にご相談ください。

走行可能距離表示

走行可能距離
280 km

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

知識

- 走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の残量目盛りが“E”に近づくか、燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
  燃料残量警告灯が点灯すると、燃料計の目盛りが 1/4 以上になるまで燃料を加えないと走行可能距離表示は変化しません。
- 走行可能距離とは、燃料計の残量目盛りがすべて消えるまで、あとどれくらい走行できるかを示すおよその距離になります。
- お車を購入されたときやバッテリー端子をはずした後など過去の燃費情報がないときは、実際に走行できる距離と異なる数値を表示することがあります。

平均燃費表示 (ステアリングスイッチ装備車)

平均燃費  km/L お車を購入されたとき、または、過去のデータを消去したときは、データを消去したときからの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押す、または、トリップメーターの TRIP A を“0.0”にもどします。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に 1 分間- - - km/L を表示します。

瞬間燃費表示 (ステアリングスイッチ装備車)

瞬間燃費  km/L 走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費を消費燃料から算出して表示します。

知識

車速が約 5 km/h 以下になると- - - km/L を表示します。

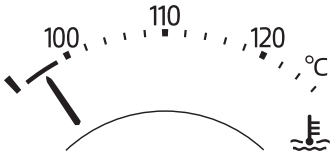
平均車速表示 (ステアリングスイッチ装備車)

平均車速  km/h お車を購入されたとき、または、過去のデータを消去したときは、データを消去したときからの累積走行距離と走行時間から、約 10 秒間毎に平均車速を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押します。
データを消去すると、車速を再算出して表示する前に 1 分間- - - km/h を表示します。

水温計 (マルチインフォメーションディスプレイ非装備車)



電源ポジションが ON のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

⚠注意

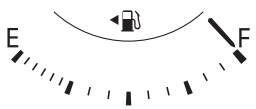
必ず守る **高水温警告灯 (赤) が点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行を続けると、エンジンの故障につながるおそれがあります。**
→486 ページ「オーバーヒートについて」

知識

- 通常の走行ではエンジン冷却水の温度は 100°C 以下で安定しており、表示は 100°C より低い範囲を示します。
- エンジンの負荷が増えてエンジン冷却水の温度が 100°C を超えたときは、エンジン冷却水の温度を示します。

燃料計 (マルチインフォメーションディスプレイ非装備車)

Full



1/4



Empty

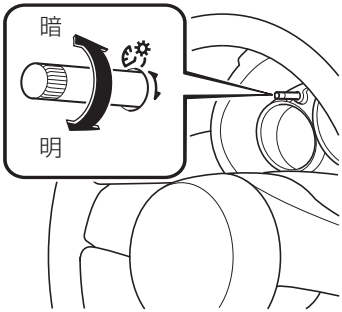


電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。
燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。
→502 ページ「処置する」
目盛りが“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。
→78 ページ「燃料補給口」

知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 1/4 以下の表示は、残量がより詳細に分かるように、目盛りを細かくしています。
- ◀ の矢印は燃料補給口が助手席側にあることを示します。

パネルライトコントロールスイッチ



電源ポジションが ON で、車幅灯が点灯しているとき、メーターは減光されます。

知識

車幅灯が点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯が点灯します。
→174 ページ「ヘッドランプの点灯/消灯」

パネルライトコントロールスイッチをまわすと、メーターおよびインストルメントパネルの明るさを調節できます。

- 左にまわすと暗くなり、最も暗い位置で音が鳴ります。
- 右にまわすと明るくなります。

減光解除機能

電源ポジションが ON で、メーターが減光しているときに、パネルライトコントロールスイッチを右に音が鳴るまでまわすと、減光を解除できます。周囲が明るく減光状態ではメーターが見えにくい場合は減光を解除してください。

知識

- 減光を解除しているときは、車幅灯が点灯しても、メーターは減光されません。
- **(マツダコネクト装備車)**
  減光を解除しているとき、センターディスプレイは常に昼画面になります。
  →296 ページ「マツダコネクトの設定」

外気温表示 (マルチインフォメーションディスプレイ非装備車)

外気温 4 ℃

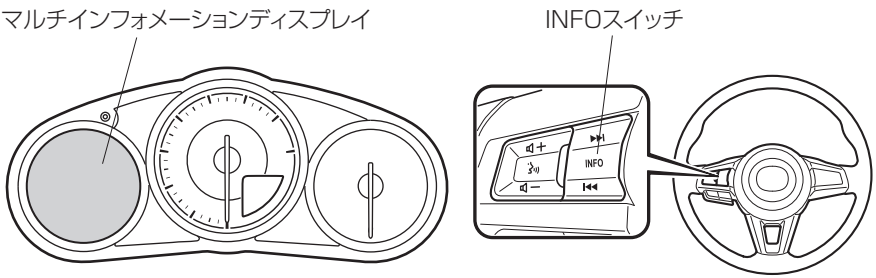
電源ポジションが ON のとき、外気温を表示します。

知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

マルチインフォメーションディスプレイ グレード/仕様別装備

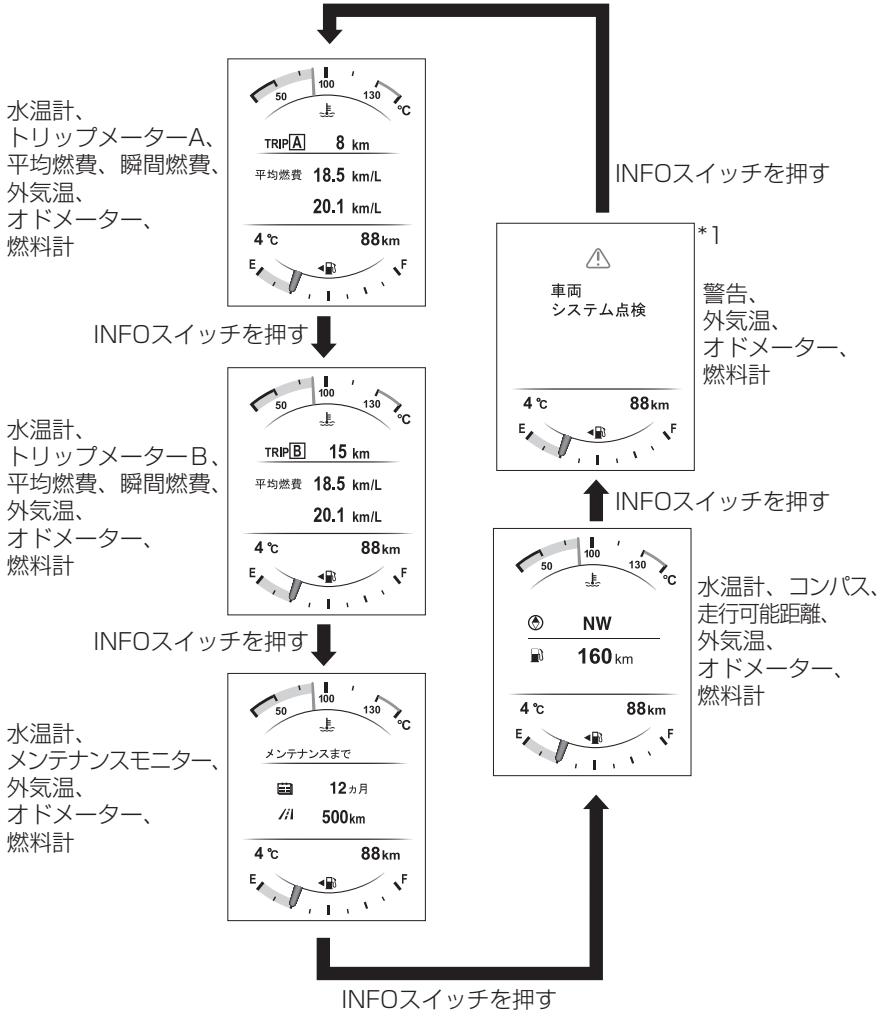


マルチインフォメーションディスプレイは次の情報を表示します。

- オドメーター
- トリップメーター
- 水温計
- 燃料計
- 外気温
- 走行可能距離
- 平均燃費
- 瞬間燃費
- メンテナンスモニター
- 車線逸脱警報システム表示
- コンパス表示
- ルーフ開閉状態表示

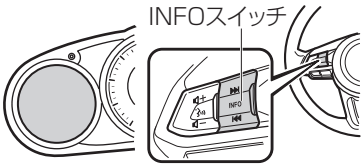
- 警告表示

INFO スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



*1：警告があるときのみ表示します。

オドメーター/トリップメーター



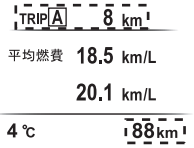
オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

トリップメーター

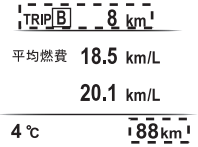
一定区間の走行距離を km 単位で示します (右側の数字は 100m 単位です)。2 種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。電源ポジションが ON のとき、INFO スイッチを押すごとに、TRIP A、TRIP B が切り替わります。トリップメーターを “0” にもどすときは、それぞれのモードのときに INFO スイッチを 1 秒以上押します。

トリップメーターA、オドメーター



INFOスイッチを押す

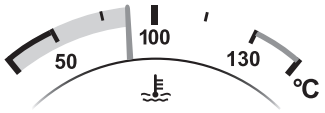
トリップメーターB、オドメーター



知識

- 次のようなときは、トリップメーターの表示が “0” にもどります。
  - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
  - 走行距離が 9999.9km を超えたとき。

水温計



電源ポジションが ON のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

注意

必ず守る

高水温警告表示 (赤) が表示されたときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行を続けると、エンジンの故障につながるおそれがあります。
→486 ページ「オーバーヒートについて」

知識

通常の走行ではエンジン冷却水の温度は 100°C 以下で安定しており、表示は 100°C より低い範囲を示します。

燃料計

Full



電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。
燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。
→502 ページ「処置する」
目盛りが“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。
→78 ページ「燃料補給口」

1/4 Full



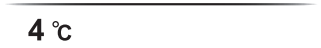
Empty



知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 1/4 以下の表示は、残量がより詳細に分かるように、目盛りを細かくしています。
- ◀⛽の矢印は燃料補給口が助手席側にあることを示します。

外気温表示



電源ポジションが ON のとき、外気温を表示します。

知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

走行可能距離表示



現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

知識

- 走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の残量目盛りが“E”に近づくか、燃料残量警告表示が表示されたら早めに燃料を補給してください。
  燃料残量警告表示が表示されると、燃料計の目盛りが 1/4 以上になるまで燃料を加えないと走行可能距離表示は変化しません。
- 走行可能距離とは、燃料計の残量目盛りがすべて消えるまで、あとどれくらい走行できるかを示すおよその距離になります。
- お車を購入されたときやバッテリー端子をはずした後など過去の燃費情報がないときは、実際に走行できる距離と異なる数値を表示することがあります。

平均燃費表示

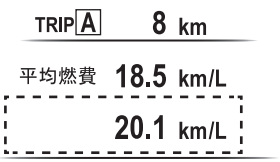


お車を購入されたときまたは、過去のデータを消去したときは、データを消去したときからの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押すまたは、トリップメーターの TRIP A を “0.0” にもどします。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に 1 分間- - - km/L を表示します。

瞬間燃費表示



走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費を消費燃料から算出して表示します。

知識

時速が約 5km/h 以下になると- - - km/L を表示します。

メンテナンスモニター

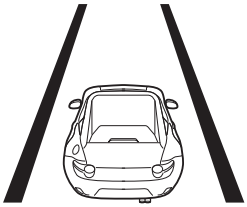


メンテナンスモニターを ON にすると、定期点検またはオイル点検/交換の時期をお知らせすることが出来ます。
残りの期間や距離が 0 に近づくと、電源ポジションを ON にしたときにメッセージが表示されます。
メンテナンスモニターの設定方法や表示内容は、メンテナンスモニターを参照してください。
→217 ページ「メンテナンスモニター」
グレード/仕様別装備

知識

走行中は操作できません。

車線逸脱警報システム表示 グレード/仕様別装備



システムの作動状態を表示します。
→197 ページ「車線逸脱警報システムとは」
グレード/仕様別装備

コンパス表示

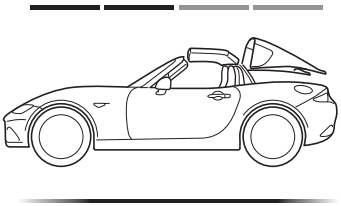


NW

車両進行方向の方位を 8 方位で表示します。
停車中は、作動しません。

表示	方位
N	北 (North)
S	南 (South)
E	東 (East)
W	西 (West)
NE	北東 (Northeast)
NW	北西 (Northwest)
SE	南東 (Southeast)
SW	南西 (Southwest)

ルーフ開閉状態表示



ルーフの開閉状態を表示します。
→73 ページ「リトラクタブルハードトップ作動表示」

警告表示

システムの作動状態や故障・異常状態などのメッセージを表示します。
(同時にメーター内の警告灯が点灯/点滅、またはディスプレイにシンボルが表示されたとき)
警告灯、またはシンボルの内容を確認してください。
149 ページ「警告表示/警告灯、表示/表示灯」

(ディスプレイにメッセージのみ表示されたとき)
ディスプレイの指示に従ってください。表示の内容については次のページを参照ください。
504 ページ「マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されたときは」
グレード/仕様別装備

インテリジェント･ドライブ･マスター (i-DM)

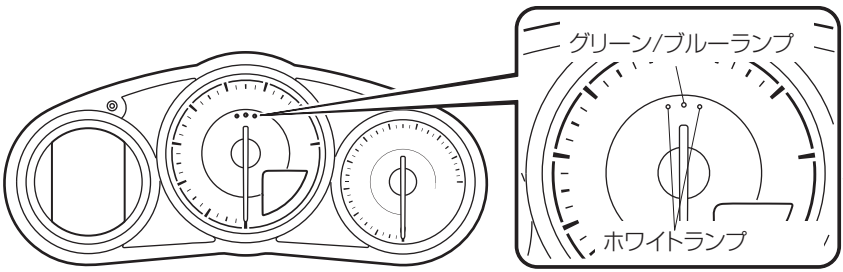
「i-DM」はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

インテリジェント･ドライブ･マスター･ランプ

走行中の運転操作 (アクセル、ブレーキ、ハンドル) の状態を診断し、ランプの色で運転者に運転操作の状況を知らせます。 (コーチング機能)

知識

インテリジェント･ドライブ･マスター･ランプを非表示にしているときは表示しません。
インテリジェント･ドライブ･マスター･ランプの表示/非表示を変更することができます。
→541 ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」



グリーンランプ

次の運転のときはランプが緑で点灯します。

内容	運転のポイント
やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。	● 加速をするとき/やめるときに、アクセルペダルをゆっくり踏む/もどす ● 減速をするとき/やめるときに、ブレーキペダルをゆっくり踏む/もどす ● 旋回をするとき/直進にもどすときに、ハンドルをゆっくり切る/もどす

ブルーランプ

次の運転のときはランプが青で点灯します。

内容	運転のポイント
しなやかな運転を示します。特に以下の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。 **走行タイプ 1** 適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。 **走行タイプ 2** 加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。	**走行タイプ 1 の場合** ● 加速をするときに、最適な踏み込み量/速さでアクセルペダルを操作する ● 減速をするときに、最適な踏み込み量/速さでブレーキペダルを操作する ● 旋回をするときに、最適な切り込み量/速さでハンドルを操作する **走行タイプ 2 の場合** ● 加速をするときに、一定の加速度を継続するようにアクセルペダルを操作する ● 減速をするときに、一定の減速度を継続するようにブレーキペダルを操作する ● 旋回をするときに、一定の横 G を維持するようにハンドルおよびアクセルペダルを操作する

ホワイトランプ

次の運転のときはランプが白で点灯します。

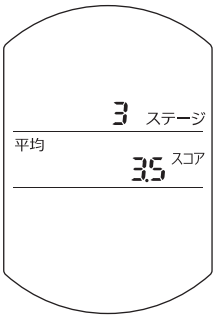
内容	運転のポイント
体が揺れる運転を示します。 やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまりよくない運転です。	• 加速をするとき/やめるときに、アクセルペダルをやや急に踏む/もどす • 減速をするとき/やめるときに、ブレーキペダルをやや急に踏む/もどす • 旋回をするとき/直進にもどすときに、ハンドルをやや急に切る/もどす

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示

運転の評価をスコア (点数) で表示します。スコアに応じてステージが決まります。
ステージは 1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。

マツダコネクト非装備車

運転終了後、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、現在のステージ、今回のスコア (現在の評価値) とアベレージスコア (過去 10 回のスコアの平均値) を表示します。



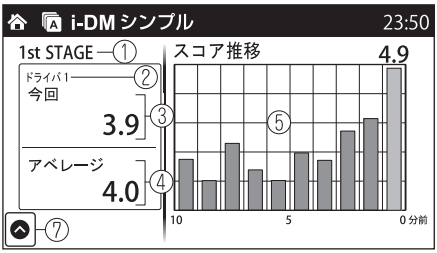
マツダコネクト装備車

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) の情報をセンターディスプレイに表示します。
表示にはシンプルモードとトレーニングモードの 2 種類あります。

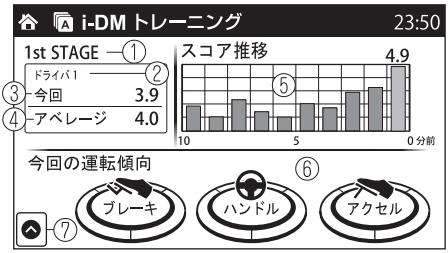
1. ホーム画面の アイコンを選択しアプリケーション画面を表示します。

2. i-DM を選択します。

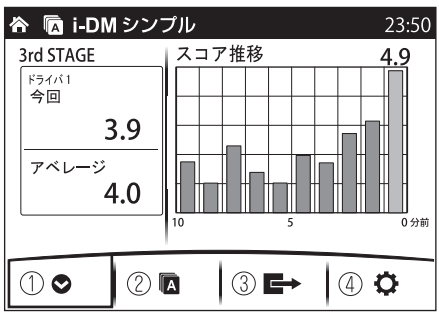
（シンプルモード）



（トレーニングモード）



① 現在のステージを表示します。
② ドライバ名を表示します。
ドライバ名の登録/選択については、次のページを参照してください。
→147 ページ「ドライバ選択」
③ 今回のスコアを表示します。
④ アベレージスコアを表示します。
⑤ スコアの推移を棒グラフで表示します。各グラフは 1 分間のスコアを示し、過去 10 分間の記録を表示します。最新のグラフは右側にハイライト表示されます。信号待ちや一定速走行など運転操作が無かった場合はゼロのグラフが表示されます。
⑥ 今回の運転操作傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージはやや急な運転の多さを示し、青のゲージはしなやかな運転の多さを示します。
⑦ アイコンを選択すると画面下部に次のメニュー画面が表示されます。

表示	内容
	①メニュー画面を閉じます。
	②アプリケーション画面にもどります。
	③トレーニング/シンプル画面を切り替えることができます。
	④設定画面に進みます。

設定画面

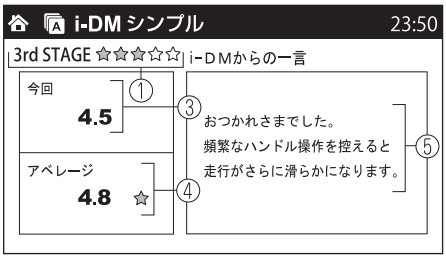
次の表示/非表示の切り替えができます。

- エンディング表示
- インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプ

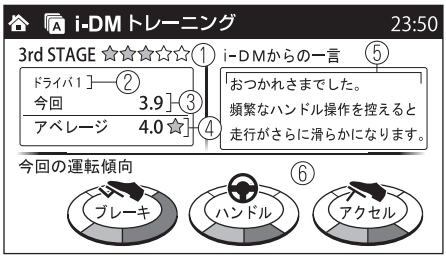
エンディング表示

i-DM のエンディング表示が ON の場合は、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、現在のステージ、今回のスコア (現在の評価値) とアベレージスコア (過去 10 回のスコアの平均値) などを表示します。また今回のスコアに応じて、文字によるワンポイントアドバイスも表示します。(ティーチング機能)

(シンプルモード)



(トレーニングモード)



① 現在のステージを表示します。★マークはアベレージスコア 4.8 以上を連続して獲得した回数を示しています。アベレージスコア 4.8 以上を 5 回連続で獲得すると★マークが 5 個になり次のステージへ上がります。
② ドライバ名を表示します。
③ 今回のスコアを表示します。
④ アベレージスコアを表示します。
⑤ 運転評価メッセージと、ワンポイントアドバイスを表示します。
⑥ 現在の運転傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。

知識

燃費モニターと i-DM のエンディング表示を両方 ON にしているときは、両方のエンディングが表示されます。

ドライバ選択 (マツダコネクト装備車)

車両にドライバ名を 5 名分登録することができます。登録したドライバ名はインテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) で使用でき、ステージ/スコア情報などをドライバ名ごとに管理できます。

知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

1. ホーム画面の (A) アイコンを選択しアプリケーション画面を表示します。

2. 「ドライバ選択」を選択します。
3. 「ドライバ選択」を選択すると、次の画面が表示されます。



①ドライバ選択 ON/OFF 切り替え

ドライバ選択機能の ON/OFF を切り替えます。
ON のとき、ドライバの選択やドライバ名の編集ができます。OFF にすると、「ドライバ選択なし」が自動で選択されます。

②ドライバ名リスト (1～5)

ドライバ名 (未登録の場合はドライバ番号) を 5 つ表示します。選択中のドライバ名にはチェックマークが表示されます。
エンジン始動後、登録されたキーごとにドライバ名が自動で選択されます。ドライバ情報を変更したい場合は、該当するドライバ名を選択します。

知識

選択されたドライバ名で、インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) を表示し更新されます。

③ドライバ選択なし

ドライバの識別が出来ないとき、またはドライバ選択機能が OFF のときは、「ドライバ選択なし」として表示されます。

④ドライバ名編集

選択されているドライバ名の編集/登録画面へ移動します。

知識

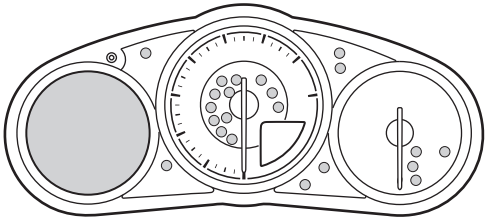
既に登録されているドライバ名と同一のドライバ名は登録できません。

警告灯、表示灯

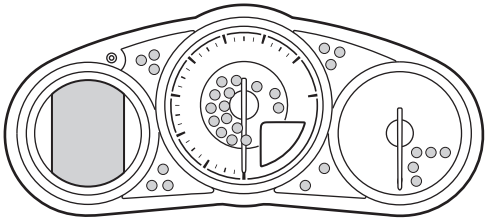
メーターはグレードや仕様により異なります。

メーター

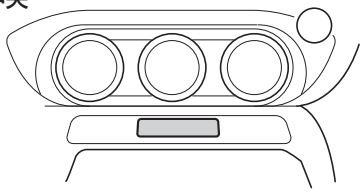
タイプA
（マルチインフォメーションディスプレイ装備車）



タイプB
（マルチインフォメーションディスプレイ非装備車）



インストルメントパネル中央



警告表示/警告灯

故障時などに表示/点灯/点滅します。

表示	警告灯名称	ページ
 (赤)	ブレーキ警告灯[*1][*2]	495
	充電警告表示/警告灯[*1]	495
	オイル警告灯[*1]	495
 (赤)	高水温警告表示/警告灯[*1]	495
	電動パワーステアリング警告表示/警告灯[*1]	495
	マスター警告表示/警告灯[*1]	497
 (橙)	電動バキュームポンプ警告灯[*1]	497
	ABS 警告灯[*1]	497
	エンジン警告灯[*1]	497
i-stop (橙)	i-stop 警告灯[*1] グレード/仕様別装備	点灯したとき 119 点滅したとき 497
i-ELOOP	i-ELOOP 警告表示/警告灯[*1] グレード/仕様別装備	497

表示	警告灯名称	ページ
AT	オートマチックトランスミッション警告表示/警告灯*1 グレード/仕様別装備	497
	エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯*1	497
	アクティブボンネット警告灯*1	497
	リトラクタブルハードトップ警告表示 グレード/仕様別装備	497
 (橙)	KEY 警告表示 グレード/仕様別装備	497
 (赤/白)	KEY 警告表示/警告灯*1	点灯したとき 497
		点滅したとき 502
 (橙)	ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯*1 グレード/仕様別装備	497
	ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警告表示 グレード/仕様別装備	497
	車線逸脱警報システム警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備	表示/点灯したとき 497
		点滅したとき 202
	LED ヘッドランプ警告灯*1	497

表示	警告灯名称	ページ
	燃料残量警告表示/警告灯	502
	シートベルト警告灯	502
	半ドア警告灯 グレード/仕様別装備	502
	半ドア警告表示 グレード/仕様別装備	502
	トランク開警告表示 グレード/仕様別装備	502

*1 作動確認のため、電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯、またはエンジンがかかると消灯します。点灯しない、または消灯しないときはマツダ販売店で点検を受けてください。

*2 パーキングブレーキをかけているときは点灯し続けます。

表示/表示灯

システムが作動中などに点灯/点滅します。

表示	表示灯名称	ページ
 (白/緑)	KEY 表示/表示灯	27
	セキュリティ表示灯*1	81
	リトラクタブルハードトップ表示灯 グレード/仕様別装備	73
	レンチ表示/表示灯*1 グレード/仕様別装備	155

表示	表示灯名称	ページ
 (青)	低水温表示灯	155
i-stop (緑)	i-stop 表示灯 グレード/仕様別装備	119
	セレクトレバー位置表示 グレード/仕様別装備	159
	車幅灯表示灯	174
	ヘッドランプ上向き表示灯	ヘッドランプが上向き(ハイビーム)のとき 177 パッシング合図のとき 177
	方向指示/非常点滅表示灯	方向指示灯 179 非常点滅表示灯 180

メーター、警告灯、表示灯の見方

表示	表示灯名称	ページ
	TCS/DSC 作動表示灯*1	TCSが作動したとき 189
		DSCが作動したとき 191
		故障したとき 497
	DSC OFF 表示灯*1	192
SPORT	セレクトモードインジケーター グレード/仕様別装備	171
 (緑)	ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)表示灯 グレード/仕様別装備	196
	ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯*1 グレード/仕様別装備	207
	車線逸脱警報システム OFF 表示灯 グレード/仕様別装備	201

*1 作動確認のため、電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯、またはエンジンがかかると消灯します。点灯しない、または消灯しないときはマツダ販売店で点検を受けてください。

レンチ表示灯 グレード/仕様別装備



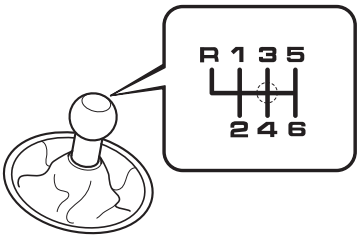
あらかじめ設定されたメンテナンス時期になると点灯します。
設定/リセット方法については、次のページを参照してください。
→217 ページ「メンテナンスモニター」
グレード/仕様別装備

低水温表示灯 (青)



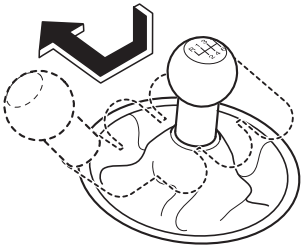
エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続けます。十分に暖機しても点灯したままのときはマツダ販売店で点検を受けてください。

マニュアルトランスミッション



チェンジレバーを操作するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでください。

◌ ニュートラル位置



マニュアルトランスミッションは、シフトの誤操作を防ぐ装置が装備されています。
R に入れるときは、チェンジレバーを下方向へ押しながら R 方向へ操作してください。

⚠注意

必ず守る **R に入れるときは、車が完全に止まってから行なってください。トランスミッションの故障につながるおそれがあります。**

禁止 **5 速から 4 速に変速するときは、チェンジレバーを横方向に押し過ぎないでください。思いがけず 2 速に入りトランスミッションの故障につながるおそれがあります。**

禁止 **R に入れるとき以外は、誤操作を防ぐためにチェンジレバーを下方向へ押さないでください。**

知識

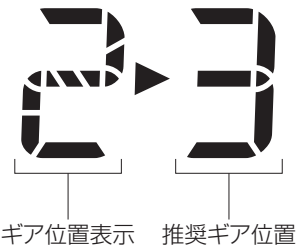
- センターコンソールボックスへひじを置かず、チェンジレバーを横から軽く包み込むように握ると自然な姿勢で運転できます。



- R に入らないときは、チェンジレバーをニュートラル位置にもどし、クラッチペダルを踏み直して、再度操作してください。
- **(i-stop 装備車)**
  エンスト時、エンジンが完全停止したあと 3 秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。
  次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んでも再始動させることができません。
  - 運転席のドアが開いているとき
  - 運転席のシートベルトが装着されていないとき
  - エンスト後にクラッチペダルを完全に放していないとき
  - エンジンが完全に止まっていない状態でクラッチペダルを踏んだとき

ギア・シフト・インジケーター (GSI)

ギア・シフト・インジケーター (GSI) は、燃費のよい快適な走行をサポートします。メーター内で選択したギア位置を表示し、実際の走行状態に適したギア位置に変更するよう運転者に知らせます。



表示	内容
ギア位置表示	現在のギア位置を表示
推奨ギア位置	走行状態に適したギア位置を表示

⚠注意

ギア･シフト･インジケーター (GSI) を過信しないでください。実際の走行状況では､表示と異なるシフト操作が必要な場合があります。変速する前に道路や周囲の状況を正確に判断してください。

知識

次のようなとき､ギア･シフト･インジケーター (GSI) は表示しません。

- 停車時
- チェンジレバーがニュートラル位置または R のとき
- 後退時
- 発進時､クラッチを完全につないでいないとき
- 走行中に 2 秒以上クラッチペダルを踏み続けたとき

オートマチックトランスミッション

オートマチック車の特性

オートマチック車は､クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で､その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが､安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し､正しい操作をする習慣をつけてください。

クリープ現象

- エンジンがかかっているとき､セレクトレバーが P､N 以外に入っていると､アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み､必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は､エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は､クリープ現象を利用すると､アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンすることができます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

知識

アクセルペダルを踏み込んでいくと途中で重くなり、さらに踏み込むと軽くなります。この踏力の変化はキックダウンさせるためのアクセルペダルの踏み込み量を容易に認識し、キックダウンさせる·させないをコントロールするための機能です。

セレクトレバー位置表示

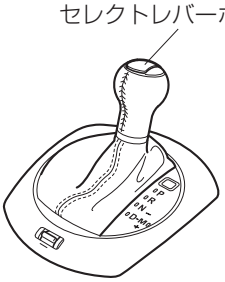


電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示します。

ギヤ位置表示

マニュアルモードのとき使用しているギヤ位置を表示します。

各位置の働き



P (パーキング)
駐車およびエンジンを始動する位置。

R (リバース)
車を後退させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。

N (ニュートラル)
動力が伝わらない位置。
エンジンを始動することはできますが、安全のため P の位置で行なってください。

D (ドライブ)
通常走行する位置。
車速に応じて 1 速から 6 速までを自動変速します。

M (マニュアル)
マニュアル走行する位置。
ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
→162 ページ「マニュアルモード」

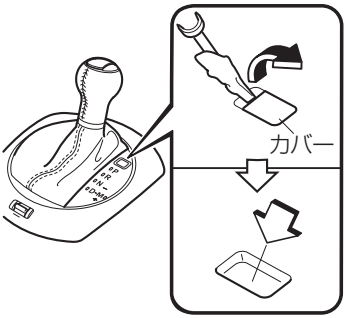
シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

知識

電源ポジションが ACC または OFF のときは、セレクトレバーを P から動かすことはできません。

シフトロック装置の解除

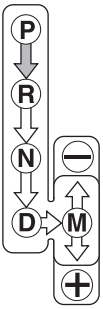


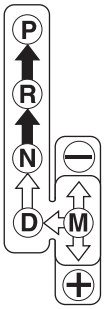
万一、セレクトレバーを P から操作できないときは、カバーをはずし、ブレーキペダルを踏み、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押したまま、セレクトレバーボタンを押してセレクトレバーを操作します。

知識

マイナスドライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスドライバーなどが直接カバーにあたると、傷がつくおそれがあります。

セレクトレバーの操作





レバー操作	
⇨	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーボタンを押して操作します。
⇨	セレクトレバーボタンを押さずそのまま操作します。
➡	セレクトレバーボタンを押して操作します。

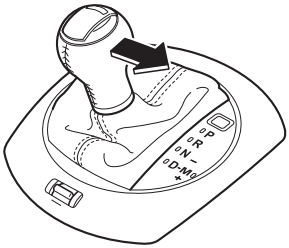
知識

- **誤作動防止について**
  ⇨の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行なってください。
- **先にブレーキペダルを踏んでから操作する**
  セレクトレバーを P から操作するとき、セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

AAS モードについて

AAS (アクティブアダプティブシフト) モードとは、運転者が快適に運転するため、道路の状況や運転者の操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。
セレクトレバーが D の状態で、登り坂や下り坂、コーナーや高地を走行したり、アクセルペダルをすばやく操作することで AAS モードになる場合があります。
走行状態、路面状態、シーンや操作に応じて、最適なギヤ位置を維持するためシフトチェンジが遅れたり、行なわれない場合がありますが、異常ではありません。

マニュアルモード

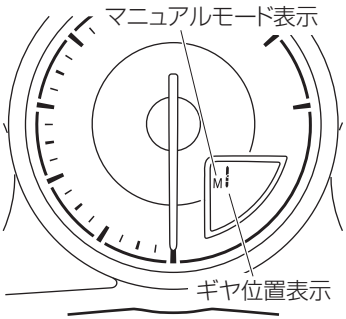


セレクトレバーを D から M に入れるとマニュアルモードになります。
マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
セレクトレバーを M から D に入れるとマニュアルモードが解除されます。

知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは 1 速になります。
- D レンジ 5 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 4 速になります。また、D レンジ 6 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 5 速になります。

表示



マニュアルモード表示

マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトレバー位置表示の M が表示されます。

ギヤ位置表示

ギヤ位置が表示されます。
高速走行中、速度によりシフトダウンできないときは、ギヤ位置表示が 2 回点滅します。

シフトチェンジ (変速) のしかた

セレクトレバーまたはステアリングシフトスイッチによりシフトチェンジすることができます。

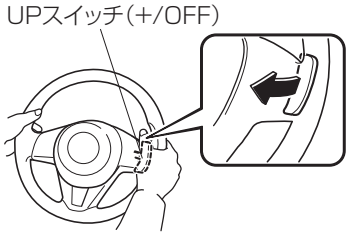
シフトアップ (M1→M2→M3→M4→M5→M6)

セレクトレバー



(セレクトレバーでの操作)
セレクトレバーを＋側に動かすとシフトアップ (高速ギヤに変速) します。
(ステアリングシフトスイッチでの操作)
ハンドル右裏側の UP スイッチ (**+/OFF**) を手前に引くとシフトアップ (高速ギヤに変速) します。

ステアリングシフトスイッチ

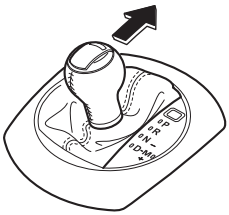


知識

- 低速時は速度によりシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードではタコメーターの指針がレッドゾーンに入らないように運転してください。なお、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでいる間は自動変速に切り替わります。
  ただし、DSC を OFF にしているときは、この機能は停止されます。また、エンジン回転が高い状態で連続走行されたときには、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。
- ステアリングシフトスイッチは、走行中セレクトレバーが D レンジでも、一時的に使用することができます。また、UP スイッチ (**+/OFF**) を一定時間以上手前に引いたときは自動変速にもどります。

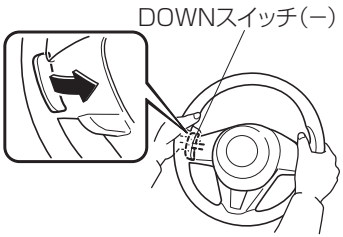
シフトダウン (M6→M5→M4→M3→M2→M1)

セレクトレバー



(セレクトレバーでの操作)
セレクトレバーを－側に動かすとシフトダウン (低速ギヤに変速)します。
(ステアリングシフトスイッチでの操作)
ハンドル左裏側の DOWN スイッチ (－) を手前に引くとシフトダウン (低速ギヤに変速)します。

ステアリングシフトスイッチ



⚠警告

必ず守る 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避ける。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むとキックダウンします。ただし、DSC を OFF にしているときは、キックダウンしません。
→158 ページ「オートマチック車の特性」

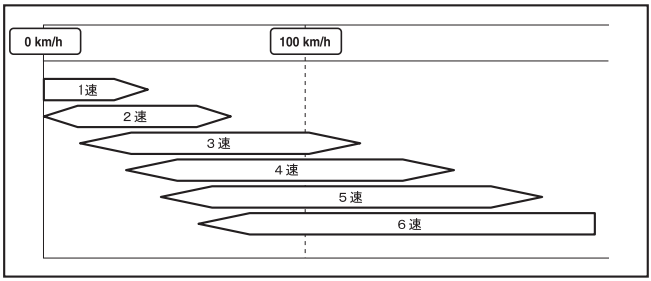
2 速固定モード

車速が約 10 km/h 以下のときにセレクトレバーを＋側に動かして 2 速にすると 2 速固定モードになり、ギヤ位置は 2 速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。

2 速固定モードのときに、セレクトレバーを＋側または－側に動かして 2 速以外にすると 2 速固定モードは解除されます。

シフトチェンジ (変速) 制限速度

マニュアルモードでは、各ギヤ位置において次の表のような制限速度を設けています。制限速度範囲内のときにセレクトレバーを操作すると変速します。



シフトアップ

制限速度より低いときはシフトアップしません。

シフトダウン

制限速度を超えているときはシフトダウンしません。
制限速度を超えていてシフトダウンしなかった場合には、ギヤ位置表示が 2 回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンします。
ただし、DSC を OFF にしているときは、キックダウンしません。

知識

2 速固定モード時も、キックダウンでシフトダウンします。

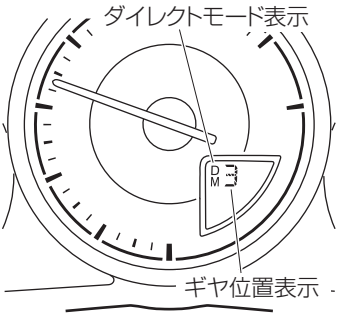
オートシフトダウン

減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。

知識

2 速固定モード時は、2 速のまま停車します。

ダイレクトモード



セレクトレバーを D の位置で走行中、ステアリングシフトスイッチを操作すると一時的にギヤ位置を切り替えることができます。
ダイレクトモードのときは、メーターに D と M が表示され、使用しているギヤ位置が表示されます。
ダイレクトモードは、次の状態になると解除されます。

- UP スイッチ (**+/OFF**) を一定時間以上手前に引いたとき
- 一定時間以上走行したとき (操作時の走行状態により時間は異なります)
- 停車したとき、または、低速走行になったとき

オートマチック車を運転するときに

発進または後退するとき

⚠警告

禁止 **アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。**
車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行ないますので、アクセル操作は慎重に行なってください。

1. ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
   前進…D、M
   後退…R
2. セレクトレバーの位置を確認します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

⚠注意

必ず守る **後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。**

知識

- セレクトレバーを R に入れるとチャイムが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーを R に入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーを N にもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

走行するとき

通常走行

セレクトレバーを D に入れて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。
ギヤは 1 速から 6 速の間で、自動的に変速されます。

マニュアルモード走行

停車中または走行中にセレクトレバーを D から M に入れると、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。
→162 ページ「マニュアルモード」

急加速

セレクトレバーが D または M のとき、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

知識

セレクトレバーが M で DSC を OFF にしているときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでも自動変速されません。セレクトレバーを操作してください。

急な上り坂での走行

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

下り坂での走行

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。
マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて 1 段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

停車するとき

1. ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
3. 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N または P に入れます。

⚠警告

禁止 **停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。**
セレクトレバーが P、N 以外に入っているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る **停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認する。**
意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止 **アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置に入れ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。**

駐車するとき

1. 車を完全に止めます。
2. セレクトレバーを P に入れます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
4. エンジンを止めます。

⚠警告

必ず守る
駐車するときは、セレクトレバーを P に入れ、パーキングブレーキをかける。
パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーを P に入れただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止
エンジンをかけたまま駐車しない。
万一セレクトレバーが P、N 以外に入っていた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る
セレクトレバーを P に入れるときは、車を完全に止めてから行なってください。
車が完全に止まる前にセレクトレバーを P に入れると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

そのほかに気をつけること

⚠警告

禁止
坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進しない。
エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライブセレクションについて

ドライブセレクションとは (オートマチック車)

ドライブセレクションとは、車両の走行モードを切り替えることができるシステムです。スポーツモードを選択すると、アクセルペダルを踏み込んだときの車両応答性が高められます。
より安全に高速道路に合流したり、追い越したりしたいときにご使用ください。

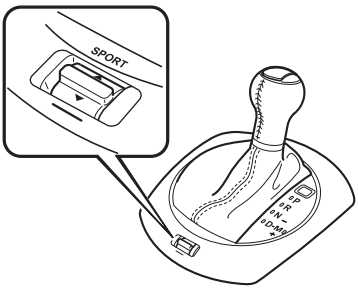
⚠注意

必ず守る **ぬれた路面や積雪路などすべりやすい路面を走行しているときは、スポーツモードの使用を避けてください。タイヤがスリップするおそれがあります。**

知識

- スポーツモードを選択すると、高いエンジン回転数での走行が多くなり、燃費が悪化することがあります。通常時はスポーツモードを解除して走行することをおすすめします。
- 次のようなときは、走行モードの切り替えはできません。
  - ABS/TCS/DSC が作動しているとき
  - 急激なハンドル操作を行なっているとき

ドライブセレクションスイッチ

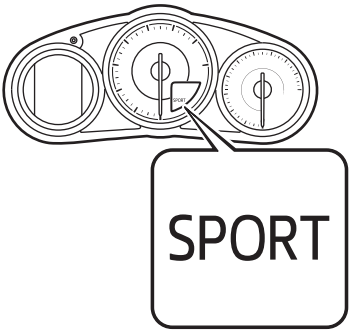


ドライブセレクションスイッチを**SPORT**側 (前方) に押すと、スポーツモードになります。
ドライブセレクションスイッチを▬▬側 (手前) に引くと、スポーツモードが解除されます。

知識

- 電源ポジションを OFF にすると、スポーツモードは解除されます。
- スポーツモードを選択したときの走行状態によっては、シフトダウンしたり、少し加速したりすることがあります。

セレクトモードインジケーター



スポーツモードを選択しているときに、メーター内のセレクトモードインジケーターが点灯します。

知識

走行モードを切り替えることができないときは、セレクトモードインジケーターが点滅してお知らせします。

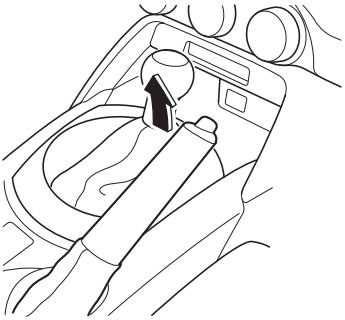
ブレーキの操作

パーキングブレーキ

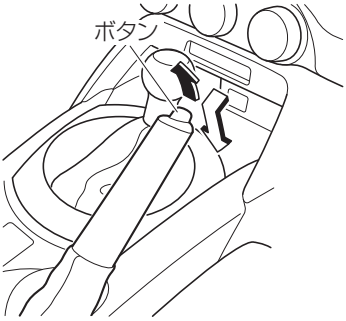
⚠警告

**禁止 パーキングブレーキをかけたまま走行しない。
ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

かけるとき



解除するとき



レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。

車高調整式サスペンション グレード/仕様別装備

車高調整を行なうことができます。
調整を行なう場合は、必ずマツダ販売店で行なってください。

⚠警告

必ず守る

調整には専門知識が必要です。必ずマツダ販売店で行なってください。

正しい方法で調整しないと車の走行安定性や操縦性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ランプスイッチ

ヘッドランプの点灯/消灯

電源ポジションが ON のとき使用できます。車幅灯、尾灯、番号灯のみ電源ポジションが ON 以外でも使用できます。ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯/消灯します。

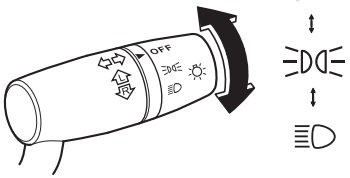


各ランプが点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯が点灯します。

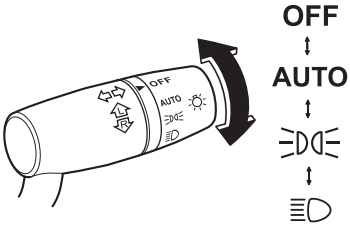
知識

- エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 対向車がまぶしくないヘッドランプを採用しています。そのため、海外のような一時的な右側通行で使用するときでも、ヘッドランプの光軸を調整する必要はありません。

標準タイプ



オートライト機能付きタイプ



スイッチ位置	電源ポジション	ランプ名称	
		ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号灯
OFF	ON、ACC、OFF	消灯	
AUTO	ON	自動で点灯/消灯	
	ACC、OFF	消灯	消灯*1/点灯*2
	ON、ACC、OFF	消灯	点灯
	ON	点灯	
	ACC、OFF	消灯	点灯*3

*1 電源ポジションが ON 以外のときに、スイッチ位置をAUTOにしても、ランプは点灯しません。

*2 ランプが点灯しているときに、電源ポジションを ON から ON 以外にしても、ランプは点灯し続けます。
運転席ドアを開く、または点灯状態が 30 秒経過すると消灯します。

*3 運転席ドアを開く、または点灯状態が 30 秒経過すると消灯します。

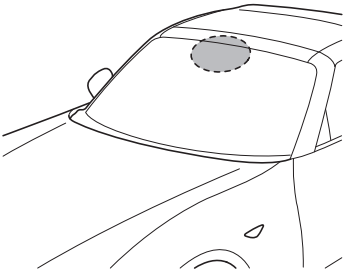
オートライト機能 (オートライト機能付きタイプ)

電源ポジションが ON のとき使用できます。
ランプスイッチを**AUTO**の位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯/消灯します。

周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯	点灯

⚠注意

禁止 **フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを感知できなくなり、オートライト機能が正常に作動しないことがあります。**



知識

- 長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなってもランプがすぐには消灯しない場合があります。
  この場合はランプスイッチを**OFF**の位置にすれば消灯します。
- 車幅灯やヘッドランプを点灯させるタイミングを変更することができます。
  →541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

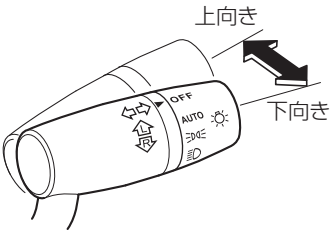
ランプ消し忘れ防止チャイム

ランプを点灯させたまま、電源ポジションを OFF にして、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

知識

ランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

ヘッドランプの切り替え

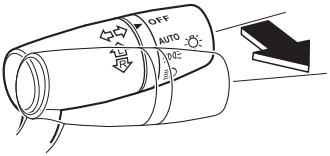


レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。



ヘッドランプが上向き (ハイビーム) で点灯しているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

パッシング合図



電源ポジションが ON のとき使用できます。ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き (ハイビーム) で点灯します。

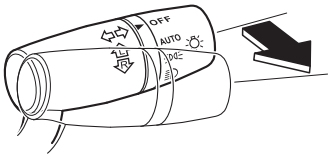


同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

カミング・ホーム・ライト

レバーを操作すると、ヘッドランプ (下向き) を点灯させるシステムです。

作動させるとき



電源ポジションが ACC または OFF のときに、レバーを引くとヘッドランプが下向き (ロービーム) で点灯します。ドアを閉めてから一定時間経過すると消灯します。

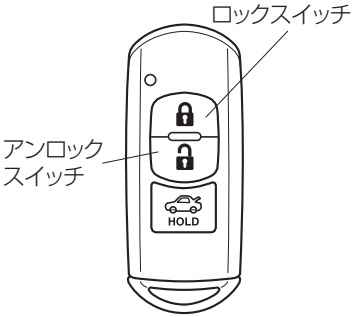
知識

- すべてのドアを閉めてからヘッドランプが消灯するまでの時間を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- レバーを引いたあと、何も操作しない状態が 3 分間続いた場合、ヘッドランプは消灯します。
- ヘッドランプが点灯中に、もう一度レバーを引くとヘッドランプは消灯します。

リービング・ホーム・ライト

車両から離れているときにキーのアンロックスイッチを押すと、ランプを点灯させるシステムです。

作動させるとき



電源ポジションおよびランプスイッチが、次の状態のときにキーのアンロックスイッチを押し、車両がキーの信号を受信するとランプが点灯します。一定時間 (30 秒) 経過すると消灯します。

- 電源ポジション: OFF
- ランプスイッチ:または

リービング・ホーム・ライトを作動させると、次のランプが点灯します。
ヘッドランプの下向き (ロービーム)、車幅灯、尾灯、番号灯

知識

- リービング・ホーム・ライトの作動/非作動を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- キーのロックスイッチを押し、車両がキーの信号を受信すると消灯します。

知識

- ランプスイッチを または 以外にすると消灯します。

ヘッドランプレベリング

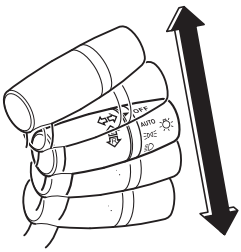
ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

方向指示器

方向指示器の操作

電源ポジションが ON のとき使用できます。

方向指示器



左折
↕
左に車線変更
↕
OFF
↕
右に車線変更
↕
右折

車線変更する場合
レバーを車線変更の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。
左折、または右折する場合
レバーを左折または右折の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、ハンドルをもどすと、自動でもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

方向指示灯



知識

- 点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 方向指示器のブザーの音量を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

スリーフラッシュターンシグナル

レバーを操作し、すぐに手を離すと方向指示灯が 3 回点滅します。

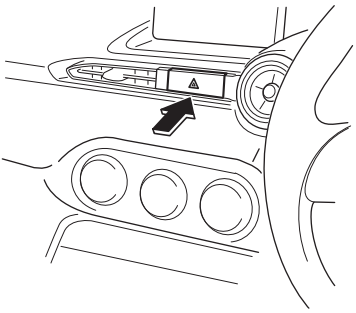
知識

スリーフラッシュターンシグナルの作動/非作動を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。

非常点滅灯スイッチ



スイッチを押すとすべての方向指示灯および、メーター内にある非常点滅表示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。

非常点滅表示灯



知識

- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。
→188 ページ「エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは」
- エマージェンシーシグナルシステム (ESS) 作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させ、後続車に注意をうながします。
→188 ページ「エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは」

ワイパー/ウォッシャースイッチ

電源ポジションが ON のとき作動します。

⚠警告

寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なう。ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。

ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。

ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

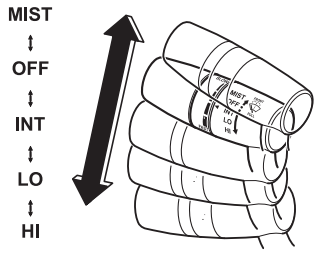
知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。マツダ販売店にご相談ください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを**OFF**の位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

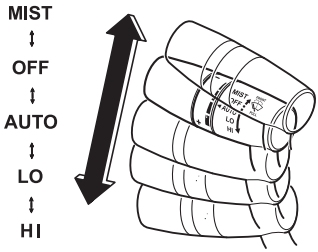
ワイパー/ウォッシャー

ワイパーの操作

標準タイプ



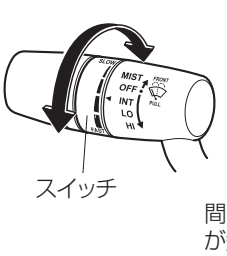
オートワイパー機能付きタイプ



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上に押し上げている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
AUTO	オートワイパー機能/間欠作動*1
LO	低速作動
HI	高速作動

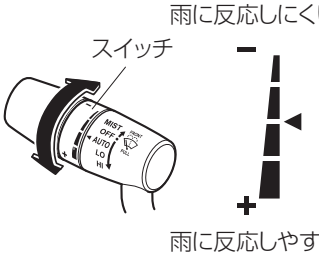
*1　設定変更でオートワイパー機能を OFF にすると、間欠作動に固定されます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

間欠作動時間の調節 (標準タイプ)



レバーを**INT**の位置にしているとき、スイッチをまわすと、間欠作動時間を調節できます。

オートワイパー機能（オートワイパー機能付きタイプ）



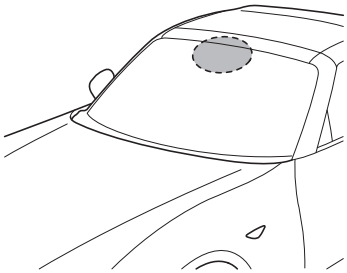
レバーをAUTOの位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動

スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

⚠注意

禁止 **フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の雨量を感知できなくなり、オートワイパー機能が正常に作動しないことがあります。**



禁止 **電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。**

- **フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。**
- **フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。**
- **フロントガラスに衝撃をあたえたとき。**
- **レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。**

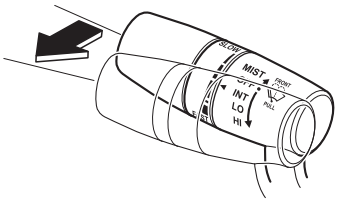
必ず守る **洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。**

スイッチの使いかた

知識

- レインセンサーの温度が-10°C 以下、または 85°C 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物 (氷や塩水などを含むもの) が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを**LO**または**HI**にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線などの影響により、ワイパーレバーが**AUTO**の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーを**OFF**の位置にして走行することをおすすめします。
- オートワイパー機能の作動/非作動を変更することができます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

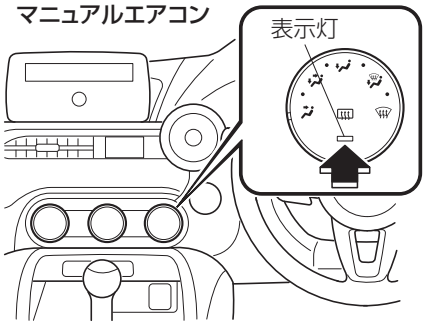
ウォッシャーの操作

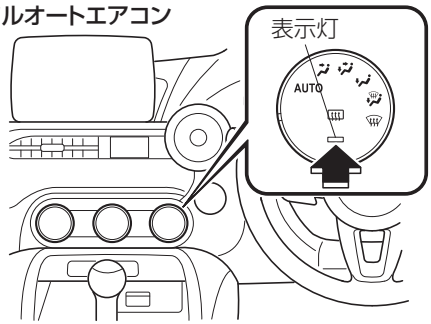


レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

リアウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ

リアウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。
電源ポジションが ON のとき使用できます。
スイッチを押すと約 15 分間作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。





⚠注意

禁止 **リアウインドーの内側には熱線が取り付けてあります。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。**
→456 ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

必ず守る **ソフトトップまたはリトラクタブルハードトップを開けるときは、リアウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチが OFF になっていることを確認してください。デフォッガーの熱でソフトトップやリトラクタブルハードトップ、内装材が損傷するおそれがあります。**

知識

- エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

ホーン

ハンドルの マーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

ABS とは

ABS (アンチロックブレーキシステム) は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

⚠ 警告

必ず守る

ABS を過信せず安全運転に心がける。
ABS が作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が長くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **ジャリ道、新雪道を走行しているとき。**
- **タイヤチェーンを装着しているとき。**
- **道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。**
- **凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。**

⚠ 注意

必ず守る

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。

ABS 装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。万一の危険な状況では、次のようにしてください。

1. 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
2. ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じることがあります。これは ABS が正常に作動しているときの現象です。
3. 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

知識

- ABS は低速 (約 10 km/h 以下) では作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後に、モーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) とは

ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) とは、坂道発進を補助する機能です。坂道停車後の発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる際の車両の後退を防ぎます。
急な坂道でブレーキペダルを放したときに自動でブレーキ力を保持します。

- **(マニュアル車)**
  チェンジレバーが R 以外のときは上り坂で作動し、R の位置のときは下り坂で作動します。
- **(オートマチック車)**
  セレクトレバーが前進の位置のときは上り坂で作動し、R の位置のときは下り坂で作動します。

⚠警告

禁止

ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) を過信しない。
ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) はあくまでも発進するときの補助機能です。システムが作動する時間は限られています (約 2 秒間) ので、アクセルやブレーキの適切な操作を怠ると、車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあるため危険です。発進時は周囲の安全を確認してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

知識

- 緩勾配の坂道ではヒル･ローンチ･アシスト (HLA) が作動しません。また、積載状態によって作動する勾配が若干変化します。
- パーキングブレーキを引いているときや、車両が完全に停車していないときはヒル･ローンチ･アシスト (HLA) は作動しません。
- ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) 作動中にブレーキペダルが硬くなったりペダルが振動することがありますが、異常ではありません。
- TCS/DSC 作動表示灯が点灯しているときは、ヒル･ローンチ･アシスト (HLA) が作動しないことがあります。
- DSC OFF スイッチを押して TCS/DSC を解除してもヒル･ローンチ･アシスト (HLA) は解除されません。
- **(オートマチック車)**
  アイドリングストップ中はヒル･ローンチ･アシスト (HLA) は作動しませんが、発進補助機能が作動して車両が動き出すことを防ぎます。

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) は緊急制動時などに車両に急減速が生じたかを判断し、方向指示灯の点滅により、後続車に注意をうながすシステムです。
エマージェンシーシグナルシステム (ESS) 作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させます。
ブレーキペダルを放すか、車両の減速度から急ブレーキではないと判断されたときにシステムは解除されます。

知識

- **点滅について**
  すべての方向指示灯が高速点滅中に停車した場合、すべての方向指示灯は通常の周期で点滅し続けます。
- **作動について**
  エマージェンシーシグナルシステム (ESS) は約 60km/h 以下のときは作動しません。
- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS とは

TCS (トラクションコントロールシステム) は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。

⚠警告

必ず守る

TCS を過信せず安全運転に心がける。
TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- エンジン回転が高いときに TCS が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCS を解除するときは、DSC OFF スイッチを押して解除してください。
→191 ページ「DSC OFF スイッチ」

TCS/DSC 作動表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

ダイナミック·スタビリティ·コントロール (DSC) について

DSC とは

DSC (ダイナミック·スタビリティ·コントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABS や TCS などにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。
DSC は約 20 km/h 以上で作動可能な状態になります。
「ABS について」、「TCS について」もあわせてお読みください。
→186 ページ「ABS とは」
→189 ページ「TCS とは」

⚠警告

必ず守る

DSC を過信せず安全運転に心がける。
DSC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。
特に DSC 作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。

⚠注意

必ず守る

DSC を正常に作動させるために次の点をお守りください。

- **前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン (溝の模様) が同一のタイヤを装着してください。**
- **摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。**
- **指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用しないでください。**

知識

- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSC が正常に作動しないことがあります。
- 電源ポジションを ON にした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

TCS/DSC 作動表示灯



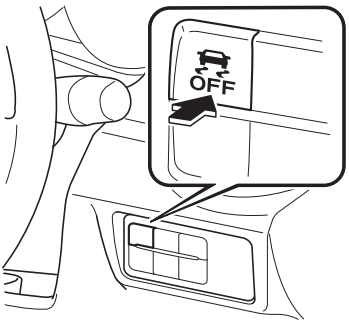
点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

DSC OFF スイッチ



スイッチを押すと TCS/DSC が停止され、メーター内の DSC OFF 表示灯が点灯します。
もう一度押すと TCS/DSC が作動可能な状態になり、DSC OFF 表示灯が消灯します。

知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時に TCS が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS/DSC を停止します。
- TCS/DSC を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると TCS/DSC は作動可能な状態にもどります。
- TCS/DSC を停止したときは、TCS/DSC が装備されていない車と同じ走行性能になります。
- DSC OFF スイッチを 10 秒以上押し続けると、その後 DSC OFF スイッチを押しても TCS/DSC を停止することができなくなります。
  その場合、一度電源ポジションを OFF にして、再度電源ポジションを ON にすると、通常の DSC OFF スイッチの操作が可能になります。

DSC OFF 表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- DSC OFF スイッチを押して、TCS/DSC を停止すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - TCS/DSC を停止していないのに点灯したとき。

i-ACTIVSENSE とは グレード/仕様別装備

i-ACTIVSENSE (アイ･アクティブセンス) とは、フォワードセンシングカメラ (FSC) やレーダーセンサーなどを利用したマツダの先進安全･運転支援システムの総称です。
各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

認知支援システム

夜間視界

アダプティブフロントライティングシステム (AFS)..... 194 ページ
ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC)..... 194 ページ

左右側面･後側方認知

車線逸脱警報システム..... 197 ページ
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM).....203 ページ

駐車場発進時後方認知

リア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA).....208 ページ

カメラ、センサーについて

フォワードセンシングカメラ (FSC)

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、車線表示の検知、および夜間走行時にはヘッドランプ、テールランプ (尾灯/制動灯など)、街灯を認識しています。フォワードセンシングカメラ (FSC) は、次のシステムが共用しています。

- ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC)
- 車線逸脱警報システム

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、フロントガラスの上のルームミラー付近に設置されています。
→212 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」 グレード/仕様別装備

レーダーセンサー (リア)

レーダーセンサー (リア) は、レーダーセンサーから送信される電波が後方からの接近車両や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。レーダーセンサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- ブラインド･スポット･モニタリング (BSM)
- リア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA)

レーダーセンサー (リア) はリアバンパーの内側に左右 1 つずつ設置されています。
→215 ページ「レーダーセンサー (リア) について」 グレード/仕様別装備

AFS (アダプティブフロントライティングシステム) について グレード/仕様別装備

AFS (アダプティブフロントライティングシステム) は、エンジン回転中、ヘッドランプが点灯しているとき、ハンドルの操作にあわせてヘッドランプの照らす方向を左右に自動で調節するシステムです。

知識

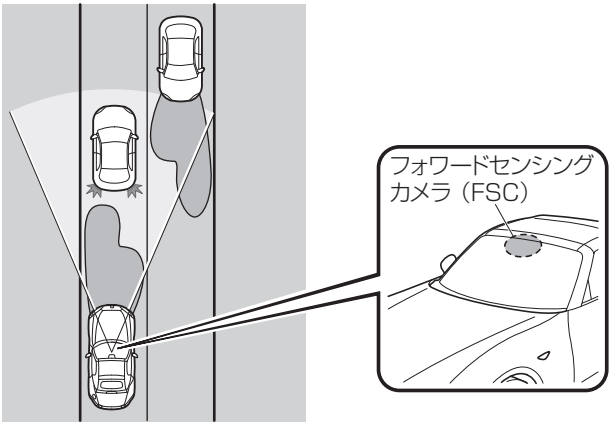
- 対向車がまぶしくないヘッドランプを採用しています。そのため、海外のような一時的に右側通行で使用するときでも、ヘッドランプの光軸を調整する必要はありません。
- AFS (アダプティブフロントライティングシステム) を作動しないようにできます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) とは グレード/仕様別装備

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) は、フォワードセンシングカメラ (FSC) を使用することにより夜間走行時に前方の状況を判断し、ヘッドランプの上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を自動的に切り替えるシステムです。
→212 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」 グレード/仕様別装備
車速約 30 km/h 以上で走行中に、前方に前方車や対向車がいないときは、ヘッドランプは上向き (ハイビーム) に切り替わります。
次のときは、ヘッドランプは下向き (ロービーム) に切り替わります。

- 前方に前方車や対向車のランプ類を検知したとき
- 街灯が並んでいるエリアや、路面の明るい街中を走行しているとき
- 車速が約 20 km/h 未満のとき

ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) が対象物を認識できる距離は､周囲の状況により異なります。



⚠注意

禁止 **サスペンションの改造､ヘッドランプユニットの改造､カメラの取りはずしを行わないでください。ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) が正常に作動しなくなるおそれがあります。**

必ず守る **システムを過信せず､常に周囲の状況に注意を払い､必要に応じて上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を手動で切り替えるなど､安全運転に心がけてください。**

知識

次のような状況では､ヘッドランプの切り替わるタイミングが変化することがあります。適切に切り替わらない場合は､視界や道路状況､交通状況に応じて､上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を手動で切り替えてください。

- 周囲に街灯､電光掲示､信号機などの光源があるとき
- 周囲に反射板や標識などの反射物があるとき
- 雨､雪､霧などで視界が悪いとき
- カーブの多い道､起伏の激しい道を走行しているとき
- 前方車や対向車のランプが暗いときや電球切れしているとき
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- 荷室に重い荷物をのせたとき
- 前方車が水をまき上げて走行するなど前方の視界状況が悪いとき

作動させるとき

電源ポジションが ON の状態でランプスイッチがAUTOの位置のときにヘッドランプを上向き (ハイビーム) にします。



周囲の明るさからハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) が夜と判断すると作動します。同時にメーター内のハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) 表示灯 (緑) が点灯します。

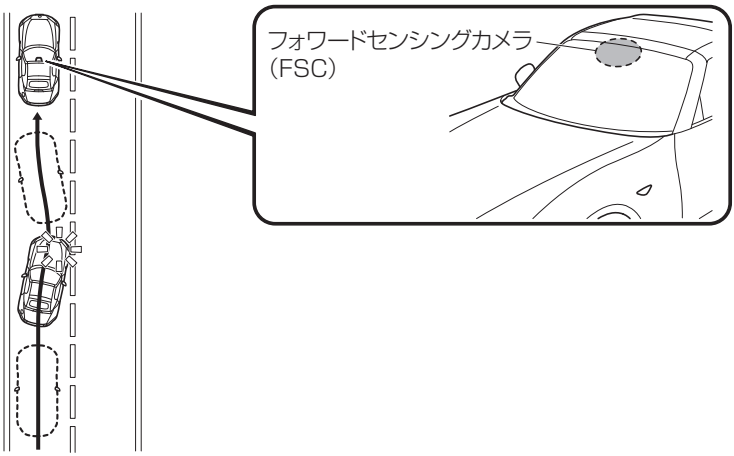
ランプスイッチをAUTOの位置以外にするか、下向き (ロービーム) またはパッシングにすると解除します。

知識

- 車速約 30 km/h 以上で走行中に、前方に前方車や対向車がいないときは、ヘッドランプは上向き (ハイビーム) に切り替わります。車速が 20 km/h 未満のときは、ヘッドランプは下向き (ロービーム) に切り替わります。
- カーブを走行しているときは、下向き (ロービーム) から上向き (ハイビーム) に切り替わらないことがあります。
- ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) を作動しないように変更できます。→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能) 」

車線逸脱警報システムとは グレード/仕様別装備

車線逸脱警報システムは自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせる装置です。走行中にフォワードセンシングカメラ (FSC) で車線の白線 (黄線) を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断した場合に、車線逸脱警報により運転者に知らせます。白線 (黄線) の整備された道路でご使用ください。
→212 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」 グレード/仕様別装備



⚠警告

禁止 **次のような状況のときは、車線逸脱警報システムを使わない。**
実際の走行状況にあわせた適切な作動ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **急カーブのある道**
- **悪天候のとき (雨、霧、雪のときなど)**

禁止 **車線逸脱警報システムを過信しない。**
車線逸脱警報システムの機能には限界があります。常にハンドルの操作で進路を修正し、安全運転に心がけてください。車線逸脱警報システムは、前方不注意を補助するものではないため、車線逸脱警報システムを過信しすぎると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止 **サスペンションの改造を行わないでください。車線逸脱警報システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。**

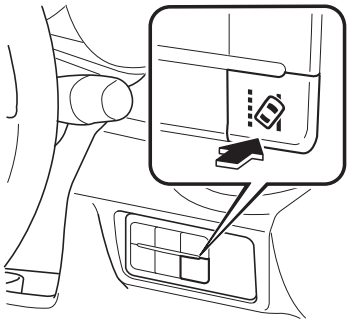
知識

- 自車が車線を逸脱したときは、車線逸脱警報 (警報音と警告表示) が作動します。適切にハンドルを操作し、車線に沿って車線の中央を走行するようにしてください。
- 車線変更などで方向指示器を操作すると、車線逸脱警報システムの警報を自動解除します。方向指示器をもどし、車線の中央付近を走行して、システムが白線 (黄線) を検知すると、車線逸脱警報システムが復帰します。
- 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作をしながら車線の白線 (黄線) へ接近したときは、運転者が車線を変更すると判断し、車線逸脱警報システムの警報を自動解除します。
- 短時間のうちに連続して車線をはみ出したときは、車線逸脱警報システムが作動しない場合があります。
- 車線の白線 (黄線) を検知していないときは、車線逸脱警報システムは作動しません。

知識

- 次のようなときは、車線の白線 (黄線) を正しく検知することができず、車線逸脱警報システムが正常に作動しない場合があります。
  - インストルメントパネルの上に置いた物が、フロントガラスに反射してカメラに写ったとき
  - 荷室などに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
  - タイヤの空気圧が指定空気圧に調整されていないとき
  - 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどの分岐路を走行するとき
  - 白線 (黄線) がかすれや汚れなどにより見えにくいとき
  - 前方車が白線 (黄線) の近くを走行して、白線 (黄線) が見えにくいとき
  - 天候 (雨、霧、雪のときなど) により、白線 (黄線) が見えにくいとき
  - 工事による車線規制や仮設の車線がある区間を走行するとき
  - 道路補修の消し残り線、影、残雪、雨のたまった轍など、白線 (黄線) と紛らわしい線が見えるとき
  - トンネルの出入り口など、周辺の明るさが急に変わるとき
  - ヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているとき
  - フロントガラスが汚れているときや曇っているとき
  - 逆光を浴びて路面が光っているとき
  - 雨あがりなどで、路面がぬれて光っているときや水たまりがあるとき
  - ガードレールなどの影が、道路上に白線 (黄線) と平行して写っているとき
  - 車線の幅が狭いときや広いとき
  - 道路がうねっているとき
  - 段差などにより車が大きく揺れたとき
  - 2 本以上の白線 (黄線) が隣接して描かれているとき
  - 交差点付近に様々な路面表示や様々な形状のレーンマーカーがあるとき

作動させるとき



車線逸脱警報システムスイッチを押します。
メーター内の車線逸脱警報システム OFF 表示灯が消灯していることを確認します。
車線逸脱警報システム OFF 表示灯が消灯するとシステムが待機状態になります。

車線逸脱警報システム OFF 表示灯が消灯した状態で車線の中央を走行します。
次の条件をすべて満たすと、システム作動状態になります。

- 左右もしくは一方に白線 (黄線) が引かれている車線の中央付近を走行しているとき
- 車速約 40 km/h 以上で走行しているとき
- 直線またはゆるやかなカーブの道路を走行しているとき

次のとき、車線逸脱警報システムは待機状態になります。

- 白線 (黄線) を検知できないとき
- 車速が 35 km/h 未満になったとき
- 急なカーブを走行したとき
- 不適切な速度でカーブを走行したとき

知識

- 左右のどちらか一方の車線の白線 (黄線) を検知するまでは、車線逸脱警報システムは待機状態のままになります。
- 左右のどちらか一方の車線の白線 (黄線) を検知した場合、検知できていない方向への逸脱は警報できません。
- 車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断する距離、警報感度 (警報しやすさ) を変更できます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能) 」

自動解除

次のようなときは、車線逸脱警報システムが自動で解除され、メーター内の車線逸脱警報システム警告灯が点灯、または警告表示が表示します。なお、車線逸脱警報システムが作動可能な状態になると自動で復帰し、車線逸脱警報システム警告灯が消灯、または警告表示が非表示になります。

- カメラ内部の温度が高温または低温になったとき
- カメラ付近のフロントガラスが曇ったとき
- カメラ付近のフロントガラスに遮蔽物があり前が見えないとき

警報の自動中止

次のような操作を行なうと、運転者の意思で車線変更しているとシステムが判断し、車線逸脱警報システムの警報が自動で中止されます。なお、操作後は、車線逸脱警報システムが自動で復帰します。

- 急なハンドル操作をしたとき
- 急なブレーキ操作をしたとき
- 急なアクセル操作をしたとき
- 方向指示器を操作したとき (方向指示器がもどった後、進路を修正するための約 3 秒程度は、車線逸脱警報システムが作動しない場合があります)

知識

方向指示器を出したまま約 60 秒経過した後、車線の白線 (黄線) に近づくと、車線逸脱警報システムが警報を行なう場合があります。

解除するとき



車線逸脱警報システムを解除するときは、車線逸脱警報システムスイッチを押します。
車線逸脱警報システム OFF 表示灯が点灯します。

知識

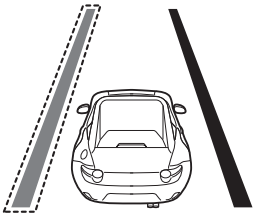
- 電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、車線逸脱警報システムが作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときは車線逸脱警報システムは作動可能な状態のままです。

車線逸脱警報

車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断すると、車線逸脱警報システム警報チャイムが鳴り、車線逸脱警報システム警告灯が点滅します。適切にハンドルを操作し、車線の中央を走行するようにしてください。

メーター (A タイプ)

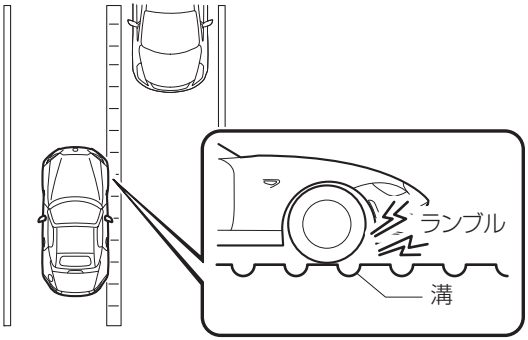
車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断した方向を、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。



知識

- 外部の騒音など状況によっては、車線逸脱警報システム警報チャイムが聞こえない場合があります。
- 車線逸脱警報システム警報チャイムの音量を変更できます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能) 」
- 車線逸脱警報システム警報チャイムの種類 (ランブル*1/ビープ) を変更できます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能) 」

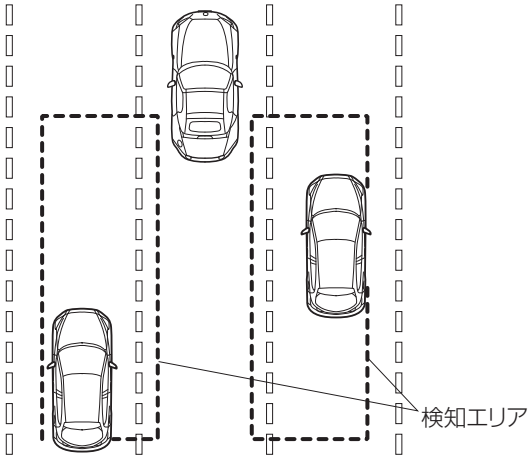
*1 道路舗装表面の一部に一定間隔で溝を配置し、車がその上を通過するときにゴトゴトという振動と音を発生させることで、車線の逸脱を運転者に知らせる注意喚起舗装路をランブルストリップスといいます。
ランブルとは、ランブルストリップスを通過するときに発生する音を疑似的に作り出した音です。



ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) とは

グレード/仕様別装備

ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) は、自車の後方から接近する車両の存在を知らせることにより、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) は、車速が約 15 km/h 以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置したブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯を点灯させます。ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅するとともに警報チャイムにより運転者に危険を知らせます。
当システムの検知エリアは、自車の左右に隣接する車線で、自車のドア後端付近から自車の後方約 50 m までです。



⚠警告

実際の車線変更時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。

必ず守る **本システムは車線変更時の後方確認を支援するシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、隣接車線に車両が存在する場合でもブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れる場合があります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。**

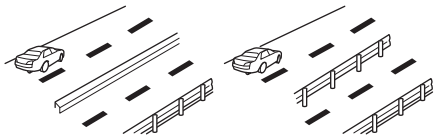
知識

- ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) は次の条件をすべて満たしているときに作動します。
  - 電源ポジションが ON のとき
  - ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) スイッチを押してメーター内のブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯が消灯しているとき
  - 車速が約 15 km/h 以上のとき
- ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) は次のときには作動しません。
  - ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯が消灯している場合でも、車速が約 10 km/h を下回ったとき
  - チェンジレバー (マニュアル車) またはセレクトレバー (オートマチック車) を R に入れて後退中のとき
- 次の場合、システムはブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯を点灯させ、システムの作動を停止します。ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯 が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
  - ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
  - レーダーセンサー (リア) の車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき
  - レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパー上に雪や氷などが多量についたとき (氷、雪や泥が付着しているときは、これらを取り除いてください。)
  - 雪道を長時間走行したとき
  - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダーセンサー (リア) 付近の温度が非常に高くなったとき
  - バッテリーの電圧が下がっているとき
- 次のような対象物は、レーダーセンサー (リア) が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
  - 隣車線後方の検知エリアにいても、自車に接近してこない車両 (接近車両はレーダーの検出データをもとにシステムが判断しています。)
  - 自車とほとんど速度差なく長い時間並走している車両
  - 対向車
  - 自車が追い越そうとしている隣接車線の車両
  - 道路幅が極端に広い場合の隣接車線の車両 (レーダーセンサー (リア) の検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。)

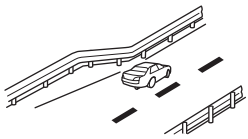
知識

- 次のような場合は、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅および警報チャイムの警告が遅れるか、点滅/警告ができないことがあります。
  - 車両が 2 つ離れた車線から隣接車線に車線変更してきたとき
  - 急勾配を走行しているとき
  - 峠を越えるとき
  - 回転半径が小さいとき (急カーブや交差点を曲がるときなど)
  - 自車線と隣接車線の高さに差があるとき
  - ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) スイッチを押してシステムを作動可能な状態にした直後
- 道路幅が極端に狭い場合は、2 車線横の車両を検知する場合があります。 (レーダーセンサー (リア) の検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。)
- 道路上および道路端の停止物 (ガードレール、トンネル、側壁、駐車車両など) に対してブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯する場合があります。

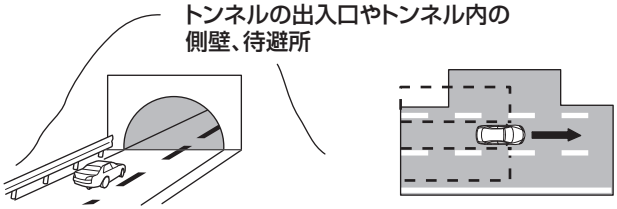
ガードレール、コンクリート壁等が並行している場合



ガードレールや側壁の幅が狭くなっているところ



トンネルの出入口やトンネル内の側壁、待避所



- 市街地の交差点を曲がるときなどに、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅、または警報チャイムが複数回鳴る場合があります。
- トレーラーなどをけん引したり、車両後部に自転車のキャリアなどを装着した場合は、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) を解除してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。
- 次のような場合は、ドアミラーに取り付けられているブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯の点灯/点滅が見えにくいことがあります。
  - ドアミラーに氷や雪が付着しているとき
  - 窓ガラスに曇、雪、汚れ、霜が付着しているとき

知識

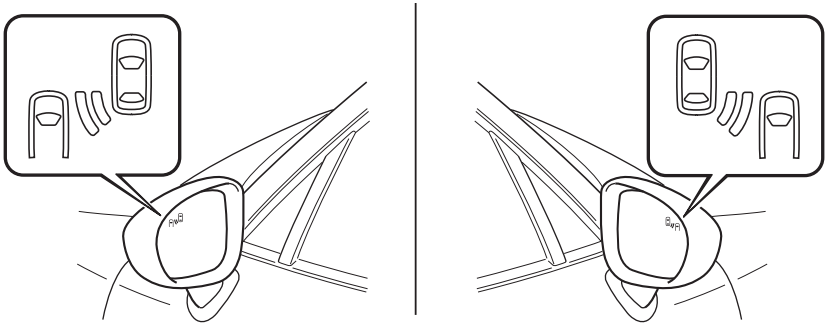
- チェンジレバー (マニュアル車) またはセレクトレバー (オートマチック車) を R の位置にすると、リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) に切り替わります。
→208 ページ「リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) とは」
グレード/仕様別装備

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯/ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警報チャイム

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) またはリア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動中は、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯や警報チャイムで、隣接車線や自車後方に車両が存在することを知らせます。

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯

ドアミラーに取り付けられています。後方からの接近車両を検知すると点灯します。
電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。



前進時 (ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 作動)

後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置したブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯します。また、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯 が点滅します。

後退時 (リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動)

自車後方の左右に接近する車両を検知して、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅します。

減光解除機能

車幅灯が点灯しているとき、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯すると、点灯したときの明るさが減光されます。

雪道や霧での走行時など、周囲が明るく減光状態ではブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯が見えにくい場合には、減光解除ボタンを押すと減光が解除されブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯したときの明るさが明るくなります。
→135 ページ「パネルライトコントロールスイッチ」

ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警報チャイム

ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅と同時に鳴ります。

知識

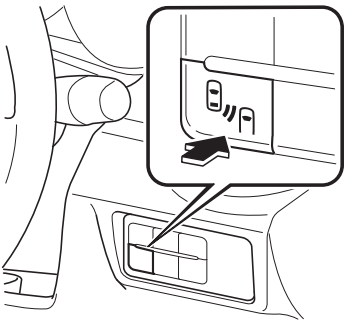
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警報チャイムの音量を変更できます。
→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能) 」

ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯



- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) スイッチを押して、ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) およびリア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA) を停止すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき
  - ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) スイッチを操作しても、点灯し続けるとき
  - 走行中に点灯したとき

ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) スイッチ



スイッチを押すとブラインド･スポット･モニタリング (BSM) およびリア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA) が停止され、メーター内のブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯が点灯します。
もう一度押すとブラインド･スポット･モニタリング (BSM) およびリア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA) が作動可能な状態になり、ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯が消灯します。

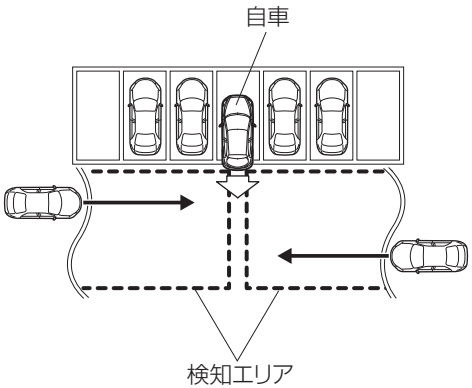
知識

- 電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) およびリア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) が作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときはブラインド・スポット・モニタリング (BSM) およびリア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) は作動可能な状態のままです。

リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) とは

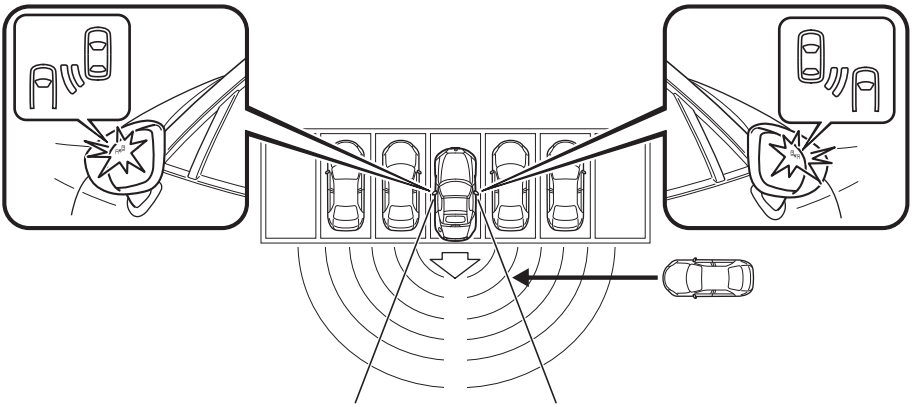
グレード/仕様別装備

リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) は、自車の後方に接近する車両の存在を知らせることにより、車両後退時の後方確認を支援するシステムです。
リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) は、駐車場などから後退するときに自車の左右に接近した車両を検知して、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅、および警報チャイムにより運転者に危険を知らせます。



リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動

1. チェンジレバー (マニュアル車) またはセレクトレバー (オートマチック車) を R の位置にすると、リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) が作動します。
2. 車両が接近し、自車と衝突の可能性がある場合、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅、同時に警報チャイムが鳴ります。



⚠警告

実際の車両後退時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。

必ず守る

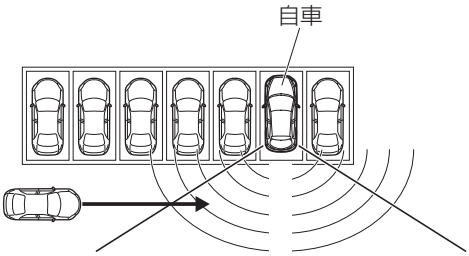
本システムは車両後退時の後方確認を支援するシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、自車後方に車両が存在する場合でもブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れる場合があります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

知識

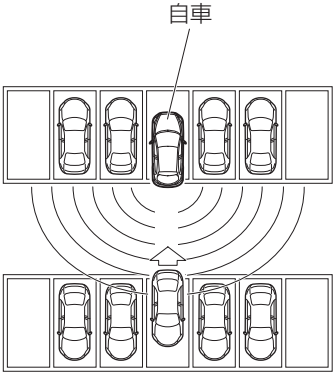
- 次の場合、システムはブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯を点灯させ、システムの作動を停止します。ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯 が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
  - ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
  - レーダーセンサー (リア) の車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき
  - レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパー上に雪や氷などが多量についたとき
  - 雪道を長時間走行したとき
  - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダー付近の温度が非常に高くなったとき
  - バッテリーの電圧が下がっているとき

知識

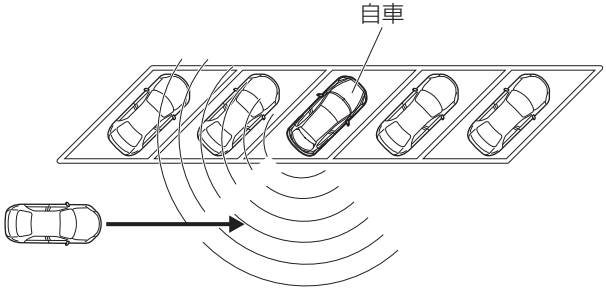
- 次の場合、レーダーセンサー (リア) が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
  - 後退時の車速が約 10 km/h 以上のとき
  - 隣接した壁や駐車車両によりレーダーセンサー (リア) の検知エリアが妨げられているとき (レーダーセンサー (リア) の検知エリアが妨げられない位置まで、自車を後退させてください。)



  - 自車の真後ろから車両が接近してきたとき



  - 車両が斜めに駐車されているとき



  - ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) スイッチを押してシステムを作動可能な状態にした直後

知識

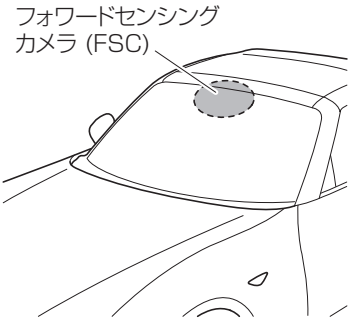
- 次のような場合は、ドアミラーに取り付けられているブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯の点灯/点滅が見えにくいことがあります。
  - ドアミラーに氷や雪が付着しているとき
  - 窓ガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着しているとき
- トレーラーなどをけん引したり、車両後部に自転車のキャリアなどを装着した場合は、リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) を解除してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。

フォワードセンシングカメラ (FSC) について グレード/仕様別装備

この車両にはフォワードセンシングカメラ (FSC) が装備されています。フォワードセンシングカメラ (FSC) は次のシステムが共用しています。

- ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)
- 車線逸脱警報システム

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、車線表示の検知、および夜間走行時に前方の状況を判断しています。フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を認識できる距離は、周囲の状況により異なります。
フォワードセンシングカメラ (FSC) はルームミラー付近に設置されています。



⚠注意

正しい作動のため、次のことをお守りください。

必ず守る

- **フォワードセンシングカメラ (FSC) を取りはずさないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) のカバーをはずさないでください。**
- **インストルメントパネルの上に光を反射するものを置かないでください。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスにアクセサリ、ステッカーやフィルムを貼らないでください。フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズの前方に妨げとなるものがあると、透明なステッカーでも誤作動の原因となります。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスは、汚れたり曇ったりしないように常に綺麗な状態にしてください。曇ったときは、エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルを の位置にしてガラスの曇りを取ってください。**
- **フロントガラスの手入れをするときは、ガラスクリーナーなどが、フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズに付着しないようにしてください。また、フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズには触れないでください。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) 前方のフロントガラス内側の清掃はマツダ販売店にご相談ください。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズを汚したり、傷をつけたりしないでください。また、分解などもしないでください。故障、誤動作の原因になります。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体周辺の修理を行なうときは、マツダ販売店にご相談ください。**
- **ルームミラー周辺の修理を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。**
- **カメラのレンズの手入れは、マツダ販売店にご相談ください。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。万一、衝撃が加わった場合は、ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)、および車線逸脱警報システムの使用を中止しマツダ販売店にご相談ください。**
- **フォワードセンシングカメラ (FSC) の向きは厳密に調整されていますので、フォワードセンシングカメラ (FSC) の取り付け位置を変更したり、取りはずしたりしないでください。故障、誤動作の原因になります。**

知識

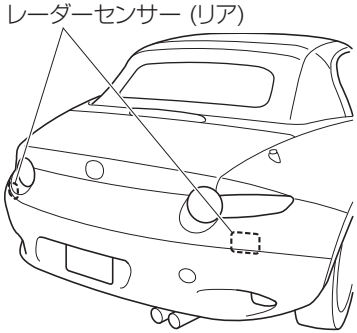
- 次のような場合は、フォワードセンシングカメラ (FSC) が正確に対象物を検知できず、各システムが正常に作動しない場合があります。
  - 前方車が車高の低い車両のとき
  - 前方車と同程度の速度で走行しているとき
  - 夜間、またはトンネル内でヘッドランプを点灯していないとき
- 次のような場合は、フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を検知できないことがあります。
  - 模様のない壁の横を走行しているとき (フェンスや縦じま模様の壁を含む)
  - 前方車のテールランプ (尾灯/制動灯など) が消灯しているとき
  - 前方車がヘッドランプの照射範囲外にいるとき
  - 急カーブ、急な上り坂、急な下り坂を走行しているとき
  - トンネルの出入り口を走行しているとき
  - 重い荷物の積載などにより車が傾いているとき
  - 前方に強い光を受けたとき (逆光やヘッドランプ上向き (ハイビーム) など)
  - 車両前方にたくさんの光を発するものがあるとき
  - 前方車にテールランプ (尾灯/制動灯など) が装備されていないとき
  - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両

レーダーセンサー (リア) について グレード/仕様別装備

この車両にはレーダーセンサー (リア) が装備されています。レーダーセンサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- ブラインド･スポット･モニタリング (BSM)
- リア･クロス･トラフィック･アラート (RCTA)

レーダーセンサー (リア) は、レーダーセンサーから送信される電波が後方からの接近車両や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。



レーダーセンサー (リア) は、リアバンパーの内側に左右 1 つずつ設置されています。
レーダーセンサー (リア) の正しい作動のため、レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパー表面は、いつもきれいにしておいてください。またステッカーなども貼り付けないでください。
→449 ページ「外装の手入れ」

⚠注意

必ず守る **リアバンパーに強い衝撃が加わったときは、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。ただちにシステムの使用を中止し、マツダ販売店で点検を受けてください。**

知識

- レーダーセンサー (リア) の検知性能には限界があります。次のような場合は検知性能が低下し、正常に作動しないことがあります。
  - レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパーが変形したとき
  - リアバンパーのレーダーセンサー (リア) 付近に氷、雪や泥が付着しているとき
  - 雨、雪、霧などの悪天候のとき
- 次のような対象物は、レーダーセンサー (リア) が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
  - 小型の二輪車、自転車、歩行者、動物、ショッピングカート、道路上および道路端の静止物体
  - レーダーが反射しにくい形状の車両 (車高の低い空荷のトレーラー、スポーツカーなど)

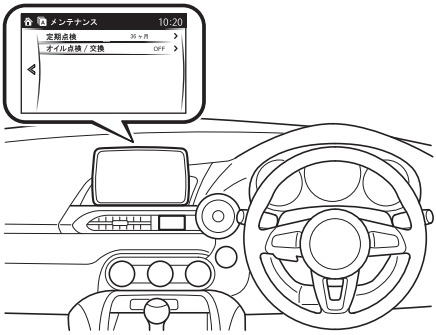
知識

- レーダーセンサー (リア) が接近車両を正しく検知するために、車両搭載状態でレーダーセンサー (リア) の向きを車両ごとに調整して出荷しています。レーダーセンサー (リア) の向きが何らかの原因でずれた場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。
- レーダーセンサー (リア) の修理、交換およびレーダーセンサー (リア) 付近のバンパー修理、塗装、交換をするときは、マツダ販売店にご相談ください。
- トレーラーなどをけん引したり、車両後部に自転車のキャリアなどを装着した場合は、システムを停止してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。
- レーダーセンサー (リア) は、日本国内の電波法の認可を受けています。日本国外で走行する際には、その国の認可を受ける必要があります。

メンテナンスモニター グレード/仕様別装備

あらかじめ設定されたメンテナンス時期になるとセンターディスプレイにお知らせを表示することができます。

（表示例）



次の項目のメンテナンス時期を設定できます。

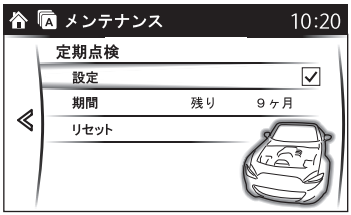
- 定期点検
- オイル点検/交換

設定方法

1. ホーム画面の アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 車両ステータスを選択します。
3. メンテナンスを選択します。
4. 設定したい項目を選択します。OFF を選択すると非表示になります。

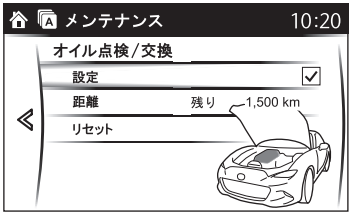
項目により設定できる内容が異なります。

定期点検のとき



定期点検選択後、設定を選択し、点検時期を好みの日数に設定します。

オイル点検/交換のとき



オイル点検/交換選択後、設定を選択し、交換距離を好みの距離に設定します。

リセット方法

メンテナンスを実施した後、リセット (再設定) をすれば、次回メンテナンス時期が近づいたときに表示させることができます。次の手順でリセットしてください。

1. ホーム画面の アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 車両ステータスを選択します。
3. メンテナンスを選択します。
4. 設定したい項目を選択し、リセットを選択します。

悪天候での運転

雨の日の運転

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。
このようなときは、吹き出し口を  に切り替えます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

⚠警告

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。
禁止 **ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。**

冠水した道路は

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

積雪、寒冷時の運転

すべりやすい路面を走行するときは

早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。
→462 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

ハンドルの切れ具合に注意

走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。
ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。
効きが悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

駐車するときは



- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- パーキングブレーキは使わず、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

⚠注意

必ず守る

運転席/助手席側ワイパーアームを立てるときは、運転席側のワイパーアームから立ててください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから手を添えながらゆっくりともどしてください。勢いよくもどすとワイパーアームやブレードが損傷したり、フロントガラスに傷や割れが生じるおそれがあります。

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車のときにもエンジンを止めましょう。10 分間のアイドリングで、130cc 程度の燃料を浪費します。

不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。
100 kg の不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。

空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。
空ぶかしは環境にも車にもよくありません。

エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。外気温 25° C の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。
タイヤの空気圧が適正値より 50 kPa (0.5 kg/cm^2) 不足した場合、市街地で 2%程度、郊外で 4%程度、それぞれ燃費が悪化します。

ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。
速度にムラのある走り方をすると、市街地で 2%程度、郊外で 6%程度燃費が悪化します。

経済的速度

一般道路で 40km/h、高速道路で 80km/h 程度の等速走行が経済的です。

アクセルペダルの上手な踏みかた

加速終了時 (オートマチック車)

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

一定速度のとき

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。
アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

JC08 モード燃費について

「JC08 モード」とは

知識

車両カタログに記載されている「JC08 モード」燃費は、お客様の使用環境変化や燃費測定技術の進歩を踏まえて、図 1 のような実際の走行に近い細かな速度変化での運転条件で、エンジン冷間時、暖機後の 2 パターンを図 2 のようなシャシーダイナモメーター上で走行した値です。
ただし、気象条件や渋滞などのお客様の使用環境、急発進、エアコンや電気負荷など実際の走行とは異なる場合があります。

図1.JC08モード走行

走行距離 8.172Km
平均速度 24.4Km/h
最高速度 81.6Km/h

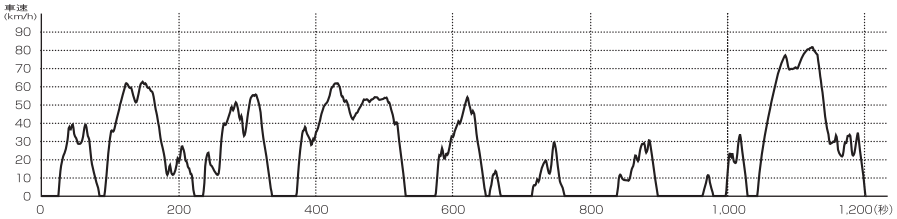
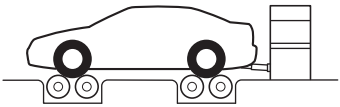


図2.シャシーダイナモメーター



3 快適装備の使いかた

空調 224

エアコンの上手な使いかた....224
吹き出し口....225
マニュアルエアコン....227
フルオートエアコン....229

オーディオ 233

オーディオをご使用の前に....233
アンテナ....240
オーディオの操作方法....240
オーディオソースの使いかた....245

マツダコネクト 264

マツダコネクトでできること....264
マツダコネクト 4 つの操作方法....266
マツダコネクトをご使用の前に....268
アンテナ....285
マツダコネクトの操作方法....286
マツダコネクトの設定....296
オーディオソースの使いかた....302
Bluetooth®をご使用の前に....361
Bluetooth®ハンズフリー....375
トラブルシューティング....396

室内装備 402

サンバイザー....402
室内照明....402
電源ソケット....404
脱着式カップホルダー....405
収納....409
エアロボード....412

エアコンの上手な使いかた

エアコンを使用する前に

外気取り入れ口について

フロントガラスとボンネットの間にある外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いておきましょう。外気が導入できないため、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。

暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒 (エアコンガス) が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。冷媒の仕様はエンジンルームに貼られたラベルに記載してあります。

エアコンを使用するときは

使用について

エアコンは、エンジンをかけた状態で使用してください。

知識

(i-stop 装備車)

- エアコンの操作により、アイドリングストップしないことや、アイドリングストップ中にエンジンが自動で再始動することがあります。
  →115 ページ「i-stop について」 グレード/仕様別装備
- アイドリングストップ中は、吹き出し風量がやや減少する場合があります。
- アイドリングストップ中は、快適な温度を保持するため、インストルメントパネル中央付近からエアコン装置 (モーターなど) の作動音が聞こえることがあります。

外気導入と内気循環について

外気導入は、換気したいときやガラスの曇りを取るときに使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用してください。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは、室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

エアコンを使用したあとは

長期間エアコンを使用しないときは

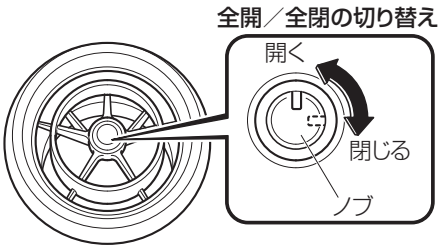
長期間エアコンを使用しないときは、内部のオイル循環のため、1 か月に 1 回程度エアコンを作動させてください。

吹き出し口

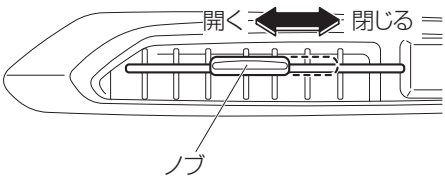
吹き出し口の調節

吹き出し口の開閉

中央（運転席側）および側面

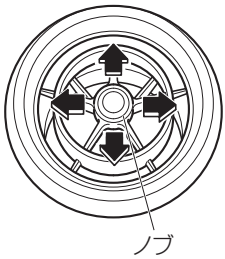


中央（助手席側）

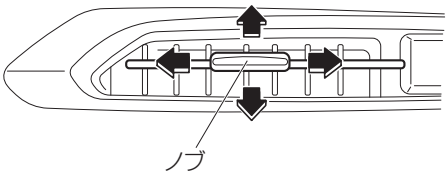


風向きの調節

中央（運転席側）および側面



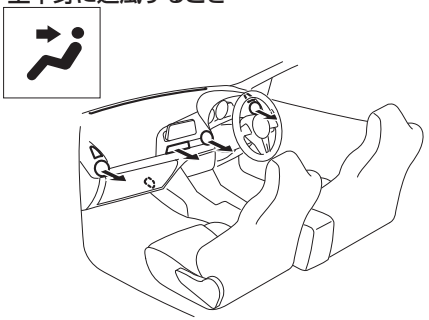
中央（助手席側）



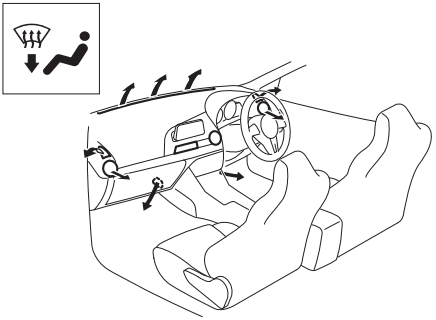
吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

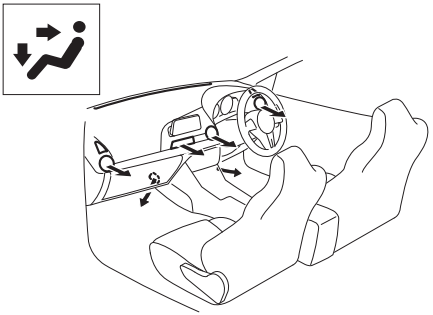
上半身に送風するとき



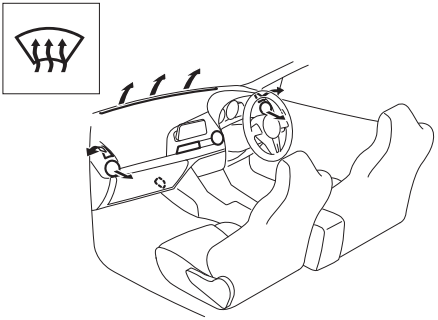
足元への送風とガラスの曇りを取るとき



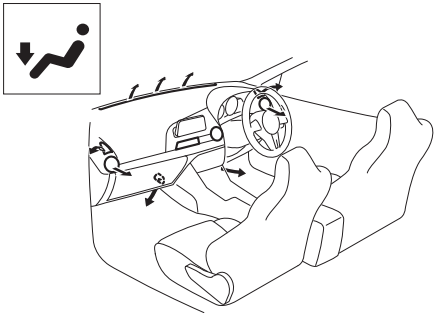
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取るとき



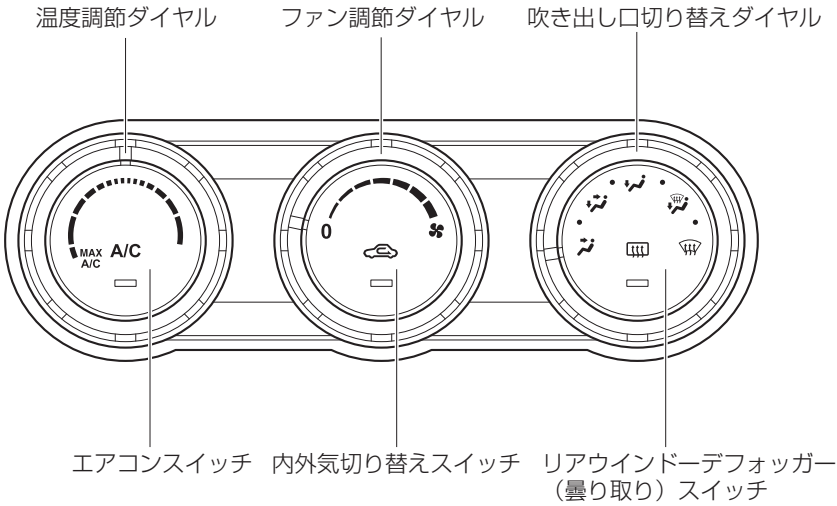
主に足元に送風するとき



知識

吹き出し口の開閉状態により、風が出る位置や風量が変化する場合があります。

マニュアルエアコン



各スイッチの使いかた

温度調節ダイヤル

ダイヤルをまわして、吹き出し風の温度を調節します。

ファン調節ダイヤル

風量を 7 段階に調節できます。

吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的にあわせて、吹き出し口を選択することができます。
→226 ページ「吹き出し口の選択」

知識

- 吹き出し口切り替えダイヤルを の位置にし、温度調節ダイヤルを中間付近で使用すると暖められた風が足元から吹き出し、比較的温度の低い風がインストルメントパネル中央および左右から吹き出します。この吹き出しは頭寒足熱を目的としています。

知識

- ダイヤルは各モードの中間位置●に固定することができます。風量を少し調節したいときは、ダイヤルを中間位置に固定してください。
  例えば、ダイヤルを  と  の間の●位置に固定すると、足元からの吹き出し風量は位置のときよりも減少します。

エアコンスイッチ

ファン調節ダイヤルが 0 以外のとき、スイッチを押すごとにエアコン (冷房・除湿機能) の作動と停止が切り替わります。
エアコンが作動しているときは、表示灯が点灯します。

知識

- 外気温が 0° C 近くまで下がると、システム保護のためエアコンが作動しない場合があります。
- 吹き出し口切り替えダイヤルがか、またはその中間の位置にあり、ファン調節ダイヤルが 0 以外で温度調節ダイヤルを MAX A/C の位置にすると、自動的に内気循環に切り替わり、エアコンが作動します。エアコンの作動を停止させたいときは、エアコンスイッチを押してください。

内外気切り替えスイッチ

内気循環 (外気を遮断する) と外気導入 (外気を室内に入れる) の切り替えができます。
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

知識

寒いときや湿度が高いときに、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

- 内気循環 (表示灯点灯)
  トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入 (表示灯消灯)
  外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ

リアウインドーの曇りを取るときに使用します。
→185 ページ「リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ」

ガラスの曇りを取るとき

吹き出し口切り替えダイヤルを  にします。
風量はお好みにあわせて調節してください。

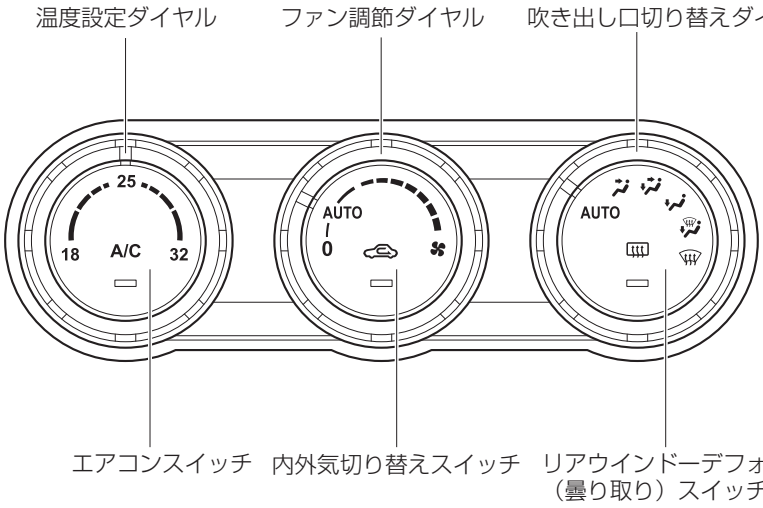
⚠警告

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。
禁止 **ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。**

知識

吹き出し口を  に設定すると自動的に外気導入に切り替わります。

フルオートエアコン



各スイッチの使いかた

温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。
ダイヤルの表示数字は、室温設定時の目安となります。

知識

ダイヤルを左側いっぱいにまわすと最大冷房、右側いっぱいにまわすと最大暖房に固定されます。

ファン調節ダイヤル

AUTO 位置のとき設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御されます。
AUTO 以外の位置にダイヤルをまわすと、吹き出し風量をお好みで調節できます。
右側いっぱいにまわすと、最大風量に固定されます。

吹き出し口切り替えダイヤル

AUTO 位置のとき、設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自動で行ないます。
AUTO 以外の位置にダイヤルをまわすと、使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。
→226 ページ「吹き出し口の選択」

エアコンスイッチ

ファン調節ダイヤルが 0 以外の位置のとき、スイッチを押すごとにエアコン (冷房・除湿機能) の作動と停止が切り替わります。
エアコンが作動しているときは、表示灯が点灯します。

知識

外気温が 0° C 近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しない場合があります。

内外気切り替えスイッチ

内気循環 (外気を遮断する) と外気導入 (外気を室内に入れる) の切り替えができます。
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

- 内気循環 (表示灯点灯)
  トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入 (表示灯消灯)
  外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ

リアウインドーの曇りを取りたいときに使用します。
→185 ページ「リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ」

通常の使いかた

1. 吹き出し口切り替えダイヤルを AUTO の位置にします。
2. 内外気切り替えスイッチを外気導入 (表示灯消灯) にします。

知識

寒いときや湿度が高いときに、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

3. ファン調節ダイヤルを AUTO の位置にします。
4. エアコンスイッチを押してエアコンを作動 (表示灯点灯) させます。
5. 温度設定ダイヤルをまわして希望の温度に調節します。

知識

- 設定温度を極端に低く (高く) しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

6. 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを 0 の位置にします。

ガラスの曇りを取るとき

ファン調節ダイヤルが 0 以外の位置のときに、吹き出し口切り替えダイヤルを にします。
自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、窓ガラスに送風されます。

警告

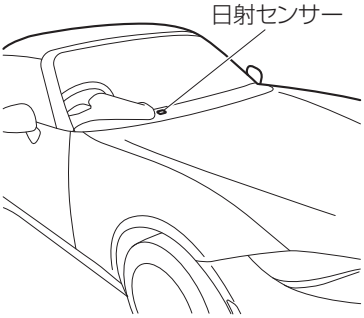
ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。
ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。
禁止

知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

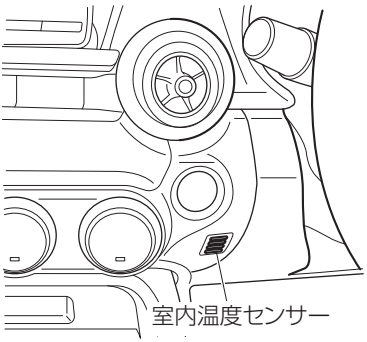
- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

日射センサーについて



日射センサーの上に物を置かないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

室内温度センサーについて



室内温度センサーをふさがないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

オーディオをご使用の前に

⚠警告

オーディオは、車を止めてから操作する。
走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

知識

- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ (雑音) が発生することがありますが故障ではありません。

ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。
→245 ページ「ラジオを聞く」

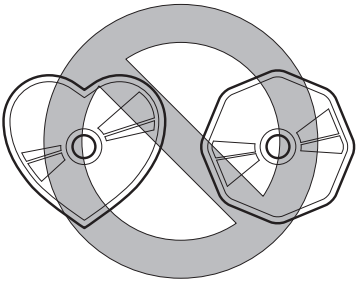
CD について

- イラストで示すマークがついている CD のみ使用できます。



- コピーコントロール CD (著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽 CD) の中で、CD の規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- 本機内部のレンズの汚れなどにより、CD が正しく作動しなくなることがあります。
- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- CD 信号面に直接手で触れると、CD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CD の端と中心の穴をはさんで持ってください。
- CD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- CD の汚れを取るときは、やわらかい布で CD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- 文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- 変形したり、ひびが入ったりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルからのりがはみ出したものや、ラベルをはがしたあとがある CD は、使用しないでください。また、市販の CD-R ラベルを貼り付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- CD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- CD-R/CD-RW は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理 (通常の CD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない CD-R/CD-RW は再生できません。
- 700MB を超える CD-R/CD-RW の再生はできません。
- 音楽用 CD レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW は、ディスクの特性、キズ·汚れなどにより、本機では再生できない場合があります。

- パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- CD-R/CD-RW に記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ (CD-DA) 再生時に表示できない場合があります。
- CD-RW は、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。
- CD-R/CD-RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

→247 ページ「CD を再生する」 グレード/仕様別装備

USB オーディオ機器について

USB メモリ、USB オーディオ機器に記録して再生可能なデータは次の通りです。
MP3、AAC (M4A) *1、WMA
→236 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」

*1 本機は、拡張子 (.m4a) にのみ対応しています

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

知識

- データ規格の詳細については「再生可能なオーディオファイルについて」を参照ください。
  →236 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」
- FAT32 でフォーマットされた USB メモリに対応しています。
  (NTFS フォーマットなどでフォーマットされた USB メモリには対応していません)。
- USB メモリは 16GB を超えると動作が不安定になる事があります。
  (推奨容量：16GB 以下推奨格納音楽ファイル数：1,000 ファイル以内)
- 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。
  USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。
- 本機は著作権保護された WMA/AAC ファイルを再生できません。
- 機器に保存された曲順と再生順序が違うことがあります。
- 機器が 1,000mA 以上の電力を使用する場合は、作動しなかったり、充電できない場合があります。

知識

- USB オーディオ再生中に USB オーディオ機器を取り外さないでください。(ラジオや CD などの、別のオーディオモード中に取り外すことができます)。
- パスワードで保護されたデータは、再生することができません。
- 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- USB オーディオ機器が再生に対応していない音楽データは、本機で再生できない場合があります。

記載している規格以外で書き込まれた MP3/WMA/AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
→253 ページ「USB オーディオ機器の音楽を聞く」

再生可能なオーディオファイルについて

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	CD	USB
MP3		32 ～ 160kbps	32 ～ 48kHz	○	○
WMA	WMA Std	32 ～ 160kbps	32 ～ 48kHz	○	○
M4A	AAC	64 ～ 256kbps	32 ～ 48kHz	○	○

○: 可能
—: 不可能

MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。
MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。
本機は、拡張子 (.mp3) がついているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

⚠注意

必ず守る
オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

フランス、トムソン社からの MP3 特許ライセンスについて
本機は、個人の使用、または非商用的な使用を目的としています。次のような、商用目的には使用できません。ご使用には、別途、トムソン社からの商用使用許諾が必要です。詳しくは http://mp3licensing.com をご覧ください。

- 有料リアルタイム放送 (地上波、衛星、ケーブル、その他の放送媒体)
- インターネットによる放送、またはストリーミング
- イントラネット/ネットワーク
- 有料オーディオ・アプリケーションやオーディオ・オンデマンド・アプリケーションなどの電子情報配信システム

- MP3 ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからメディアに書き込んでください。
- 表示される文字数には制限があります。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成･保存することができます。
本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。
※Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

- 記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからメディアに書き込んでください。

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成･保存することができます。
本機は、拡張子 (.m4a) がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

- 記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.m4a」を追記してからメディアに書き込んでください。

iPod について

本機は、音楽ファイルが記録された iPod の再生に対応しています。
iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

⚠注意

必ず守る **iPod を使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。**

必ず守る **iPod のバッテリーが劣化している場合、本機に接続しても充電や再生ができない場合があります。**

必ず守る **ご使用前に、iPod の取扱書をよくお読みください。**

必ず守る **iPod は、USB 端子に接続して、操作をオーディオユニットで行います。iPod 本体での操作はできません。**

知識

- 本機は、iPod の画像やビデオを表示することはできません。
- 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

→260 ページ「iPod モードの使いかた」

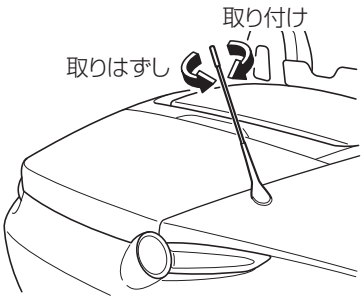
商標について

本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

- AUDIOPILOT™、Centerpoint®は Bose コーポレーションの登録商標です。
- Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- iPhone、iPod は Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

アンテナ

脱着タイプ



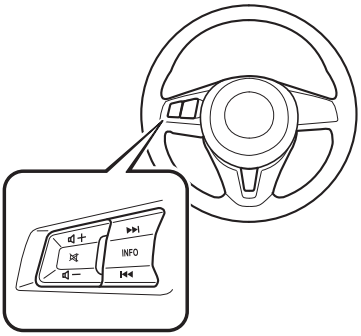
取りはずすときは、左にまわします。取り付けるときは右にまわし、しっかりと締めます。

⚠注意

必ず守る **天井の低い車庫に入れるときや洗車するときは、アンテナを取りはずしてください。取り付けているとアンテナが損傷するおそれがあります。**

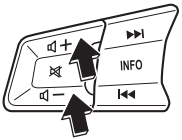
オーディオの操作方法

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作 グレード/仕様別装備



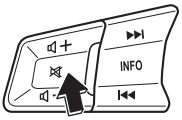
ハンドルの左側にあります。
オーディオの電源が入っているときに、手元でオーディオの操作をすることができます。

音量を調節するとき



＋、－ボタンを操作して、音量を調節します。

消音にするとき

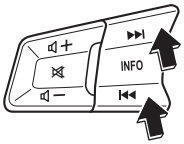


🔇ボタンを押すと、消音できます。もう一度ボタンを押すともとにもどります。

知識

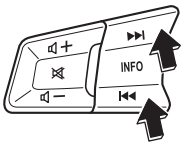
消音にしたあと電源ポジションを OFF にすると、消音は解除されます。その後エンジンをかけると、消音にする前の状態にもどります。音を消したいときは、🔇ボタンを押してください。

選局するとき



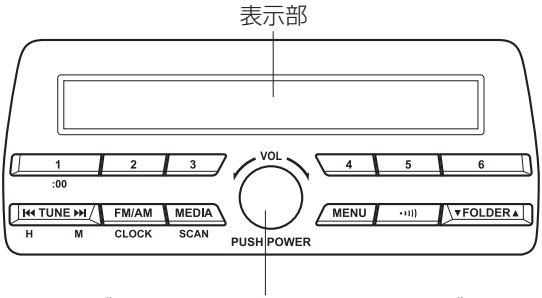
ラジオを聞いているときに⏮、⏭ボタンを押すと、1～6 のボタンにあらかじめ記憶させておいた放送局を呼び出すことができます。ボタンを押すごとに順次記憶された放送局に切り替わります。
また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。

頭出しをするとき



CD、USB オーディオを聞いているときに⏮、⏭ボタンを操作すると、曲の頭出しをすることができます。
次の曲の頭に進めたいときは⏭ボタンを押し、今聞いている曲の頭にもどしたいときは⏮ボタンを押します。

音量/音質の調節



音量調節

音量調節ダイヤルをまわして調節します。
右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。

音質調節

1. **MENU**ボタンを押して調節したいモードを選びます。
   ボタンを押すごとにモードが切り替わります。
2. オーディオコントロールダイヤルをまわして調節します。

モード	ダイヤルをまわす方向	
	左	右
ALC (自動音量調節)	音量変化小	音量変化大
BASS (低音調節)	低音弱	低音強
TREB (高音調節)	高音弱	高音強
FADE (前後音量調節)	—	フロントスピーカーの音量小
BAL (左右音量調節)	音量バランスを左側に移動	音量バランスを右側に移動

モード	ダイヤルをまわす方向	
	左	右
BEEP (操作音設定)	OFF	ON
12Hr < > 24Hr (時間表示設定)	時計を 12Hr 表示 (点滅)	時計を 24Hr 表示 (点滅)

ALC (自動音量調節)

オートマチックレベルコントロール (ALC) は、車速に応じて自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。
ALC OFF、ALC LEVEL1～7 モードがあり、ALC LEVEL7 にすると変化量が最大になります。状況に応じてモードを選択してください。

BEEP (操作音設定)

ボタンの長押し操作による、オーディオ操作音の設定をすることができます。
初期設定では ON になっています。OFF にすると操作音はしなくなります。

12Hr < > 24Hr (時間表示設定)

オーディオコントロールダイヤルをまわして、12/24 時間の表示を切り替えることができます。
→244 ページ「時計の調節」

知識

- 音量/音質調節値は、表示部に表示されます。
- **MENU**ボタンを押してしばらくすると、音質調節前の表示にもどります。ピッと音がするまで押し続けると低音、高音、前後、左右の調節値が中央値 (初期値) にもどり、表示部に“CLEAR” が表示されます。

時計の調節

時刻のあわせかた

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. **FM/AM**ボタンをピッと音がするまで押します。
   時刻が点滅表示されます。
   - 時間調節
     時刻が点滅中に、|◀◀、▶▶|ボタンを押して時刻をあわせます。
     左 (|◀◀) 側を押している間“時”表示が早送りされます。
     右 (▶▶|) 側を押している間“分”表示が早送りされます。
3. 調節後、**FM/AM**ボタンを押します。

時報にあわせるとき

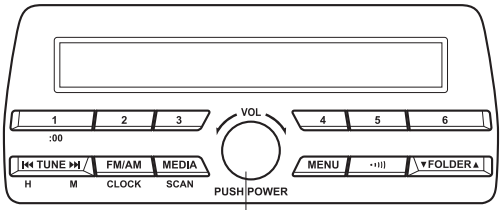
1. **FM/AM**ボタンをピッと音がするまで押します。
   時刻が点滅表示されます。
2. 時報にあわせて 1 ボタンを押します。時刻は次のように修正されます。
   (例)
   12:01～12:29→12:00
   12:30～12:59→1:00

知識

- 時刻をあわせたあと、1 ボタンを再度押した時点で“秒”は“00”からスタートします。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは時計がリセットされます。もう一度設定してください。

オーディオソースの使いかた

ラジオを聞く



電源スイッチ

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. **FM/AM**ボタンを押し、聞きたいバンドを選択します。
3. 選局します。
   - **自動選局**
     ⏮、⏭ボタンをピッと音がするまで押し続けると、自動選局を始め、放送を受信すると止まります。
   - **手動選局**
     ⏮、⏭ボタンを押して選局します。
4. 音量/音質を調節します。
5. ラジオを止めるときは、電源スイッチを押します。

知識

受信する電波が弱いときは、手動選局をしてください。

放送局を記憶するとき

1～6 のボタンを使って、選局した周波数を記憶させておくと便利です。
AM、FM1、FM2 それぞれ 6 局まで記憶できます。

1. 記憶させたい放送局を選びます。
2. 1～6 いずれか 1 つのボタンをピッと音がするまで押します。
   記憶させたチャンネル番号と周波数が 1 回点滅します。
3. 呼び出すときは、1～6 いずれかのボタンを押します。

知識

呼び出すときに、ボタンをピッと音がするまで押すと、そのとき受信している周波数が記憶されます。

聞きたい局を探すとき

MEDIAボタンを使って、受信可能な放送局を探すことができます。

1. **MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けると、周波数の低い方から高い方へ 5 秒間ずつ受信していきます。
2. 聞きたい局が受信されたらもう一度**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その周波数を受信し続けます。

交通情報の受信

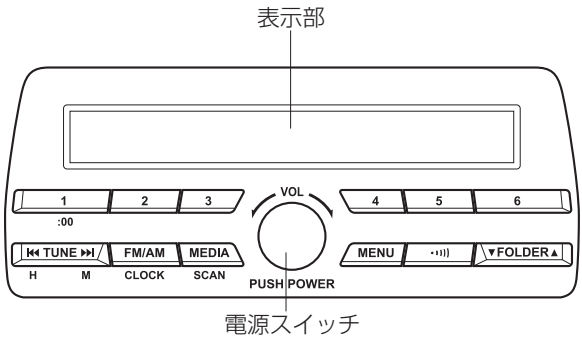
交通情報を放送している地域では、•ıı))ボタンを押すと交通情報を受信できます。

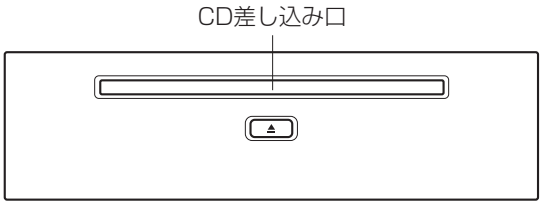
1. •ıı))ボタンを押すと、AM1620kHz、または AM1629kHz を受信します。
2. もう一度押すともとの状態にもどります。
3. 受信中、ボタンをピッと音がするまで押すごとに、AM1620kHz と AM1629kHz を切り替えることができます。

知識

•ıı))ボタンで受信中は、1～6 のボタンを押しても記憶された放送局は選局されません。

CD を再生する グレード/仕様別装備





タイプ	再生できるデータ
音楽/MP3/WMA/AAC CD プレーヤー	● 音楽データ (CD-DA) ● MP3/WMA/AAC ファイル

知識

一枚のディスクに音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC ファイルが混在しているときは、ディスクに記録する方法によって再生される内容が異なります。

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. CD のラベル面を上にして、CD 差し込み口に軽く押し込みます。CD が自動的に送り込まれ、再生を始めます。
   CD が入っているときは、**MEDIA**ボタンを押して CD モードに切り替えると再生を始めます。
3. 音量/音質を調節します。
4. 再生を止めるときは電源スイッチを押します (もう一度押すと再生できます)。

知識

- 12cmCD サイズ専用です。8cmCD (シングル) サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmCD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- CD が入っていないときは、CD モードに切り替えることはできません。
- **(MP3/WMA/AAC CD)**
  再生はフォルダ番号の順に行なわれます。MP3/WMA/AAC ファイルがないフォルダはスキップされます。

一時停止

一時停止するときは 4 ボタンを押します。
もう一度押すと再生できます。

CD を取り出すとき

1. ⏏ボタンを押します。
2. CD の端を持って取り出します。

聞きたいフォルダを選択するとき (MP3/WMA/AAC CD 再生中)

今聞いているフォルダの前のフォルダを選択するときは▼ボタン、次のフォルダを選択するときは▲ボタンを押します。

早送り/早もどしをするとき

1. 早送りするときは⏭ボタン、早もどしするときは⏮ボタンを押し続けます。
2. ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

知識

(MP3/WMA/AAC CD)
VBR (可変ビットレート) を利用して録音されたファイルを再生しているときは、早送り/早もどしをするときに再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

曲の頭出しをするとき

今聞いている曲の頭にもどしたいときは⏮ボタンを押します。
次の曲の頭に進めたいときは⏭ボタンを押します。

同じ曲をくり返して聞くとき

音楽 CD 再生中

1. 再生中に 1 ボタンを押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に “TRACK RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に ♫ が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

MP3/WMA/AAC CD 再生中

(今聞いている曲をくり返し聞くとき)

1. 再生中に 1 ボタンを押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に “TRACK RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に ♫ が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとに、もう一度押すと解除されます。

(今聞いているフォルダ内をくり返し聞くとき)

1. 再生中に 1 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すとそのフォルダ内の曲をくり返して再生します。表示部に “FOLDER RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に 📁 が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

ランダム選曲をするとき

CD 内の曲をランダムに選曲し、再生することができます。

音楽 CD 再生中

1. 再生中に 2 ボタンを押すと、CD 内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “DISC RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に 💿 が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

MP3/WMA/AAC CD 再生中

(フォルダ内の曲をランダムに聞くとき)

1. 再生中に 2 ボタンを押すと、フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “FOLDER RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に 📁 が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとに、もう一度押すと解除されます。

(CD 内の曲をランダムに聞くとき)

1. 再生中に 2 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すと CD 内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “DISC RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に 💿 が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

聞きたい曲を探すとき

音楽 CD 再生中

CD 内の曲を 10 秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

MP3/WMA/AAC CD 再生中

再生中のフォルダ内の曲を 10 秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

1. 再生中に**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の曲の頭から順に 10 秒間ずつ再生されます。
2. 聞きたい曲が再生されているときに、もう一度**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その曲の再生がそのまま続きます。

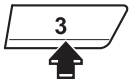
知識

すべての曲の再生が終わると自動的に解除され、通常の再生にもどります。

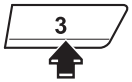
表示を切り替えるとき

再生中、3 ボタンを押すごとに、表示部に表示される情報を、次のように切り替えることができます。

音楽 CD 再生中

ボタン	表示部に表示される情報
	トラックナンバー/再生時間
	トラックナンバー
	トラック名
	アルバム名
	アーティスト名

MP3/WMA/AAC CD 再生中

ボタン	表示部に表示される情報
	ファイルナンバー/再生時間
	フォルダナンバー/ファイルナンバー
	ファイル名
	フォルダ名
	アルバム名
	曲名
	アーティスト名

知識

- 表示できる情報が CD に記録されている場合のみ、表示部に情報が表示されます。
- 本機の表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字が記録されている場合は、その文字を“＊”に置き換えて表示します。

隠れているタイトルを表示する

表示部に一度に表示できる文字数は 13 文字までです。タイトルが長く、最後まで表示されていないときは 3 ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の 13 文字を表示します。最後の文字を表示しているときに 3 ボタンをピッと音がするまで押し続けると、タイトルの最初の 13 文字を表示します。

知識

表示される文字数には制限があります。

メッセージがでたときは

“CHECK CD” のメッセージが表示されたときは、CD に何らかの異常があります。CD にキズや汚れがないか、または記録されている内容に MP3/WMA/AAC ファイルがあるか確認して正しく入れ直してください。
再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

USB オーディオ機器の音楽を聞く

市販の USB メモリー、音楽プレイヤー、スマートフォンを本機の USB 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

⚠警告

USB 端子に接続したコードが、パーキングブレーキレバーやセレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車)に絡まないようにする。

運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

プラグを接続した状態で、USB 端子の上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。

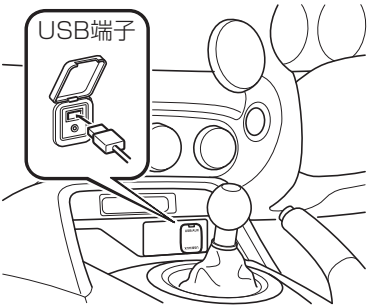
接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。

知識

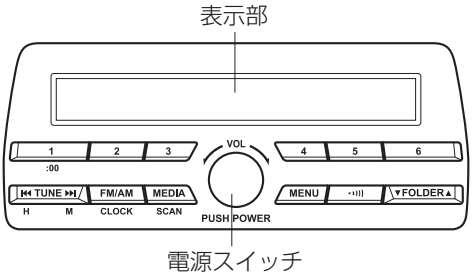
- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ご使用前に、USB オーディオ機器の取扱説明書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、USB オーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。
プラグの抜き差しは、USB 端子の穴に対して垂直に行なってください。



USB モードの使いかた



タイプ	再生できるデータ
USB モード	MP3/WMA/AAC ファイル

USB3.0 の機器には対応していません。また、その他の機器も、機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. オーディオユニットの電源スイッチを ON にします。
3. オーディオユニットの**MEDIA**ボタンを操作して USB モードに切り替えると再生を開始します。
4. 再生を止めるときは電源スイッチを押します。（もう一度押すと再生できます。）

知識

- スマートフォンなどの一部の機器は、USB 接続による操作ができるように設定を変更してください。
- USB 機器が接続されていないときは、USB モードには切り替わりません。
- USB 機器に再生可能なデータが無いときは“NO CONTENTS”の文字が点滅します。
- 再生はフォルダ番号の順に行なわれます。MP3/WMA/AAC ファイルがないフォルダはスキップされます。
- USB モード中に USB 機器を取りはずさないでください。データが破損するおそれがあります。

一時停止

一時停止するときは、4 ボタンを押します。
もう一度押すと再生できます。

聞きたいフォルダを選択するとき

今聞いているフォルダの前のフォルダを選択するときは▼ボタン、次のフォルダを選択するときは▲ボタンを押します。

早送り/早もどしをするとき

1. 早送りするときは▶▶|ボタン、早もどしするときは|◀◀ボタンを押し続けます。
2. ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

曲の頭出しをするとき

今聞いている曲の頭にもどしたいときは|◀◀ボタンを押します。
次の曲の頭に進めたいときは▶▶|ボタンを押します。

同じ曲をくり返して聞くとき

今聞いている曲をくり返し聞くとき

1. 再生中に 1 ボタンを押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に “TRACK RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に ♫ が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとにもう一度押すと解除されます。

今聞いているフォルダ内をくり返し聞くとき

1. 再生中に 1 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すとそのフォルダ内の曲をくり返して再生します。表示部に “FOLDER RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

ランダム選曲をするとき

USB 機器内の曲をランダムに選曲し、再生することができます。

フォルダ内の曲をランダムに聞くとき

1. 再生中に 2 ボタンを押すと、フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “FOLDER RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとにもう一度押すと解除されます。

USB 機器内の曲をランダムに聞くとき

1. 再生中に 2 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すと USB 機器内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “ALL RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

聞きたい曲を探すとき

再生中のフォルダ内の曲を 10 秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

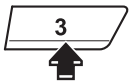
1. 再生中に**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の曲の頭から順に 10 秒間ずつ再生されます。
2. 聞きたい曲が再生されているときにもう一度**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その曲の再生がそのまま続きます。

知識

全ての曲の再生が終わると自動的に解除され、通常の再生にもどります。

表示を切り替えるとき

再生中、3 ボタンを押すごとに、表示部に表示される情報を、次のように切り替えることができます。

ボタン	表示部に表示される情報
	ファイルナンバー/再生時間
	フォルダナンバー/ファイルナンバー
	ファイル名
	フォルダ名
	アルバム名
	曲名
	アーティスト名

知識

- 表示できる情報が USB 機器に記録されている場合のみ、表示部に情報が表示されます。
- 本機の表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字が記録されている場合は、その文字を“＊”に置き換えて表示します。

隠れているタイトルを表示する

表示部に一度に表示できる文字数は、13 文字までです。タイトルが長く、最後まで表示されていないときは、3 ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の 13 文字を表示します。最後の文字を表示しているときに 3 ボタンをピッと音がするまで押し続けると、タイトルの最初の 13 文字を表示します。

知識

表示される文字数には制限があります。

メッセージがでたときは

“CHECK USB” のメッセージが表示されたときは、USB 機器に何らかの異常があります。USB 機器に記録されている内容に MP3/WMA/AAC ファイルがあるか確認して、正しく接続し直してください。
再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

AUX の使いかた

市販のポータブルオーディオを本機の AUX 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

⚠警告

AUX 端子に接続したコードが、パーキングブレーキレバーやセレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車)に絡まないようにする。

運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

プラグを接続した状態で、AUX 端子の上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。

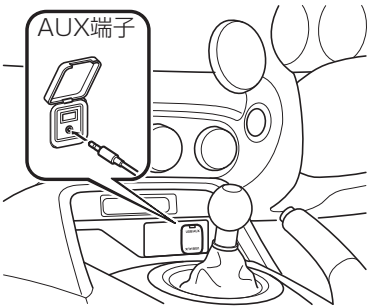
接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。

知識

- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- ポータブルオーディオを AUX 端子に接続するための接続コードは、市販の抵抗なしのステレオミニプラグ (3.5φ) を使用してください。ご使用前に接続コードの取扱書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、ポータブルオーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグは AUX 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

プラグの抜き差しは、AUX 端子の穴に対して垂直に行なってください。



AUX モードの使いかた

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. オーディオユニットの電源スイッチを ON にします。

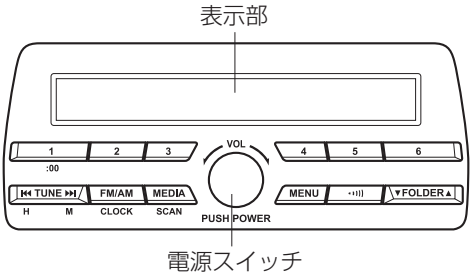


3. オーディオユニットの**MEDIA**ボタンを操作して AUX モードに切り替えます。

知識

- 機器が AUX 端子に接続されていないときは、AUX モードには切り替わりません。
- 音量調節は、ポータブルオーディオ本体およびオーディオユニットで行います。
- 音量調節以外の操作は、ポータブルオーディオ本体で行います。オーディオユニットでは操作できません。
- AUX モード中に AUX 端子からコードを抜いたり、接続している機器側のプラグを抜くとノイズが発生することがあります。

iPod モードの使いかた



機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. オーディオユニットの電源スイッチを ON にします。
3. オーディオユニットの**MEDIA**ボタンを操作して、iPod モードに切り替えると再生を開始します。
4. 再生を止めるときは、電源スイッチを押します (もう一度押すと再生できます)。

知識

- iPod が接続されていないときは、iPod モードには切り替わりません。
- iPod に再生可能なデータが無いときは“NO CONTENTS”が点滅します。
- iPod モード中に iPod を取りはずさないでください。データが破損するおそれがあります。

一時停止

一時停止するときは、4 ボタンを押します。
もう一度押すと再生できます。

カテゴリー切り替え

今聞いているカテゴリーの前のカテゴリーを選択するときは 5 ボタン、次のカテゴリーを選択するときは 6 ボタンを押します。

知識

カテゴリーはプレイリスト、アーティスト、アルバム、ソング、Podcast、ジャンル、コンポーザー、オーディオブックがあります。

聞きたいリストを選択するとき

今聞いているリストの前のリストを選択するときは▼ボタン、次のリストを選択するときは▲ボタンを押します。

知識

選択しているカテゴリーがソング、またはオーディオブックのときは、リストはありません。

早送り/早もどしをするとき

1. 早送りするときは▶▶|ボタン、早もどしするときは|◀◀ボタンを押し続けます。
2. ボタンから手をはなすと、その位置から再生を始めます。

曲の頭出しをするとき

今聞いている曲の頭にもどしたいときは|◀◀ボタンを押します。
次の曲の頭に進めたいときは▶▶|ボタンを押します。

同じ曲をくり返して聞くとき

1. 再生中に 1 ボタンを押すと、その曲をくり返して再生します。表示部に “TRACK RPT” が表示されます (表示部下側の RPT 横に ♫ が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

ランダム選曲をするとき

iPod 内の曲をランダムに選曲し、再生することができます。

リスト内の曲をランダムに聞くとき

1. 再生中に 2 ボタンを押すと、リスト内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “SONG RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に ⟳ が表示されます)。
2. 3 秒以上経過したあとに、もう一度押すと解除されます。

iPod 内の曲をランダムに聞くとき

1. 再生中に 2 ボタンを押し、3 秒以内にもう一度押すと iPod 内の曲をランダムな順序で再生します。表示部に “ALBUM RDM” が表示されます (表示部下側の RDM 横に 🗀 が表示されます)。
2. もう一度押すと解除されます。

聞きたい曲を探すとき

再生中のリスト内の曲を 10 秒間ずつ再生し、聞きたい曲を探すことができます。

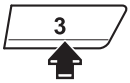
1. 再生中に**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の曲の頭から順に 10 秒間ずつ再生されます。
2. 聞きたい曲が再生されているときにもう一度**MEDIA**ボタンをピッと音がするまで押し続けます。その曲の再生がそのまま続きます。

知識

全ての曲の再生が終わると、自動的に解除され、通常の再生にもどります。

表示を切り替えるとき

再生中、3 ボタンを押すごとに、表示部に表示される情報を、次のように切り替えることができます。

ボタン	表示部に表示される情報
	ファイルナンバー/再生時間
	ファイルナンバー
	カテゴリー名
	アーティスト名
	アルバム名
	曲名

知識

- 表示できる情報が iPod に記録されている場合のみ、表示部に情報が表示されます。
- 本機の表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字が記録されている場合は、その文字を“✳”に置き換えて表示します。

隠れているタイトルを表示する

一度に表示できる文字数は、13 文字までです。タイトルが長く、最後まで表示されていないときは、3 ボタンをピッと音がするまで押し続けると、次の 13 文字を表示します。最後の文字を表示しているときに、3 ボタンをピッと音がするまで押し続けると、タイトルの最初の 13 文字を表示します。

知識

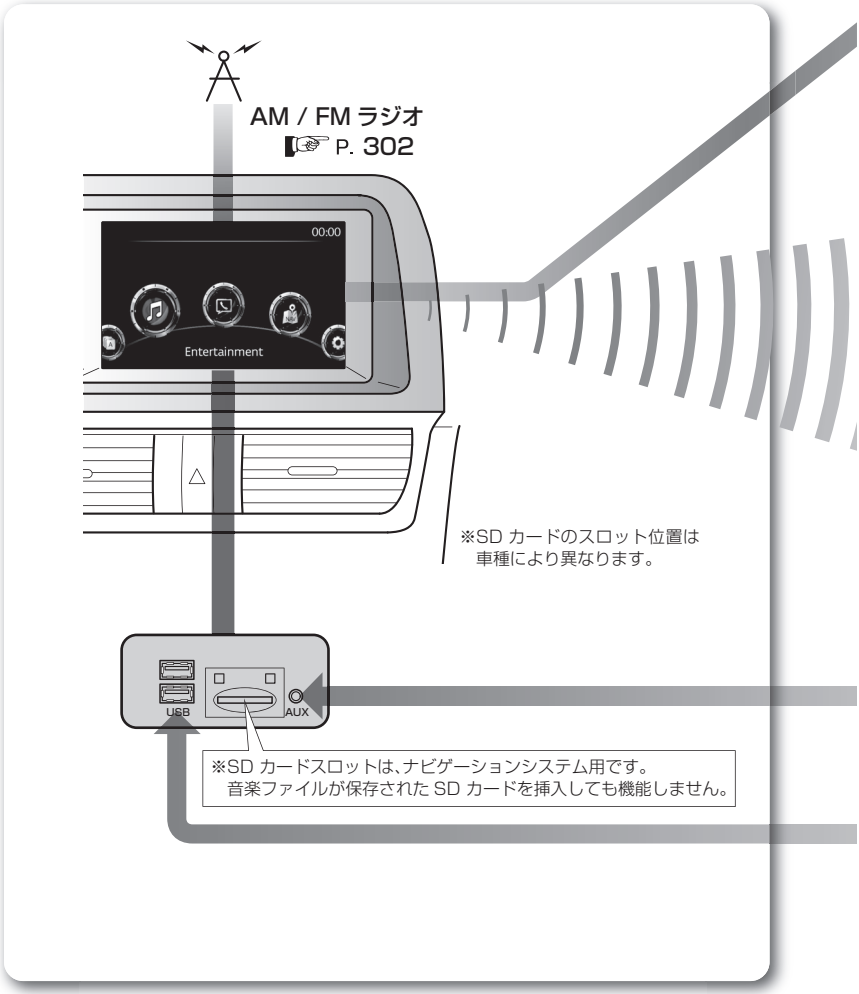
表示される文字数には制限があります。

メッセージがでたときは

“CHECK iPod” のメッセージが表示されたときは、iPod に何らかの異常があります。iPod に記録されている内容に再生可能なファイルがあるか確認して、正しく接続し直してください。
再度メッセージが表示されたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

マツダコネクトでできること

マツダコネクトをより便利に



オプション品

CD/DVD プレーヤー
P. 316
P. 323

テレビ
P. 310



お客様準備品

Bluetooth（接続のしかた）P. 366



スマートフォン

Bluetooth® で接続されたスマートフォンの発着信や、格納されている音楽ファイルの再生ができます。

ハンズフリー P. 375
オーディオ P. 344

スマートフォンにアプリをインストールすることで、Aha™、Stitcher™のサービスが利用できます。



Aha™※ P. 348



Stitcher™※ P. 353

※Aha™、Stitcher™のご利用には、アプリでのユーザー登録が必要です。

お客様準備品

ミニプラグケーブル接続に対応したオーディオ機器を接続し、オーディオ機器の音声をスピーカーから流すことができます。

AUX



AUX オーディオ P. 358

USB



USB メモリー、USB オーディオ機器に格納されている音楽ファイルを再生できます。

USB オーディオ機器 P. 334



USB メモリー P. 334

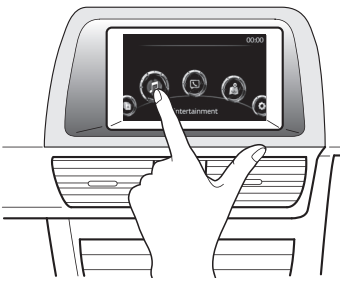
※USB メモリの推奨容量は 16GB 以下。推奨格納音楽ファイル数は 1000 ファイル以内です。
※カードリーダーや USB ハブには対応していません。

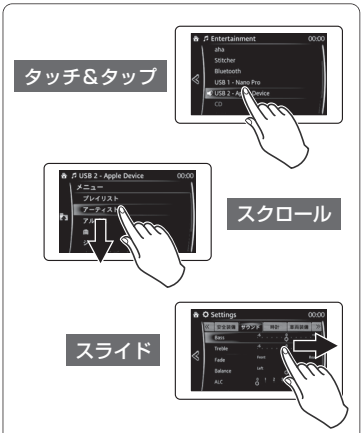
マツダコネクト 4 つの操作方法

タッチ操作 ＜停車中＞

ラジオやテレビの選局や、USB オーディオ機器の選曲、音質の調整等、タッチ操作で快適に行えます。

P. 289

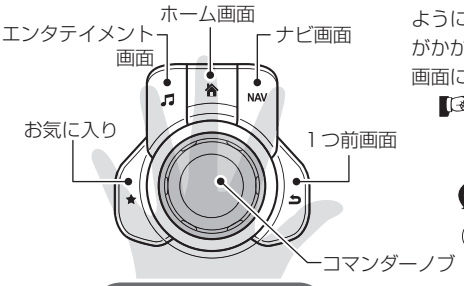


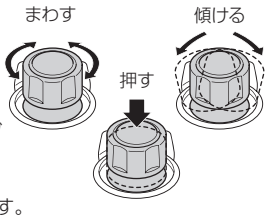


コマンダースイッチ操作

各画面へのスイッチ操作と、コマンダー操作ができます。
左手をコマンダースイッチに包み込むように持つと各画面へのスイッチに指がかかります。手元を見なくても、各画面に切り替えることができます。

P. 287

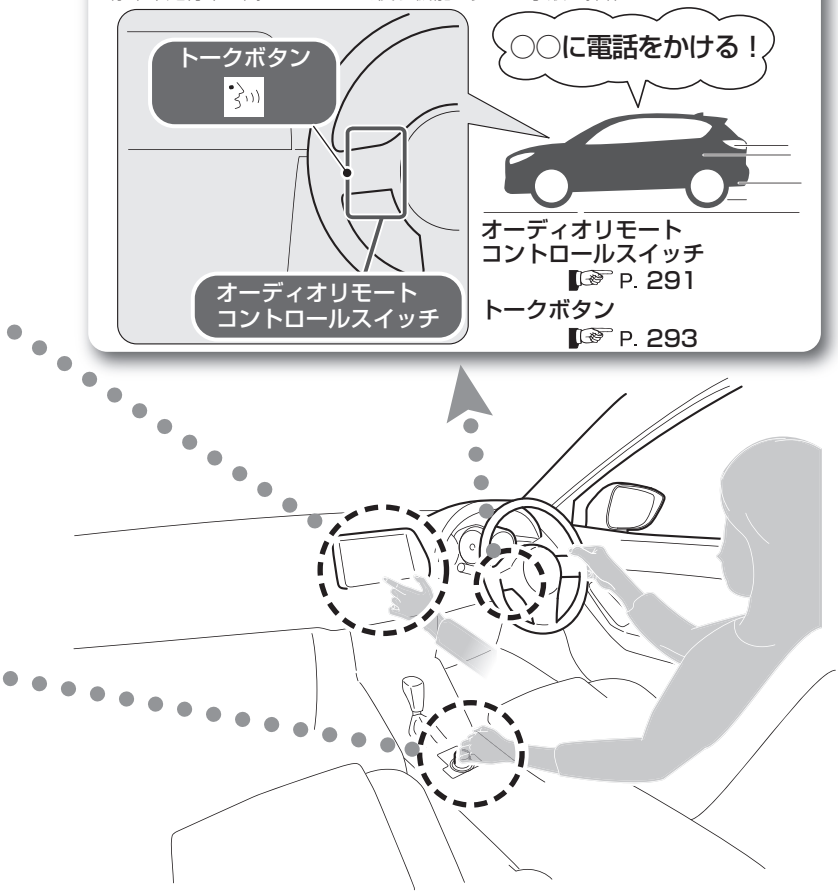




※コマンダースイッチ形状は車種により異なります。

音声認識・オーディオリモートコントロールスイッチ操作

オーディオリモートコントロールスイッチの「トークボタン」から
音声操作ができます。
停車中走行中に関わらず、よく使う機能を少ない手順で操作することができます。



マツダコネクトをご使用の前に

⚠警告

必ず守る **オーディオは、車を止めてから操作する。走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

必ず守る **安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。**

知識

- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ (雑音) が発生することがありますが故障ではありません。

ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。
→302 ページ「ラジオを聞く」

テレビについて

テレビの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

⚠注意

本機は、ARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。

本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

- 本機には、The FreeType Project LICENSE (http://www.freetype.org/license.html) の適用を受けるソフトウェア freetype (http://www.freetype.org/) が組み込まれています。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for usein the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
(本機には、OpenSSL プロジェクト (http://www.openssl.org/) によって開発されたソフトウェア OpenSSL Toolkit が含まれています)
- 本機は、Desay SV Automotive Japan 株式会社で製造されたものです。

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、大きく分けて 3 種類のサービスがあります。
  - テレビ放送: 従来からのテレビ放送
  - ラジオ放送: 音声を主とした放送
  - データ放送: 現在地周辺の生活情報やクイズ･ニュース･天気予報などの放送
    ※本機では、テレビ放送のサービスを受けることができます (データ放送とラジオ放送には、対応しておりません)。
- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで、受信状態を安定させることができます。
  ※自動でワンセグ･フルセグ (SDTV) の切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。
- 本機は、ハイビジョン放送の再生には対応しておりません。ハイビジョン放送は、標準画質 (SDTV) で再生します。
- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして「ワンセグ」があります。



- 日本の地上デジタルテレビ放送は、約 6MHz の帯域を 13 個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち 12 セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り 1 セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
  ※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、12 セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは 12 セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。
→310 ページ「テレビを見る」 グレード/仕様別装備

CD について

本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

市販ディスク	COMPACT disc DIGITAL AUDIO COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
記録されたディスク	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable

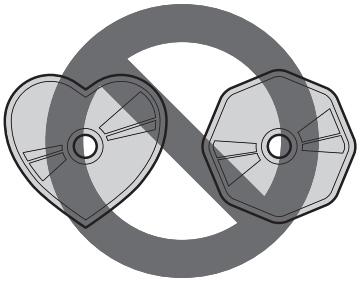
MP3/WMA/AAC CD として、ディスクに記録し再生可能なデータは次の通りです。
MP3、WMA、AAC
→281 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」

知識

- 一枚のディスクに音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC ファイルが混在しているときは、ディスクに記録する方法によって再生される内容が異なります。
- データ規格の詳細については、「再生可能なオーディオファイルについて」をご参照ください。
  →281 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」

- コピーコントロール CD (著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽 CD) の中で、CD の規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- 本機内部のレンズの汚れなどにより、CD が正しく作動しなくなることがあります。
- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- CD 信号面に直接手で触れると、CD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CD の端と中心の穴をはさんで持ってください。CD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- CD の汚れを取るときは、やわらかい布で CD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- 文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- 変形したり、ひびがはいったりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルからのりがはみ出したものや、ラベルをはがしたあとがある CD は、使用しないでください。また、市販の CD-R ラベルを貼り付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- CD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- CD-R/CD-RW は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理 (通常の CD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない CD-R/CD-RW は再生できません。
- 700MB を超える CD-R/CD-RW の再生はできません。
- 音楽用 CD レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW は、ディスクの特性、キズ·汚れなどにより、本機では再生できない場合があります。

- パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- CD-R/CD-RW に記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ (CD-DA) 再生時に表示できない場合があります。
- CD-RW は、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。
- CD-R/CD-RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

→316 ページ「CD を再生する」 グレード/仕様別装備

DVD について

本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

市販ディスク	
記録されたディスク	

知識

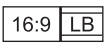
- 本機は、CPRM (Content Protection for Recordable Media) に対応しています。
- 本機の地域番号は「2」です。再生可能な地域番号に「2」が含まれているディスクのみ再生できます。
- 記載している規格以外で書き込まれた DVD-Video/DVD-VR ファイルは、再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。
- DVD-VR ファイルは、メニューが表示されません。

- ハート型など特殊形状の DVD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。
- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、DVD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- DVD 信号面に直接手で触れると、DVD の信号面が汚れ、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。DVD の端と中心の穴をはさんで持ってください。
- DVD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- DVD の汚れを取るときは、やわらかい布で DVD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、DVD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- 文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- 変形したり、ひびがはいったりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- セロハンテープやレンタル DVD のラベルからのりがはみ出していたり、ラベルをはがしたりしたあとがある DVD は、使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- DVD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、録画に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理 (通常の DVD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は再生できません。
- 音楽用 DVD レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、ディスクの特性、キズ·汚れ、または本機内部のレンズの汚れ·露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DVD ビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせて参照してください。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」、「Dolby」およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意味
NTSC		カラーテレビの方式です。
		音声のトラック数です。 数字が収録されている音声数を表します。
		字幕の言語数です。 数字が収録されている言語数を表します。
		アングルの数です。 数字が収録されているアングル数を表します。
		選択することができる画面モードです。 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
		再生可能な地域番号。ALL は全世界向け、数字は地域番号を表します（「2」は日本を示します）。

正しく DVD をご利用いただくために（用語の解説）

DVD-Video
DVD-Video は、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。
デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである MPEG2 (エムペグ 2) が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。
さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

DVD-VR
DVD-VR は、DVD Video Recording Format の略称で、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

マルチアングル
DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル (カメラの位置) で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

マルチランゲージ (多言語)
DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

地域番号 (リージョンコード)
DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョンコード) が設けられています。
再生させるディスクの地域番号が、プレーヤーに設定されている地域番号と異なる場合は、ディスクの再生はできません。
また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。
→323 ページ「DVD を再生する」 グレード/仕様別装備

USB オーディオ機器について

USB メモリ、USB オーディオ機器に記録して再生可能なデータは次の通りです。
MP3、AAC (M4A)、WMA、Ogg、WAV
→281 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

知識

- データ規格の詳細については「再生可能なオーディオファイルについて」を参照ください。
  →281 ページ「再生可能なオーディオファイルについて」
- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
  マツダコネクトで接続確認済み機材は次のサイトで情報公開しています。
  マツダコネクトサポートページ

  http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP
- FAT32 でフォーマットされた USB メモリに対応しています。
  (NTFS フォーマットなどでフォーマットされた USB メモリには対応していません)。
- USB メモリは 16GB を超えると動作が不安定になることがあります。
  (推奨容量：16GB 以下推奨格納音楽ファイル数：1,000 ファイル以内)
- USB メモリのファイル名が長すぎると、動作が不安定になることがあります。
  (推奨：80 文字以内)

知識

- 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。
  USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。
- 本機は著作権保護された WMA/AAC/Ogg ファイルを再生できません。
- 機器に保存された曲順と再生順序が違うことがあります。
- 機器が 1,000mA 以上の電力を使用する場合は、作動しなかったり、充電できない場合があります。
- USB オーディオ再生中に USB オーディオ機器を取り外さないでください (ラジオや CD などの、別のオーディオモード中に取り外すことができます)。
- パスワードで保護されたデータは、再生することができません。
- 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- USB オーディオ機器が再生に対応していない音楽データは、本機で再生できない場合があります。

記載している規格以外で書き込まれた MP3/WMA/AAC/Ogg ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
→334 ページ「USB オーディオ機器の音楽を聞く」

Gracenote®音楽認識サービスについて

Gracenote, the Gracenote logo and logotype are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.
Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc.の登録商標または商標です。



知識

- 「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。
- Gracenote®音楽データベースは更新することができます。
  →334 ページ「USB オーディオ機器の音楽を聞く」
- 本機では、Gracenote®音楽認識サービスは USB オーディオのみ対応しています。

Gracenote®音楽認識サービスのご利用について

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。
© Gracenote, Inc. 2009

Bluetooth®オーディオについて

Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器を車両の Bluetooth®ユニットに登録すると、登録したポータブルオーディオ機器に録音されている音楽を、車両のスピーカーから聴くことができます。また、ポータブルオーディオ機器を車両の外部入力端子に接続する必要はありません。
→366 ページ「Bluetooth®の登録」
登録後は、車両のセンターディスプレイで音楽の再生/停止が可能です。

知識

- Bluetooth®機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth®機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。
- 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。車両が発進すると、ペアリングは中断されます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- Bluetooth®機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- Bluetooth®機器を鞄に入れたままだと、接続しにくい場合があります。
- コンテンツ保護されたデジタル音声出力 (SCMS-T など) には対応していません。
- スマートフォンなどでの音楽配信サービスアプリ等の楽曲は再生できないことがあります。
- Bluetooth®接続していない場合でも、音声コマンドを発話することによりオーディオの基本操作などは可能です。
- マツダコネクトで接続確認済み機材は次のサイトでも情報公開しています。
  マツダコネクトサポートページ

  http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP

対応 Bluetooth®規格 (推奨)

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)
および Bluetooth®Ver3.0 と互換のあるもの

対応プロファイル

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0/1.2
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0/1.3/1.4

A2DP は、音声を Bluetooth®ユニットに転送するだけのプロファイルです。AVRCP に対応せず、A2DP のみに対応している Bluetooth®オーディオ機器の場合、センターディスプレイでの操作はできません。この場合は、Bluetooth®非対応のポータブルオーディオ機器を AUX 端子に接続したときと同様に、Bluetooth®オーディオ機器側での操作のみ可能です。

機能	AVRCP		
	Ver. 1.0	Ver. 1.3	Ver. 1.4
再生	○	○	○
一時停止	○	○	○
ファイル (トラック) アップ/ダウン	○	○	○
早もどし	—	○	○
早送り	—	○	○
楽曲情報表示	—	○	○
リピート	—	機器に依存	機器に依存
シャッフル	—	機器に依存	機器に依存
スキャン	—	機器に依存	機器に依存
フォルダアップ/ダウン	—	—	機器に依存

○: 可能
—: 不可能

知識

Bluetooth®が接続されているときは、Bluetooth®オーディオ機器のバッテリー消費量が増加します。

⚠注意

必ず守る
Bluetooth®オーディオとして接続しているデバイスを、同時に USB オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。

→344 ページ「Bluetooth®オーディオシステムの使いかた」

再生可能なオーディオファイルについて

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	CD	USB
MP3		32 ～ 320kbps	32 ～ 48kHz	○	○
AAC	AACLC	64 ～ 320kbps	11.025 ～ 44.1kHz	○	○
	HE-AAC (モノラル)	24 ～ 80kbps	32kHz/ 44.1kHz	○	○
	HE-AAC (ステレオ)	24 ～ 80kbps	32kHz/ 44.1kHz	○	○
WMA	WMA Std	8 ～ 320kbps	32 ～ 48kHz	○	○
	WMA Pro	32 ～ 768kbps	32 ～ 96kHz	○	○
	WMA Lossless	32 ～ 3,000kbps	32 ～ 48kHz	○	○
Ogg		32 ～ 500kbps	8 ～ 192kHz	–	○
WAV		32 ～ 1,536kbps	32 ～ 48kHz	–	○

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	CD	USB
M4A	AAC	64 ～ 256kbps	32 ～ 48kHz	○	○

○: 可能
—: 不可能

MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。
MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。
本機は、拡張子 (.mp3) がついているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

知識

フランス、トムソン社からの MP3 特許ライセンスについて
本機は、個人の使用、または非商用的な使用を目的としています。次のような、商用目的には使用できません。ご使用には、別途、トムソン社からの商用使用許諾が必要です。詳しくは http://mp3licensing.com をご覧ください。

- 有料リアルタイム放送 (地上波、衛星、ケーブル、その他の放送媒体)
- インターネットによる放送、またはストリーミング
- イントラネット/ネットワーク
- 有料オーディオ・アプリケーションやオーディオ・オンデマンド・アプリケーションなどの電子情報配信システム

- MP3 ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからメディアに書き込んでください。
- 表示される文字数には制限があります。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成·保存することができます。
本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。
※Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

- 記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからメディアに書き込んでください。

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成·保存することができます。
本機は、拡張子 (.aac/.m4a) がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

- 記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.aac」、「.m4a」を追記してからメディアに書き込んでください。

Ogg について

Ogg とは、Xiph.Org Foundation の音声圧縮フォーマットです。
MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成･保存することができます。
本機は、拡張子 (.ogg) がついているファイルを Ogg ファイルとして再生します。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

- 記載している規格以外で書き込まれた Ogg ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.ogg」を追記してからメディアに書き込んでください。

WAV について

WAV とは、WAVE の略称で、Microsoft と IBM によって開発された音声圧縮の規格です。
本機では PCM（パルス符号変調）形式で記録された、拡張子（.wav）がついているファイルを WAV ファイルとして再生します。

⚠注意

必ず守る **オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。**

知識

PCM 形式は、CD などに採用されている形式で、アナログのオーディオデータをデジタル化するための手法です。
詳しくは https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/89879 をご覧ください。

- 記載している規格以外で書き込まれた WAV ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子がつかない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wav」を追記してからメディアに書き込んでください。

商標について

本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

- Aha、Aha ロゴおよび Aha トレードドレスは Harman International Industries, Inc.の商標、または登録商標です。
- AUDIOPILOT™、Centerpoint®は Bose コーポレーションの登録商標です。
- Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- Gracenote, the Gracenote logo and logotype are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.
  Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc.の登録商標または商標です。
- iPhone、iPod は Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Stitcher™、Stitcher™ ロゴおよび Stitcher™ トレードドレスは Stitcher, Inc.の商標、または商標登録です。

アンテナ

プリントタイプ グレード/仕様別装備

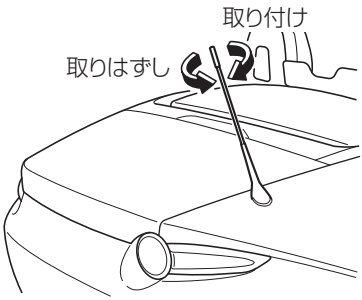
ガラスにプリントされています。

⚠注意

必ず守る

アンテナがプリントされているガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、アンテナにそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、アンテナをいためるおそれがあります。
→456 ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

脱着タイプ



取りはずすときは、左にまわします。取り付けるときは右にまわし、しっかりと締めます。

⚠注意

必ず守る **天井の低い車庫に入れるときや洗車するときは、アンテナを取りはずしてください。取り付けているとアンテナが損傷するおそれがあります。**

マツダコネクトの操作方法

知識

本取扱書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。
また、これらのコンテンツは、今後のソフトアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

次の操作方法があります。

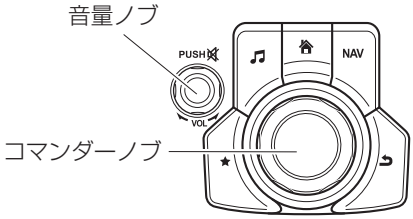
- コマンダースイッチによる操作
- タッチパネルによる操作
- オーディオリモートコントロールスイッチによる操作
- 音声認識機能による操作

コマンダースイッチによる操作

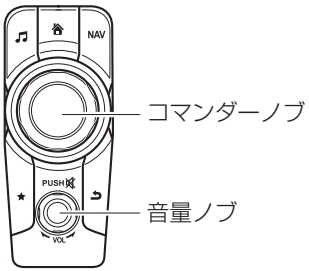
知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

Aタイプ



Bタイプ



コマンダーノブ周囲のスイッチ

音量ノブを押すと消音できます。もう一度ダイヤルを押すと、もとにもどります。
右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。

知識

オーディオを OFF にしたい場合は、音量をゼロにしてください。

コマンダーノブ周囲のボタンを押すことで次の操作ができます。

ホーム画面

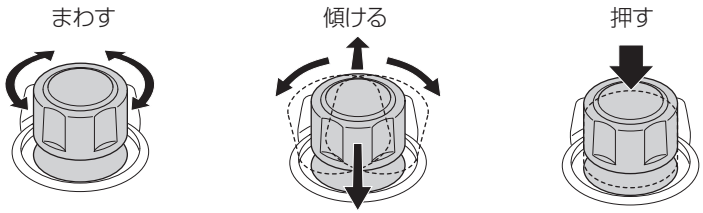


: ホーム画面を表示します。
: エンターテイメント画面を表示します。
NAV: ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。ナビゲーション画面の操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。また、ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) が差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。
★: お気に入り画面を表示します。長押しすると、お気に入りに登録できます (FM/AM ラジオの放送局、電話帳、ナビゲーションシステムの目的地を登録可能)。
: 前の画面にもどります。

アイコン	説明
	Applications (アプリケーション) 平均燃費、メンテナンス、警告などの情報を確認できます。
	Entertainment (エンターテイメント) ラジオや CD などのオーディオを操作します。 最後に使用されたオーディオソースが表示されます。ディスクが抜かれた場合など、その時に使用することができなかったオーディオソースはスキップされ、その前のオーディオソースが表示されます。
	Communication (コミュニケーション) 電話や SMS 機能を使用できます。

アイコン	説明
	**Navigation (ナビゲーション)** ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) が差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。
	**Settings (設定)** 設定メニュー (画面、安全装備、サウンド Bluetooth®など) を表示します。

コマンダーノブの操作



(画面上のアイコンを選択するには)

1. コマンダーノブを傾ける、またはまわして、選択したいアイコンにカーソルを移動させます。
2. コマンダーノブを押して、アイコンを選択します。

知識

機能によっては、コマンダーノブの長押しで操作できます。

タッチパネルによる操作

注意

画面部分を指で強く押したり、先のとがったものなどで触れたりしないでください。画面に傷がついたり、損傷したりするおそれがあります。

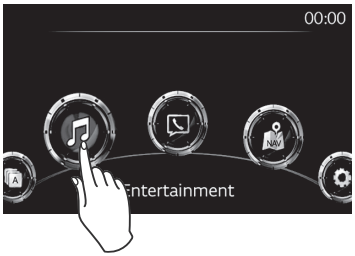
禁止

知識

安全のため、走行中はタッチパネルの操作をすることができません。

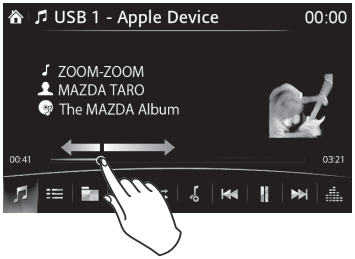
基本的な操作方法

タッチ&タップ



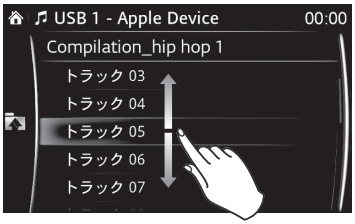
1. 画面に表示されている項目に、指で触れる (タッチする)、または指で軽くたたきます (タップする)。
2. 操作が実行されたり、次の項目が表示されます。

スライド (USB オーディオのみ)



1. 項目のスライダーバーにタッチします。
2. スライダーを指で押さえながら、設定したい設定値まで移動します。

画面をスクロールする



1. 画面を指で押さえながら、上下に移動します。
2. 表示されていない項目が表示されます。

前の画面にもどる



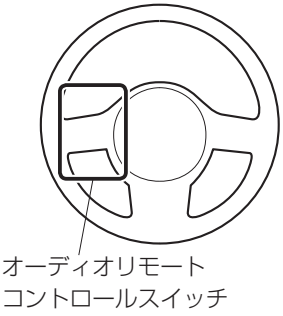
1. にタッチします。
2. 前の画面にもどります。

ホーム画面を表示する



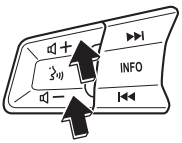
1. にタッチします。
2. ホーム画面が表示されます。

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作



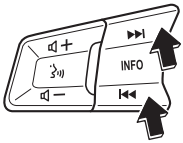
ハンドルの左側にあります。
手元でオーディオの操作をすることができます。
スイッチの形状は車種により異なります。

音量を調節するとき



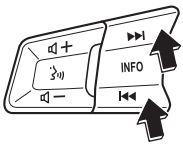
＋、－ボタンを操作して、音量を調節します。

選局するとき



ラジオを聞いているときに⏮、⏭ボタンを押すと、お気に入りにあらかじめ登録させておいた放送局を呼び出すことができます。⏮、⏭ボタンを押すごとに順次登録された放送局に切り替わります。
また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。
テレビを視聴しているときに⏮、⏭ボタンを押すと、チャンネルリストを使って設定された放送局を呼び出すことができます。⏮、⏭ボタンを押すごとに順次設定された放送局に切り替わります。また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。

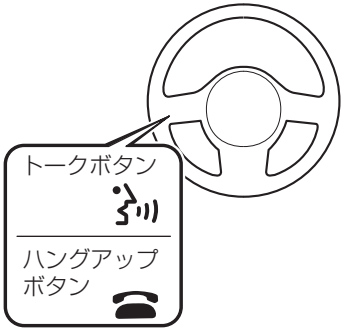
頭出しをするとき



CD、USB、iPod、または Bluetooth®オーディオを聞いているときに⏮、⏭ボタンを操作すると、曲の頭出しをすることができます。
次の曲の頭に進めたいときは⏭ボタンを押し、今聞いている曲の頭にもどしたいときは⏮ボタンを押します。
DVD を視聴しているときに⏮、⏭ボタンを操作すると、チャプターの頭出しをすることができます。次のチャプターの頭に進めたいときは⏭ボタンを押し、今視聴しているチャプターの頭にもどしたいときは⏮ボタンを押します。
Aha™、または Stitcher™ラジオを聞いているときに⏭ボタンを押すと、次の曲の頭に進みます。

音声認識機能による操作

この項目では、音声認識の基本操作を説明します。



1. 起動
   トークボタンを押します。
2. ピッのあとに発話してください。
   発話できるコマンド (音声認識として受け取れることば) は音声認識ができる主なオーディオ操作をご参照ください。

音声ガイダンスをスキップする

音声ガイダンスが流れているときにトークボタンを押すことで音声ガイダンスをスキップできます。 ピッと鳴ったあとに音声コマンドを発話してください。

音声認識を終了する

次の操作のいずれかを行います:

- ハングアップボタンを押す。
- 発話:「キャンセル」
- コマンダースイッチ、またはセンターディスプレイ (車両停車時のみ) を操作する。

知識

- 音声認識実行中に操作方法が分からなくなったときは「チュートリアル」または「ヘルプ」と発話してください。
- 「もどる」 と「キャンセル」は、音声認識実行中に常に使用できるコマンドです。
- 音声認識実行中に「キャンセル」と発話すると、音声認識モードを終了します。音声認識実行中に「もどる」と発話すると、前の操作にもどります。

音声認識操作ができる主なオーディオ操作

トークボタンを押して、次のコマンドを発話するとオーディオを操作することができます。
[ ] 内のコマンドは省略することができます。
／で分割されたコマンドはどちらか選択できます。

音声コマンド	説明
FM (エフエム) [ラジオ] [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを FM ラジオに切り替えます。
AM (エーエム) [ラジオ] [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを AM ラジオに切り替えます。
Aha (アハ) [ラジオ] [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを Aha™に切り替えます。
Stitcher (スティッチャー) に移動/Stitcher (スティッチャー) [を] 再生	オーディオソースを Stitcher™に切り替えます。
Bluetooth (ブルートゥース) [オーディオ] [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを Bluetooth®オーディオに切り替えます。
USB (ユーエスビー) [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを USB 1 に切り替えます。
USB2 (ユーエスビーニ) [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを USB 2に切り替えます。
CD (シーディー) [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを CD に切り替えます。
AUX (エーユーエックス) [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを AUX に切り替えます。
DVD (ディーブイディー) [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを DVD に切り替えます。
TV (テレビ) [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを TV に切り替えます。

知識

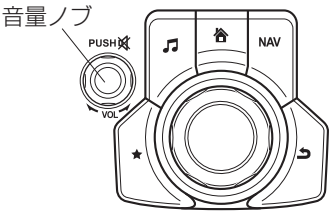
- 上記のコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。
- 各オーディオソースで使用可能な音声認識コマンドは、ピッのあとに「ヘルプ」と発話して表示されるガイダンスをご確認ください。

音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください:

- 音声案内中やピッと鳴っている間は、音声認識を行うことができません。音声案内やピッと鳴り終わるのを待ってから、音声コマンドを発話してください。
- Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- 必要以上に大声でしゃべったり、ゆっくりしゃべったりしないでください。
- 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼びだすことができません。
- 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼びだす場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します (「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗するときがあります)。
- 単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。
- Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、車両の外の雑音やエアコンの気流を乱すのを防ぐために窓とソフトトップ/ルーフを閉めてください。
- エアコンの風がマイクに当たっていないことを確認してください。

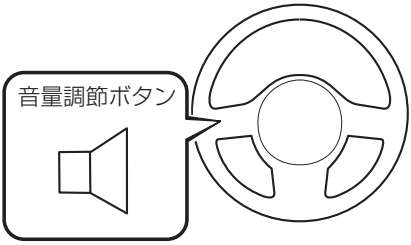
マツダコネクトの設定

コマンダースイッチ



※コマンダースイッチの形状は
車種により異なります。

オーディオリモートコントロールスイッチ



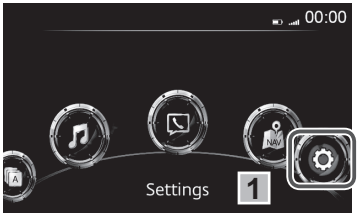
音量の調節

コマンダースイッチの音量ノブをまわして調節します。または、オーディオリモートコントロールスイッチの音量調節ボタンを押して調節します。

知識

- 音声ガイダンスされているときに音量調節すると、音声ガイダンスの音量変更となります。
- ハンズフリーで通話しているときに音量調節すると、通話音量の変更になります。
- オーディオを OFF にしたい場合は、音量をゼロにしてください。

画面の調節



1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 画面 タブを選択し、各項目を変更します。

画面消灯/ 時計表示

画面を消灯することができます。ディスプレイOFF を選択すると、画面が消灯します。
ディスプレイOFF＋時計表示 を選択すると、画面が消灯して時計が表示されます。
画面を元の表示にもどすには、次の操作をします。

- 画面にタッチする。
- コマンダースイッチを操作する。

昼画面/夜画面 (モード) の切り替え

昼画面/夜画面の選択をすることができます。

自動: ライトの点灯/消灯により昼画面と夜画面の表示が切り替わります。*1

昼: 常に昼画面表示になります。

夜: 常に夜画面表示になります。

*1 減光を解除しているときは常に昼画面になります。
→135 ページ「パネルライトコントロールスイッチ」

明るさを調節する

明るさ: スライダーで画面の明るさを調節します。

コントラストを調節する

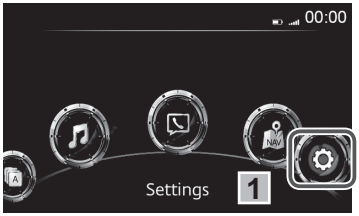
コントラスト: スライダーで画面のコントラストを調節します。

画面設定をリセットする

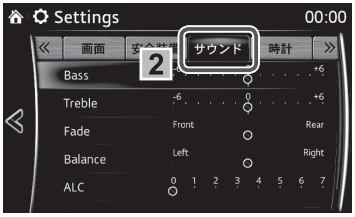
すべての画面設定値をリセットし、初期値にもどすことができます。

1. リセットを選択します。
2. はいを選択します。

音質の調節



1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. サウンドタブを選択し、各項目を変更します。

項目	設定内容
Bass (低音調節)	＋側: 低音強 －側: 低音弱
Treble (高音調節)	＋側: 高音強 －側: 高音弱
Fade (前後音量調節)	前側: フロントスピーカーの音量強調 後側: リアスピーカーの音量強調
Balance (左右音量調節)	右側: 右側スピーカーの音量強調 左側: 左側スピーカーの音量強調
ALC[*1] (自動音量調節)	Off～7 段階で感度調節

項目	設定内容
Bose® AUDIOPILOT*2 (自動音量調節)	ON/OFF
ビープ音 (操作音設定)	ON/OFF

*1 標準オーディオ装備車

*2 Bose®サウンドシステム装備車

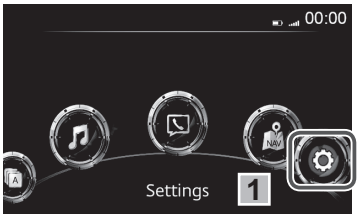
ALC (自動音量調節)
オートマチックレベルコントロール (ALC) は、車速に応じて自動的にオーディオの音量/音質が変化する機能です。車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。

Bose® AUDIOPILOT (自動音量調節)
運転するときに発生するノイズは、音楽の邪魔になります。
AUDIOPILOT™※ノイズ補正システムは、電気的ノイズと車両速度によるノイズを補い音楽を連続的に調整します。
強化された DSP アルゴリズムは、悪路や高速走行の状況に、より素早く効果的な補正を可能にします。
また、ソフトトップ/ルーフの開閉にあわせて最適な音響特性に切り替えるシステムを搭載しています。
音響特性の切り替えはトップロックレバー/リトラクタブルハードトップスイッチの操作に連動しており、切り替え時に約 1 秒間音楽再生を消音します。
※AUDIOPILOT™は Bose コーポレーションの登録商標です。

各システムの設定

知識

グレードや仕様によって、画面表示が異なる場合があります。



1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。
2. タブを切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

タブ	アイテム	説明
画面	画面消灯/ 時計表示 その他	画面の調節をします。
安全装備	ＢＳＭ音量 その他	→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
サウンド	Bass その他	音質の調節をします。
時計	時刻設定	現在の設定時刻が表示されます。 ＋を選択すると時間/分が進み、－を選択すると時間/分がもどります。 12h 表示のときのみ、AM/PM の選択ができます。
	GPS 同期	ON にすると GPS と同期します。 OFF にすると「時刻設定」などから時刻の変更ができます。
	時刻表示	12h/24h 表示を変更します。
	タイムゾーン	GPS 同期 OFF の時に、指定したい地域を選択します。
車両装備	オートワイパー その他	→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

タブ	アイテム		説明
通信	Bluetooth®		→366 ページ「Bluetooth®の登録」
システム	ボタンの説明表示		ボタンの説明を表示/非表示します。
	ミュージックデータベース更新		Gracenote®を更新します。USB オーディオとともに使用されます。 ● 音楽情報の補足 (曲名、アーティスト名など) ● 音楽認識によるアーティスト再生、アルバム再生の補助 →334 ページ「USB オーディオ機器の音楽を聞く」
	工場出荷時の状態にリセット		音質設定以外の設定が初期化されます。 Yes を選択すると初期化が実行されます。
	システム情報	免責事項	免責事項を確認できます。
		バージョン情報	オーディオユニットの OS バージョンと Gracenote®データベースバージョンを確認することができます。
	言語		指定したい言語を選択します。

オーディオソースの使いかた

ラジオを聞く

交通情報の受信



1. ホーム画面から♫を選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2. ♫ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. 交通情報を選択すると再生画面とメニューバーが表示されます。



ボタン	説明	音声コマンド
1620/1629	選択するごとに、AM1620kHz と AM1629kHz を切り替えることができます。	—
設定	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	—

FM/AM ラジオの受信



1. ホーム画面から を選択します。
   最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2. ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. AMかFMを選択すると、再生画面とメニューバーが表示されます。

（ FM を選択した場合）



音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン を押します。
   (音声ガイドが流れ、最後にピッと鳴った後に発話します。)
2. 「AM」または「FM」と発話します。
   その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド
	エンターテイメントメニューを表示します。他のオーディオソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	放送局リストを表示します。放送局リストには エリア登録Ch、受信Chの 2 つがあります。 エリア登録Chには本機が記憶している放送局を、自車の位置を参考に表示します。 受信Chには本機が実際に受信できた放送局を表示します。表示された放送局リストから聞きたい局を選択します。	放送局
	お気に入りリストを表示します。長押しすると、そのとき受信している周波数をお気に入りに登録できます。	お気に入り
	受信可能な放送局を探すことができます。 周波数の低い方から高い方へ 5 秒間ずつ受信していきます。聞きたい局がみつかったら、もう一度選択することでその周波数が固定されます。	スキャン
	周波数選択画面を表示します。*1	チューニング
	自動選局します。 長押しすると周波数は変化し続けます。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。	シークダウン/シークアップ
		

アイコン	説明	音声コマンド
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	サウンド設定

*1 周波数選択方法

- コマンダーノブをまわす。
- ◀または▶をタッチする。
  周波数が 1 ステップずつ切り替わります。
- ◀または▶を長押しする。
  周波数は変化し続けます。アイコンから手を離すと止まります。

まわす



タッチまたは長押しする



放送局リスト



自車の位置を基点に放送局を表示します。また放送局リストの表示を更新できます。
ラジオ再生画面で放送局リストボタンを選択します。

(エリア登録 Ch.を表示させる場合)



1. エリア登録 Ch.タブを選択します。
あらかじめ本機がエリアごとに記憶している放送局が自車位置を参考に昇順で表示されます。
2. リスト更新を選択します。
リスト更新を選択することによって最新の自車位置で放送局リストを更新することができます。

(受信 Ch.を表示させる場合)

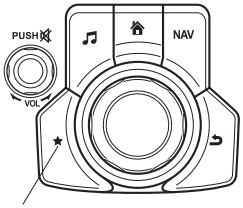


1. 受信 Ch.タブを選択します。
本機のチューナーが実際に受信した放送局が昇順で表示されます。
2. リスト更新を選択します。
リスト更新を選択することによって再度受信可能な放送局を探し、リストを更新することができます。

知識

- エリア登録 Ch.は、本機が記憶している放送局の中から、自車位置に応じて受信可能と思われる放送局がリスト表示されます。受信状況によってはリストにある放送局を受信することができない場合があります。
- 受信 Ch.では放送局名が表示されず周波数のみ表示されることがあります。次のような場合は、放送局名が表示されません。
  - 地域のコミュニティ放送局
  - 新たに中継局を増設した放送局
- 本機に記憶された放送局名は、放送局名称の変更などによって最新とは異なる場合があります。

お気に入りに登録する



お気に入りボタン

※コマンダースイッチの形状は車種により、異なります。

選局した放送局を登録しておくと便利です。最大 50 件の放送局を登録することができます。お気に入りリストは FM、AM で共通です。

★を長押しすると、現在流れている放送局を登録します。また、次の手順で登録することもできます。



1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



2. 追加/編集を選択します。



3. （視聴している周波数）を登録を選択します。
4. お気に入りリストの一番下に追加されます。

お気に入りから放送局を選択する



1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



2. 登録した周波数を選選択すると、その放送局を受信します。

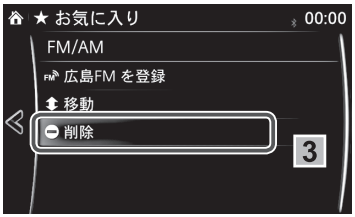
お気に入りから削除する



1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



2. 追加/編集を選択します。



3. 削除を選択します。



4. 削除したい放送局、または周波数を選択します。
5. 削除を選択します。

お気に入りリストの表示順を変更する



1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



2. 追加/編集を選択します。



3. 移動を選択します。



4. 放送局、または周波数を選択すると、その放送局を移動できるようになります。
5. スライド、またはコマンダースイッチで放送局を移動し、**OK**を選択します。

テレビを見る グレード/仕様別装備



1. ホーム画面から♫を選択します。最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2. ♫ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. ［ＴＶ］を選択すると、テレビ画面が表示されます。



4. コマンダーノブを押すか、画面をタッチすると、メニューバーが表示されます。

アイコン	説明	音声コマンド
♫	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	—
☰	チャンネルリストを表示します。	—
EPG	視聴しているチャンネルの番組情報を表示します。確認したい番組を選択すると、番組説明を表示します。	—
((•))	系列局を探してチャンネルを切り替えます。	—

アイコン	説明	音声コマンド
 	選局します。 チャンネルリストに記憶させておいた放送局を呼び出します。 長押しすると自動選局します。	—
	テレビ設定画面を表示します。	—
	画質を設定します。 画面の下部に画質設定を表示します。	—
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	—

知識

- 安全のため、走行中は映像が表示されません。
- テレビを表示してしばらくすると、フルスクリーン表示に切り替わります。
- テレビでは音声認識を利用できません。

チャンネルリスト

放送局は、チャンネルリストから探します。

チャンネルリストに登録する

受信可能な放送局を、チャンネルリストに登録することができます。
チャンネルは［ＴＶ１］、［ＴＶ２］それぞれ 12 局まで登録できます。

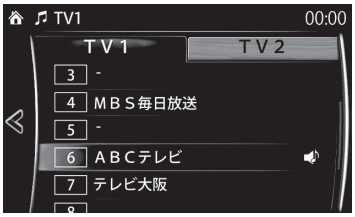


(視聴している放送局を登録する)

1. ☰を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. ［ＴＶ１］または［ＴＶ２］タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. リストのいずれかを長押しすると、放送局を登録します。

(受信可能なすべての放送局を登録する)

1. ☰を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. ［ＴＶ１］または［ＴＶ２］タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. ［Auto Preset］を選択します。
4. ［はい］を選択すると、受信可能な放送局を探し、チャンネルリストに登録します。



チャンネルリストから放送局を選択する

1. ☰を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. ［ＴＶ１］または［ＴＶ２］タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. 呼び出す放送局を選択します。

テレビの各種機能を設定する

テレビの各種機能を設定することができます。



1. を選択すると、設定項目が表示されます。



2. 設定したいメニューを選択して設定します。

受信設定

フルセグ(地上デジタルテレビ放送)とワンセグの受信設定を変更します。

AUTO: 受信状態によってフルセグ受信とワンセグ受信を切り替えます。

フルセグ: 常にフルセグを受信します。

ワンセグ: 常にワンセグを受信します。

音声多重設定

主/副音声を選択することができます。

主音声: 主音声に切り替えます。

副音声: 副音声に切り替えます。

主／副: 主音声副音声に切り替えます。

字幕設定

字幕表示を設定します。

OFF: 字幕を表示しません。

字幕１: 字幕 1 を表示します。

字幕２: 字幕 2 を表示します。

音声言語設定

音声言語を設定します。

1. 音声言語設定を選択すると、選択可能な音声言語設定が表示されます。
2. 聞きたい音声言語設定を選択します。

放送局自動サーチ

放送局自動サーチ機能の ON/OFF を設定します。

OFF: 視聴している放送の受信状態が悪くなっても、中継局を探しません。

ON: 視聴している放送の受信状態が悪くなると、受信状態の良い中継局を探して自動で切り替えます。

受信機情報

受信機情報を表示します。

受信機情報を選択すると、ソフト情報を表示します。

設定初期化

すべてのテレビ設定値をリセットし、初期値にもどすことができます。

1. 設定初期化を選択します。
2. はいを選択します。

画質を設定する

画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さを設定できます。



1. を選択します。



2. 次のタブを選択し、調節します。

タブ	説明
明るさ	スライダーで画面の明るさを調節します。
コントラスト	スライダーで画面のコントラストを調節します。
色合い	スライダーで画面の色合いを調節します。
色の濃さ	スライダーで画面の色の濃さを調節します。
リセット	画面設定を初期値にもどします。 リセットを選択します。

緊急放送の視聴

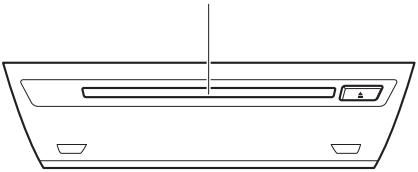
本機は、緊急放送を受信することができます。

1. 緊急放送を受信すると、確認画面が表示されます。
2. はいを選択すると、緊急放送に切り替わります。
   緊急放送が終了すると、もとの状態にもどります。

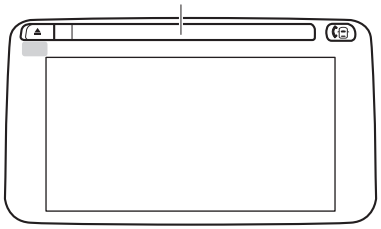
CD を再生する グレード/仕様別装備

CD を本機にセットする

Aタイプ
ディスク差し込み口



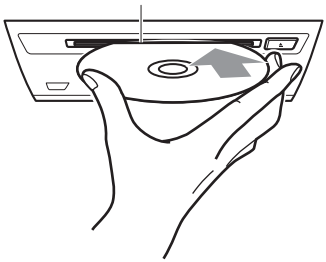
Bタイプ
ディスク差し込み口



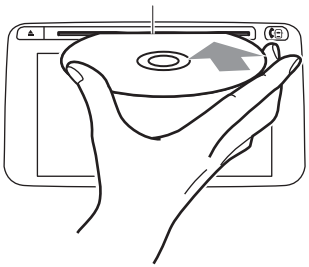
CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. CD のラベル面を上にして、CD 差し込み口に軽く押し込みます。CD が自動的に送り込まれ、再生を始めます。

Aタイプ
ディスク差し込み口



Bタイプ
ディスク差し込み口



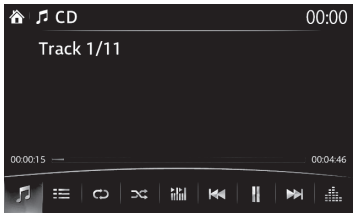
CD 再生画面へ移動する



1. ホーム画面から を選択します。最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2. ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



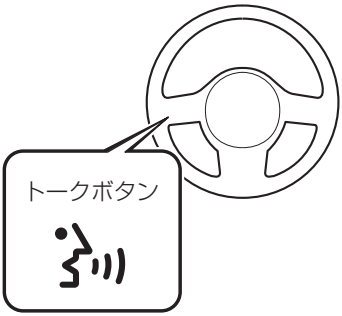
3. CD を選択すると、再生画面とメニューバーが表示されます。



知識

- 本機は CD-TEXT 対応です。CD-TEXT 対応ディスクの再生時は曲名やアーティスト 名などの楽曲情報が表示されます。
- MP3/WMA/AAC CD では音楽ファイル作成時に楽曲情報が埋め込まれていれば楽曲情報が表示されます。
- 本機は CD の再生では Gracenote®音楽認識サービスは利用できません。

音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にピッと鳴っ た後に発話します。)
2. 「CD」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド *1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	(音楽 CD) CD 内のトラックリストを表示します。 聞きたいトラックを選択します。	トラックリスト
	(MP3/WMA/AAC CD) 一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。 フォルダを選択します。フォルダ内のファイルが表示されます。聞きたいファイルを選択します。	—
	(MP3/WMA/AAC CD のみ) 現在再生しているフォルダのファイルリストを表示します。聞きたいファイルを選択します。	トラックリスト

アイコン	説明	音声コマンド *1
	**(音楽 CD)**  ➡  再生中の曲をくり返して再生します。  ➡  リピート再生を解除します。	リピート*2
	(MP3/WMA/AAC CD)  ➡  再生中の曲をくり返して再生します。  ➡  フォルダ内の曲をくり返して再生します。  ➡  リピート再生を解除します。	リピート*3
	**(音楽 CD)**  ➡ CD 内の曲をランダムな順序で再生します。  ➡  シャッフル再生を解除します。	シャッフル*4
	(MP3/WMA/AAC CD)  ➡ フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。  ➡ CD 内の曲をランダムな順序で再生します。  ➡  シャッフル再生を解除します。	シャッフル*5

アイコン	説明	音声コマンド *1
	**(音楽 CD)** CD 内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。	スキャン
	(MP3/WMA/AAC CD) フォルダ内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。	スキャン
	曲の再生が始まって数秒以内であれば、前の曲の頭にもどります。 曲の再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。アイコンまたはコマンダーノブから手を離すと止まります。	前へ*6
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。	次へ*7
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	サウンド設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

*2 「リピート」と発話すると［リピート］［解除］の順に切り替わります。

*3 「リピート」と発話すると［1 曲リピート］［フォルダ内リピート］［解除］の順に切り替わります。

*4 「シャッフル」と発話すると［シャッフル再生］［シャッフル解除］が切り替わります。

*5 「シャッフル」と発話すると［フォルダ内シャッフル］［CD 内シャッフル］［解除］の順に切り替わります。

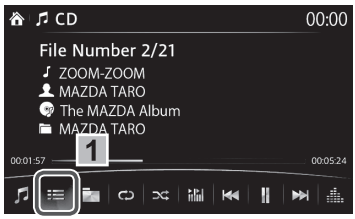
*6 音声認識では「早もどし」に対応していません。

*7 音声認識では「早送り」に対応していません。

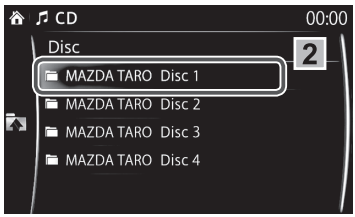
知識

- 12cmCD サイズ専用です。8cmCD (シングル) サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmCD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- **(MP3/WMA/AAC CD)**
  再生は表示の上から順に再生されます。
  フォルダが存在する場合は、そのフォルダの中にある曲を再生してから次を再生します。
  フォルダに再生可能な曲がない場合は、次を再生します。

使用例 (MP3/WMA/AAC CD の一番上の階層から曲を探すとき)



1. を選択して、一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。



2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ/ファイルリストが表示されます。



3. 聞きたいファイルを選択します。

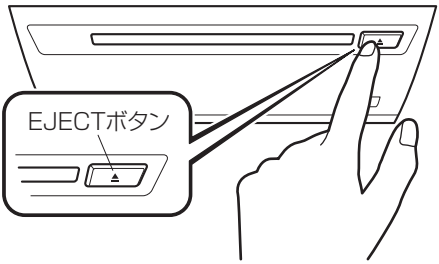
知識

- を選択すると、一つ上のフォルダに移動します。
- スキャン再生中にオーディオ操作をおこなうと、スキャン再生中の曲が通常再生されます。その後、オーディオは通常操作をおこなうことができます。
- CD を取り出すと、CD の前に再生していたオーディオソースに移動します。

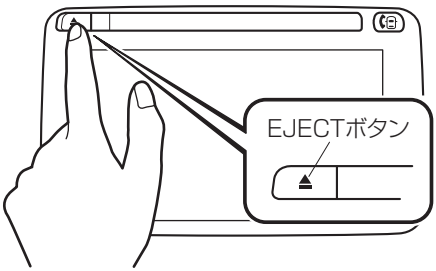
CD を取り出すとき

1. ⏏ボタンを押します。

Aタイプ

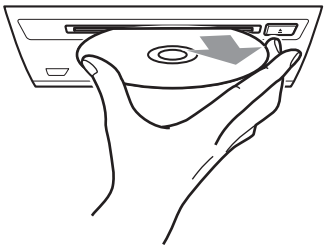


Bタイプ

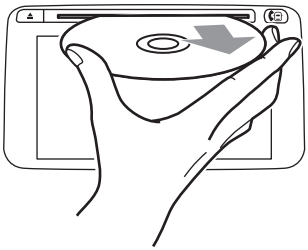


2. CD の端を持って取り出します。

Aタイプ



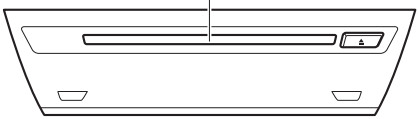
Bタイプ



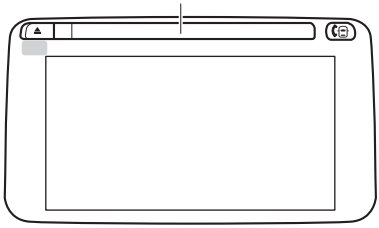
DVD を再生する グレード/仕様別装備

DVD を本機にセットする

Aタイプ
ディスク差し込み口



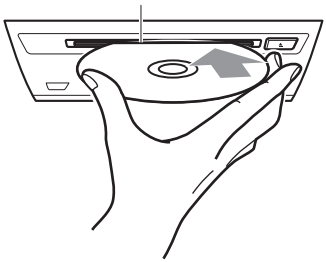
Bタイプ
ディスク差し込み口



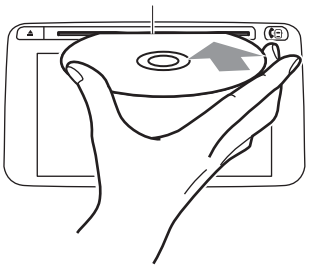
CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. DVD のラベル面を上にして、DVD 差し込み口に軽く押し込みます。DVD が自動的に送り込まれ、DVD のトップメニュー画面とコントローラーが表示されます。

Aタイプ
ディスク差し込み口



Bタイプ
ディスク差し込み口



DVD 再生画面へ移動する



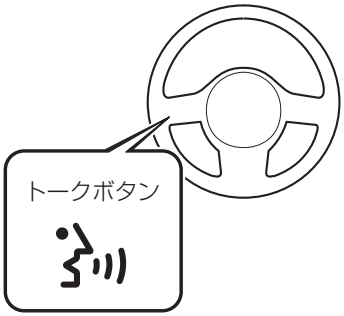
1. ホーム画面からを選択します。
2. ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. DVDを選択すると、再生画面とメニューバーが表示されます。



音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にピッと鳴った後に発話します。)
2. 「DVD」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド *1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント

アイコン	説明	音声コマンド *1
	DVD のメニュー画面にもどります。	メニュー
	チャプターの再生が始まって数秒以内であれば、前のチャプターの頭にもどります。チャプターの再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中のチャプターの頭にもどります。 再生中に長押しすると早もどしをします。一時停止中に長押しすると逆スロー再生をします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。	前へ*2
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次のチャプターの先頭に進みます。 再生中に長押しすると早送りをします。 一時停止中に長押しするとスロー再生をします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。	次へ*3
	選ぶごとに、カメラアングルを変更します (使用可能な DVD の場合)。	カメラの角度
	字幕の表示/非表示を切り替えます (使用可能な DVD の場合)。	字幕
	視聴制限を切り替えます。 視聴制限レベルや、PIN コードの設定を変更することができます。	ペアレンタルロック

アイコン	説明	音声コマンド *1
	再生を一時停止して、DVD 設定画面を表示します。 サウンド設定を選択すると、音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」 アスペクト比を選択すると、アスペクト比 (画面の横縦比) を選択できます。16:9 ワイドスクリーン、4:3 レターボックス、4:3 パンスキャンから選択できます。	DVD 設定
	画質を設定します。 画面の下部に画質設定を表示します。	画質設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

*2 音声認識では「早もどし」に対応していません。

*3 音声認識では「早送り」に対応していません。

知識

- 12cmDVD サイズ専用です。8cmDVD サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmDVD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- 安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになります。
- コントローラーの  をスライドすると、コントローラーが移動します。
- DVD の再生を止めた後に DVD モードに切り替えると、DVD のメニュー画面を表示せずに再生を再開します。
- DVD 再生中に他のオーディオに切り替える場合、DVD は一時停止状態になります。
- DVD 再生中のスライダーが、コマンダーノブで操作できます。コマンダーノブを上方向に倒してスライダーを選択します。
- DVD-VR 方式で記録したディスクの再生時は、メニュー表示されないことがあります。



ペアレンタルロック（視聴制限設定）

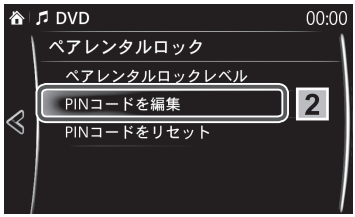
DVD には視聴制限レベルが設定されたものがあります。
DVD の視聴制限レベルがオーディオ側で設定した設定レベル以上の場合は、再生できません。視聴制限レベル変更、PIN コード編集、PIN コードリセットを設定することができます。

PIN コードを設定する

視聴制限機能を使用するには、まず PIN コードを設定する必要があります。



1. を選択します。



2. PINコードを編集を選択します。



3. テンキーを使用して PIN コードを入力します。
4. OKを選択します。

視聴制限レベルを変更する

視聴制限機能を使用するには、まず PIN コードを設定する必要があります。



1. を選択します。

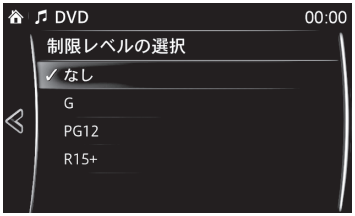


2. ペアレンタルロックレベルを選択します。



3. テンキーを使用して PIN コードを入力します。
4. OKを選択します。
5. 視聴制限レベルを選択します。

知識



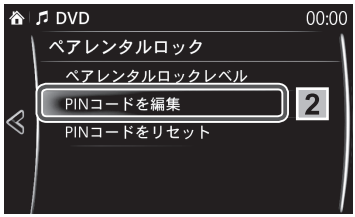
制限レベルは、なし、G、PG12、R15+から選択できます。

PIN コードを編集する

視聴制限機能を使用するには、まず PIN コードを設定する必要があります。



1. を選択します。



2. PINコードを編集を選択します。



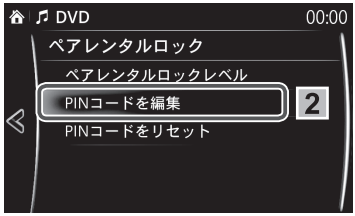
3. テンキーを使用して PIN コードを入力します。
4. OKを選択します。
5. テンキーを使用して新しい PIN コードを入力します。
6. OKを選択します。

PIN コードをリセットする

登録した PIN コードを忘れたときは、工場初期設定時の PIN コード［0000］を入力することでリセットできます。



1. を選択します。



2. PINコードを編集を選択します。



3. テンキーを使用して工場初期設定時の PIN コード［0000］を入力します。
4. OKを選択します。
5. テンキーを使用して新しい PIN コードを入力します。
6. OKを選択します。

ロックされた DVD を再生する

再生しようとしている DVD が設定した視聴制限によってロックされた場合は、PIN コードを入力して解除します。



1. ロックされた DVD を再生すると、PIN コード入力画面が表示されます。
2. テンキーを使用して PIN コードを入力します。
3. OK を選択すると、再生を開始します。

DVD の各種機能を設定する

音質とアスペクト比を設定することができます。

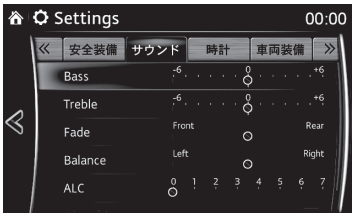
音質を設定する



1. ⚙を選択します。



2. サウンド設定を選択すると、音質設定画面を表示します。
→296 ページ「マツダコネクトの設定」



音量 / 画面 / 音質の調節

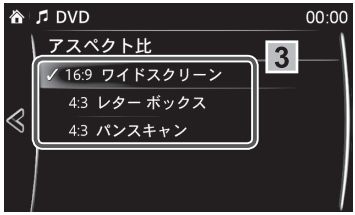
アスペクト比を設定する



1. を選択します。



2. アスペクト比を選択します。



3. アスペクト比を選択します。

画質を設定する

画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さを設定することができます。



を選択すると、画面の下部に次のタブが表示されます。

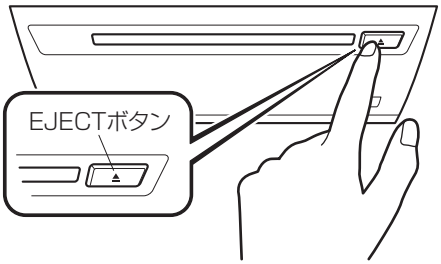


タブ	説明
明るさ	スライダーで画面の明るさを調節します。
コントラスト	スライダーで画面のコントラストを調節します。
色合い	スライダーで画面の色合いを調節します。
色の濃さ	スライダーで画面の色の濃さを調節します。
リセット	画面設定を初期値にもどします。リセットを選択します。

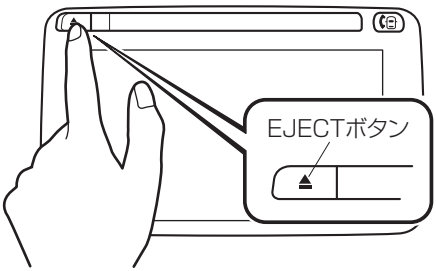
DVD を取り出すとき

1. ⏏ボタンを押します。

Aタイプ

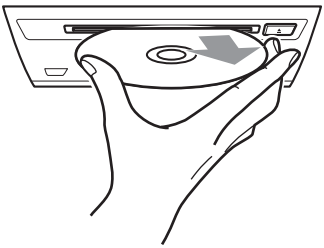


Bタイプ

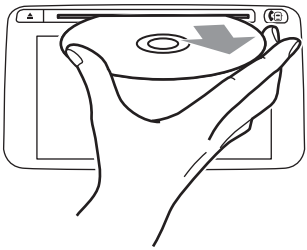


2. DVD の端を持って取り出します。

Aタイプ



Bタイプ



知識

DVD を取り出すと、DVD の前に再生していたオーディオソースに移動します。

USB オーディオ機器の音楽を聞く

市販の USB メモリー、音楽プレイヤー、スマートフォンを本機の USB 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

⚠警告

必ず守る **USB 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠注意

必ず守る

- **プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。**
- **接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。**
- **USB オーディオとして接続しているデバイスを、同時に Bluetooth®オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。**
- **USB ポートに SD カードリーダーや USB ハブを接続しないでください。カードに書き込まれた音楽の再生には対応していません。ナビゲーションシステムが使用できなくなることがあります。またマウスやキーボードも接続しないでください。**
- **USB オーディオ機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。**
- **SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んで使用します。音楽ファイルが保存された SD カードを挿入しても再生できません。**

知識

- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。マツダコネクトで動作確認済みの機種は次のサイトで情報公開しています。
  マツダコネクトサポートページ

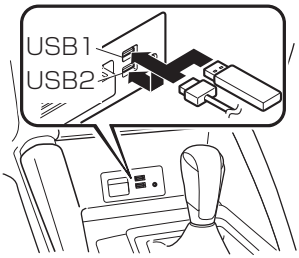
  http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP
  本ページよりエンターテイメントの動作確認済機種を参照ください。

知識

- ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。
- 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。



※USB の位置は車種により異なります。

USB 端子の位置は車種により異なります。

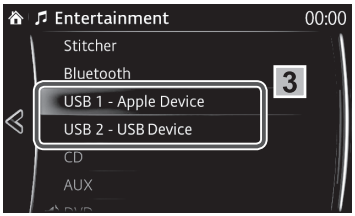
知識

- USB メモリを使用する場合、容量や保存されたファイル数によっては再生できるまで時間がかかることがあります。
- USB メモリの容量は 16GB 以下、保存ファイル数は 1,000 以内が推奨となります。
- USB メモリのファイル名が長すぎると、動作が不安定になることがあります。(推奨：80 文字以内)

音楽を再生する



1. ホーム画面から  を選択します。
   最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
2. アイコン左端の♫ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. **USB 1** または **USB 2** を選択します。
   (USB を接続していない場合は、[USB1]、[USB2] は選択できません)



音声認識機能が使えます

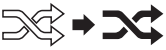
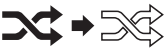


1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にピッと鳴った後に発話します。)
2. 「USB1」または「USB2」と発話します。
(USB を接続していない場合は、[USB1]、[USB2] は選択できません)



USB オーディオ機器再生画面

アイコン	説明	音声コマンド *1
	エンターテイメントメニューを表示します。 他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	カテゴリーリストを表示します。 アルバムやアーティストなどの再生方法が指定できます。	—
	カテゴリーで選択した再生方法のトラックリストを表示します。	現在のフォルダ

アイコン	説明	音声コマンド *1
	 再生中の曲をくり返して再生します。	リピート*3
	 カテゴリーで選択した再生方法のトラックリスト全体をくり返して再生します。	全曲リピート *4
	 リピート再生を解除します。	リピート*3
	 カテゴリーで選択した再生方法のトラックリストをランダムな順序で再生します。	シャッフル*5
	 シャッフル再生を解除します。	
	Gracenote®の More Like This™によって、再生中の曲と似た曲を自動で探し出し、再生を開始します。*2 More Like This™をキャンセルするには、カテゴリーリストの中から任意の曲を選選択します。	More Like This (モア ライク ディス)
	曲の再生が始まって数秒以内であれば、前の曲の頭にもどります。曲の再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中の曲の頭にもどります。長押しすると早もどしをします。	前へ*6
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。	次へ*7

アイコン	説明	音声コマンド *1
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	サウンド設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

*2 USB 接続してから「More Like This」が使用できるようになるまで一定の時間が必要になります。使用可能になるまでの時間は接続した USB に格納された音楽データの容量により異なります。

*3 「リピート」と発話すると［リピート］［全曲リピート］［解除］の順に切り替わります。

*4 「全曲リピート」と発話するとダイレクトに［全曲リピート］を選択できます。

*5 「シャッフル」と発話すると［シャッフル再生］［シャッフル解除］が切り替わります。

*6 音声認識では「早もどし」に対応していません。

*7 音声認識では「早送り」に対応していません。

知識

再生時間を表示しているスライダーを移動することで、好きな時間から再生できます。

聞きたい曲を選ぶ

カテゴリーリストから曲の再生方法を選択します。

カテゴリー	説明	音声コマンド*1
プレイリスト	機器に登録されたプレイリスト一覧が表示され、選択したプレイリストをトラックリストとして再生します。	プレイリスト
アーティスト	機器に収録されたアーティスト一覧が表示され、選択したアーティストのアルバムまたは全曲をトラックリストとして再生します。	アーティスト
アルバム	機器に収録されたアルバム一覧が表示され、選択したアルバムをトラックリストとして再生します。	アルバム
曲	機器に収録された全ての曲が表示され、全ての曲をトラックリストとして再生します。また、アルファベット～50 音検索で聞きたい曲が探せます。	曲
ジャンル	機器に収録された曲のジャンル一覧が表示され、選択したジャンルの中でアーティスト別やアルバム別、またはすべての曲をトラックリストとして再生します。	ジャンル
オーディオブック	機器に収録されたオーディオブックのリストが表示され、選択したチャプターを再生します。	オーディオブック*2
ポッドキャスト	機器に収録された Podcast のリストが表示され、選択したエピソードを再生します。	ポッドキャスト*2
フォルダ	機器に作成されたフォルダが表示され、選択したフォルダをトラックリストとして再生します。	フォルダ*3

楽曲情報がない音楽ファイルは「曲」「フォルダ」でしか表示されません。

*1 音声認識機能が使えます。音声コマンドはカテゴリー名です。

*2 iPhone、iPod を接続時に操作することができます。

*3 iPhone 以外のスマートフォン、USB メモリを接続時に操作することができます。(音楽データ以外が格納されていてもリスト表示されますが、再生可能な音楽ファイル以外は選択できません。)

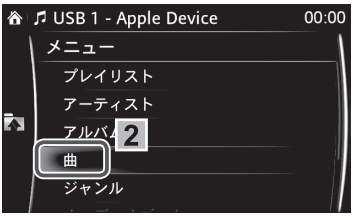
知識

1 つのプレイリストに格納できる曲は最大 65534 曲です。

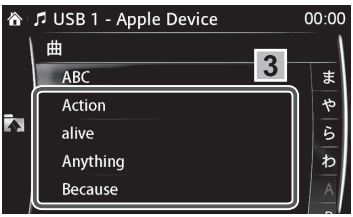
使用例 (USB 機器内にあるすべての曲を再生するとき)



1. ☰を選択して、カテゴリーリストを表示します。



2. 曲を選択します。USB 機器内にあるすべての曲が表示されます。



3. 聞きたい曲名を選択します。聞きたい曲が再生されます。
継続して再生をすることで、USB 機器内にあるすべての曲を再生することができます。

使用例 (アーティストを選んで曲を再生するとき)



1. ☰を選択して、カテゴリーリストを表示します。



2. アーティストを選択します。アーティストの一覧が表示されます。



3. アーティストを選択します。選択したアーティストのアルバム一覧が表示されます。



4. 聞きたいアルバムを選択すると、そのアルバムの収録曲が表示されます。アーティストのすべての曲を聞きたいときは、すべての曲を選択します。
5. 聞きたい曲名を選択します。聞きたい曲が再生されます。

USB オーディオ再生時に表示される楽曲情報

USB オーディオ機器でオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

知識

- 自動で付与された情報は、実際と異なる場合があります。
- Gracenote®データベースに登録がない楽曲でも音楽ファイルに楽曲情報があれば楽曲情報が表示されます。
- 音楽データの取り込み方によっては、楽曲情報が表示されないことがあります。

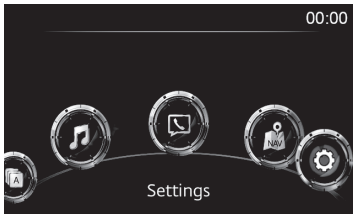
データベースを更新する

知識

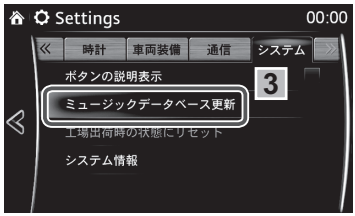
最新の Gracenote®データベースは、次の Web サイトからダウンロードすることができます。

http://infotainment.mazdahandsfree.com/howto-manageupdates?language=jp-JP

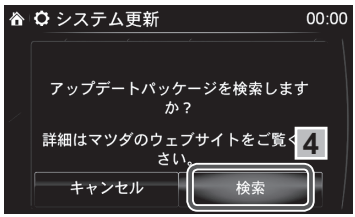
USB オーディオ機器を使用して Gracenote®データベースを更新することができます。



1. Gracenote®更新用ソフトウェアを保存した USB オーディオ機器を接続します。
2. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



3. システム タブを選択し、ミュージックデータベース更新 を選択します。



4. 検索 を選択します。USB オーディオ機器に保存されているアップデートパッケージの一覧とそのバージョンが表示されます。
5. アップデートに使用するパッケージを選択します。
6. インストール を選択します。

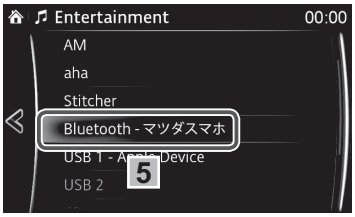
Bluetooth®オーディオシステムの使いかた

Bluetooth®オーディオモードに切り替える

Bluetooth®オーディオ機器に保存されている音楽や音声を、センターディスプレイで操作するために Bluetooth®オーディオモードに切り替えてください。使用する前に Bluetooth®オーディオ機器を車載の Bluetooth®ユニットに登録する必要があります。
→366 ページ「Bluetooth®の登録」



1. Bluetooth®オーディオ機器の電源を ON にします。
2. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
3. ホーム画面から♫を選択します。
   最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
4. アイコン左端の♫ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



5. **Bluetooth** を選択します。

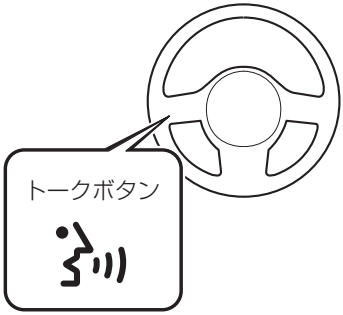
知識

- Aha™や Stitcher™ラジオを使用後に Bluetooth®オーディオを使用する場合は、先に Bluetooth®オーディオ機器側のアプリケーションを終了させる必要があります。
- Bluetooth®オーディオ機器の再生が始まらない場合は▶/❚❚を選択してください。
- モードが Bluetooth®オーディオモードから他のモード (ラジオモードなど) に切り替わると、Bluetooth®オーディオ機器からの再生は停止します。

再生

Bluetooth®オーディオモードに切り替えると、Bluetooth®オーディオ機器の音声を車両のスピーカーから聞くことができます。
Bluetooth®オーディオモードに切り替わると、画面の下部に次のアイコンが表示されます。お使いの Bluetooth®オーディオ機器のバージョンによって、表示されるアイコンは異なります。

音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
   (音声ガイドが流れ、最後にピッと鳴った後に発話します。)
2. 「Bluetooth (ブルートゥース)」と発話します。
   その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド *1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	(AVRCP Ver. 1.4 のみ) 一番上の階層のフォルダ/ファイルを表示します。 フォルダを選択します。フォルダ内のファイルが表示されます。 聞きたいファイルを選択します。	メニュー

アイコン	説明	音声コマンド *1
	**(AVRCP Ver. 1.3 以上)** 再生中の曲を繰り返し再生します。 もう一度選択すると、フォルダ内の曲を繰り返し再生します。 もう一度選択すると解除されます。 ソングリピート時、フォルダリピート時にはアイコンが変化します。	リピート
	**(AVRCP Ver. 1.3 以上)** フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると、機器内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると解除されます。 フォルダシャッフル時、デバイスシャッフル時にはアイコンが変化します。	シャッフル
	前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。	前へ*2
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。	次へ*3
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	サウンド設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

*2 音声認識では「早もどし」に対応していません。

*3 音声認識では「早送り」に対応していません。

使用例（機器の一番上の階層から曲を探すとき）



1. を選択して、一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。



2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ/ファイルリストが表示されます。プレイリストを選ぶと、その中のファイルリストが表示されます。
3. 聞きたいファイルを選択します。

知識

を選択すると、一つ上のフォルダに移動します。

Bluetooth®オーディオ機器情報表示

Bluetooth®オーディオ機器を接続すると、次の情報が画面に表示されます。

	AVRCP Ver. 1.3 未満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以上
機器名	○	○	○
バッテリー残量表示	○	○	○
曲名	—	○	○
アーティスト名	—	○	○
アルバム名	—	○	○
再生時間	—	○	○

	AVRCP Ver. 1.3 未満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以上
アルバムアート	—	—	—

○: 表示
—: 非表示

知識

機器によっては、一部の情報が表示できない場合があります。



Aha™の使いかた

Aha[*1] は、インターネットラジオや Podcast など、様々なインターネット・コンテンツを利用することができるアプリケーションです。
Facebook や Twitter の一部機能を使用することもできます。
周辺情報サービスを利用して周辺の目的地を探したり、リアルタイムの周辺情報を入手することができます。
Aha によって提供されるサービスの内容は、予告なく Aha によって変更される場合があります。

*1 Aha、Aha ロゴおよび Aha トレードドレスは Harman International Industries, Inc.の商標、または登録商標です。

知識

Aha を操作する前に、次の手続きを行ってください:

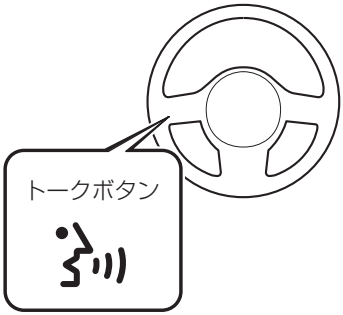
- 機器に Aha アプリケーションをインストールする。
- 機器で Aha アカウントを作成する。
- 機器で Aha にログインする。
- 機器でプリセットステーションを設定する。

再生



1. ホーム画面から を選択します。
   最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
2. アイコン左端の ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。
3. aha を選択すると、画面の下部に次のアイコンが表示されます。選択するステーションによって、表示されるアイコンは異なります。
4. また、次のアイコン以外が表示される場合もあります。

音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン を押します。
   （音声ガイドが流れ、最後に ピッ と鳴った後に発話します。）
2. 「Aha（アハ）」と発話します。
   その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド *1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	メインメニューを表示します。 他のステーションに切り替えたいときに使います。	メインリスト

アイコン	説明	音声コマンド *1
	コンテンツリストを表示します。 ステーション内の、他のコンテンツに切り替えたいときに使います。	リスト
	**シャウト** 音声を録音します。 音声を録音し、再生可能な音声として Facebook や他のソーシャルステーションに投稿します。	シャウト
	**Like*2** 現在のコンテンツを“Like (好き)”評価します。	Like
	**Dislike*2** 現在のコンテンツを“Dislike (嫌い)”評価します。	Dislike
	15 秒巻きもどします。	15 秒戻る
	**地図 (ナビゲーションシステム装備車のみ)** 周辺情報サービスを利用して検索した目的地を、ナビゲーションシステム上に表示します。	—
	**電話発信** 周辺情報サービスを利用して検索した店などに、電話をかけることができます。 接続している機器が、ハンズフリーとして接続されている場合に、使用できます。	—
	前のコンテンツにもどります。	前の
	⏸ ➡ ▶（一時停止中に選択すると） 曲を再生します。	再生
	▶ ➡ ⏸（再生中に選択すると） 一時停止します。	一時停止
	次のコンテンツに進みます。	次の

アイコン	説明	音声コマンド *1
	30 秒早送りをします。	30 秒進む
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	サウンド設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

*2 ステーションやプロバイダーによっては、違うタイプの「Like」、「Dislike」を使用しています。

メインメニュー



を選択します。

タブを切り替えてステーションのカテゴリを選択します。

タイプ	再生できるデータ
プリセット	機器で設定したプリセットステーションリストを表示します。 プリセットステーション名を選択すると、そのステーションの内容が再生されます。
周辺情報	ステーションリストから好みのステーションを選択します。 検索された、自車位置周辺の目的地へ案内します。 事前に機器でフィルタ設定することで、好みのカテゴリを指定することができます。

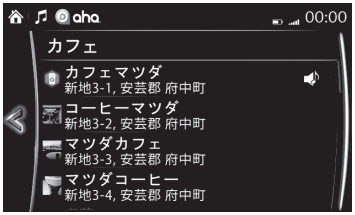
知識

- 周辺情報サービスは、Aha が提供する内容に依存するため、利用可能なサービスが異なる場合があります。
- 視聴する番組によってメニュー表示は異なる場合があります。

使用例 (周辺情報)



1. メインメニューの周辺情報タブから、好みのステーションを選択します。
   検索された目的地の順番で、目的地名や住所などの再生が始まります。
2. を選択すると、現在表示されている目的地をナビゲーションシステム上に表示します (ナビゲーションシステム装備車のみ)。
3. を選択すると、現在表示されている目的地の電話番号に電話をかけます。
4. を選択すると、コンテンツリストを表示します。



一覧から他の目的地を選択できます。

シャウト

Facebook や Caraoke などのソーシャルステーションでは「シャウト」機能を利用した音声メッセージの投稿が可能です。

1. を選択すると、カウントダウン (3, 2, 1, 0) が始まります。カウントダウンが終了すると、録音が開始されます。
2. 音声を録音します。
3. 投稿 を選択すると、録音が保存･投稿されます。

知識

- 録音可能時間は、ソーシャルステーションによって異なります (最大 30 秒間)。
- 録音可能時間が経過すると、自動的に録音は停止します。その後、投稿するか破棄するかを選択します。

Stitcher™ラジオの使いかた

Stitcher™*1 ラジオとは

Stitcher™ラジオは、インターネットラジオや Podcast などのストリーミング放送を聴くことのできるアプリケーションです。
気に入ったコンテンツをお気に入りに登録したり、“Like”または“Dislike”することで、自動的にお勧めのコンテンツを選択してくれます。
*1 Stitcher™、Stitcher™ロゴおよび Stitcher™トレードドレスは Stitcher, Inc.の商標、または商標登録です。

知識

Bluetooth®の Stitcher™ラジオを操作する前に、次の手続きを行ってください:

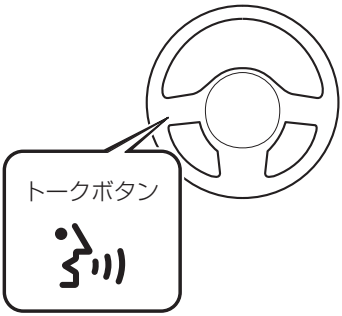
- 機器に Stitcher™ラジオアプリケーションをインストールする。
- 機器で Stitcher™ラジオアカウントを作成する。
- 機器で Stitcher™ラジオにログインする。
- 機器でプリセットステーションを設定する。

再生



1. ホーム画面から♫を選択します。
   最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
2. アイコン左端の♫ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。
3. **Stitcher** を選択すると、画面の下部に次のアイコンが表示されます。

音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
   （音声ガイドが流れ、最後にピッと鳴った後に発話します。）
2. 「Stitcher（スティッチャー）」と発話します。
   その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド *1
♫	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
☰	放送局リストを表示します。 他の放送局に切り替えたいときに使います。	放送曲
👎	**Dislike** 再生中の番組を“Dislike (嫌い)”評価します。	Dislike

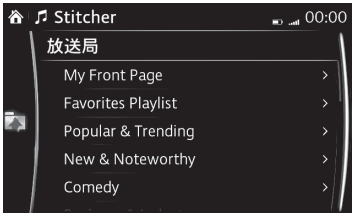
アイコン	説明	音声コマンド *1
	**Like** 再生中の番組を“Like (好き)”評価します。	Like
	再生中の放送局を、お気に入りに追加、またはお気に入りから削除します。	お気に入りに追加
	30 秒巻きもどします。	30 秒戻る
	 （一時停止中に選択すると）曲を再生します。	再生
	 （再生中に選択すると）一時停止します。	一時停止
	次の放送局に進みます。	次の
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	サウンド設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

知識

視聴する番組によってメニュー表示は異なる場合があります。

放送局リスト



1. ☰を選択すると、ステーションリストが表示されます。
   ① お気に入り放送局名: 選択すると、お気に入りに登録されている番組が表示されます
   ② カテゴリ名: Stitcher™があなたの好みから選択した、お勧めのカテゴリが表示されます。選択すると、そのカテゴリの番組が表示されます。
2. 放送局名を選択すると、再生します。

お気に入りに追加する

再生中の番組が、お気に入りに登録されていない場合、お気に入りに登録することができます。



1. ★を選択して、登録を追加できるお気に入り放送局を表示します。



2. Favorites Playlistを選択します。



3. 登録を選択し、お気に入りステーションに番組を追加します。

知識

- 複数のお気に入り放送局を選択して、登録することができます。
- 自分で登録したお気に入り放送局だけでなく、デフォルト設定のお気に入りステーションも表示されます。

お気に入りから削除する

再生中の番組が、既にお気に入りに登録されている場合、お気に入りから削除することができます。



1. ★を選択して、お気に入りから削除します。

AUX の使いかた

⚠警告

必ず守る AUX 端子に接続したコードが、セレクトレバーに絡まないようにする。

運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止 プラグを接続した状態で、AUX 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を乗せたり、大きな力を加えたりしないでください。

禁止 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。

知識

- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。

知識

- ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- ポータブルオーディオを AUX 端子に接続するための接続コードは、市販の抵抗なしのステレオミニプラグ (3.5φ) を使用してください。ご使用前に接続コードの取扱書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、ポータブルオーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグは AUX 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

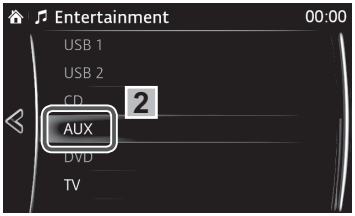


AUX 端子の位置は車種により異なります。

知識

プラグの抜き差しは、AUX 端子の穴に対して垂直に行なってください。

音楽を再生する



1. ホーム画面の を選択して、エンターテイメント画面を表示します。
2. AUX を選択すると、画面の下部に表に示すアイコンが表示されます。



AUX 機器再生画面

アイコン	説明	音声コマンド
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	—
	音質を調節します。 →296 ページ「マツダコネクトの設定」	—

知識

- 機器が AUX 端子に接続されていないときは、AUX モードには切り替わりません。
- 音量調節は、ポータブルオーディオ本体およびコマンダースイッチ、またはオーディオリモートコントロールスイッチで行います。
- 音量調節以外の操作は、ポータブルオーディオ本体で行います。センターディスプレイやコマンダースイッチでは操作できません。
- AUX モード中に AUX 端子からコードを抜いたり、接続している機器側のプラグを抜いたりするとノイズが発生することがあります。

Bluetooth®をご使用の前に

Bluetooth®ハンズフリーについて

車両の Bluetooth®ユニットに電波送信で Bluetooth®機器 (携帯電話) を接続すると、オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン、ピックアップボタン、ハングアップボタン、またはセンターディスプレイでの操作により、電話に出たり電話をかけたりすることができます。例えば、Bluetooth®機器をコートのポケットに入れている場合でも、Bluetooth®機器を取り出して直接操作することなく、電話をかけることができます。
→375 ページ「電話のかけかた」

知識

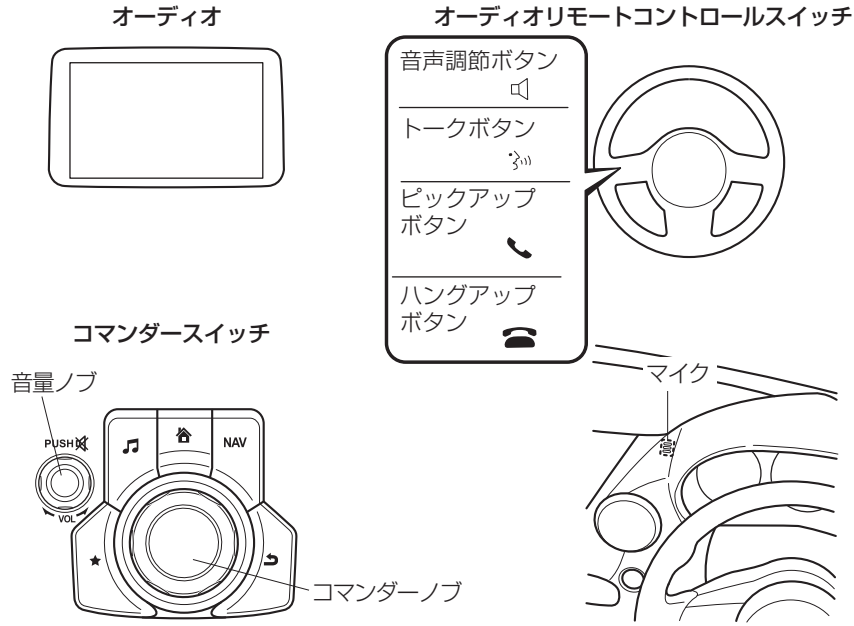
- Bluetooth®機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth®機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。
- 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。車両が発進すると、ペアリングは中断されます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- Bluetooth®機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- 本機で接続確認済み機種は次のサイトで情報公開しています。
  マツダコネクトサポートページ

  http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP

対応 Bluetooth®規格 (推奨)

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)
および Bluetooth®Ver3.0 と互換性のあるもの。

構成部品



オーディオや各スイッチの形状は車種により異なります。

マイク (ハンズフリー)

マイクは音声認識での音声コマンド入力や、ハンズフリー通話に使用します。

トークボタン

音声認識を起動します。
また音声ガイダンスをスキップします。

ピックアップボタン

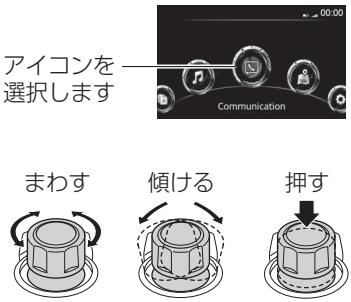
電話着信に応答します。
また電話発信操作の最後に押すと、電話を発信します。

ハングアップボタン

通話を終了したり、電話着信を拒否します。
また音声認識操作を終了します。

コマンダースイッチ

コマンダースイッチは音量の調節とセンターディスプレイの操作に使います。コマンダーノブを傾ける、またはまわしてカーソルを移動します。コマンダーノブを押して、アイコンを選択します。



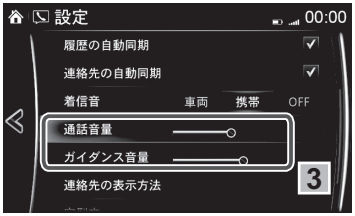
音量の調節



1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. 設定を選択します。



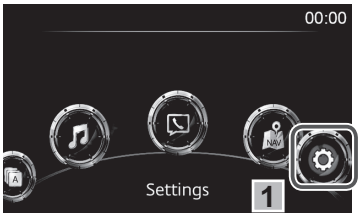
3. 通話音量とガイダンス音量をスライダーで調節します。

知識

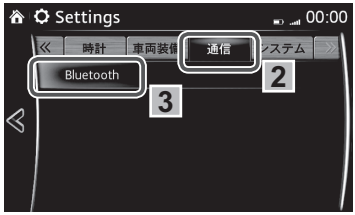
- コマンダースイッチの音量ノブをまわして、音量を調節します。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。音量はオーディオリモートコントロールスイッチの音量調節ボタンを操作することでも調節できます。
- 他のオーディオモードと比べて、音量が小さいと感じた場合は、機器側の音量を上げてください。
- ハンズフリー通話中や音声ガイダンスなど大きくしたいシーンで操作してください。

Bluetooth®の ON/OFF

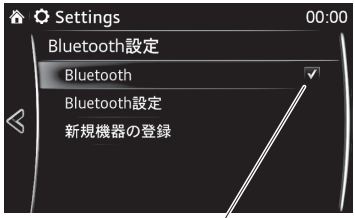
Bluetooth®接続を使用するには、Bluetooth®設定を ON にします。チェック状態が ON、チェックが外れた状態は OFF となります。



1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信 タブを選択します。
3. **Bluetooth** を選択します。



4. Bluetooth®設定画面が表示されます。

チェックが外れていると
OFF の状態です。

Bluetooth®の登録

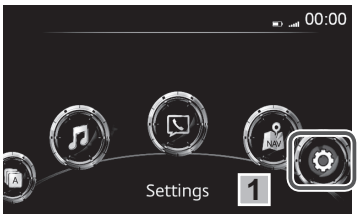
機器の登録 (ペアリング)

Bluetooth®オーディオとハンズフリーを使用するには、次の手順で Bluetooth®機器を登録します。Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器、または携帯電話を 7 個まで登録することができます。

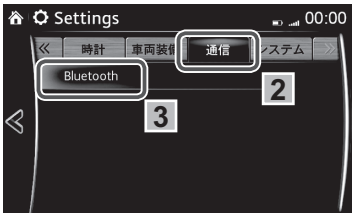
知識

Bluetooth®は、電源ポジションを ACC、または ON に切り替えた後、1～2 分間操作できない場合がありますが異常ではありません。1～2 分経過後も Bluetooth®機器が自動接続されない場合は、Bluetooth®機器 の Bluetooth®設定が正常である事を確認のうえ、車両側から Bluetooth®機器に再接続を試みてください。

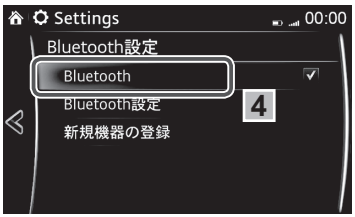
ペアリング手順



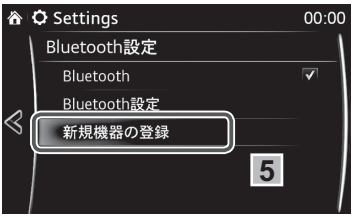
1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信 タブを選択します。
3. **Bluetooth** を選択します。



4. (OFF の場合) **Bluetooth** を選択して ON にします。

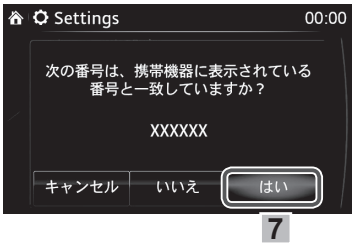


5. 新規機器の登録を選択して、手順 6 のメッセージを表示させます。



6. このメッセージが表示されている間に、Bluetooth®機器を操作して、Bluetooth®機器を検索します。

7. [Bluetooth®機器での操作]
Bluetooth®機器の検索結果の機器一覧に表示された「Mazda」を選択します。
(Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.0 以前の機器の場合)
[Bluetooth®機器での操作]
センターディスプレイに表示された 4 桁のペアリングコードを Bluetooth®機器に入力します。
(Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.1 以上の場合)
[Bluetooth®機器での操作]
センターディスプレイに表示された 6 桁のコードが Bluetooth®機器にも表示されていることを確認し はい を選択します。
[本機での操作]
Bluetooth®機器に表示された 6 桁のコードがセンターディスプレイに表示されていれば、 はい を選択します。



知識

- Bluetooth®機器が電話帳インポートやショートメッセージ機能に対応している場合は、電話帳や通話履歴、ショートメッセージ (SMS) がダウンロードされます。
- 電話帳インポートやショートメッセージ機能の動作には、Bluetooth®機器でダウンロード許可操作を実行する必要がある場合があります。
- **Bluetooth®機器の Bluetooth®接続については、Bluetooth®機器の取扱書を必ず参照してください。**

ペアリングと自動再接続について

ペアリングが完了すると、次回のシステム起動時に、前回の Bluetooth®接続を自動的に復元しようとします。Bluetooth®ハンズフリー機能を ON、または電源ポジションを OFF から ACC に切り替えると、機器の接続状態がセンターディスプレイに表示されます。

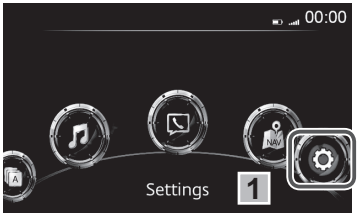
知識

- 同じ Bluetooth®機器のペアリングをやり直す場合は、Bluetooth®機器から「Mazda」を一度削除する必要があります。
- Bluetooth®機器と車両のペアリング情報をどちらか一方で削除した場合、ペアリング相手側も一旦登録を削除し、再度ペアリングする必要があります。
- システム起動時の Bluetooth®自動接続は Bluetooth®機器が接続可能な状態である必要があります。
- ペアリングする前に、機器と車両の両方の Bluetooth®の設定が ON になっていることを確認してください。

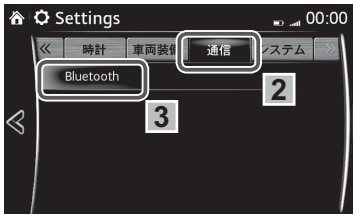
Bluetooth®機器の選択

複数の Bluetooth®機器をペアリングしているときは、接続する Bluetooth®を選択することができます。他のペアリング済み Bluetooth®機器と接続したいときは、次の手順で Bluetooth®機器の接続を変更します。

他の Bluetooth®機器を接続する



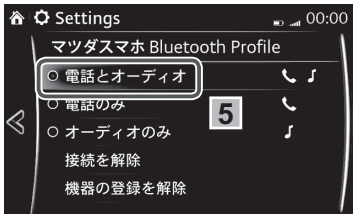
1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信 タブを選択します。
3. **Bluetooth** を選択します。



4. 接続したい機器の名前を選択します。



5. 接続方法を選択します。

電話とオーディオ を選択
ハンズフリーと Bluetooth®オーディオ両方の機器として接続します。
電話のみ を選択
ハンズフリー機器として接続します。

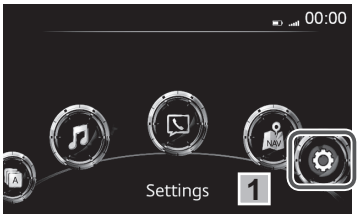
オーディオのみ **を選択**
Bluetooth®オーディオとして接続します。

知識

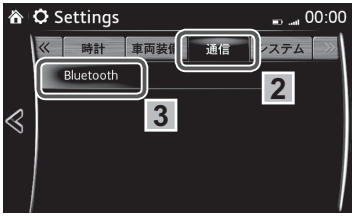
ハンズフリー、またはオーディオは、次の機能を使用することができます。

- ハンズフリー: 電話→375 ページ「電話のかけかた」、SMS →388 ページ「メッセージの受信と返信」
- オーディオ: Bluetooth®オーディオ→344 ページ「Bluetooth®オーディオシステムの使いかた」、Aha™→348 ページ「Aha™の使いかた」、Stitcher™ラジオ→353 ページ「Stitcher™ラジオの使いかた」
- システム起動時の Bluetooth®自動接続では、Bluetooth®機器側の要求が優先されるため、[電話のみ] や [オーディオのみ] を本機で選択していても、[電話とオーディオ] として接続される場合があります。

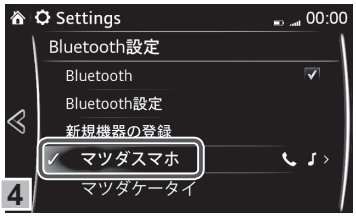
Bluetooth®機器との接続を切断する



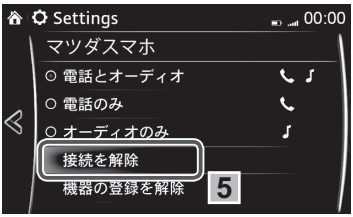
1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信 タブを選択します。
3. **Bluetooth** を選択します。



4. 現在接続している機器の名前を選択します。



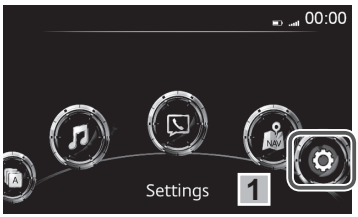
5. 接続を解除を選択します。

知識

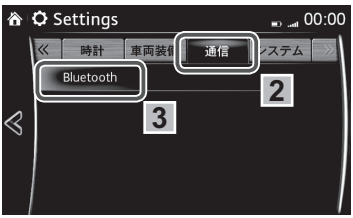
Bluetooth®設定で Bluetooth®を OFF にしても接続を切断できます。
→365 ページ「Bluetooth®の ON/OFF」

Bluetooth®機器を削除する

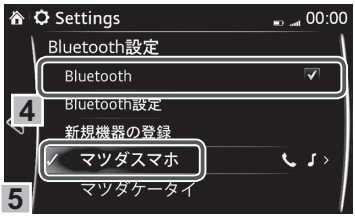
ペアリング済み Bluetooth®機器を指定して削除するとき



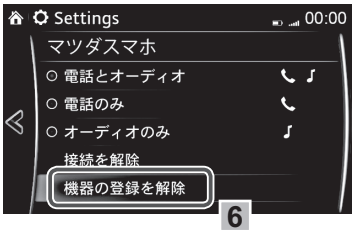
1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。



4. (OFF の場合) **Bluetooth**を選択して ON にします。
5. 削除したい機器の名前を選択します。



6. 機器の登録を解除を選択します。

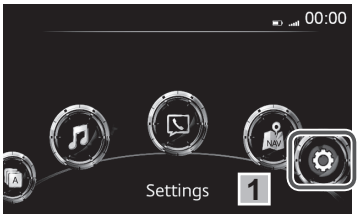


7. 確認画面で はい を選択します。

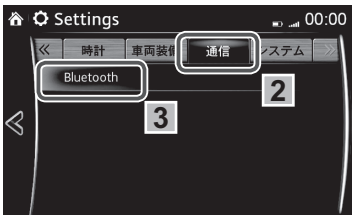
知識

- Bluetooth®の登録を削除すると、削除したBluetooth®機器の電話帳や通話履歴、ショートメッセージも削除されます。
- Bluetooth®機器の登録を削除した場合、Bluetooth®機器でも「Mazda」を削除してください。

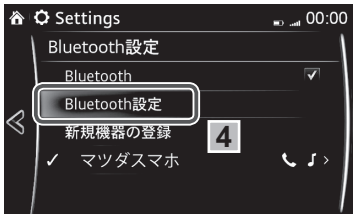
全ての機器を削除するとき



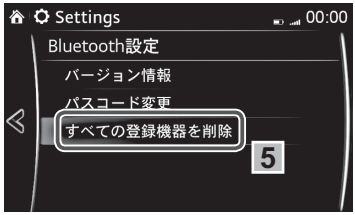
1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信 タブを選択します。
3. **Bluetooth** を選択します。



4. Bluetooth設定を選択します。



5. すべての登録機器を削除を選択します。



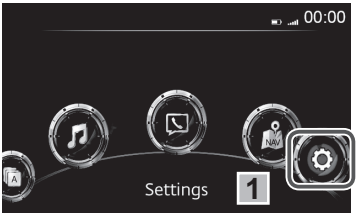
6. 確認画面ではいを選択します。

知識

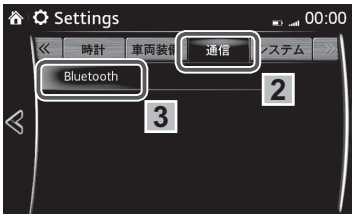
- Bluetooth®機器の登録を削除すると、削除したBluetooth®機器の電話帳や通話履歴、ショートメッセージも削除されます。
- Bluetooth®機器の登録を削除した場合、Bluetooth®機器でも「Mazda」を削除してください。

パスコードを変更する

ペアリングする Bluetooth®機器のバージョンが 2.0 以前の場合は、マツダ車両で設定しておいた 4 桁のパスコードを入力してペアリングします。4 桁のパスコードは、次の手順で変更できます。



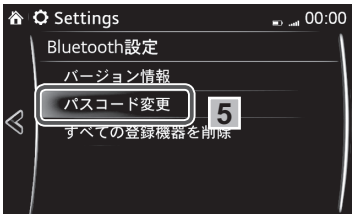
1. ホーム画面の⚙を選択して、設定画面を表示します。



2. 通信タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。



4. Bluetooth設定を選択します。



5. パスコード変更を選択します。



6. 新しいパスコードを入力します。
7. ✔を選択します。

知識

パスコードを変更しても、ペアリング済みの Bluetooth®機器の接続には影響ありません。

Bluetooth®ハンズフリー

電話のかけかた

マツダコネクトでは、次の 6 つの方法から電話をかけることができます。

- Bluetooth®機器 (携帯電話) からダウンロードした電話帳 (音声認識機能が使えます)
- お気に入り
- 履歴
- 電話番号ダイヤル (音声認識機能が使えます)
- 「リダイヤル」 - 最新の発信履歴に電話をかける音声認識コマンド。
- 「コールバック」 - 最新の着信履歴に電話をかける音声認識コマンド。

連絡先（電話帳）を利用して電話する

音声での操作

ダウンロードされた電話帳、または電話番号が登録された人物の中から、連絡先を発話することによって発信することができます。

1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン を押します。
2. ピッ という音が鳴るまで待ちます。
3. 発話: (例) 「マツダ タロウの携帯に電話」 (マツダ タロウという人物が Bluetooth® 機器の電話帳に登録されている場合)
4. 電話を発信するために、音声案内に従ってください。



知識

- 事前にダウンロードしておいた連絡先を利用して電話をかけます。
→381 ページ「連絡先を入力する (電話帳をダウンロードする)」
- Bluetooth®機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼びだすことができません。
- 電話帳に登録されている、ふりがな情報通りに発話してください。

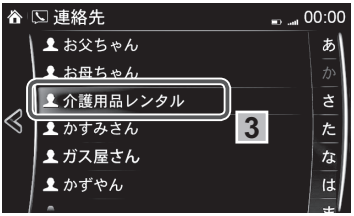
センターディスプレイでの操作



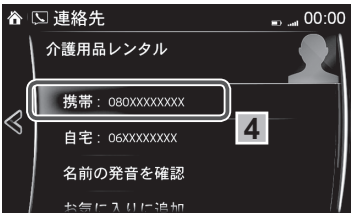
1. ホーム画面の を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. 連絡先 を選択して、連絡先リストを表示します。



3. 電話を発信したい連絡先を選択して、連絡先の詳細を表示します。



4. 電話番号を選択して、電話を発信します。

お気に入りから電話を発信する



1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. お気に入りを選択して、お気に入り一覧を表示します。



3. 電話したい連絡先情報を選択します。



4. 電話番号を選択します。

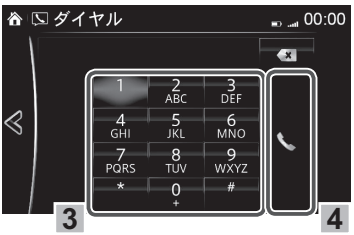
電話番号を入力して電話する



1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. ダイヤルを押すとダイヤルパッドが表示されます。



3. ダイヤルパッドを使って電話番号を入力します。
4.  を選択して電話を発信します。

知識

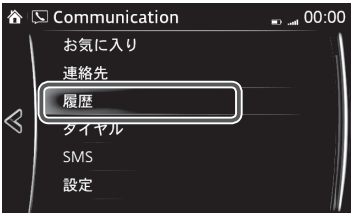
-  を選択すると、ひとつ前の入力番号を削除します。
-  を長押しすると、すべての入力番号を削除します。
- 0 + を長押しすると、＋を入力できます。

履歴（発信履歴、着信履歴）を利用して電話をかける

音声での操作

- **リダイヤル**
  携帯電話/車両から、最後に電話をかけた相手 (発信履歴の最新の人物) に電話を発信します。
  1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
  2. ピッという音が鳴るまで待ちます。
  3. 発話:「リダイヤル」
- **コールバック**
  携帯電話/車両に対し、最後に電話をかけてきた相手 (着信履歴の最新の人物) に電話を発信します。
  1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
  2. ピッという音が鳴るまで待ちます。
  3. 発話:「コールバック」

センターディスプレイでの操作



ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面から履歴を選択します。



- **発着信履歴から電話する (すべて)**
  すべての履歴が表示され、電話をする相手先を選択します。
- **不在着信履歴から電話する (不在着信)**
  不在着信履歴が表示され、電話をする相手先を選択します。

電話の受けかた

「着信通知」の設定が On になっているときに、電話の着信があると、着信通知画面が表示されます。
→394 ページ「コミュニケーション設定」



通話を開始するには、オーディオリモートコントロールスイッチのピックアップボタンを押すか画面上の 応答 を選択します。
着信を拒否するには、オーディオリモートコントロールスイッチのハングアップボタンを押すか画面上の 拒否 を選択します。

知識

着信通知を OFF に設定すると、着信通知画面が表示されずかかってきた電話は着信拒否されます。
→394 ページ「コミュニケーション設定」

通話中にできること

通話中画面には、次のアイコンが表示されます。使用状況によって表示されるアイコンは異なります。



アイコン	説明
	コミュニケーションメニューを表示します。
	通話を終了します。
	ハンズフリーから携帯電話に電話を転送する 本機と Bluetooth®機器の間の通信が取り消され、通常の電話として機器 (携帯電話) 側で受けるように切り替えます。

アイコン	説明
	**機器 (携帯電話) からハンズフリーに電話を転送する** 機器 (携帯電話) と接続し、Bluetooth®ハンズフリーの通話に切り替えます。
	通話中にマイクを消音することができます。 もう一度選択すると解除されます。
	通話中に別の相手に発信して三者通話ができます。次の中から連絡先を選択して発信します。 履歴: 通話履歴が表示されます。 連絡先: 電話帳が表示されます。 ダイヤル: ダイヤルパッドが表示されます。電話番号を入力します。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。
	保留中の通話が合流し、三者通話になります。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。
	保留中の通話を切り替えます。
	**DTMF (Dual Tone Multi-Frequency Signal) 送信** ダイヤルパッドで DTMF を送信する場合、この機能を使用します。 一般的に、DTMF 送信を要求するものは家庭用電話の留守番電話、または会社の自動ガイダンスコールセンターです。

連絡先を入力する (電話帳をダウンロードする)

Bluetooth®を使用することで、Bluetooth®機器から電話帳のデータを本機の連絡先に登録することができます。

自動ダウンロード

「連絡先の自動同期」の設定が On になっている場合は、Bluetooth®機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。
→394 ページ「コミュニケーション設定」

手動ダウンロード

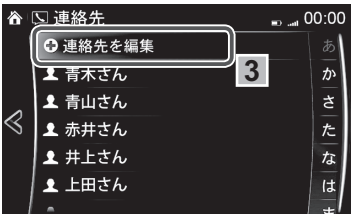
「連絡先の自動同期」の設定が Off の場合、次の手順で電話帳のダウンロードを行います。



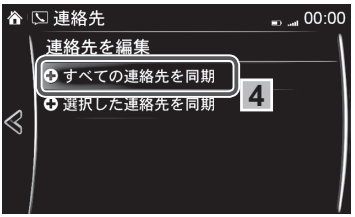
1. ホーム画面の⚙を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



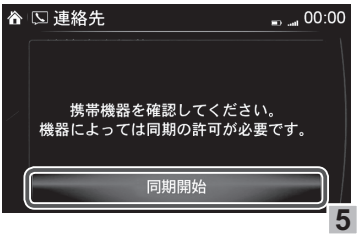
2. 連絡先 を選択して、連絡先リストを表示します。



3. 連絡先を編集 を選択します。



4. すべての連絡先を同期 を選択します。



5. 同期開始 を選択します。

知識

- 電話帳のダウンロードは、Bluetooth®の PBAP プロファイルを使用します。お使いの Bluetooth®機器が対応しているかは、マツダコネクトサポートページをご確認ください。

  http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP
- 本機は Bluetooth®の OPP プロファイルにも対応しており、PBAP プロファイルを持たない Bluetooth®機器でも電話帳転送ができます。PBAP プロファイルを持たない Bluetooth®機器で電話帳転送をするときは、手順 4 で「選択した連絡先を同期」を選択したあと、Bluetooth®機器の操作を行い電話帳データを送信してください。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。
- 最大 1000 件までの連絡先を登録することができます。
- 電話帳、着信/発信履歴、およびお気に入りメモリは、プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth®機器ごとに独立して保存しています。
- Bluetooth®機器から電話帳をダウンロードするには、本機での操作の他に、Bluetooth®機器側の操作が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。

連絡先をお気に入り登録する

最大 50 件の連絡先を登録することができます。電話番号を登録すると、電話帳の中から電話したい人を探す必要がなく、より早く電話を発信することができます。

知識

事前に連絡先を入力(電話帳をダウンロード)する必要があります。
→381 ページ「連絡先を入力する(電話帳をダウンロードする)」

お気に入りに登録する



1. ホーム画面の を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



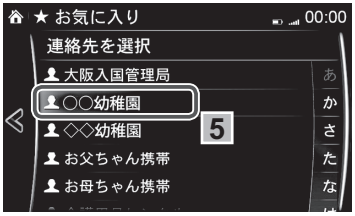
2. お気に入りを選択して、お気に入り一覧を表示します。



3. 追加/編集を選択します。



4. 連絡先を登録または電話番号を登録を選択します。



5. 表示されたリスト一覧から連絡先を選択します。

知識

- バッテリーを切り離しても、お気に入りリストは消去されません。
- 「連絡先を登録」を選択すると、選択した人の名前などの情報も含め登録されます。また、「電話番号を登録」を選択すると、選択した人の電話番号のみ登録されます。

お気に入りから削除する



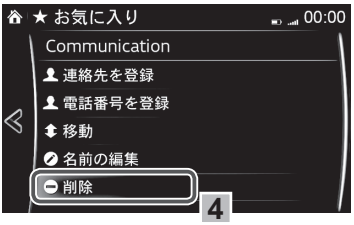
1. ホーム画面の を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



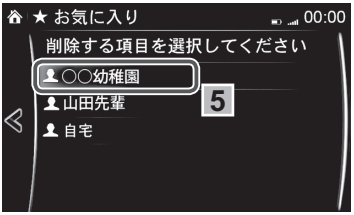
2. お気に入り を選択して、お気に入り一覧を表示します。



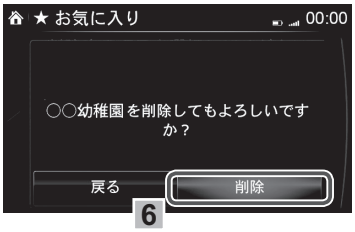
3. 追加/編集 を選択します。



4. 削除 を選択します。



5. 削除したい連絡先情報を選択します。



6. 確認画面で 削除 を選択します。

お気に入り一覧の表示順を変更する



1. ホーム画面の を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



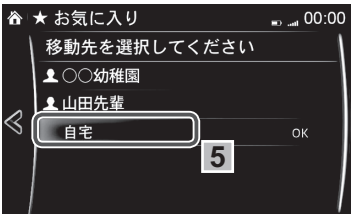
2. お気に入り を選択して、お気に入り一覧を表示します。



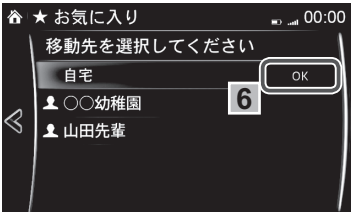
3. 追加/編集 を選択します。



4. 移動 を選択します。



5. 連絡先を選択すると、その連絡先を移動させることができます。



6. スライド、またはコマンダースイッチで連絡先を移動し、**OK**を選択します。

お気に入りの連絡先名を変更する



1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



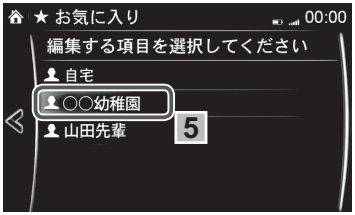
2. お気に入りを選択して、お気に入り一覧を表示します。



3. 追加/編集を選択します。



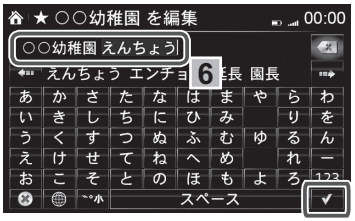
4. 名前の編集を選択します。



5. 連絡先を選択して、キーボード画面を表示します。

知識

連絡先を長押しすると、長押しした連絡先の追加/編集メニューが表示されます。



6. 変更したい連絡先名を入力し✔を選択して、連絡先名を保存します。

メッセージの受信と返信

接続している Bluetooth®機器が受信した SMS(Short Message Service)メッセージをダウンロードしてセンターディスプレイに表示したり、人工音声で読みあげることができます。また、受信したメッセージに定型文を返信したり、その番号に電話することができます。

知識

ご使用の Bluetooth®機器によっては Bluetooth®機器での設定が必要です。

メッセージをダウンロードする

接続している Bluetooth®機器から、最新 20 件までのメッセージをダウンロードし、表示することができます。

自動ダウンロード

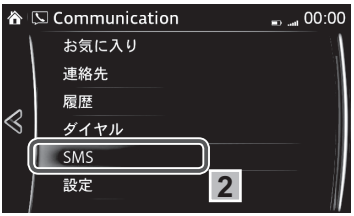
「SMS の自動同期」の設定が On になっている場合、Bluetooth®機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。→394 ページ「コミュニケーション設定」

手動ダウンロード

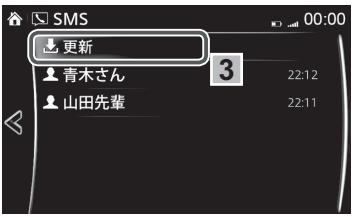
「SMS の自動同期」の設定が Off の場合、次の手順でメッセージのダウンロードを行います。



1. ホーム画面の を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. SMS を選択して、受信トレイを表示します。



3. 更新 を選択すると、Bluetooth®機器からメッセージをダウンロードします。

知識

- 添付データはダウンロードされません。
- 140 バイトまでのメッセージをダウンロードできます。
- プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth®機器ごとに独立して保存しています。

知識

- ショートメッセージ機能は Bluetooth®の MAP プロファイルを使用します。お使いの Bluetooth®機器が対応しているかは、マツダコネクトサポートページをご確認ください。

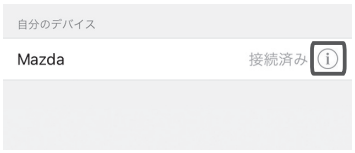
  http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP
- Bluetooth®機器からメッセージの受信と返信をおこなうには、本機での操作の他に Bluetooth®機器側の操作や設定が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。

iPhone の場合

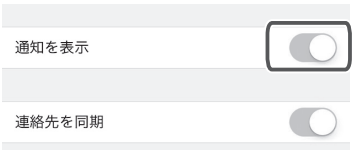
知識

- iPhone を接続する場合、次の機能は利用できません。
  - 過去メッセージのダウンロード
  - メッセージへの返信

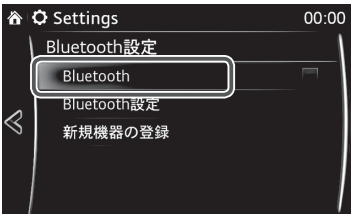
ペアリング済みで接続されている状態から次の操作をおこないます。



1. **(iPhone 操作)**
   設定メニュー→Bluetooth→デバイス「Mazda」の右端ⓘを選択します。



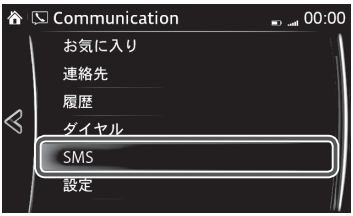
2. **(iPhone 操作)**
   「通知を表示」項目の設定を ON に設定します。



3. **(本機の操作)**
Bluetooth®を OFF にします。
→365 ページ「Bluetooth®の ON/OFF」



4. **(本機の操作)**
再度 Bluetooth®を ON にして、iPhone が自動的に再接続されるのを待ちます。



5. **(本機の操作)**
iPhone 接続後、**SMS** が選択できればご利用可能です。

メッセージを受信したとき

「メッセージ新着通知」の設定が On になっているときに、Bluetooth®機器がメッセージを受信すると、メッセージ受信通知が表示されます。
→394 ページ「コミュニケーション設定」
読む を選択すると、メッセージが表示されます。
メッセージ詳細の下に、次のアイコンが表示されます。使用状況によって表示されるアイコンは異なります。



アイコン	説明
	コミュニケーションメニューを表示します。
	受信トレイを表示します。
	表示中の受信メッセージを音声再生します。 もう一度選択すると一時停止します。
	前のメッセージを表示します。
	次のメッセージを表示します。
	表示中の受信メッセージの送信者のみに返信します。 表示された返信画面の本文を選択して、送信する文章を定型文から選択します。 送信 を選択します。
	表示中の受信メッセージの送信者に電話をかけます。 送信者の電話番号が非通知の場合は、電話を発信することができません。

アイコン	説明
	表示中の受信メッセージを削除します。 機器に保存されているメッセージも削除されます。

知識

定型文は、最大３つまで選択できます。

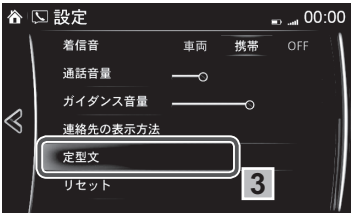
定型文を編集する



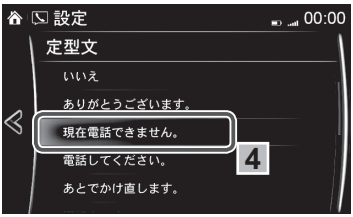
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. 設定を選択します。



3. 定型文を選択します。



4. 編集したい定型文を選択します。キーボード画面が表示されます。



5

5. 変更したいメッセージ内容を入力し、✔を選択すると定型文として保存されます。

知識

- 🌐を選択すると、言語を変更します。
- ⊗を選択すると、編集を保存せずに前の画面にもどります。

コミュニケーション設定

ホーム画面の📞を選択して、コミュニケーション画面を表示します。設定を選択して、設定を変更します。



アイテム	設定	説明
Bluetooth	—	Bluetooth®機器の接続設定をします。 →366 ページ「Bluetooth®の登録」
着信通知	オン/オフ	電話の着信があったときに、通知します。 →380 ページ「電話の受けかた」
SMS の自動同期[*1]	オン/オフ	Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的に SMS をダウンロードします。 →388 ページ「メッセージの受信と返信」

アイテム	設定	説明
メッセージ新着通知	オン/オフ	新たにメッセージを受信したときに、通知します。 →388 ページ「メッセージの受信と返信」
履歴の自動同期*1	オン/オフ	Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的に通話履歴をダウンロードします。
連絡先の自動同期*1	オン/オフ	Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的に電話帳をダウンロードします。 →381 ページ「連絡先を入力する (電話帳をダウンロードする)」
着信音	車両/携帯/オフ	着信音量の設定を変更します。
通話音量	スライダーで調節します。	通話音量を調節します。 →362 ページ「構成部品」
ガイダンス音量	—	音声ガイダンスと着信音量を調節します。 →362 ページ「構成部品」
連絡先の表示方法	名前、苗字	連絡先の表示順を名前で並び替えます。
	苗字、名前	連絡先の表示順を苗字で並び替えます。
定型文	—	定型文を編集します。 →388 ページ「メッセージの受信と返信」
リセット	—	コミュニケーション設定が全て初期化されます。

*1 Bluetooth®機器でダウンロードに対する許可操作が必要な場合があります。

トラブルシューティング

Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題

- Bluetooth®は、使用する Bluetooth®機器の設定によっても動作が変化します。
- 正常に使用できなくなった場合は Bluetooth®機器の取扱書も参照してください。
- 本機で動作確認済み機種は、次のサイトで情報公開しています。
  マツダコネクトサポートページをご確認ください。

http://infotainment.mazdahandsfree.com/vehicle_select?language=jp-JP

問題	原因	解決方法
ペアリングができない	—	Bluetooth®機器がマツダコネクトに対応しているかweb サイトで確認してください。 Bluetooth®機器の設定で Bluetooth®と Find Mode*1 が ON になっているのを確認してください。また、機内モードになっていないことを確認してください。 Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にしてください。 その後ペアリングを行ってもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。

問題	原因	解決方法
再ペアリングできない	本機または Bluetooth®機器に登録されているペアリング情報を誤認識している。	次の手順でペアリングを実施します。 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
自動接続していたが、突然自動接続しなくなった	Bluetooth®機器によっては、Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。 Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

問題	原因	解決方法
エンジン始動で自動接続しない	Bluetooth®機器の OS がアップデートされた際に、登録されているペアリング情報が更新されている。	次の手順でペアリングを実施します。 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
	Bluetooth®機器によっては、Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。 Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。
接続が途切れる	Bluetooth®機器を後部座席のカバンの中やズボンの後ろポケットの中等、電波が遮断されやすい場所に置いていませんか？	Bluetooth®機器を電波が遮断されにくい場所から移動させてください。 Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

*1　Bluetooth®機器の存在が、外から検知されるようにするための設定

音声認識に関する問題

問題	原因	解決方法
• 音声認識がうまくいかない • 数値を誤認識しやすい	• 話し方がゆっくりすぎませんか？ • 話し方が強すぎませんか？（怒鳴っていませんか？） • ビープ音が鳴り終わる前に話していませんか？ • マイクにエアコンの風などが当たっていませんか？ • 標準でない表現（方言など）で話していませんか？	左の項目に注意して話してください。また、数値を連続して話す場合、数値間に間を置かずにつなげて話すと認識率は向上します。 Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。
	• マイクに不具合がある。	マイクの接続不良や故障が考えられます。マツダ販売店にご相談ください。

問題	原因	解決方法
電話帳の名前をうまく認識しない	Bluetooth®システムが認識しにくい状態になっています。	次の対応を行っていただくと、認識率が向上します。 • 電話帳からあまり使わない連絡先を削除する。 • 短い名前を避け、長い名前を適用する。(名前は長いほど認識率が上がります。「ママ」や「パパ」などの短い文言は避けていただくと認識しやすくなります)
	Bluetooth®機器の接続に問題がある。	ペアリングの状態を確認し、接続に問題がある場合は、本項目の「Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題」を確認してください。
	電話帳にふりがな情報が登録されていない。	機器の電話帳にふりがな情報を追加し、電話帳を再ダウンロードしてください。
ガイダンスをスキップしたい	—	トークボタンを押すことにより、ガイダンスはいつでもスキップできます。

電話に関する問題

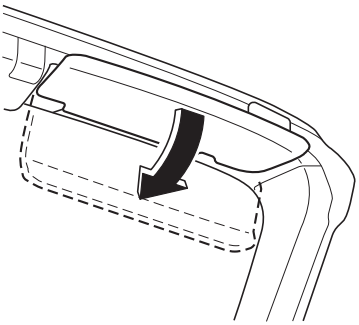
問題	原因	解決方法
通話開始時、通話相手に車両のノイズが聞こえる	通話開始から約 3 秒間は、Bluetooth®ユニットのノイズ抑制機能が通話環境の適応に時間が必要な為、通話相手にノイズが聞こえ、声が通りにくい事が有ります。	Bluetooth®機器に問題はありません。

問題	原因	解決方法
相手の声が聞こえない/小さい	ボリュームがゼロ、または小さくなっていませんか？	通話音量を上げてください。

その他の問題

問題	原因	解決方法
Bluetooth®機器に表示されるバッテリーの残量と、車両に表示されるバッテリーの残量が異なる	Bluetooth®機器からの、残量値情報と本機の表示スケールにずれがあるためです。	解決方法はありません。
車両で通話を実行時、着信/発信履歴が電話番号で更新されるが、名前が出ない	電話帳に通話相手先が登録されていません。	番号が電話帳に登録されていれば、エンジンを再始動すると、電話帳の名前で着信/発信履歴が更新されます。
着信/発信履歴がBluetooth®機器と車両間で同期しない	Bluetooth®機器によっては、エンジン始動後に、着信/発信履歴をダウンロードすることがあります。	Bluetooth®機器を操作する必要があります。Bluetooth®機器の取扱書を参照してください。

サンバイザー



前からの光をさえぎるときは、下げます。

バニティミラー (化粧鏡)

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあります。

室内照明

知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

イルミネーテッドエントリーシステム

次のような操作をすると、ルームランプが点灯します。

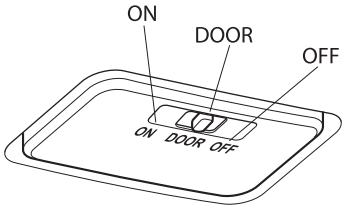
- 電源ポジションを OFF にしたあと、運転席ドアを解錠したとき。
- すべてのドアが閉まっている状態で、電源ポジションを OFF にしたとき。

知識

- ルームランプスイッチが DOOR の位置にあるとき、イルミネーテッドエントリーシステムが作動します。
- 点灯時間は操作によって異なります。
- バッテリーあがりを防止するため、電源ポジションが OFF で室内照明が点灯したままのときは、約 30 分後に自動的に消灯します。
- イルミネーテッドエントリーシステムの作動時間を変更することができます。→541 ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

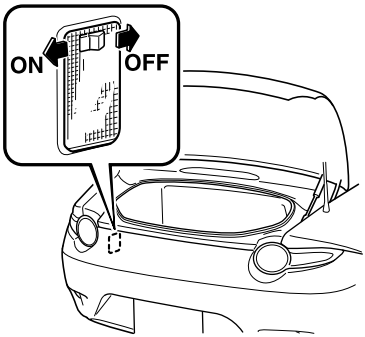
ルームランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。



スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	• ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。 • イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。
OFF	常時消灯
ON	常時点灯

トランクルームランプ

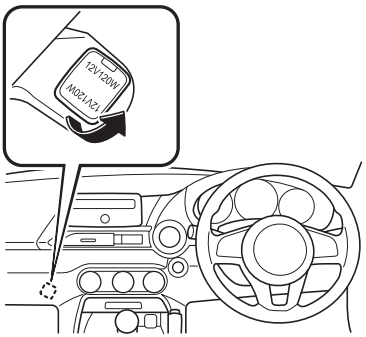


電源ポジションに関係なく使用できます。

スイッチ位置	トランクルームランプ
ON	トランクを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時消灯

電源ソケット

助手席側、足元の奥にあります。
電源ポジションが ACC または ON のとき、電気製品の電源として使用します。
最大消費電力 120W (DC12V—10A) 以下の電気製品を使用してください。



⚠注意

使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。

電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。

消費電力が 120W (DC12V—10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。

電源ソケットに接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。

電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器をはずし、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットからはずしたあと、電源ポジションを OFF にしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

知識

- エンジンを停止しているときやアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。
- シガーライターを差し込まないでください。

脱着式カップホルダー

⚠注意

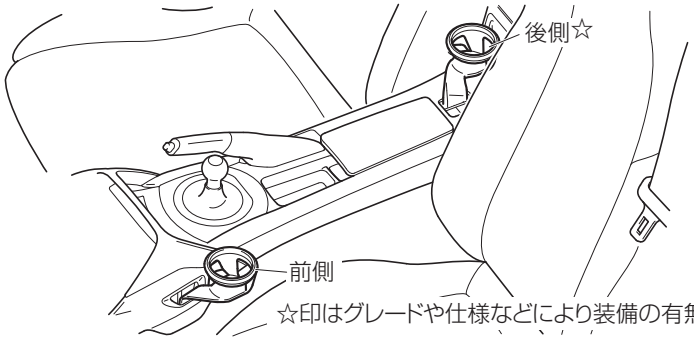
禁止 **走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。**

禁止 **ペットボトル、カップ、缶以外のものを置かないでください。走行中に落ちて、けがをするおそれがあります。**

禁止 **ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中にペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。**

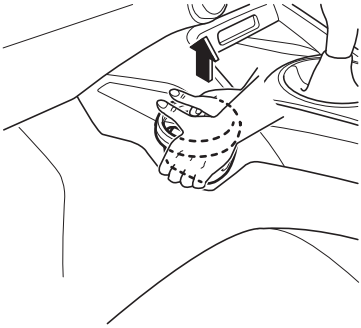
禁止 **手をついたり、ひじをかけたりして無理な力をかけないでください。無理な力をかけると破損するおそれがあります。**

必ず守る **同乗者がいる場合は、前側のカップホルダーをリアコンソールに取り付けて使用してください。前側で使用すると、ひざなどが当たり、中身がこぼれるおそれがあります。**



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

取りはずすとき

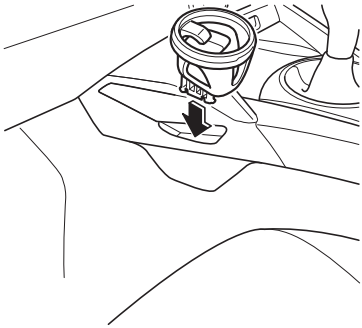


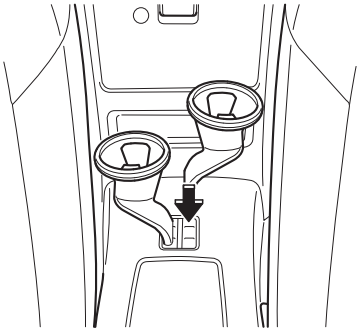
取りはずすときは両手で取りはずします。

取り付けるとき

⚠注意

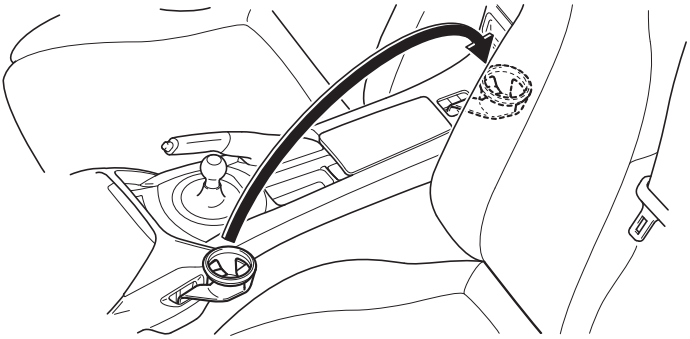
必ず守る **カップホルダーを取り付けるときは、取り付け穴の奥まで差し込み、固定されていることを確認してください。固定されていないと、走行中にカップホルダーがはずれて、飲み物などがこぼれるおそれがあります。**



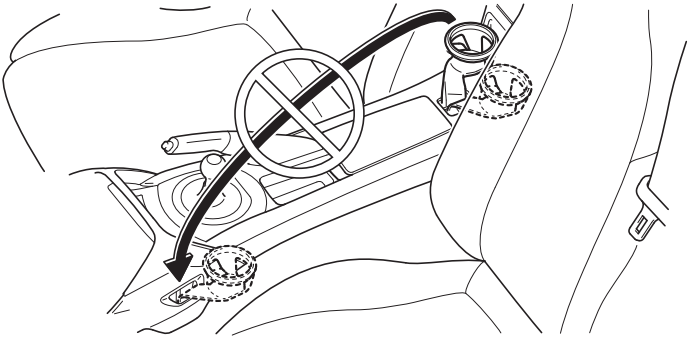


知識

- 前側のカップホルダーは取りはずして、リアコンソールに取り付けることができます。



- 後側のカップホルダーはリアコンソール専用のため前側に取り付けることはできません。



収納

⚠注意

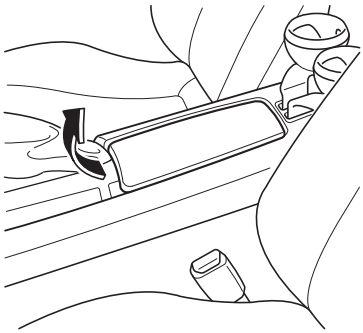
フタ付きの収納は走行中は、必ずフタを閉めてください。急ブレーキ時や衝突時にフタや内部の物でけがをするおそれがあります。

必ず守る

炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

禁 止

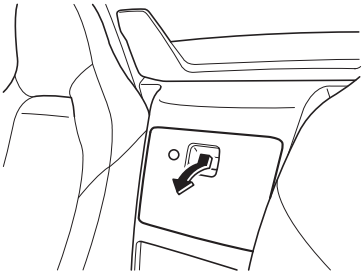
センターコンソールボックス



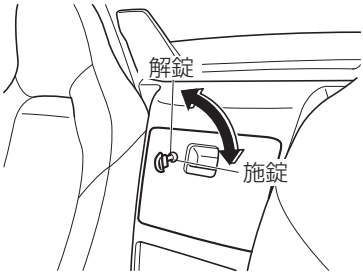
リアコンソールボックス

⚠注意

必ず守る **コンソール後側のカップホルダーを使用している場合は、カップなどを取り除いてからリアコンソールボックスを開いてください。**
カップなどを置いたまま、リアコンソールボックスを開くとフタがカップなどに当たり、中身がこぼれるおそれがあります。



開くときは、ノブを下に押します。
閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

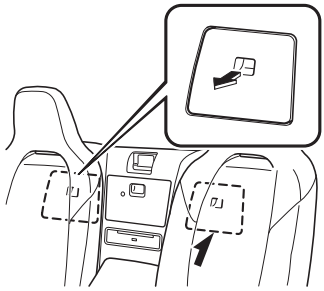


補助キーを差し込み右側にまわすと施錠し、左側にまわすと解錠します。

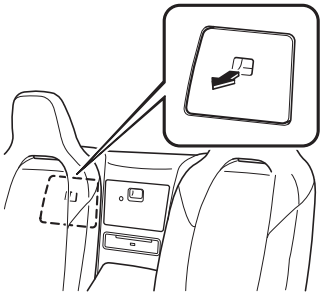
リアストレージボックス

小物などを収納できます。

(ソフトトップ車)



(リトラクタブルファストバック車)



使用するとき

1. シートをいちばん前へスライドさせ、背もたれを前に倒します。
   →45 ページ「シートの使いかた」
2. フタを取りはずします。

使用後はシートをもとの位置にもどします。
もどした後は、シート、背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

⚠注意

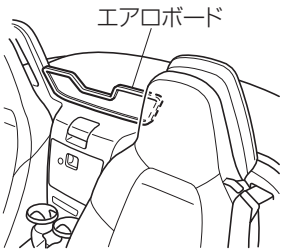
禁止

リアストレージボックスに無理に物を押しこまないでください。無理に押しこむと破損するおそれがあります。

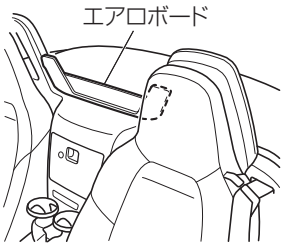
エアロボード

エアロボードは、ソフトトップ/リトラクタブルハードトップを開けて走行するとき、後方からの風の巻き込みを防ぎます。

(ソフトトップ車)



(リトラクタブルファストバック車)



4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 414
必ずまもる....414
お車に触れるときはけがに注意する....415
点検、整備 416
点検整備について....416
定期点検....418
日常点検の前に....418
日常点検....420
その他の手入れ....427
ヒューズ切れ、電球切れのとき 428
ヒューズの受け持つ装置....428
ランプ類、電気装置が作動しないとき....433
電池交換 446
電池を交換するときは....446
車の手入れ 449
外装の手入れ....449
内装の手入れ....457
季節の準備 461
冬にそなえて....461
夏にそなえて....463
環境保護のために 464
廃棄物を処理するときは....464

必ずまもる

違法改造はしない

車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジンの改造や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品を装着するときは、マツダ販売店にご相談ください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

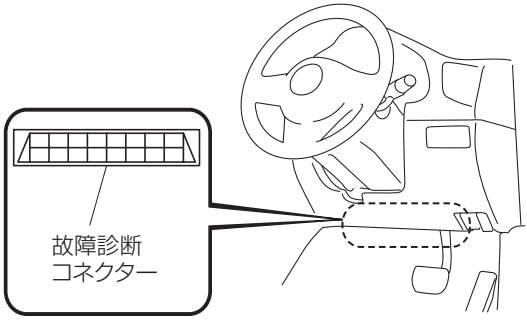
ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。

部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、マツダ販売店にご相談ください。
また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

故障診断コネクターに点検整備用の故障診断器以外を接続しない

故障診断コネクターは、専用の機器を接続することで故障などを自己診断するためのコネクターです。
故障診断コネクターには、点検整備用の故障診断器以外を接続しないでください。故障診断器以外の機器を接続すると、車の電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがるなど、思わぬ故障につながるおそれがあります。



お車に触れるときはけがに注意する

お手入れをするとき

日常点検やタイヤ交換などの作業、洗車など手入れをするときは、けがをしないように注意してください。

見えにくい箇所へ触れるとき

手にけがをするおそれがありますので、軍手など厚手の手袋を使用して点検や作業などを行なってください。

点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。
安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。
いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。
使用済みバッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。

⚠警告

必ず守る **点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なう。**
車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止 **エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。**
手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止 **エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。**

必ず守る **エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。**
置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

無料点検について
新車登録後 1 か月 (または走行距離 1,000km)、6 か月 (または走行距離 5,000km) は無料で点検が受けられます。

車両データの記録について

本車両は、車両の制御や操作、その他の走行環境に関する主要なデータを記録するコンピューターを装備しています。

記録されるデータ

- エンジン回転数や車速など、車両の状態
- アクセル/ブレーキなどの運転状態・車両走行時の環境情報
- 各車載コンピューターの故障診断情報
- その他、各車載コンピューターの制御に関する情報

知識

記録されるデータの項目は、車両のグレードやオプション装備の種類により異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

マツダおよびマツダの委託先は、コンピューターに記録されたデータを、車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。
なお、取得したデータは次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意 (リース車は借貸主の同意) がある場合
- 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

定期点検

1 年点検、2 年点検はマツダ販売店で受けてください。

知識

- **点検結果について**
  点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- **シビアコンディションについて**
  一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。
  詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

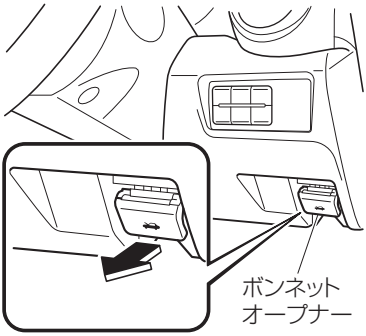
日常点検の前に

ボンネットの開けかた

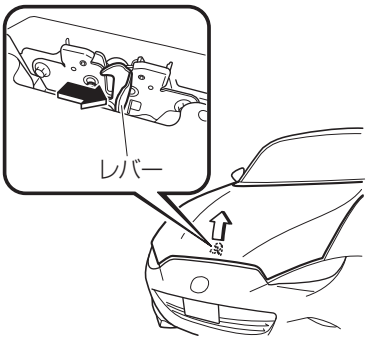
警告

アクティブボンネットが作動したときは、ボンネットオープナーを引かない

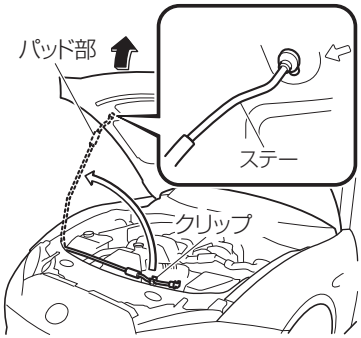
ボンネットオープナーを引くと、さらにボンネットが上がり視界の妨げとなるため危険です。また、ボンネットを無理に押し戻さないでください。手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。アクティブボンネットが作動したときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。



1. 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

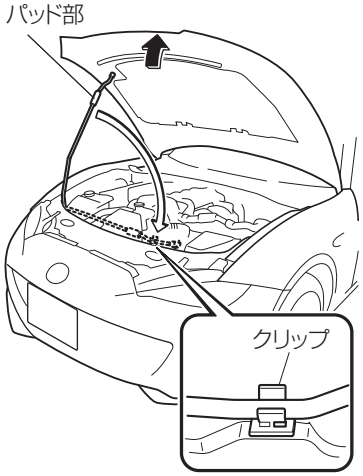


2. ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを矢印の方向に倒したままボンネットを持ち上げます。



3. パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。

ボンネットの閉めかた



1. エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
2. ボンネットを手でささえてステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。
3. ボンネットをゆっくりおろし、約 20 cm の高さから静かに落として閉めます。

⚠警告

ボンネットが確実に閉まっていることを確認する。
走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。
日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。
「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

知識

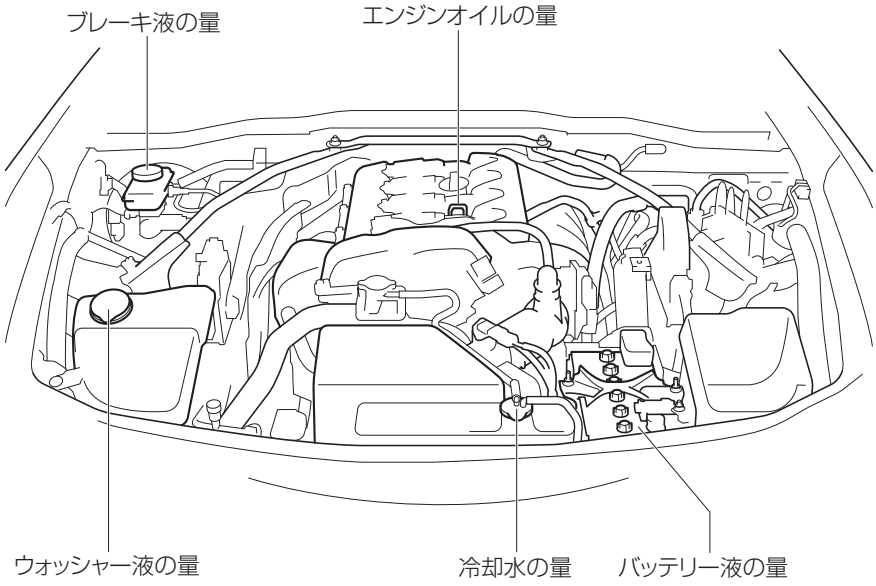
点検結果について
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

点検項目と点検箇所

運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。
点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エンジンルームをのぞいて



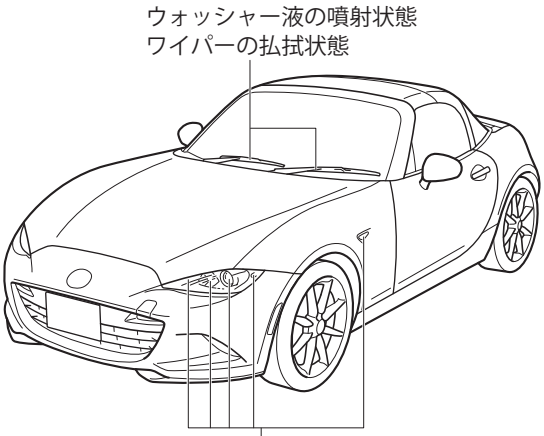
⚠注意

必ず守る

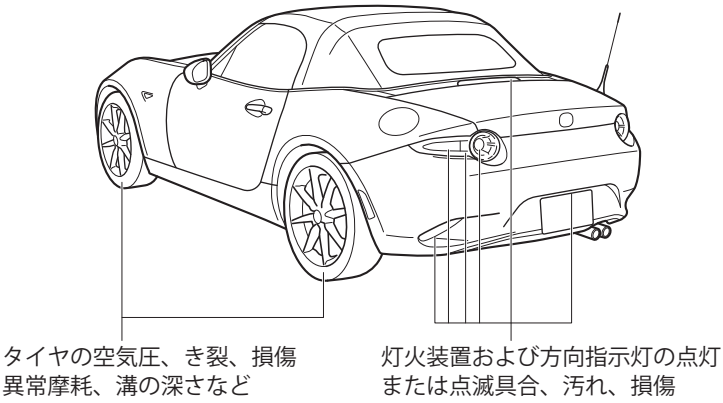
エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

全体を見まわして

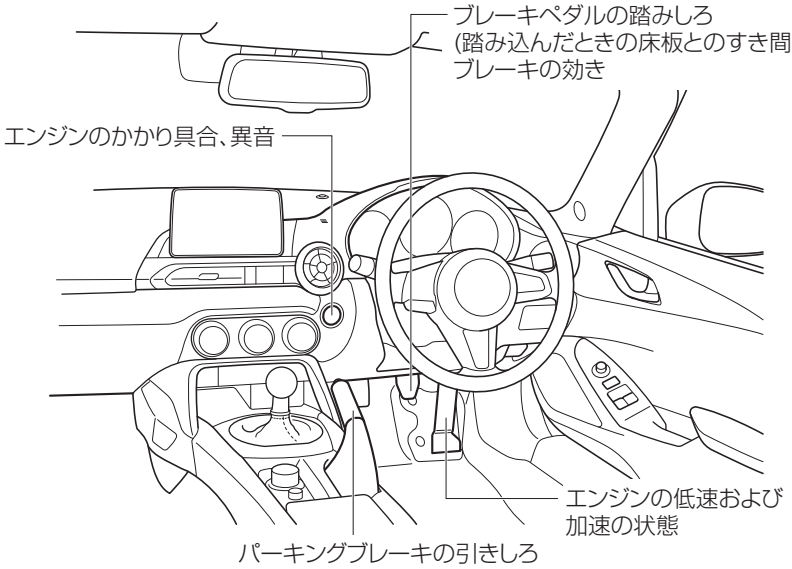
フロント



リア



運転席にすわって



タイヤの点検

タイヤの点検は法律で義務付けられています。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

知識

タイヤの劣化について
タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後 5～7 年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

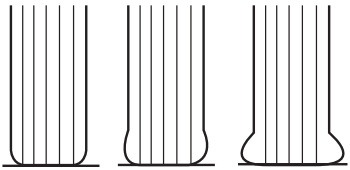
空気圧の点検

タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調整してください。

⚠警告

禁止
タイヤの空気圧が不足したままで走行しない。
タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤの偏摩耗の原因となります。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る
タイヤバルブキャップは純正品を使用する。
タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多　適正　不足

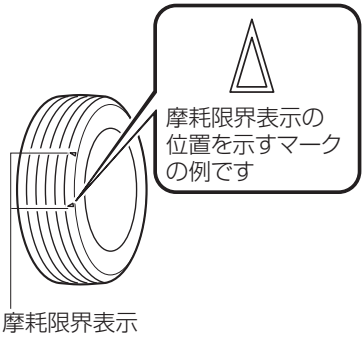
き裂、損傷の点検

⚠警告

禁止
異常があるタイヤを装着すると、次の状況が起こることがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因になるおそれがあるため、正常なタイヤと交換する。

- **走行中にハンドルがとられる**
- **異常な振動を感じる**
- **パンクやバースト（破裂）する**
- **車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できない**
- **部品に悪影響をあたえる**

溝の深さ、異常摩耗の点検



摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。

⚠警告

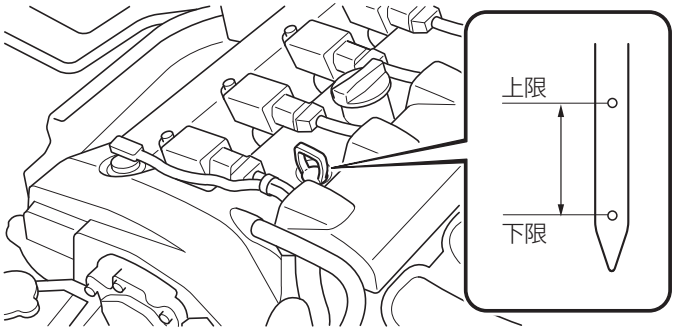
禁止

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しない。
そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

知識

摩耗限界表示について
摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm だけ浅くなっています。

エンジンオイルの点検、補充



オイルレベルゲージでエンジンオイルの量を点検してください。

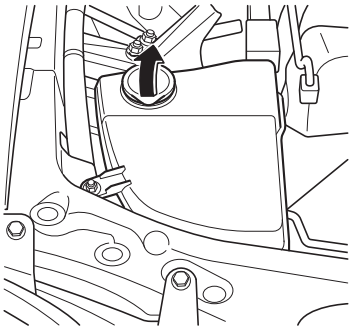
不足しているときは上限から下限の間になるよう補充してください。
点検の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

バッテリーの点検

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。
→482 ページ「バッテリーあがりについて」

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
- 交換するときは、マツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の補充



補充要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

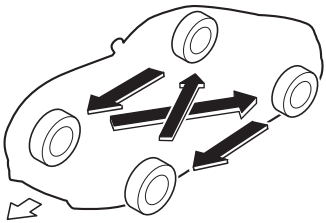
⚠注意

必ず守る **エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。**

その他の手入れ

タイヤの位置交換（タイヤローテーション）

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約 5,000km 走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



⚠警告

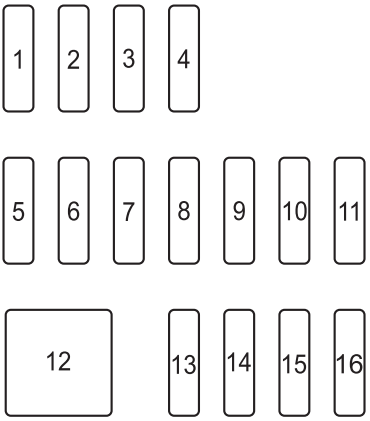
必ず守る **タイヤを交換するときは指定されたサイズや種類のタイヤを装着する。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

知識

- タイヤの位置交換を行なうまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。→423 ページ「タイヤの点検」
- タイヤの位置交換を行なったあとはタイヤの空気圧を規定値に調整してください。→539 ページ「タイヤ空気圧」
- お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、お客様自身ではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。

ヒューズの受け持つ装置

室内ヒューズボックス

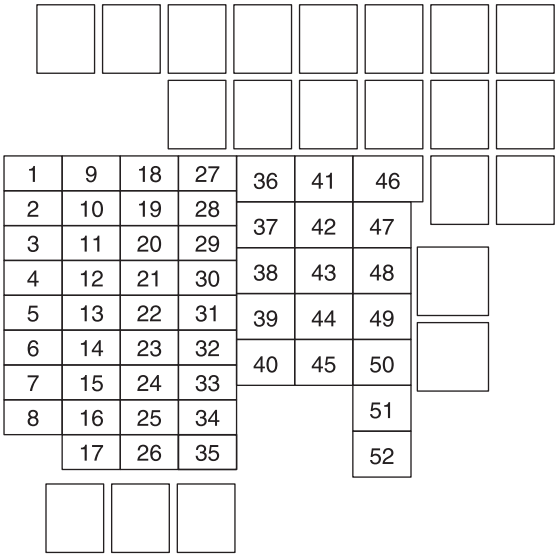


位置	表示	容量	保護装置
1	RHT R	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
2	RHT L	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
3	—	—	—
4	—	—	—
5	F.OUTLET	15 A	電源ソケット
6	—	—	—
7	AT IND	7.5 A	セレクトレバー位置表示 グレード/仕様別装備
8	MIRROR	7.5 A	電動ミラー

位置	表示	容量	保護装置
9	R_DECK R	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
10	R_DECK L	30 A	リトラクタブルハードトップ グレード/仕様別装備
11	F.WASHER	15 A	ウォッシャー
12	P.WINDOW	30 A	パワーウインドー
13	—	—	—
14	SRS2/ESCL	15 A	ステアリングロック
15	SEAT WARM	20 A	シートヒーター　グレード/仕様別装備
16	M.DEF	7.5 A	—

ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	ENG IG3	5 A	—
2	ENG IG2	5 A	—
3	HORN2	7.5 A	ホーン
4	C/U IG1	15 A	各種電源
5	ENG IG1	7.5 A	エンジンコントロールシステム
6	—	—	—
7	INTERIOR	15 A	ルームランプ
8	ENG + B	7.5 A	エンジンコントロールシステム
9	AUDIO2	15 A	オーディオ

位置	表示	容量	保護装置
10	METER1	10 A	メーター
11	SRS1	7.5 A	エアバッグシステム
12	—	—	—
13	RADIO	7.5 A	オーディオ
14	ENGINE3	20 A	エンジンコントロールシステム
15	ENGINE1	10 A	エンジンコントロールシステム
16	ENGINE2	15 A	エンジンコントロールシステム
17	AUDIO1	25 A	オーディオ
18	A/C MAG	7.5 A	空調
19	AT PUMP H/L HI	20 A	トランスミッションコントロールシステム グレード/仕様別装備
20	AT	15 A	トランスミッションコントロールシステム、エンジンスイッチ
21	D LOCK	25 A	パワードアロック
22	H/L RH	20 A	ヘッドランプ 右
23	ENG + B2	7.5 A	エンジンコントロールシステム
24	TAIL	20 A	尾灯、番号灯、車幅灯
25	DRL	15 A	—
26	ROOM	25 A	ルームランプ
27	FOG	15 A	—
28	H/CLEAN	20 A	—

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
29	STOP	10 A	制動灯
30	HORN	15 A	ホーン
31	H/L LH	20 A	ヘッドランプ 左
32	ABS/DSC S	30 A	ABS、DSC
33	HAZARD	15 A	方向指示灯/非常点滅灯
34	FUEL PUMP	15 A	フューエルポンプ
35	ENG + B3	5 A	—
36	WIPER	20 A	ワイパー
37	CABIN + B	50 A	各種電源
38	—	—	—
39	—	—	—
40	ABS/DSC M	50 A	ABS、DSC
41	EVVT A/R PUMP	20 A	エンジンコントロールシステム
42	EVPS	30 A	ブレーキコントロールシステム
43	FAN1	30 A	クーリングファン
44	FAN2	40 A	—
45	ENG.MAIN	40 A	エンジンコントロールシステム
46	EPS	60 A	電動パワーステアリング
47	DEFOG	30 A	リアウインドーデフォッガー (曇り取り)

位置	表示	容量	保護装置
48	IG2	30 A	各種電源
49	INJECTOR	30 A	エンジンコントロールシステム
50	HEATER	40 A	空調
51	—	—	—
52	—	—	—

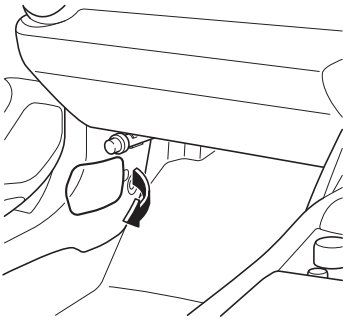
ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

ヒューズの交換

1. 電源ポジションを OFF にします。
2. ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席左下と、エンジンルーム内にあります。

室内ヒューズボックス



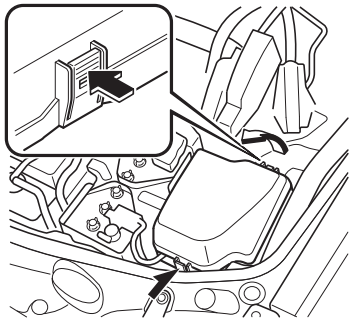
1) 矢印の方向にカバーを引き、カバーを取りはずします。

ヒューズ切れ、電球切れのとき

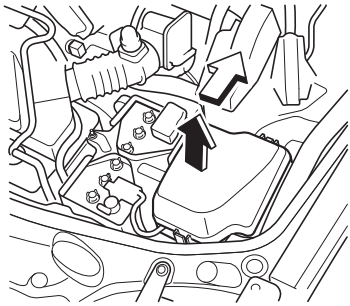
エンジンルーム内ヒューズボックス

知識

勢いよくロックをはずしカバーを引くと、カバーがフレームに干渉し、カバーに傷がつくおそれがあります。 カバーを取りはずす際は、次の手順でゆっくり取りはずしてください。



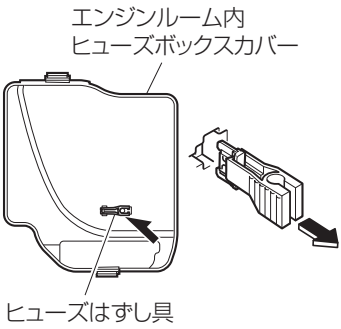
1) 前側のツメを手で押さえながら、後側のロックを解除します。
2) カバーの後側を少し持ち上げながら、前側のツメをはずします。



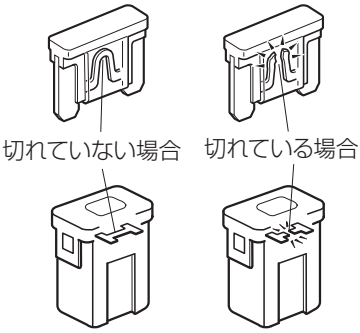
3) カバーを持ち上げながら後側にずらして、カバーを取りはずします。

知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。



3. ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。
→428 ページ「ヒューズの受け持つ装置」
4. ヒューズを抜き取ります。



5. ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。
6. ヒューズボックスのカバーを元の通り取り付けます。

⚠警告

禁止

規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しない。
配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

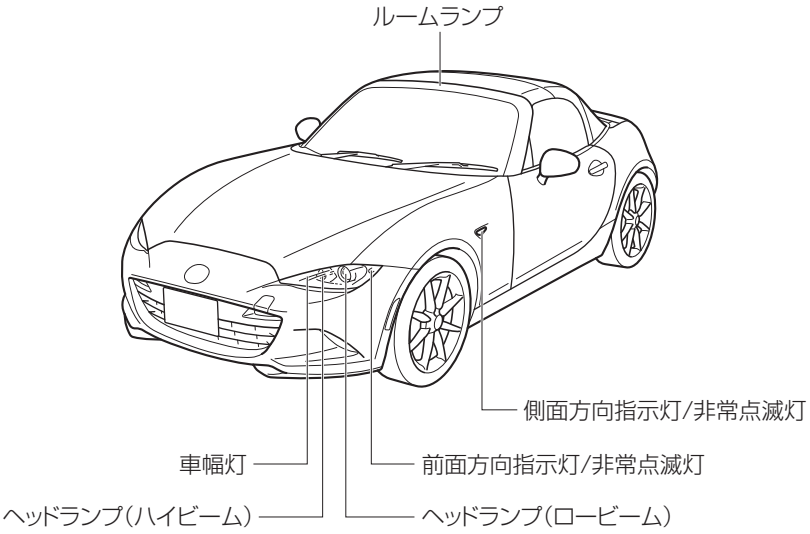
必ずマツダ純正品または同等品を使用してください。

知識

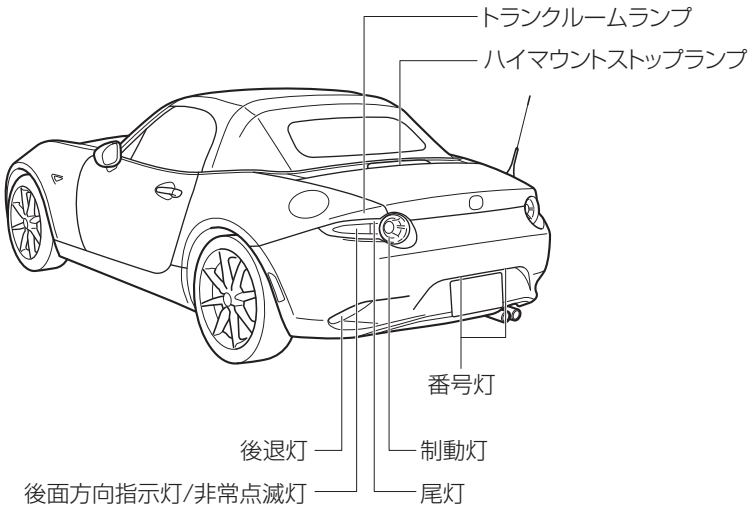
ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

フロント



リア



⚠注意

電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。

番号灯、ルームランプ、トランクルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズや内装に当たると、傷がつくおそれがあります。

マイナスドライバーなどを使ってレンズやランプ本体を取りはずすときは、マイナスドライバーなどが内部の端子に当たらないようにしてください。マイナスドライバーなどが直接端子に当たると、ショートするおそれがあります。

知識

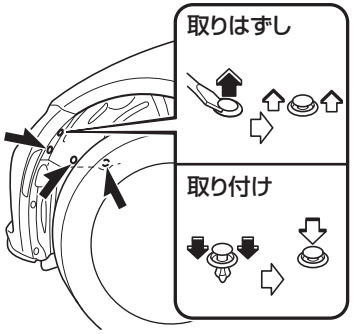
- **交換する電球について**
  必ず同じ W 数の電球を使用してください。
- **ランプの曇りについて**
  ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

ヘッドランプ、車幅灯、制動灯、尾灯、ハイマウントストップランプ

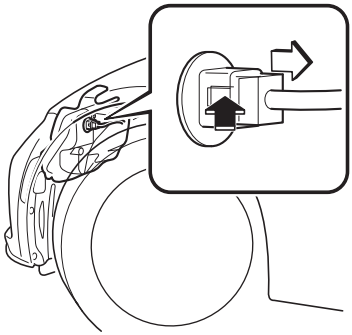
LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店にご相談ください。

ヒューズ切れ、電球切れのとき

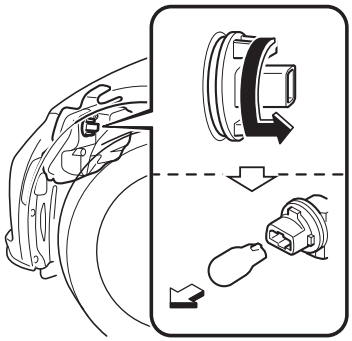
前面方向指示灯/非常点滅灯



1. エンジンをかけ、交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいにきり、エンジンをきります。
2. ファスナーをはずし、マッドガードをめくります。

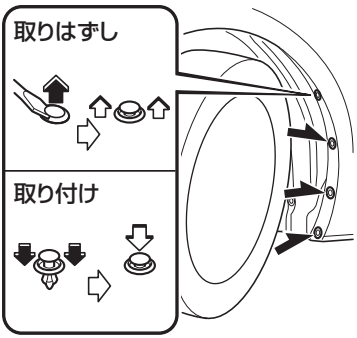


3. ツメを押し、コネクターを取りはずします。

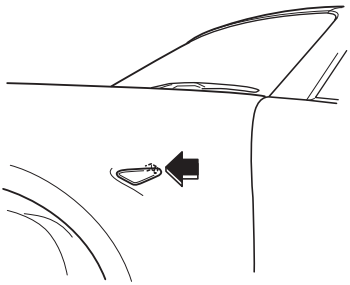


4. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
5. 電球を取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

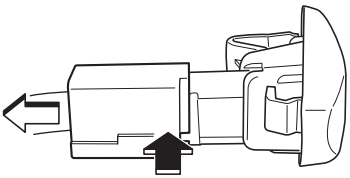
側面方向指示灯/非常点滅灯



1. エンジンをかけ、交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいにきり、エンジンをきります。
2. ファスナーをはずし、マッドガードをめくります。



3. フェンダーの裏から、ユニットのツメを押し、ユニットを取りはずします。



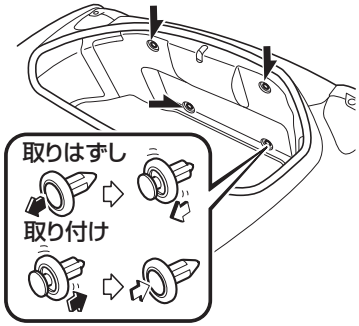
4. ツメを押し、コネクターをはずします。
5. ユニットを取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

知識

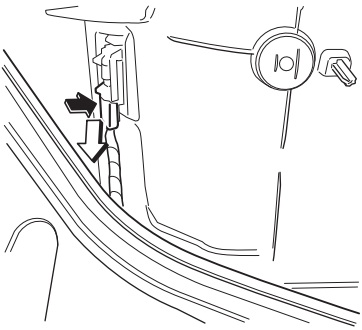
側面方向指示灯/非常点滅灯は電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となりますので、側面方向指示灯/非常点滅灯を交換するときはマツダ販売店にご相談ください。

ヒューズ切れ、電球切れのとき

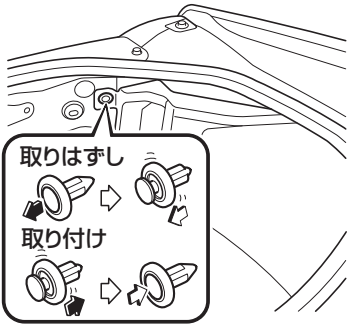
後面方向指示灯/非常点滅灯



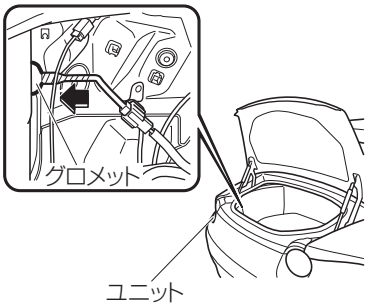
1. トランクを開けます。
2. ファスナーをはずし、トランクエンドトリムを取りはずします。



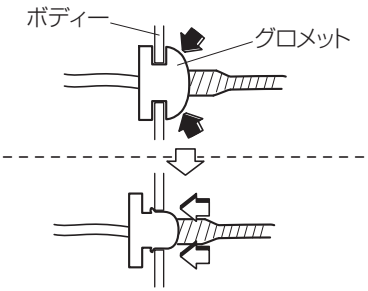
3. トランクルームランプのコネクターのツメを押し、コネクターを取りはずします。

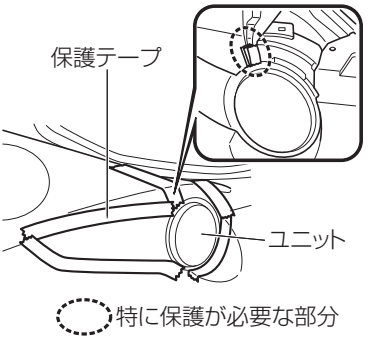


4. ファスナーをはずし、トランクサイドトリムをめくります。



5. ボディー側に作業用の穴を確保するため、グロメットの上下を押さえながら、グロメットをユニット側に押し込みます。





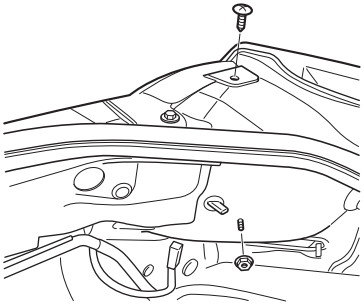
6. ボディーとユニットが干渉し、ボディーを傷つけるおそれがあるため、図のようにボディーに保護テープを貼り付けます。
特に保護が必要な部分は、必ず保護テープを 3 枚重ねて貼り付けてください。

⚠注意

禁止 **粘着力の強いテープは使用しないでください。塗装がはがれるおそれがあります。**

必ず守る **特に保護が必要な部分は、必ず保護テープを 3 枚重ねて貼り付けてください。保護しないと、作業時にボディーを傷つけるおそれがあります。**

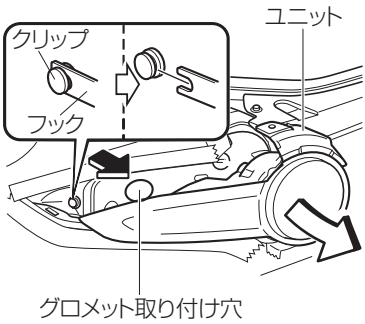
ヒューズ切れ、電球切れのとき



7. ネジ、ナットをはずします。



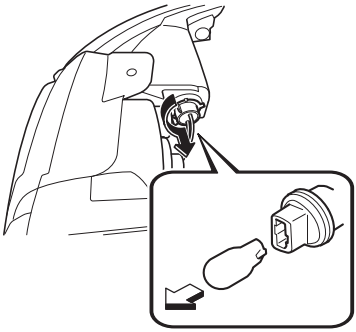
8. ユニットを取りはずすときは、ユニットのランプ部分 (丸い部分) を手で支えながら、手順 5 でグロメットがはまっていた穴 (グロメット取り付け穴) から指でユニットを押して、フックをはずします。



9. フックがはずれたら、ユニットを矢印の方向へ引いて取りはずします。

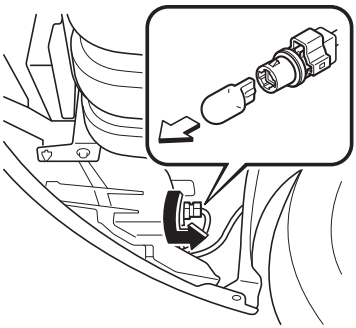
⚠注意

ユニットをボディーから取りはずすときは、慎重に引き抜いてください。
強く引き過ぎると、配線が断線するおそれがあります。
必ず守る



10. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
11. 電球を取り換えます。
12. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

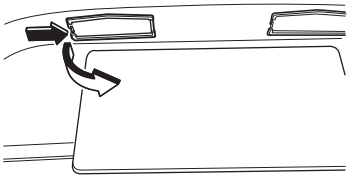
後退灯



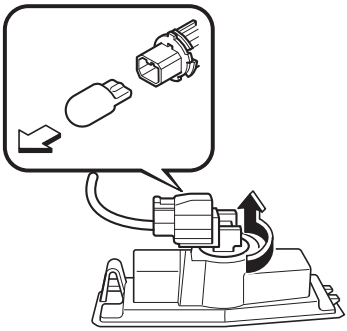
1. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
2. 電球を取り換えます。
3. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

ヒューズ切れ、電球切れのとき

番号灯

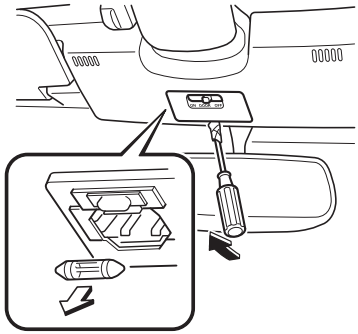


1. ツメを押し、ユニットを取りはずします。



2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

ルームランプ

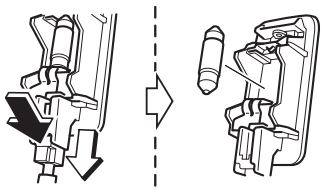


1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
2. 電球を取りはずします。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

トランクルームランプ



1. トランクを開けます。
2. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。



3. ツメを押し、コネクターを取りはずします。
4. 電球を取りはずします。
5. 電球を取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

電池を交換するときは

⚠注意

必ず守る **電池の＋側と－側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。**

禁止 **電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。**

必ず守る **電池を交換してもキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。**

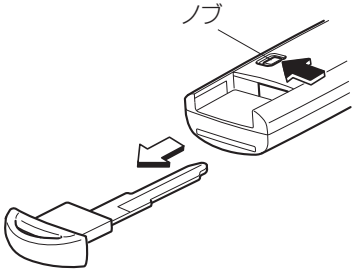
キー

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

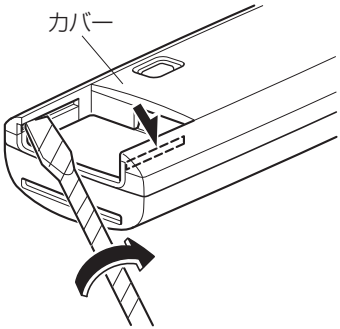
- エンジンをきったときにメーター内の KEY 表示灯 (緑) が点滅するまたはディスプレイに KEY 警告表示が表示した
- キーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

電池交換のとき、キーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

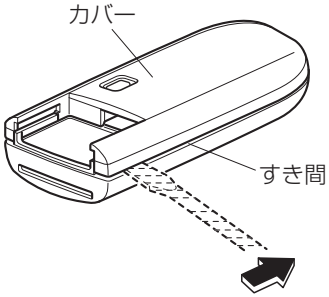
電池の規格: リチウム電池 CR2025



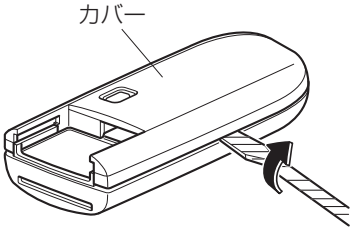
1. ノブを押したまま、補助キーを引き出します。



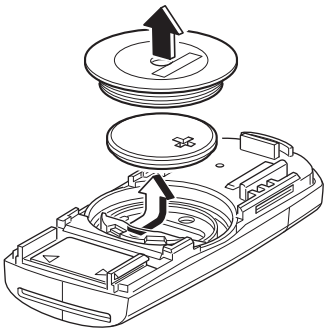
2. 保護テープを巻いたマイナスドライバーなどを矢印の方向にまわし、カバーを少し開けます。



3. 保護テープを巻いたマイナスドライバーなどをすき間に差し込み、矢印の方向にスライドさせます。

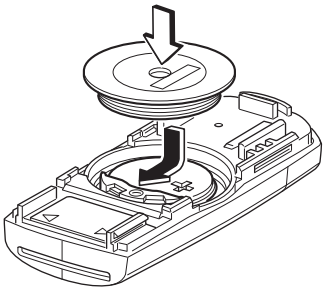


4. マイナスドライバーなどを矢印の方向にまわしてカバーを取りはずします。

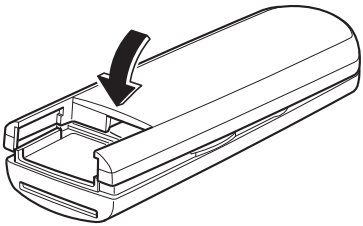


5. キャップをはずして、電池を取り出します。

電池交換



6. 新しい電池の＋側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。

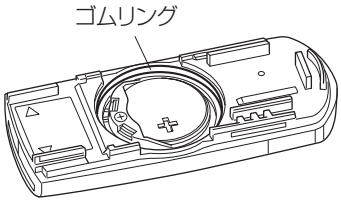


7. カバーを取り付けます。
8. 補助キーを差し込みます。

⚠注意

禁 止 **ゴムリングを傷つけないようにしてください。**

必ず守る **ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。**



外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。

- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのプラスチックを使用しているランプ類は、コンパウンド(みがき粉) 入りのワックスを使用しないでください。
- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。
  そのまま放置しておくと、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
  - 海岸地帯を走行したとき。
  - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
  - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
  - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
  - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
  - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。

洗車するとき

水洗いするとき

1. 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
2. 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ってください。

⚠注意

オートワイパー装備車は、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。

フューエルリッドが閉まっていることを確認し、ドアを施錠してください。水圧などでフューエルリッドが勢いよく開き、車体に傷がついたり、フューエルリッドが損傷するおそれがあります。

運転席/助手席側ワイパーアームを立てるときは、運転席側のワイパーアームから立ててください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから手を添えながらゆっくりともどしてください。勢いよくもどすとワイパーアームやブレードが損傷したり、フロントガラスに傷や割れが生じるおそれがあります。

エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。

洗車やワックスがけを行なうときは、車体のボンネット部の一点に強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、車体がへこむおそれがあります。

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは月に 1 回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき (体温以下が目安) に行なってください。

知識

ワックスの使用について

- コンパウンド (みがき紛) 入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

ソフトトップの手入れ グレード/仕様別装備

ソフトトップは高品質の幌生地を使用しています。
手入れの方法を誤ると、生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすおそれがあります。

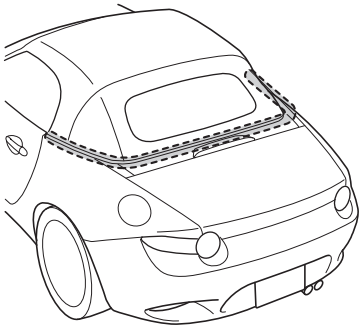
水洗いするとき

水洗いする前に毛のやわらかいブラシを使用し、砂埃を取り除きます。
車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。
ボディー用ワックスや油脂類が付着したときは、水で薄めた中性洗剤 (約 5%) を使用して落としてください。

⚠注意

禁止 **窓ガラスと幌の合わせ目付近に、直接水をかけないでください。室内に水が入るおそれがあります。**

禁止 **ボディーと幌の合わせ目付近に、直接水をかけないでください。室内、およびトランク内に水が入るおそれがあります。**

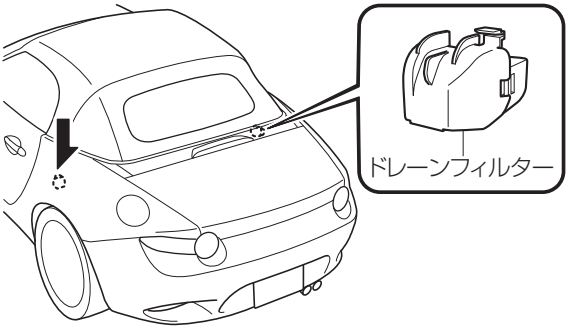


禁止 **自動洗車機や高圧洗車機を使用しないでください。幌が破損したり、損傷するおそれがあります。**

知識

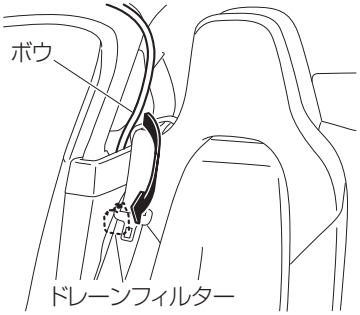
- シンナー、ガソリンなどの有機溶剤やアルコール、塩素系漂白剤などを使用しないでください。生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすことがあります。
- ソフトトップの手入れは定期的に行なってください。汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミなどの原因になります。

ドレーンフィルター清掃手順

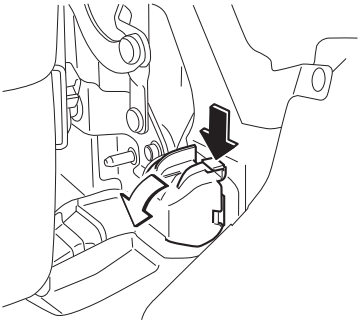


知識

ドレーンフィルターに落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。
ドレーンフィルターの清掃は、年に 1 回程度行なってください。



1. ボウの後ろから手を入れ、ドレーンフィルターの位置を確認します。



2. ツメを押しながら、ドレーンフィルターを取りはずします。
3. ドレーンフィルターに溜まった落ち葉などを取り除きます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

⚠注意

必ず守る **ドレーンフィルターを取り付ける際は、ツメがかかるまでしっかりと押し込み、所定の位置に確実に固定されたことを確認してください。ドレーンフィルターが所定の位置に固定されていない場合、室内に水が入るおそれがあります。**

リトラクタブルハードトップの手入れ グレード/仕様別装備

水洗いするとき

1. リトラクタブルハードトップに付いている汚れを洗い落とします。
2. 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。
   汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ってください。

知識

洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。
塗装を傷つけるおそれがあります。

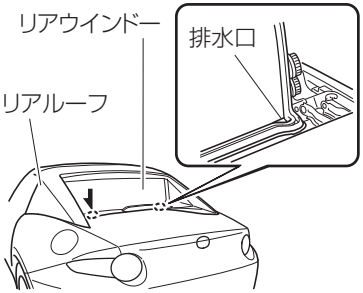
ワックスをかけるとき

- ワックスがけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき (体温以下が目安) に行なってください。

知識

- コンパウンド (みがき紛) 入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

排水口清掃手順

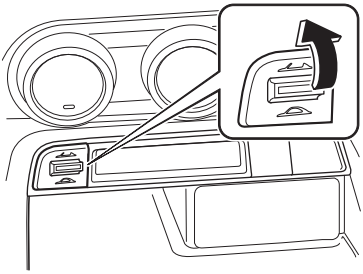


リアルーフ下側左右に、排水口があります。

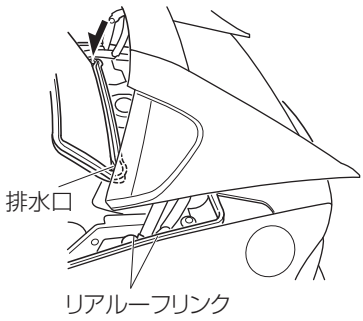
知識

排水口に落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。
排水口の清掃は、年に 1 回程度行なってください。

1. エンジンをかけます。



2. リアルーフが全閉の状態から上がりきるまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開方向へ押し続けます。
→75 ページ「ルーフを開けるとき」



3. リアルーフが上がりきったら、スイッチから手を放します。
4. 排水口が見えることを確認します。
5. 電源ポジションを OFF にします。

⚠警告

電源ポジションが OFF になっていることを確認する。

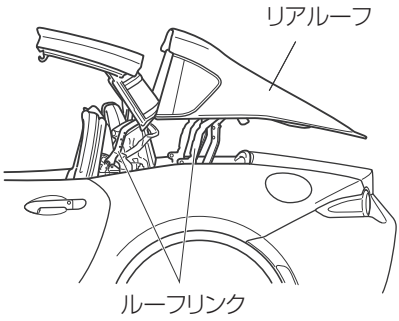
必ず守る **突然ルーフが動き出し、手や指を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。**

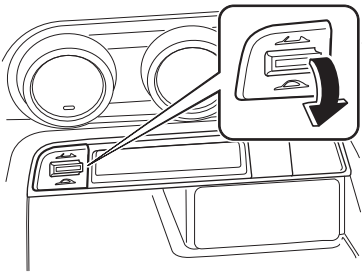
6. 排水口に溜まった落ち葉などを取り除きます。

⚠注意

清掃するときは、ルーフリンクやリアルーフ外郭との接触に気をつけてください。接触によりけがをするおそれがあります。

必ず守る





7. 清掃が終わったら、リトラクタブルハードトップスイッチを閉方向へ押し続けて、リアルーフを閉めてください。
→76 ページ「ルーフを閉めるとき」

車の手入れ

ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは純正ガラスクリーナーを使用してください。
ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

⚠注意

必ず守る **熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。**

フロントガラスの油膜をとるときは

フロントガラスに油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。
ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く水洗いしてください。
汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。

⚠注意

禁止 **中性洗剤以外は使用しないでください。ご使用の際には成分をご確認ください。変色･シミの原因となります。**

知識

アルミホイールを洗うときは

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。

外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗装はがれなどの原因となります。すみやかにやわらかい布でふき取ってください。
- コンパウンド (みがき粉) 入りのワックスを使用すると、塗装を損傷するおそれがありますので使用しないでください。

- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド (みがき粉) がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗装の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

内装の手入れ

⚠警告

禁止 **室内に水をかけない。**
オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

次のような場合は、すみやかにやわらかい布でふき取ってください。
そのままにしておくと変色、シミ、ひび割れ、塗装はがれの原因になったり、汚れが落ちにくくなります。

- 飲み物や芳香剤などをこぼしたとき
- 油脂類が付着したとき
- 汚れがあるとき

シートベルトの手入れ

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

⚠警告

必ず守る **シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換する。**
そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用する。**
有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

汚れがあるときはこまめにふき取ってください。汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなることがあります。

ビニールの手入れ

ブラシや掃除機を使用してビニールのほこりや汚れを落としてください。
革・ビニール用クリーナーを使用してビニールの汚れを落としてください。

布張り部分の手入れ

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

知識

ソフトトップの内側は、硬いブラシや布で強くこすると、破れることがあります。

革張り部分の手入れ

1. 掃除機などでほこりや砂を取り除きます。
2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
4. 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

知識

- 天然素材のため、シボ (本革表面の凹凸) の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- 次のような場合は、早めに手入れを行なってください。
  そのまま放置しておくと早く摩耗したり、カビやシミなどの原因になります。
  - 砂、ほこりなどが付いたとき
  - ハンドクリームなどの油分が付いたとき
  - 化粧品、整髪料などのアルコール類が付いたとき
- 革張り部分がぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード (日除け) を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間、革張り部分の上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

樹脂部品の手入れ

注意

禁止

つや出し剤を使用しないでください。
含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗装はがれの原因になります。

インストルメントパネル上面の手入れ

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

車の手入れ

パネルの手入れ

パネルが汚れたときは、きれいな水にひたして固くしぼったやわらかい布などで軽くふき取ってください。
特に汚れが気になるときは、次の方法で手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5 %) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

知識

光沢のあるパネル、メッキ部分などの金属部分がある場合は、傷がつきやすいので、特に注意して手入れを行なってください。

冬にそなえて

エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。
→531 ページ「エンジンオイル」

バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。
バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。
点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。
冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	凍結温度
30%	−16°C
50%	−37°C

純正ロングライフクーラント (ゴールデン) FL22 を使用する場合

純正ロングライフクーラント (ゴールデン) FL22 は濃度調整済みの冷却水です。
薄めずそのままご使用ください。
冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。
→426 ページ「ウォッシャー液の補充」

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。
寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

⚠警告

タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用する。
指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみて手順を理解しておきましょう。
→462 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

タイヤチェーンの取り付け

タイヤチェーンは後輪に取り付けます。
タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。
路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板 (停止表示灯) を使用してください。

⚠注意

標準タイヤのみタイヤチェーンを装着できます。標準タイヤ以外のタイヤにタイヤチェーンを装着すると、タイヤチェーンがボディーなどに干渉し、傷をつけることがあります。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h 以下で走行してください。
30km/h 以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

知識

タイヤチェーンについて

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。
- タイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

夏にそなえて

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。
点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エアコンのチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

環境保護のために

廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスを使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店か専門の修理業者に依頼してください。

5 トラブルが起きたら

故障したとき 468
路上で動けなくなったとき....468
スタックしたとき....469
踏切内で動けなくなったとき....469
緊急用具の取り扱い 471
発炎筒....471
工具の格納場所....472
パンクしたとき 473
タイヤパンク応急修理キット....473
バッテリーがあがったとき 482
バッテリーあがりについて....482
オーバーヒートしたとき 486
オーバーヒートについて....486
フューエルリッドが開かなくなったとき 488
フューエルリッドが開かなくなったときは....488
キーが作動しないとき 489
キー一時停止機能....489
けん引について 490
けん引してもらうとき....490
故障車をけん引するとき....491
万一事故が起きたとき 493
警告灯/表示灯 494
警告灯が点灯、点滅したときは....494
マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されたときは....504
センターディスプレイにメッセージが表示されたときは....505
警報チャイム 507
チャイムがなったときは....507

5 トラブルが起きたら

トランク 511

トランクが開けられなくなったとき..... 511

ルーフが閉まらなくなったとき 518

ルーフが閉まらなくなったときは..... 518

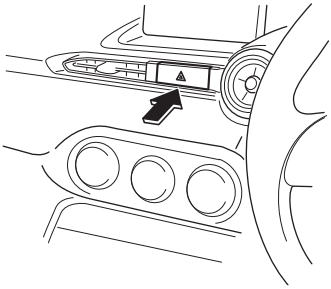
MEMO

路上で動けなくなったとき

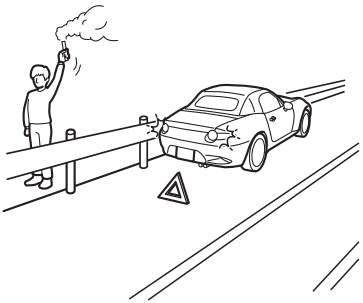
一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。
チェンジレバー/セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

⚠ 警告

必ず守る
万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止める。
爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。



1. 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。
2. 必要に応じて停止表示板 (停止表示灯)、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。
→471 ページ「発炎筒」
   - 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板 (停止表示灯) を置くことが法律で義務づけられています。
   - 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。



3. 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。
4. 安全を確保した後、救援を求めます。
故障の修理などお困りの際はマツダ販売店に連絡してください。

知識

停止表示板 (停止表示灯) について
停止表示板 (停止表示灯) はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店でお求めいただけます。

スタックしたとき

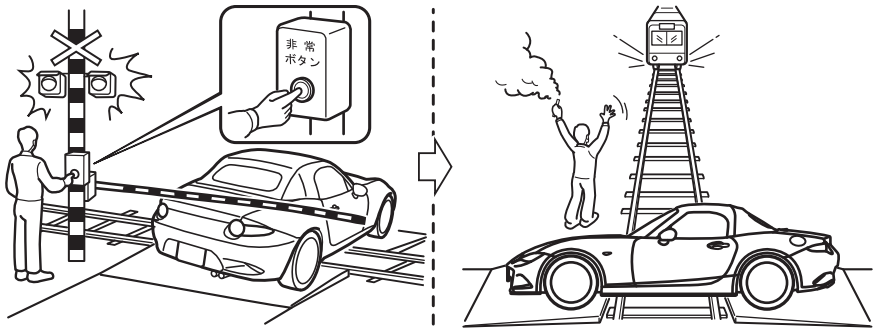
ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。

- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くか、タイヤの下に木や石をあてがい、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを D または R にいれて、アクセルペダルを軽く踏みます。チェンジレバー/セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト (破裂) したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

踏切内で動けなくなったとき

脱輪などで動けなくなったとき

1. 踏切の非常ボタンを押します。緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。→471 ページ「発炎筒」
2. 付近の人に救援を求めます。



エンストで動けなくなったとき

1. エンジンをかけ直します。
2. エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。
   緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
   →471 ページ「発炎筒」
3. 付近の人に救援を求めます。
   チェンジレバー/セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

知識

緊急避難について
スターターを使って、車を緊急避難させることはできません。

発炎筒

⚠警告

禁止 **油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しない。**
火災につながるおそれがあります。

禁止 **使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけない。**
やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止 **お子さまにはさわらせない。**
誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止 **トンネル内では発炎筒を使用しない。**
トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

発炎筒について



事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読み、あらかじめ確認しておいてください。

- 使用方法
- 使用上の注意事項
- 発炎時間
- 有効期限

工具の格納場所

⚠注意

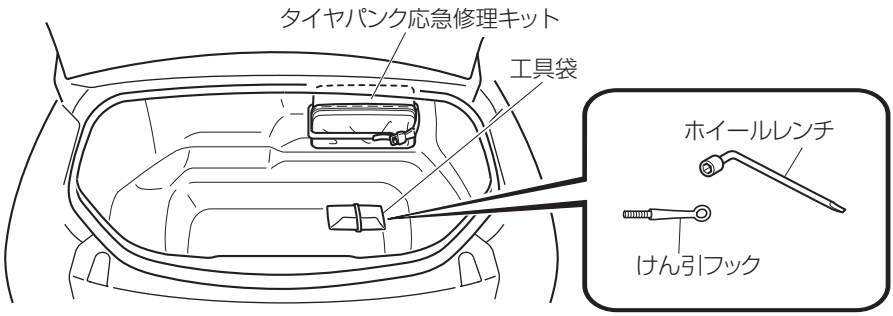
必ず守る **タイヤパンク応急修理キットを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。**

知識

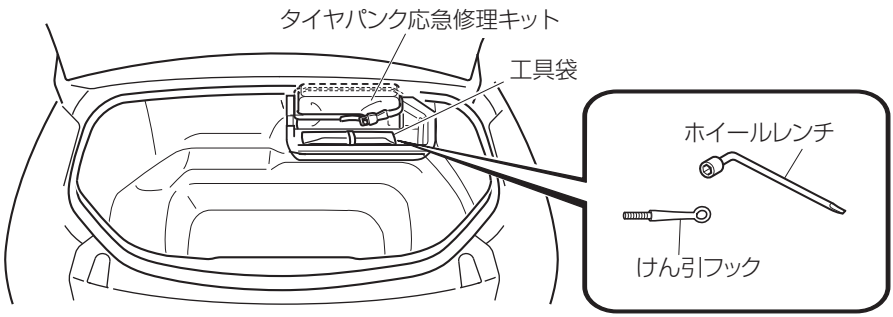
スペアタイヤはお客様のお車に標準で搭載されておりません。スペアタイヤの取り扱いについては、マツダ販売店にご相談ください。

工具は図の位置に格納されています。

ソフトトップ車



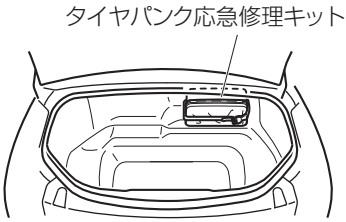
リトラクタブルファストバック車



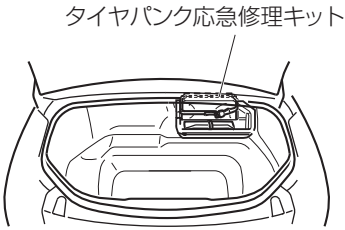
タイヤパンク応急修理キット

本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。
タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急修理してください。
タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。

ソフトトップ車



リトラクタブルファストバック車



タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。


修理剤

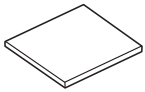

注入ホース


エアコンプレッサー


予備バルブコア


コアまわし


速度制限シール


取扱説明書

⚠警告

万一誤飲したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受ける。

必ず守る

修理剤を誤飲すると健康に害があります。

修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄する。

必ず守る

それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

パンクしたとき

⚠警告

お子さまには修理剤をさわらせない。

禁止 **誤って使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

天然ゴムに対するアレルギーを有する人は修理剤に触れない。

禁止 **アレルギー症状を発症する可能性があります。**

知識

修理剤の使用について

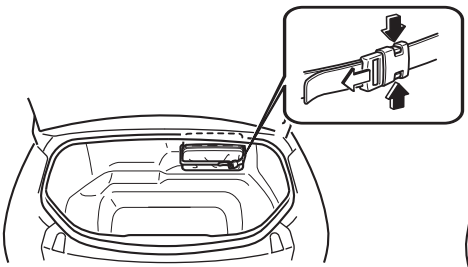
- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店でお求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。マツダ販売店またはJAF などに連絡してください。
  - 修理剤の有効期限がきれているとき (有効期限はボトルのラベルに記載されています)
  - 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
  - 接地部以外が損傷を受けたとき
  - パンクしたまま走行し、タイヤ側面が損傷しているとき
  - タイヤがホイールからはずれているとき
  - ホイールやバルブが破損しているとき
  - タイヤが 2 本以上パンクしているとき

タイヤパンク応急修理キットの使いかた

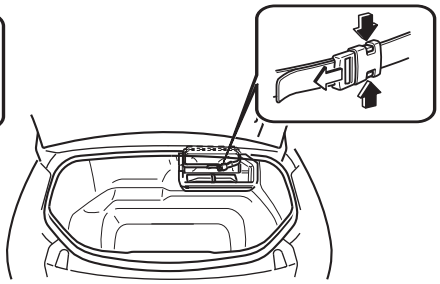
1. 車を交通のさまたげにならない、地面が平らで固い安全に作業できる場所に移動します。
2. マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。

5. 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。

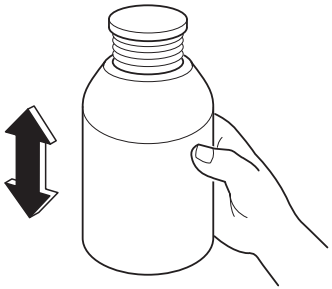
ソフトトップ車



リトラクタブルファストバック車



6. 修理剤のボトルをよく振ります。



⚠警告

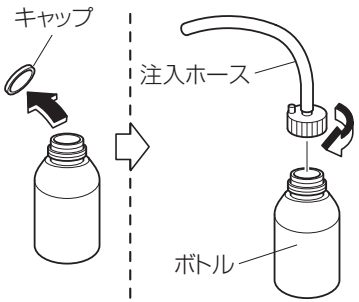
注入ホースをねじ込む前にボトルを振る。
注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散り、衣服などに付着すると取れないおそれがあります。

必ず守る

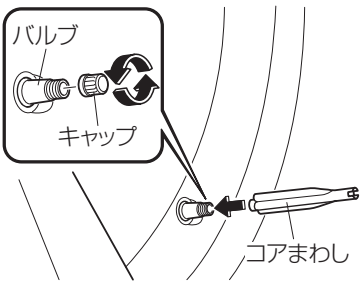
知識

修理剤の性質について
0°C 以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。

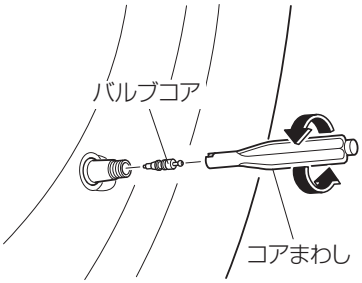
パンクしたとき



7. ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態で注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。



8. パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押してタイヤの空気を完全に抜きます。



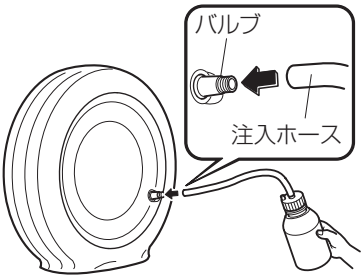
9. コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。

⚠注意

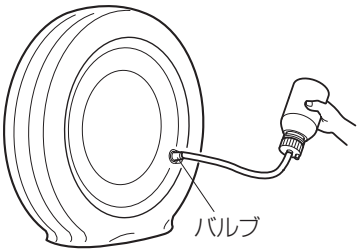
必ず守る **バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。**

知識

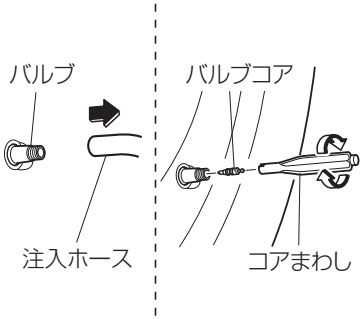
バルブコアは汚れないように保管してください。



10. 注入ホースをバルブに差し込みます。



11. ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤をすべてタイヤの中に注入します。



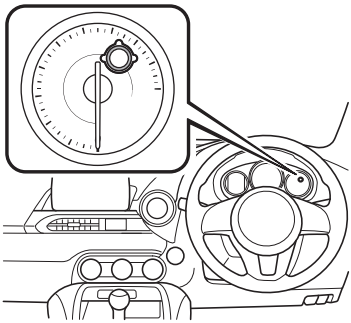
12. 注入ホースをバルブから引き抜きます。
13. コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブコアを取り付けます。



14. 残った修理剤が漏れないようにするために、注入ホースをタブに取り付けます。

知識

修理剤の回収について
注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または修理の際に使用済み修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売店までお持ちください。

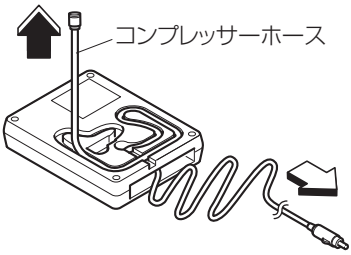


15. 運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。

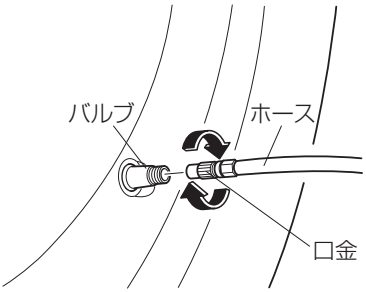
警告

禁止

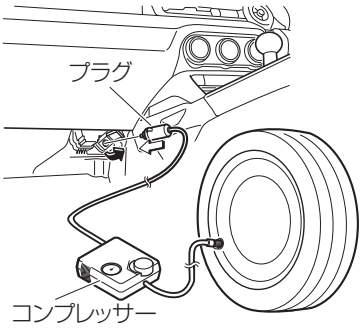
ハンドルのパッド部に速度制限シールを貼らない。
万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。



16. エアコンプレッサーからコンプレッサーホースと電源プラグを引き出します。



17. エアコンプレッサーのホースの口金を右にまわしてバルブに取り付けます。



18. エアコンプレッサーのプラグを車内の電源ソケットに差し込み、電源ポジションを ACC にします。
→404 ページ「電源ソケット」

⚠注意

必ず守る **電源ソケットにエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認してください。エアコンプレッサーの ON、OFF はエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。**

19. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

知識

空気圧の調整について

- タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。
- 10 分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店または JAF などに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

20. 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしエアコンプレッサーのホースの口金を左にまわしてバルブから抜きます。
21. バルブキャップを取り付けます。
22. 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、ただちに走行を始めます。

注意

必ず守る **80km/h 以下の速度で慎重に運転してください。80km/h 以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。**

23. 10 分間もしくは 5km 程度走行後に手順 17 の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧を確認します。適正空気圧より低下していたら、手順 18 の作業から再度行ないます。

警告

禁止 **空気圧が 130kPa (1.3kgf/cm^2) 以下に低下していたら、運転を中止してマツダ販売店または JAF などに連絡する。**
本修理キットによる応急修理はできません。

禁止 **手順 17～23 の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止する。**
マツダ販売店または JAF などに連絡してください。

注意

必ず守る **タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしてから確認してください。**

24. 空気圧が低下していなければ､応急修理完了です。すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し､新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理･再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。

知識

応急修理をしたタイヤとホイールは

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは､できるだけ早く新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理･再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし､バルブは新しいものと取り替えてください。

タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

知識

修理剤の有効期限について

修理剤には有効期限があります。有効期限がきれたものは使用できませんので､ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し､有効期限がきれる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。

⚠警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

必ず守る **必ず保護メガネを着用する。**
バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

必ず守る **バッテリーの近くでお子さまを遊ばせない。また、バッテリー液をこぼさない。**
バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一、目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

必ず守る **絶対に火気を近づけない。**
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子同士やボディーに触れないように十分注意してください。

必ず守る **換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわない。また、充電中はバッテリーに近づかない。**
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

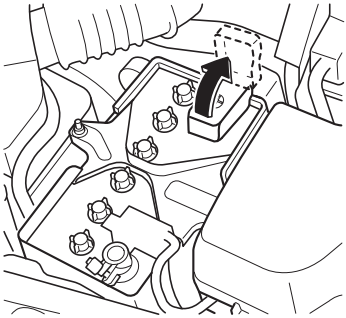
必ず守る **ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検する。**
バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

処置方法

押しがけによる始動はできません。
別売のブースターケーブルを使用して、救援車 (他の車) のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。
自車と同じ 12V バッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

⚠注意

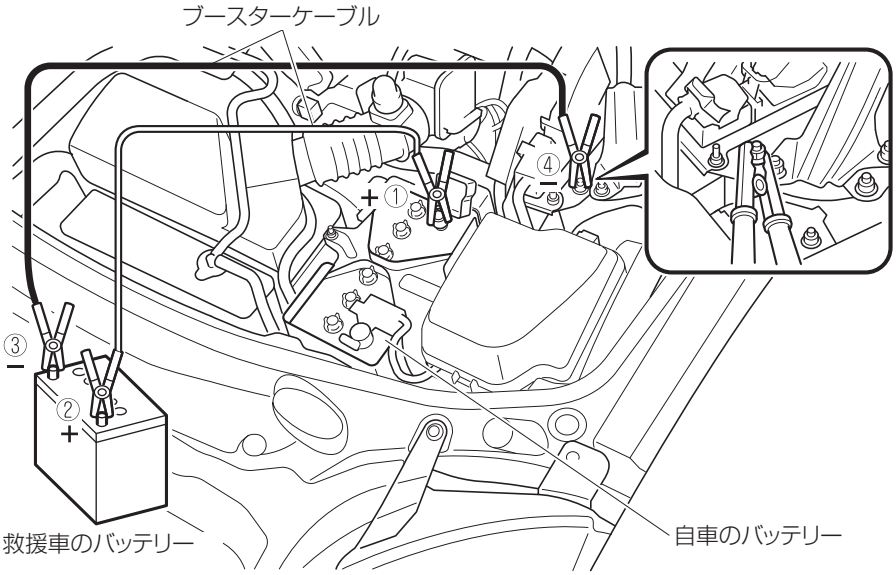
ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。
必ず守る



1. 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
2. ヘッドランプやエアコンなどの電源が切ってあることを確認します。
3. バッテリーキャップを取りはずします。

バッテリーがあがったとき

4. 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。
ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子 (+ 、−) の位置を確認してください。
   - **<u>1本目</u>**
     ①自車のバッテリーの + 端子
     ②救援車のバッテリーの + 端子
   - **<u>2本目</u>**
     ③救援車のバッテリーの−端子
     ④図で表示の箇所 (アースを取る)



⚠警告

禁止

バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけない。
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。
また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。

- **④の接続は自車バッテリーの−端子に接続しないでください。**
- **ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、+ 端子がボディーや−端子に触れないように十分注意してください。**

5. 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。

6. 自車のエンジンをかけます。約 3 分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。

⚠警告



充電中はバッテリーに近づかない。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

7. ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。
8. バッテリーキャップを取り付けます。
9. 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

知識

バッテリーがあがりやすいときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

オーバーヒートしたとき

オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯 (赤) が点灯し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。

⚠警告

禁止 **エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。

禁止  **エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けない。**
エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止  **エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。**
特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まっていてもファンが回転することがあるため、手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

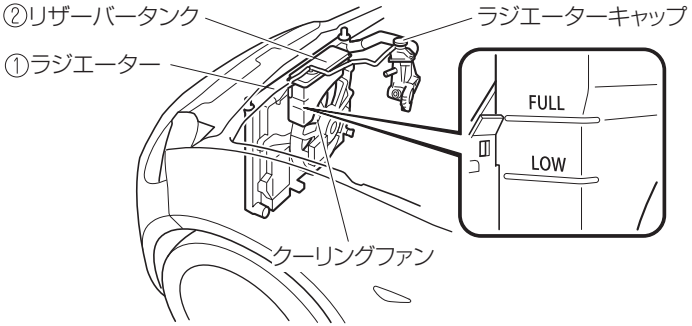
処置方法

1. 安全な場所に車を止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。
   エンジンルームから蒸気が出ているときは
   エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。
   エンジンルームから蒸気が出ていないときは
   エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。
   クーリングファンが作動していることを確認し、高水温警告灯 (赤) が消灯したらエンジンを止めます。

⚠注意

必ず守る **クーリングファンが作動していないときは、クーリングファンの故障が考えられます。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。**

3. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。冷却水量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。
   冷却水がない場合は一時的に水を補充してください。
   補充後はキャップを確実に取り付けてください。



4. 早めに最寄りのマツダ販売店で点検を受けてください。

フューエルリッドが開かなくなったとき

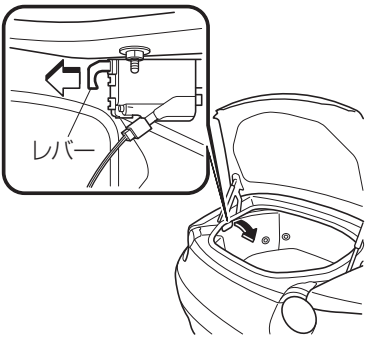
フューエルリッドが開かなくなったときは

バッテリーがあがると、フューエルリッドが開けられなくなります。
この場合、バッテリーあがりの対処をすることでフューエルリッドを開けることができるようになります。
→483 ページ「処置方法」
バッテリーあがりの対処をしても、フューエルリッドを開けることができない場合は電気系統の故障が考えられます。
この場合は応急処置として次の手順で開けることができます。

1. トランクを開けます。
→40 ページ「トランクを開けるとき」



2. ファスナーを取りはずします。



3. トランク内側のカバーをめくります。レバーを引いて、フューエルリッドを開けます。

キー一時停止機能

キーが車内にあるとき、車内に置いてあるキーの機能 (プッシュボタンスタートでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作 (アドバンストキーレス機能装備車)) が盗難防止のため、一時停止する場合があります。
車内から一時停止したキーのアンロックスイッチを押すと復帰します。

けん引してもらうとき

けん引はできるだけマツダ販売店または JAF などに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店または JAF などに連絡してください。

⚠警告

必ず守る **長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引する。**
ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

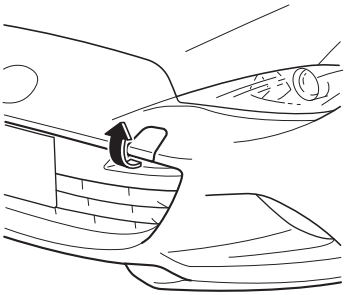
⚠注意

必ず守る **オートマチック車をロープでけん引してもらうときは、速度 30km/h 以下、走行距離は 30km 以内にしてください。**

必ず守る **金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。**

やむをえずロープでけん引してもらうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

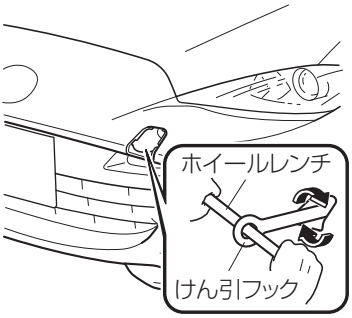
1. けん引フック、ホイールレンチをトランクルームから取り出します。
→472 ページ「工具の格納場所」



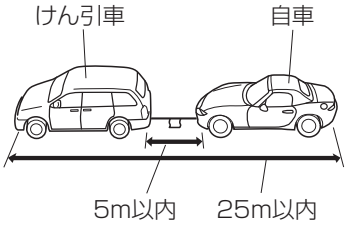
2. カバーを取りはずします。

⚠注意

必ず守る **カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。**



3. ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



4. けん引ロープをフックにかけます。
5. ロープは 5m 以内にして、中央に 0.3m 平方 (0.3m×0.3m) 以上の白い布を必ずつけてください。
6. けん引してもらう車はエンジンをかけ、チェンジレバー/セレクトレバーを N に入れます。エンジンがかからないときは、電源ポジションを ACC にします。

⚠警告

やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転する。
エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

けん引中は電源ポジションを OFF にしないでください。OFF にするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

7. パーキングブレーキを解除します。
8. けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

故障車をけん引するとき

一般路上でやむをえず故障した車をロープでけん引するときは、後ろ側のけん引フックにロープをかけてけん引してください。

けん引について

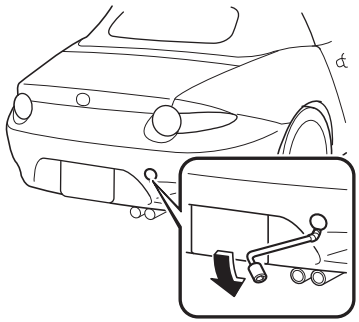
⚠注意

けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。

- **自車の重量より重い車はけん引しないでください。**
- **急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。**
- **けん引フック以外にロープをかけないでください。**

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

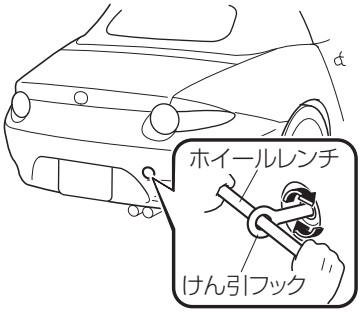
1. けん引フック、ホイールレンチをトランクルームから取り出します。→472 ページ「工具の格納場所」



2. ホイールレンチなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。

⚠注意

カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。



3. ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。
この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

4.相手の氏名、住所などの確認

5.マツダ販売店、保険会社への連絡

知識

事故がおきたら
軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

警告灯が点灯、点滅したときは

警告灯/表示灯が点灯/点滅した場合は、それぞれの方法で対処してください。消灯すれば問題ありませんが、消灯しない場合、または再度点灯/点滅する場合はマツダ販売店にご相談ください。
センターディスプレイやメーター内のマルチインフォメーションディスプレイで警告の詳細を確認することができます。

センターディスプレイで確認する

1. ホーム画面の を選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 「車両ステータス」を選択します。
3. 「ウォーニング」を選択すると、現在発生している警告が表示されます。
4. 確認したい警告を選択すると、警告の詳細が表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイで確認する

1. ステアリングスイッチの INFO スイッチを押すと、警告表示画面が表示されます。
→136 ページ「マルチインフォメーションディスプレイ」 グレード/仕様別装備

ただちに安全な場所に停車する

次の警告灯が表示/点灯/点滅したときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示/名称	点灯/点滅条件
 (赤) ブレーキ警告灯	• パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯します。 • 次のようなときは点灯し続けます。 ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。 • ブレーキ液が不足しているとき。 • ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム/バキューム系統) に異常があるとき。 **⚠警告** **ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しない。** 禁止 **ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。** 必ず守る **ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。** **急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**
 充電警告表示/ 警告灯	エンジン回転中、充電装置に異常があると表示/点灯します。 ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。 **⚠警告** **充電警告灯が表示/点灯したまま走行しない。** 禁止 **エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。**

警告灯/表示灯

表示/名称	点灯/点滅条件
 オイル警告灯	エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下したときに点灯します。ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。 点灯したときは、エンジンオイルの量を点検し、不足しているときは補充してください。 →425 ページ「エンジンオイルの点検、補充」 エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。
 (赤) 高水温警告表示/警告灯	エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると表示/点灯します。 **点滅したときは** エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。 **表示/点灯したときは** オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。 →486 ページ「オーバーヒートについて」
 電動パワーステアリング警告表示/警告灯	エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると表示/点灯します。 点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。 エンジンを再始動した後でも表示/点灯するときは、マツダ販売店に連絡してください。 **知識** • 表示/点灯したときは電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ハンドル操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。 • 停車中または低速走行時にハンドル操作を繰り返すと、システム保護のためハンドル操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車し、ハンドル操作をしないでください。しばらくするともとにもどります。

マツダ販売店で点検を受ける

次の警告灯または表示灯が点灯/点滅したときは、システムになんらかの故障または異常のおそれがあります。マツダ販売店に連絡し、点検を受けてください。

表示/名称	点灯/点滅条件
 マスター警告表示/警告灯	**(マツダコネクト装備車)** システムに異常があると点灯します。 センターディスプレイで点灯理由を確認してください。 →494 ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」 **(マツダコネクト非装備車)** 次のときに点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。 ● バッテリマネジメントシステムに異常があるとき。 ● ブレーキスイッチに異常があるとき。
 (橙) 電動バキュームポンプ警告灯	電動バキュームポンプシステムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。
 ABS 警告灯	システムに異常があるときは点灯し続けます。 マツダ販売店で点検を受けてください。 **⚠警告** **ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。** 必ず守る **急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。** **知識** ABS 警告灯が点灯しているときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。
 エンジン警告灯	エンジン制御システムに異常があると点灯/点滅し続けます。 高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。 点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯/点滅したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。

表示/名称	点灯/点滅条件
i-stop (橙) (点滅) i-stop 警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。
i-ELOOP i-ELOOP 警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。
AT オートマチックトランスミッション警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。
 (点灯) TCS/DSC 作動表示灯	次のようなときは DSC、TCS、またはヒル・ローンチ・アシスト (HLA) の異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。 ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。 ● 走行中に点灯したとき。
 エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯	次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。 ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 ● 点灯/点滅し続けるとき。 **⚠警告** **エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。** 禁止 **衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。**

表示/名称	点灯/点滅条件
 アクティブボンネット警告灯	次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。 ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 ● 点灯/点滅し続けるとき。 **⚠警告** **アクティブボンネット警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。** 禁止 **歩行者に衝突したときにアクティブボンネット機構が正常に作動せず、本来の機能を果たせないおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。**
 リトラクタブルハードトップ警告表示 グレード/仕様別装備	システムに異常があると表示します。 マツダ販売店で点検を受けてください。
 (橙) (点灯) KEY 警告表示 グレード/仕様別装備	システムに異常があると表示します。 マツダ販売店で点検を受けてください。 **⚠注意** 必ず守る **同時にプッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅している場合は、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。**
 (赤) (点灯) KEY 警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。 **⚠注意** 必ず守る **同時にプッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅している場合は、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。**

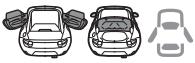
警告灯/表示灯

表示/名称	点灯/点滅条件
 (橙) ハイ･ビーム･コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは表示/点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。 **知識** 悪天候や前方視界不良時など、周囲の状況により検知性能が一時的に低下し表示/点灯することがありますが、故障ではありません。
 ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警告表示 グレード/仕様別装備	システムに異常があると表示します。 マツダ販売店で点検を受けてください。 **知識** 悪天候、バンパーの汚れなどによりレーダー感度が一時的に低下し点灯することがありますが、故障ではありません。
 ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) OFF 表示灯 グレード/仕様別装備	次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。 ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 ● ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) を作動状態しても点灯し続けるとき。 **知識** 悪天候、バンパーの汚れなどによりレーダー感度が一時的に低下し点灯することがありますが、故障ではありません。
 (点灯) 車線逸脱警報システム警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。 **知識** 悪天候や前方視界不良時など、周囲の状況により検知性能が一時的に低下し点灯することがありますが、故障ではありません。

表示/名称	点灯/点滅条件
 LED ヘッドランプ警告灯	システムに異常があると点滅します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

処置する

それぞれの処置方法で警告灯が消灯することを確認してください。

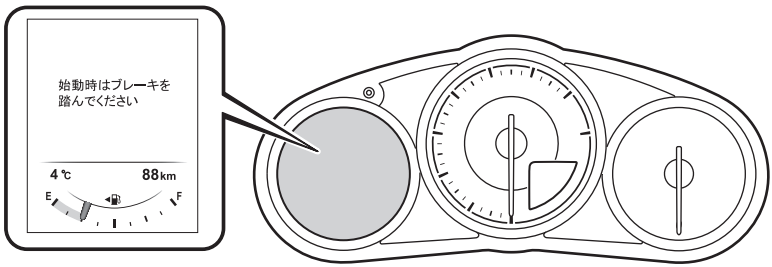
表示/名称	点灯/点滅条件	処置方法
 燃料残量警告灯	電源ポジションが ON のとき、燃料が少なくなると点灯します。 **知識** ● 燃料タンク内の燃料残量が 9 L 前後になったときに点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。 ● 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。	燃料を補給してください。
 PASS シートベルト警告灯	**点灯するとき** 電源ポジションが ON のとき、運転席/助手席シートベルトを着用していないと点灯します。 **点滅するとき** 運転席/助手席シートベルトを着用しないまま約 20 km/h 以上になるとしばらくの間点滅します。	シートベルトを着用してください。
 半ドア警告灯/半ドア警告表示/トランク開警告表示	いずれかのドア/トランクリッドが確実に閉まっていないときに点灯します。	ドア/トランクリッドを確実に閉めてください。
 (白) KEY 警告表示 グレード/仕様別装備	キーの電池が切れたとき。	電池を交換してください。 →446 ページ「電池を交換するときは」

表示/名称	点灯/点滅条件	処置方法
 (赤) (点滅) KEY 警告表示/警告灯 グレード/仕様別装備	キーの電池が切れたとき。	電池を交換してください。 →446 ページ「電池を交換するときは」
	キーが作動範囲内にないとき。	キーを作動範囲に入れてください。 →30 ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
	キーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき。	
	キーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき。	キーに類似した他社のキーを作動範囲外に出してください。
	電源ポジションを OFF にせずに、キーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき。	キーを車内に戻してください。

マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されたときは グレード/仕様別装備

車両からお知らせがある場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。それぞれの内容を確認して処置してください。

（表示例）



警告灯が同時に点灯/点滅したとき、またはマルチインフォメーションディスプレイにシンボルが表示されたときは、警告灯、またはシンボルの内容を確認してください。
→149 ページ「警告表示/警告灯、表示/表示灯」

表示	内容	処置方法
シフトレバーを "P"に入れてください	セレクトレバーがＰの位置ではないときにプッシュボタンスタートを押したときに表示	セレクトレバーをＰの位置に入れてください。
エンジンが 停止しました	アイドリングストップ中に、運転席シートベルトを外して運転席側ドアを開けたときに表示	再度プッシュボタンスタートを押してエンジンをかけてください。（オートマチック車はシフトレバーをＰの位置でエンジンをかけてください。）
始動時はブレーキを 踏んでください	ブレーキペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押したときに表示	ブレーキペダルを踏んだ状態でプッシュボタンスタートを押してください。

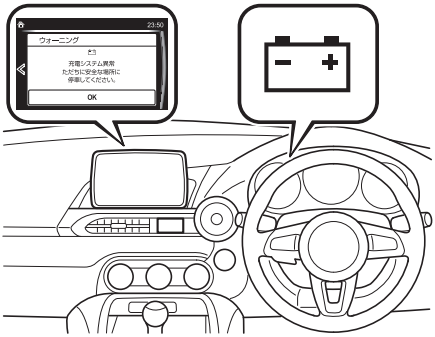
表示	内容	処置方法
始動時はクラッチを踏んでください	クラッチペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押したときに表示	クラッチペダルを踏んだ状態でプッシュボタンスタートを押してください。
ステアリングがロックされています	ステアリングロック作動中に表示	ステアリングロックを解除してください。

センターディスプレイにメッセージが表示されたときは

グレード/仕様別装備

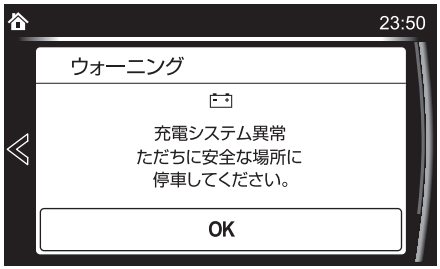
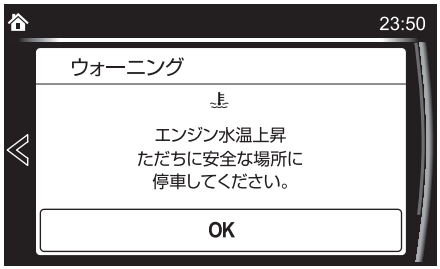
センターディスプレイにメッセージが表示されたときは、落ち着いて表示されたメッセージの方法で処置してください。

（表示例）



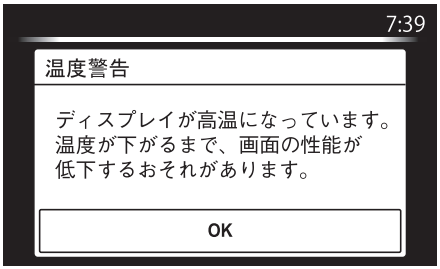
ただちに安全な場所に停車する

次のメッセージが表示されたときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示	表示条件
	充電装置に異常があると表示します。
	エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに表示します。

表示内容を確認する

次のときに表示します。

表示	表示条件/処置方法
	センターディスプレイ周辺温度が高温状態となっているときに表示します。 車室内の温度を下げる、直射日光を避けるなどセンターディスプレイ周辺温度を下げることをおすすめします。

チャイムがなったときは

システムの故障や、使用上の注意が必要な場合に警報チャイムでお知らせします。

チャイム	現象	確認してください
ランプ消し忘れ防止	電源ポジションを OFF にして運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り続ける。	ランプを点灯させたままになっていないか。
エアバッグ警告/プリテンショナー警告	約 35 分のあいだに、毎分 5 秒間チャイムが鳴り続ける。	**⚠警告** **エアバッグ警告チャイム/プリテンショナー警告チャイムが鳴ったまま走行しない。** 禁止 **衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。**

警報チャイム

チャイム	現象	確認してください
アクティブボンネット警告	約 35 分のあいだに、毎分 5 秒間チャイムが鳴り続ける。	**⚠警告** **アクティブボンネット警告チャイムが鳴ったまま走行しない。** 禁止 **歩行者に衝突したときにアクティブボンネット機構が正常に作動せず、本来の機能を果たせないおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。**
リトラクタブルハードトップ警告 グレード/仕様別装備	リトラクタブルハードトップスイッチを操作中に、チャイムが鳴り続ける。	安全な場所に停車し、エンジンを停止する。エンジン再始動後にリトラクタブルハードトップスイッチを操作し、チャイムが鳴り続けるときはマツダ販売店で点検を受ける
シートベルト着用忘れ	車速が約 20 km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴る。	運転席/助手席シートベルトの着用を確認する。着用すると鳴り止む。
電源オフ忘れ警報	運転席ドアを開けたときに、車内のチャイムが鳴り続ける。	電源ポジションを OFF にしているか。

チャイム	現象	確認してください
キー車外持ち出し警報 (アドバンストキーレス機能非装備車)	すべてのドアを閉めたときに車内のチャイムが 6 回鳴り、メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅し続ける。	電源ポジションを OFF にせずにキーを車外に持ち出していないか。
キー車外持ち出し警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	すべてのドアを閉めたときに車外のチャイムが 6 回鳴ったあと、車内のチャイムが 6 回鳴り、メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅し続ける。	
リクエストスイッチ不作動警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	キーを携帯してドアのリクエストスイッチを押すと、車外のチャイムが約 2 秒間鳴る。	いずれかのドアが開いていないか。
トランク内キー閉じ込み警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	ドアを施錠した状態でトランクを閉めたときに、車外のチャイムが約 10 秒間鳴る。	キーを荷室に置いていないか。
キー車内閉じ込み警報 (アドバンストキーレス機能装備車)	キーを携帯して施錠しようとしたときに、車外のチャイムが約 10 秒間鳴る。	キーを車内に置いていないか。
i-stop 警告 グレード/仕様別装備	アイドリングストップ中にチャイムが鳴り、メーター内の i-stop 警告灯 (橙) と他の警告灯も点灯した。	シートベルトをはずして運転席ドアを開けていないか。
	アイドリングストップ中にチャイムが鳴る。	運転席ドアが開いていないか。
電動ハンドルロック警告	プッシュボタンスタートを押した後、チャイムが鳴る。	ハンドルがロックしていないか。

警報チャイム

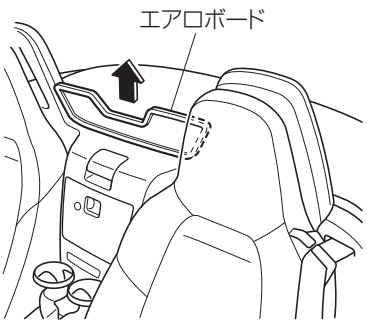
チャイム	現象	確認してください
電動パワーステアリング警告	チャイムが鳴ると同時に電動パワーステアリング警告表示/警告灯が表示/点灯した	安全な場所に停車し、エンジンを停止する。再始動後にも吹鳴するときはマツダ販売店で点検を受ける
リバースポジション (オートマチック車)	電源ポジションが ON のとき、セレクトレバーを R にすると鳴る。	R 以外にすると鳴り止む。車外には聞こえないので注意する。
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警報 グレード/仕様別装備	前進時 (ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 作動) ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯点灯側へ方向指示器のレバーを操作すると鳴る。	車両後方の、移動する車両や二輪車などを確認する。
	後退時 (リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動) 車両後方の左右から接近してくる車両と衝突する可能性がある場合、鳴る。	
車線逸脱警報 グレード/仕様別装備	車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断したときに鳴る。	車線から逸脱していないか。

確認してもチャイムが鳴り止まないときは、マツダ販売店に連絡してください。

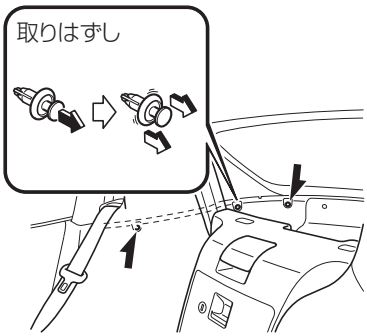
トランクが開けられなくなったとき

バッテリーがあがると、トランクの解錠ができず開けられなくなります。
この場合、バッテリーあがりの対処をすることでトランクの解錠ができるようになります。
→483 ページ「処置方法」
バッテリーあがりの対処をしても、トランクの解錠ができない場合は電気系統の故障が考えられます。
この場合は応急処置として次の手順で開けることができます。

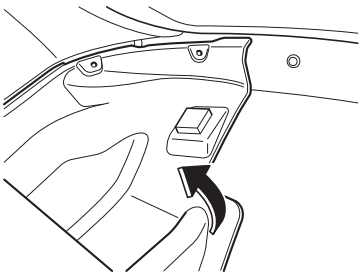
ソフトトップ車



1. ソフトトップを閉めます。
2. エアロボードを取りはずします。

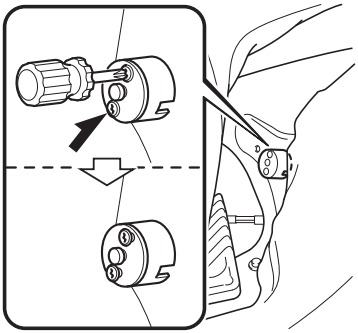


3. 車両右側のファスナーを取りはずします。

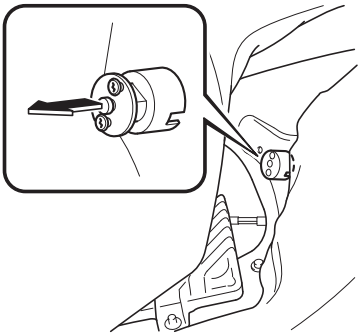


4. 車両右側のカバーをめくります。

トランク



5. キャップのネジを空回りするまでゆるめます。



6. キャップを引いて、トランクを開けます。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

⚠注意

禁止

キャップを引くときは、ネジを引っ張らないでください。
ネジが脱落し、紛失するおそれがあります。

リトラクタブルファストバック車

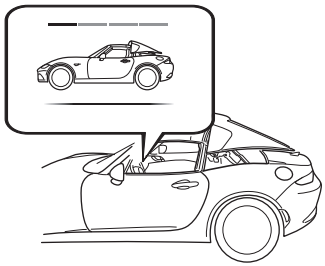
⚠注意

禁止 **リンク機構やギヤに触らないでください。エッジやギヤに触れるとけがをするおそれがあります。**

ルーフが電動で動くとき

1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずします。
   →240 ページ「脱着タイプ」
2. エンジンをかけます。

マルチインフォメーション
ディスプレイ表示

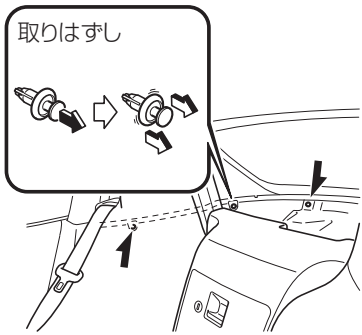


3. リアルーフが全開の状態になるまでリトラクタブルハードトップスイッチを開方向へ押し続けます。
   →75 ページ「ルーフを開けるとき」

知識

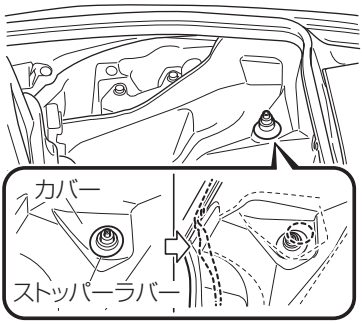
フロントルーフが開く前にスイッチの操作をやめてください。スイッチを操作し続けるとフロントルーフが開き、以降の作業ができなくなります。

4. 電源ポジションを OFF にします。

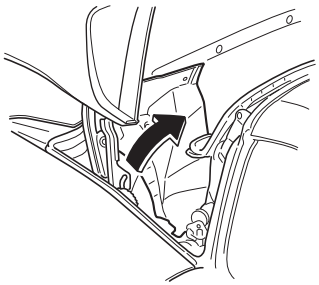


5. 車両右側のファスナーを取りはずします。

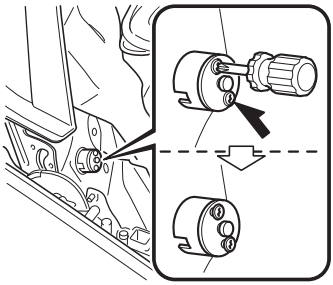
トランク



6. 車両右側のカバーを軽く上方に持ち上げながら、ストッパーラバーを下側にくぐらせます。



7. 車外から、カバーを持ち上げます。

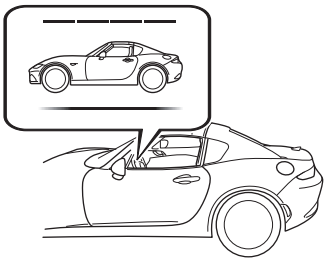


8. 持ち上げたカバーの間から手を入れ、キャップのネジを空回りするまでゆるめます。

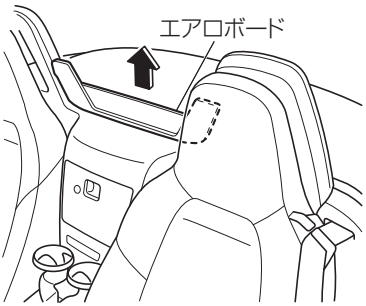
知識

この時点ではキャップを引っ張らないでください。キャップを引っ張ると、トランクのロックは解除されますが、リアルーフが電動で作動しなくなります。

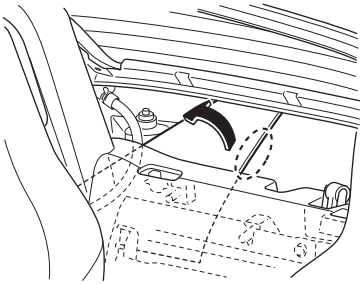
マルチインフォメーション
ディスプレイ表示



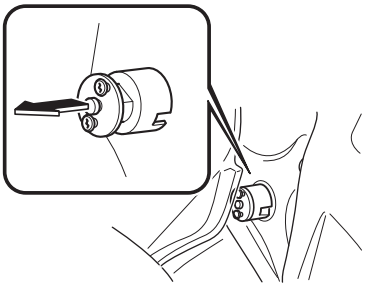
9. エンジンをかけます。
10. リアルーフが全閉の状態になるまでリトラクタブルハードトップスイッチを閉方向へ押し続けます。
→76 ページ「ルーフを閉めるとき」
11. 電源ポジションを OFF にします。



12. エアロボードを取りはずします。



13. 車の中央部分から車両右側のカバーをめくります。



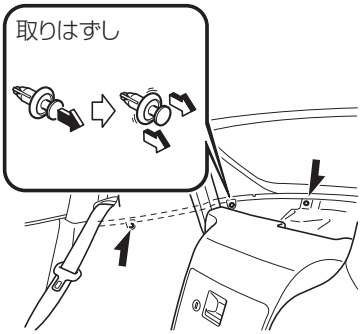
14. キャップを引いて、トランクのロックを解除します。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

⚠注意

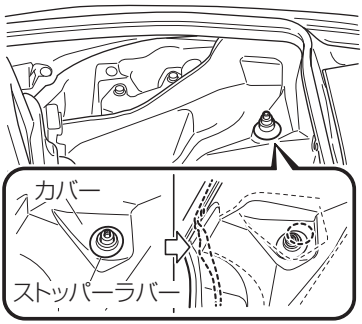
禁止 **キャップを引くときは、ネジを引っ張らないでください。 ネジが脱落し、紛失するおそれがあります。**

ルーフが電動で動かないとき

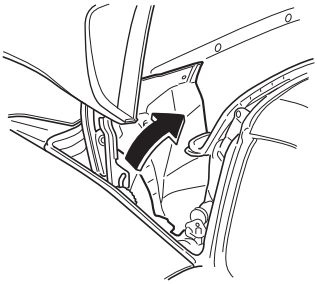
1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずします。
→240 ページ「脱着タイプ」
2. 手動操作でリアルーフを持ち上げます。
→518 ページ「ルーフが閉まらなくなったときは」



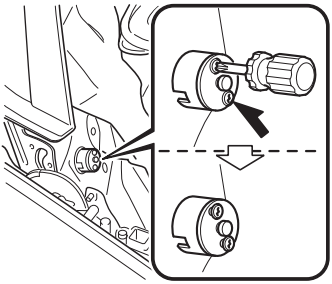
3. 車両右側のファスナーを取りはずします。



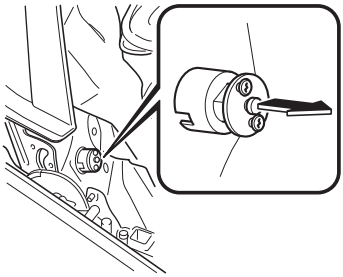
4. 車両右側のカバーを軽く上方に持ち上げながら、ストッパーラバーを下側にくぐらせます。



5. 車外から、カバーを持ち上げます。



6. 持ち上げたカバーの間から手を入れ、キャップのネジを空回りするまでゆるめます。



7. キャップを引いて、トランクのロックを解除します。

⚠注意

この時点ではトランクを開けないでください。リアルーフを完全に閉める前にトランクを開けるとリアルーフとトランクが干渉し、傷がつくおそれがあります。

禁止

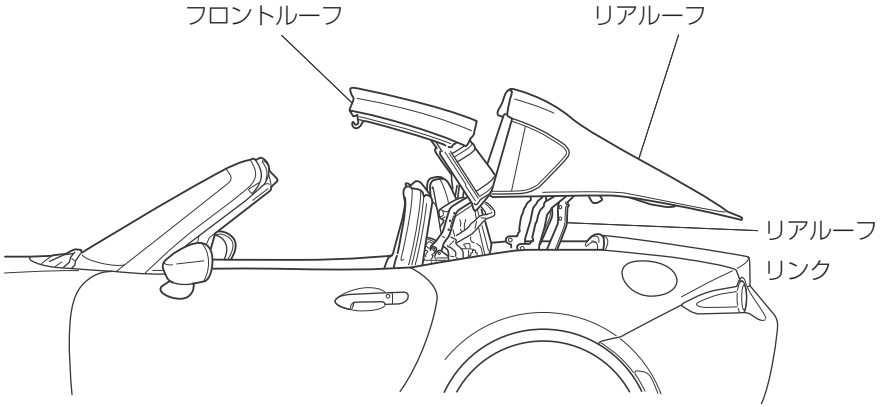
8. 手動操作でリアルーフを閉めます。
→519 ページ「手動で閉めるとき」
9. トランクを開けます。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

ルーフが閉まらなくなったとき

ルーフが閉まらなくなったときは

ルーフがリトラクタブルハードトップスイッチで閉まらなくなったときは、ルーフの作動条件を確認してください。
→75 ページ「リトラクタブルハードトップの作動条件」
ルーフの作動条件をすべて満たしているにも関わらず閉まらない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。 緊急時は、応急処置として手動でルーフを閉めることができます。
手動でルーフを閉める手順は以下のとおりです。

1. **リアルーフを開ける**
   リアルーフを固定しているロックを解除し、リアルーフを開ける。
2. **フロントルーフを閉める**
   フロントルーフを持ち上げて閉める。
3. **リアルーフを閉める**
   ロープをリアルーフのリンクに結びつけ、リアルーフを閉める。



⚠注意

禁止 **ルーフが半開の状態では走行しないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。**

禁止 **風が強いときには作業を行なわないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る **作業は必ず大人 2 人で行なってください。特に、フロントルーフを持ち上げる作業は、必ず大人 2 人以上で行ってください。2 人いない場合は作業を行なわないでください。けがをするおそれや、車両を損傷させるおそれがあります。**

⚠注意

必ず守る **作業には、複数の工具を同時に使用するなど、技術が必要な作業があります。また、長時間無理な姿勢を続ける作業、力が必要な作業や、けがをするおそれのある箇所が含まれます。マツダ販売店で点検を受けていただくことをおすすめします。**

知識

- 本作業は緊急時の応急処置として手動でルーフを閉める処置です。作業後はマツダ販売店での復旧作業を行なうまで、電動での操作はできません。
- 懐中電灯等を使用すると、作業がしやすくなります。

手動で閉めるとき

手動で閉める前に

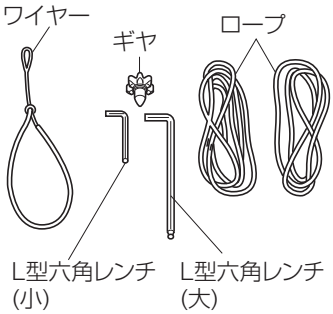
⚠警告

必ず守る **手動でルーフを閉める前に電源ポジションが OFF になっていることを確認する。**
突然ルーフが動き出し、手や指を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. 交通のさまたげにならず、安全に作業できる平らで固い地面がある場所に車を停車させます。
2. マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、電源ポジションを OFF にします。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。

ルーフが閉まらなくなったとき

工具の準備



リアコンソールボックス内にある 5 種類の工具を用意します。
→410 ページ「リアコンソールボックス」

リアルーフを開ける

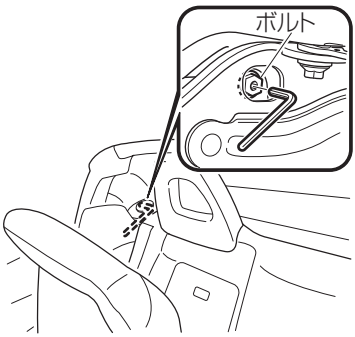
⚠注意

ボルトを回す作業をするときは、フロントルーフの上に布を置いて作業をしてください。L 型六角レンチがに当たると、フロントルーフに傷がつくおそれがあります。

ボルトを回す作業をするときは、格納されたフロントルーフとのすき間が狭いため、L 型六角レンチがルーフに当たらないように注意してください。

知識

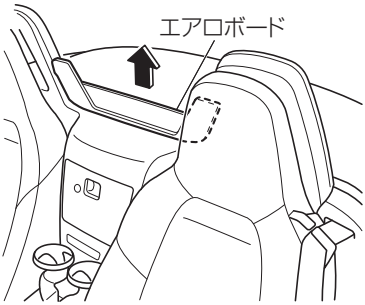
シートを最前部に移動させ、背もたれを前方へ倒すと作業がしやすくなります。
→44 ページ「シートの調節」

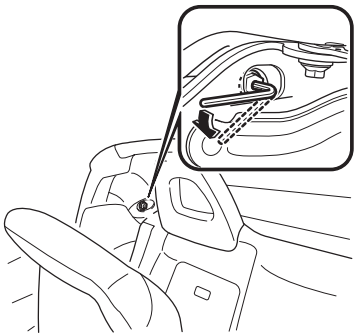


1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずします。
→286 ページ「脱着タイプ」
2. モーターブラケットのボルトに L 型六角レンチ (大) の短い方を差し込みます。

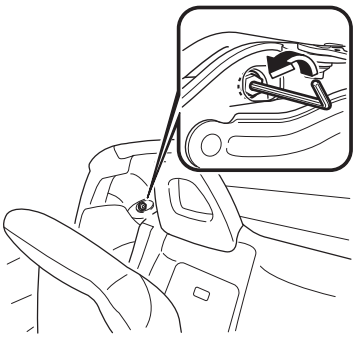
知識

ボルトが確認しにくい場合は、エアロボードを取りはずして、車両中央から確認してください。





3. L 型六角レンチ （大） を反時計回りにまわして、ボルトを少しゆるめます。



4. L 型六角レンチ （大） をいったんボルトから取りはずし、長い方をボルトに差し込みます。
5. L 型六角レンチ （大） をボルトに押し付けながら、反時計回りに 13 回転以上回します。

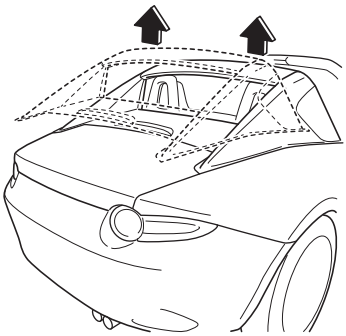
ルーフが閉まらなくなったとき

知識

- L 型六角レンチ （大） の長い方の先端は角度を付けて作業することができる形状になっています。少し上方に傾けて作業すると、格納されたフロントルーフとのすき間が広くなり、作業がしやすくなります。
- ボルトは完全には取りはずせません。
- ボルトが回りにくいときは、手順 3 を 2～3 回繰り返してください。



6. ワイヤーを図の位置に引っかけます。
7. 1 人がリアルーフを上から押さえながら、もう 1 人がカチッと音がするまでワイヤーを引っ張って、リアルーフのロックを解除します。
8. 反対側も同様の作業を行ないます。



9. 車両の両側に立ち 2 人で左右の高さを平行に保ちながら、リアルーフが止まる位置まで持ち上げてください。

注意

リアルーフが完全に開くまで手を離さないでください。リアルーフが下がり、けがをするおそれがあります。

リアルーフは無理に持ち上げないでください。ロックが解除されていない場合、リアルーフを無理に持ち上げると車両部品を破損させるおそれがあります。

リアルーフは左右の高さがなるべく平行になるように持ち上げてください。左右の高さがねじれたままリアルーフを持ち上げるとリンク機構が変形するおそれがあります。

フロントルーフを閉める

⚠注意

作業には、長時間無理な姿勢を続ける作業、力が必要な作業や、けがをするおそれのある箇所が含まれます。

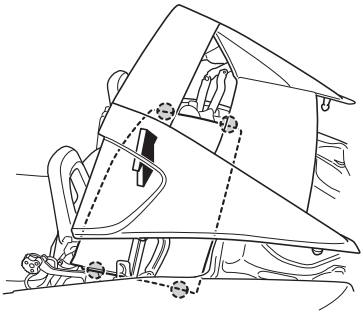
必ず守る

フロントルーフを閉めるときは、手や指を挟まないように十分に注意しながら作業を行なってください。手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。

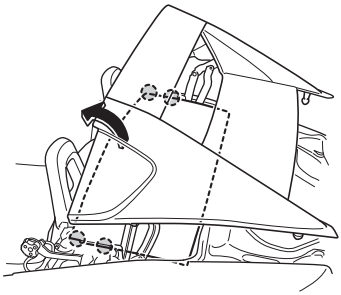
禁止

作業にはトップシーリングをはずす作業が含まれますが、トップシーリングを取りはずした状態では絶対に走行しないでください。トップシーリングを取りはずした状態での走行は法律で禁止されています。手順にしたがって確実に作業を行なってください。

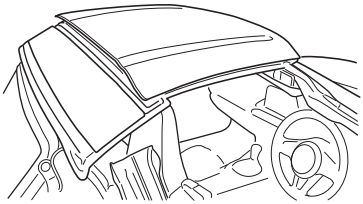
必ず守る



1. 車両の両側に立ちフロントルーフの前側と後側を持ち、フロントルーフを上方に引き出します。



2. フロントルーフの後側の手をフロントルーフの前側に持ち替えて、フロントルーフを前方に引き出します。

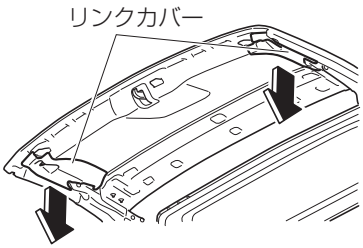


3. フロントルーフの前側が少し開いた状態で止めます。

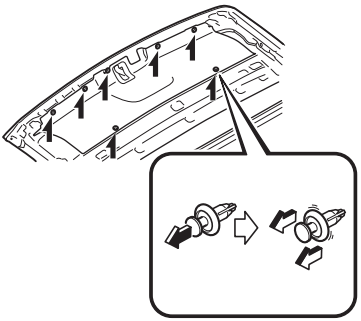
ルーフが閉まらなくなったとき

知識

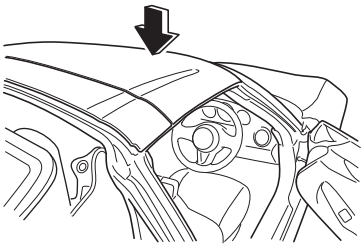
完全に閉めると、次の作業を行なうことができません。



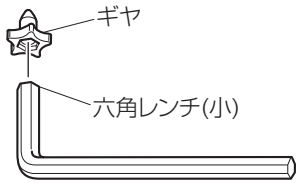
4. 車内から左右のリンクカバーを手で引っ張って取りはずします。



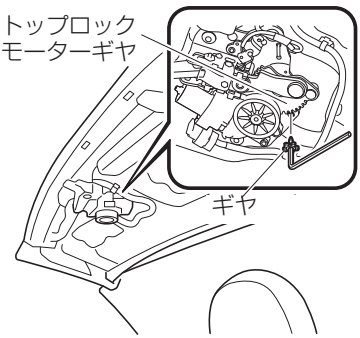
5. ファスナーを取りはずし、トップシーリングを取りはずします。



6. 車外からフロントルーフの前側を軽く押さえて、フロントルーフを閉めます。



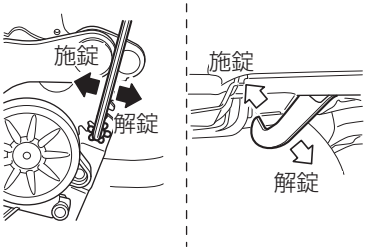
7. 六角レンチ（小）の短い方を工具のギヤに差し込みます



8. 車内から、六角レンチを差し込んだままのギヤの先端をトップロックモーターギヤ横の穴に差し込んでください。

⚠注意

必ず守る **ギヤとトップロックモーターギヤの歯がかみ合うまで、確実に差し込んでください。確実に差し込んでいないと、不意にギヤがはずれ、破損するおそれがあります。**

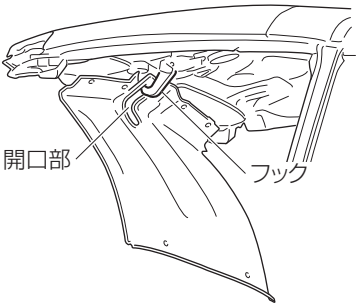


9. トップシーリングの開口部がフックに引掛けられる程度のすき間を残すように、六角レンチを回してフックを施錠方向に移動させます。

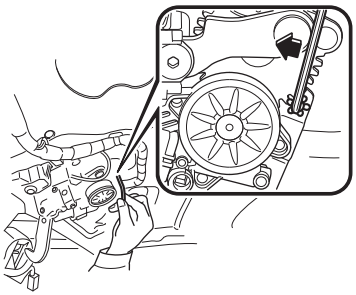
知識

ギヤを回すときはモーターの抵抗により回転させるときに力が必要です。ゆっくりと六角レンチを回してください。

ルーフが閉まらなくなったとき



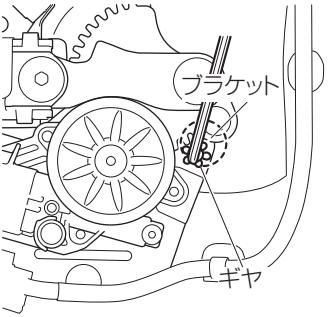
10. トップシーリングの開口部をフックに引掛けます。

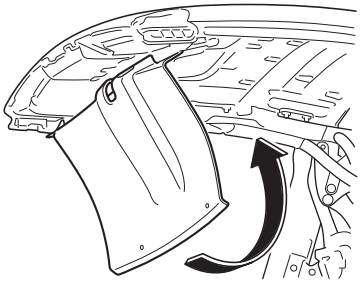


11. 六角レンチ (小) とギヤを反時計回りに回して、フックを車体側にかみ合わせます。

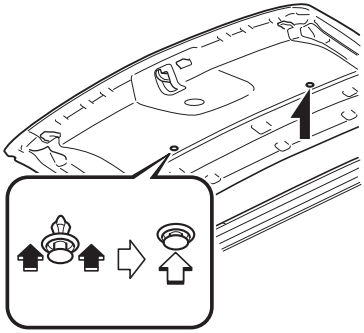
知識

ギヤの歯とブラケットが接触する位置まで回すと、フックが車体と完全に噛み合った状態 (ロック状態) になります。





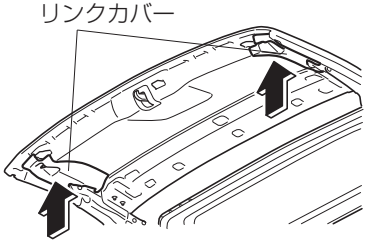
12. 開口部を軸にしてトップシーリングの後端を持ち上げます。



13. 2 箇所のファスナーを取付けます。

知識

トップシーリング前側の 5 箇所のファスナーは取付けません。マツダ販売店での修理で使用するため、ファスナーは紛失しないように保管してください。



14. 左右のリンクカバーを取り付けます。

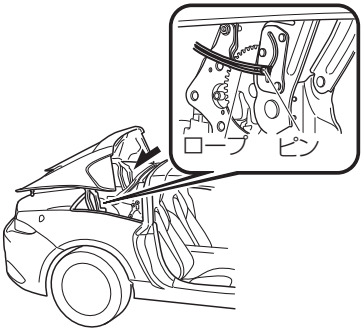
ルーフが閉まらなくなったとき

リアルーフを閉める

⚠注意

必ず守る **リアルーフを閉めるときはゆっくり閉めてください。急にリアルーフが閉まると手などを挟み、重大な傷害につながるおそれがあります。**

禁止 **リアルーフは無理に押さないでください。無理に押すと車両部品を破損することがあります。**

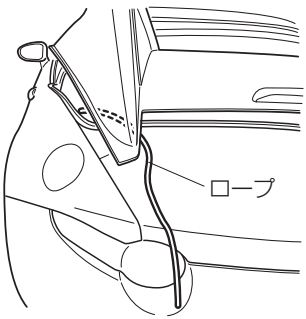


1. ロープを 2 つ折りにし、リンクのピンにひっかけます。
2. 反対側も同様の作業を行ないます。

3. 車両の両側に立って、リアルーフを下げます。

⚠注意

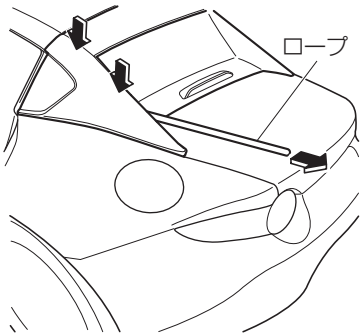
必ず守る **リアルーフは左右の高さがなるべく平行になるように下げてください。左右の高さがねじれたままリアルーフを下げようとするとリンク機構が変形するおそれがあります。**



4. 引掛けたロープが外れないように、2 人とも片方の手でロープを軽く引っ張りながら、リアルーフをゆっくりと閉めます。

知識

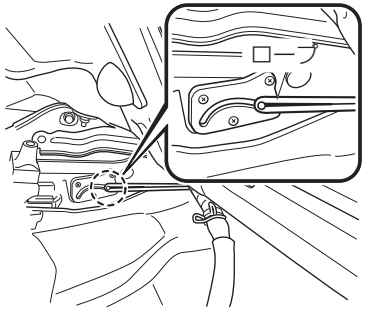
ロープは、リアルーフとトランクのすき間を通してください。



5. 1 人がリアルーフを上から押し付け、もう 1 人がロープを車両後方へ水平に”カチッ”と音がするまで強めに引っ張ります。

知識

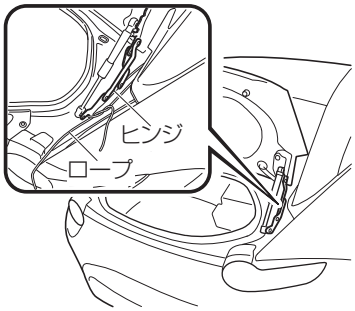
- 車室側から見たとき、図のようにロープを引掛けた位置がブラケット溝の車両後方側の最後端にあれば、リアルーフが完全にロック状態となります。



- リアルーフが完全にロックしていない場合、電磁式トランクオープナー、キーのトランクスイッチを操作してもトランクが開きません。

6. 反対側も同様に作業を行ないます。

ルーフが閉まらなくなったとき



7. トランクを開け、ロープの末端をトランクのヒンジ部にしっかりと結びます。
8. 反対側も同様にロープを結びます。
9. トランクを閉めます。

作業が終わったあと

作業が終わったら必ずマツダ販売店で点検を受けてください。

⚠警告

必ず守る
走行するときは車速を 40km/h 以下にする。
走行中にルーフが開くなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

燃料

使用燃料については、78 ページ「給油するとき」もあわせてお読みください。

項目		サービスデータ
使用燃料		無鉛プレミアム (無鉛ハイオク) ガソリン
タンク容量 (参考値)	ソフトトップ車	40 L
	リトラクタブルファストバック車	45 L

エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。
交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。
寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

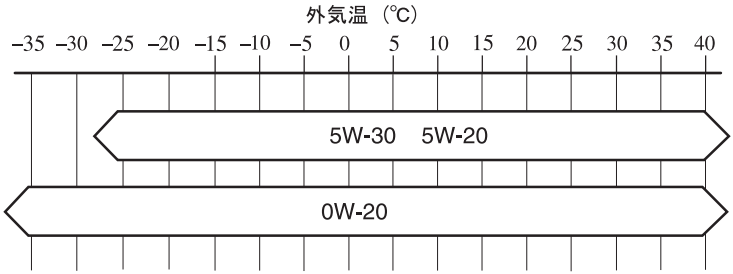
項目		サービスデータ
交換時期	標準	15,000 km または 1 年ごと
	シビアコンディション*1	7,500 km または 6 か月ごと
オイルグレード	純正モーターオイルゴールデン ECO SN*2	API SN/ILSAC GF-5、SAE 0W-20
	純正モーターオイルゴールデン SN	API SN/ILSAC GF-5、SAE 5W-30
	純正モーターオイルゴールデン SM	API SM/ILSAC GF-4、SAE 5W-20
交換量 (参考値)	オイルのみ	4.1 L
	オイルとオイルフィルター	4.3 L

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

*2 純正モーターオイルゴールデン ECO SN は省燃費性に優れたエンジンオイルです。SKYACTIV-G には、純正モーターオイルゴールデン ECO SN の使用を推奨します。

使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



エンジンオイルフィルター

項目		サービスデータ
交換時期	標準	15,000 km または 1 年ごと
	シビアコンディション*1	7,500 km または 6 か月ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

マニュアルトランスミッションオイル

項目	サービスデータ
推奨オイル	純正ロングライフギヤオイル IS*1
容量 (参考値)	2.0 L

*1 純正ロングライフギヤオイル IS はシフトフィーリングに優れたオイルです。純正ロングライフギヤオイル IS の使用を推奨します。
純正ロングライフギヤオイル IS を入手できない場合は、一般規格のオイル (SAE 75W-90 (GL-4)) を使用してください。ただし、極低温時にギヤが入りにくくなるおそれがあります。

オートマチックトランスミッションフルード

項目	サービスデータ
推奨フルード	ATF JWS3317
容量 (参考値)	7.2 L

ディファレンシャルオイル

項目		サービスデータ
交換時期	標準	無交換
	シビアコンディション*1	60,000 km 走行ごと
推奨オイル		マツダロングライフハイポイドギヤオイル SG1
容量 (参考値)		0.6 L

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

ブレーキ液

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2 年ごと (初回は 3 年)
推奨液	純正ブレーキフルード BF-3 (DOT-3)

冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目				サービスデータ
交換時期	純正ロングライフクーラント			2 年ごと (初回は 3 年)
	純正ロングライフクーラント (ゴールデン)*1			100,000 km 走行または 4 年ごと (初回は 180,000 km 走行または 9 年)
推奨液				純正ロングライフクーラント、純正ロングライフクーラント (ゴールデン)*1
容量(参考値)	ソフトトップ車	マニュアルトランスミッション	NR-A	6.2 L
			NR-A 以外	5.8 L
		オートマチックトランスミッション		5.6 L
	リトラクタブルファストバック車	マニュアルトランスミッション		6.2 L
		オートマチックトランスミッション		6.0 L

*1 ラジエーターキャップまたはその付近に FL22 のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント (ゴールデン) を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液

項目	サービスデータ
タンク容量 (参考値)	1.2 L

ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	4.7 mm 以下
床板とのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	140.6 mm 以上
フロアマットとのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	92.3 mm 以上

パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
引きしろ (操作力 98 N {10 kgf})	1～4 ノッチ

クラッチペダル

項目	サービスデータ
遊び (クラッチ油圧が立ちあがるまでのストローク)	7.4 mm 以下
床板とのすき間 (クラッチが切れたとき)	103.3 mm 以上
フロアマットとのすき間 (クラッチが切れたとき)	60.4 mm 以上

オルタネーターベルト

項目	サービスデータ
たわみ量	自動調整式 (使用限度をこえているものは交換)

エアクリーナーエレメント

項目		サービスデータ
交換時期	標準	50,000 km 走行ごと
	シビアコンディション*1	25,000 km 走行ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

スパークプラグ

項目		サービスデータ
型式	NGK	ILKAR7L11*1
	DENSO	ZC20HPR11*1

*1 SKYACTIV-G の最適な性能を発揮するためのスパークプラグです。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

⚠注意

禁止 **イリジウムプラグを使用しておりますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。**

バッテリー

項目		サービスデータ
型式、容量	i-stop 非装備車	46B24L、45Ah (20 時間率)
	i-stop 装備車	N-55 (S)*1

*1 i-stop を正しく作動させるために、N-55 (S) を使用してください。
マツダ純正バッテリーの使用を推奨します。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

電球 (バルブ) の容量

電球 (バルブ)		W 数 (12 V 用)	規格 (UNECE*1 (SAE))
ヘッドランプ	上向き (ハイビーム)	LED*2	— (—)
	下向き (ロービーム)	LED*2	— (—)

電気部品/電球 (バルブ)

電球 (バルブ)	W 数 (12 V 用)	規格 (UNECE[*1] (SAE))
車幅灯	LED[*2]	— (—)
前面方向指示灯/非常点滅灯	21 W	WY21W (7443NA)
側面方向指示灯/非常点滅灯	5 W[*3]	WY5W (—)
後面方向指示灯/非常点滅灯	21 W	WY21W (7443NA)
制動灯	LED[*2]	— (—)
尾灯	LED[*2]	— (—)
後退灯	21 W	W21W (7440)
番号灯	5 W	W5W (—)
ハイマウントストップランプ	LED[*2]	— (—)
ルームランプ	10 W	— (—)
トランクルームランプ	5 W	— (—)

*1 UNECE は United Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。

*2 LED は Light Emitting Diode の略で発光するダイオードです。

*3 電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となります。

ヒューズ

→428 ページ「ヒューズの受け持つ装置」

タイヤ/ホイールサイズ

標準タイヤ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイール		
	サイズ	インセット (オフセット)	ピッチサークル 直径
195/50R16 84V	16×6-1/2J	45 mm	100 mm
205/45R17 84W	17×7J		

タイヤ空気圧

標準タイヤ

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。
→423 ページ「タイヤの点検」

タイヤサイズ	タイヤ空気圧	
	前輪	後輪
195/50R16 84V	200 kPa (2.0 kgf/cm^2)	200 kPa (2.0 kgf/cm^2)
205/45R17 84W	200 kPa (2.0 kgf/cm^2)	200 kPa (2.0 kgf/cm^2)

ホイールナットの締め付けトルク

タイヤを取り付けるときは、次のトルクでホイールナットを締め付けてください。
108N·m～147N·m (12kgf·m～14kgf·m)

ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

設定変更 (カスタマイズ機能)

以下の機能の設定をお客様自身、またはマツダ販売店で変更することができます。
変更できる機能および内容は、仕様によって異なります。

設定変更方法

① **センターディスプレイの画面操作で設定を変更できます。**
A: 「マツダコネクトの設定」を参照してください (296 ページ)。
B: 「燃費モニター」を参照してください (125 ページ)。 グレード/仕様別装備
C: 「インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示」を参照してください (145 ページ)。
② **車両のスイッチ操作などで設定を変更できます。**
D: 「キーによる施錠/解錠 (アドバンストキーレス機能装備車) 」を参照してください (34 ページ)。
③ **マツダ販売店で設定を変更できます。**

機能	内容		初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
安全装備							
車線逸脱警報システム (197 ページ) グレード/仕様別装備	車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断する距離		自動	自動/近い/標準/遠い	A	—	○
	警報感度 (警報しやすさ)		標準	高い/標準/低い	A	—	○
	警報チャイム音		ランブル	ビープ/ランブル	A	—	○
	警報チャイム音量	ランブル	小	大/中/小	A	—	○
		ビープ	小	大/小	A	—	○
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) (203 ページ) グレード/仕様別装備	警報チャイム音量[*1]		大	大/小/OFF	A	—	○

設定変更 (カスタマイズ機能)

機能	内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
				①	②	③
車両装備						
電波式キーレスエントリーシステム (38 ページ)	自動的に施錠される時間	30 秒	90 秒/ 60 秒/ 30 秒	A	—	○
アドバンストキーレスエントリーシステム (34 ページ)	自動的に施錠される時間	30 秒	90 秒/ 60 秒/ 30 秒	A	—	○
	オートロック機能の作動/非作動	OFF	ON/OFF	A	—	○
	施錠/解錠時のチャイム音量	標準	大/ 標準/ 小/ OFF	A	D	○
イルミネーテッドエントリーシステム (402 ページ)	ドアを閉めてからルームランプが消灯するまでの時間	15 秒	60 秒/ 30 秒/ 15 秒/ 7.5 秒	A	—	○
	ドアが確実に閉まっていないとき、ルームランプが自動的に消灯するまでの時間	30 分	60 分/ 30 分/ 10 分	A	—	○
オートワイパー機能 (182 ページ)	作動/非作動	ON	ON/ OFF*2	A	—	○
オートライト機能 (174 ページ)	ランプが点灯するタイミング	標準	早く/ 少し早く/ 標準/ 少し遅く/ 遅く	A	—	○

機能	内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
				①	②	③
ハイ･ビーム･コントロール･システム (HBC) (194 ページ) グレード/仕様別装備	作動/非作動*3	ON	ON/OFF	A	—	○
AFS (アダプティブフロントライティングシステム) (194 ページ) グレード/仕様別装備	作動/非作動*3	ON	ON/OFF	A	—	○
ランプ消し忘れ防止チャイム (177 ページ)	警報チャイム音量	大	大/小/OFF	A	—	○
カミング･ホーム･ライト (178 ページ)	ヘッドランプが消灯するまでの時間	30 秒	120 秒/90 秒/60 秒/30 秒/OFF	A	—	○
リービング･ホーム･ライト (178 ページ)	作動/非作動	OFF	ON/OFF	A	—	○
方向指示器 (179 ページ)	ブザー音量	小	大/小	A	—	○
スリーフラッシュターンシグナル (180 ページ)	作動/非作動	ON	ON/OFF	A	—	○
システム						
言語	センターディスプレイに表示される言語変更*4	日本語	表示画面から言語を選択します	A	—	○

設定変更 (カスタマイズ機能)

機能	内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
				①	②	③
燃費モニター (125 ページ) グレード/仕様別装備						
エンディング	表示/非表示	OFF	ON/OFF	B	—	○
燃費リセット	燃費リセットとトリップメーターのリセットの連動/非連動	OFF	ON/OFF	B	—	○
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) (143 ページ)						
インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプ	表示/非表示	ON	ON/OFF	C	—	○
エンディング	表示/非表示	OFF	ON/OFF	C	—	○

*1 音量を変更できるのは、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 作動時の警報音のみです。リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動時の警報音は音量を変更できません。

*2 オートワイパー機能を OFF に変更すると、ワイパーレバーのAUTO位置で間欠作動になります。

*3 特段の理由がない限り、初期設定での使用を推奨します。

*4 センターディスプレイの言語表示のみ変更できます。

A

AAS モード.....161
ABS (アンチロックブレーキシステム).....186
AFS (アダプティブフロントライティングシステム).....194

D

DSC (ダイナミックスタビリティコントロール).....190

E

EDR
　イベントデータレコーダー.....91

I

i-ACTIVSENSE.....193
　AFS (アダプティブフロントライティングシステム).....194
　車線逸脱警報システム.....197
　ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC).....194
　フォワードセンシングカメラ (FSC).....212
　ブラインド・スポット・モニタリング (BSM).....203
　リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA).....208
　レーダーセンサー (リア).....215
i-DM.....143
i-ELOOP (アイイーループ).....124
i-stop (アイストップ).....115

S

SRS エアバッグシステム.....83
　EDR.....91
　エアバッグの種類.....83
　エアバッグの注意点.....84

T

TCS (トラクションコントロールシステム).....189

ア

アイドリングストップ.....115
アルミホイール
　手入れ.....456
アンチロックブレーキシステム (ABS).....186
アンテナ.....240

イ

イベントデータレコーダー
　EDR.....91
イモビライザーシステム.....81
イルミネーテッドエントリーシステム.....402
インテリアライト (室内照明).....402
インテリジェント・ドライブ・マスター.....143
インナーミラー
　ルームミラー.....49

ウ

ウインカー (方向指示器)
　電球 (バルブ) 交換.....436
ウインカー (方向指示器)
　レバー.....179
　W (ワット) 数.....537
ウインドー
　曇ったとき (フルオートエアコン).....231
　曇ったとき (マニュアルエアコン).....229
　手入れ.....456
　パワーウインドー.....62
　リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ.....185
ウォッシャー

ウォッシャー液の補充.....426
ウォッシャースイッチ..... 181
タンク容量..... 534
冬にそなえて (濃度の調節)... 461

エ

エアクリーナーエレメント
交換時期..... 536
エアコン (空調).....224
上手な使いかた.....224
吹き出し口 (空調)..... 225
フルオートエアコン.....229
マニュアルエアコン.....227
エアバッグシステム.....83
EDR.....91
エアバッグの種類.....83
エアバッグの注意点.....84
エマージェンシーシグナルシステム (ESS)..... 188
エンジン
かけかた..... 108
きるとき..... 114
スイッチ..... 107
エンジンオイル
交換時期、オイルグレード、交換量 531
点検.....425
フィルター..... 532
冬にそなえて.....461
エンジンフード(ボンネット)
開けかた..... 418
閉めかた..... 419
エンスト
故障したとき.....470

オ

オーディオ
アンテナ..... 240
オーディオソースの使いかた 245
オーディオの操作方法.....240
オーディオをご使用の前に... 233
オートマチックトランスミッション 158
AAS モード..... 161
ダイレクトモード.....166
マニュアルモード.....162
オートマチックトランスミッションフルード
推奨フルード、容量.....533
オーバーヒートしたとき.....486
お子さまの安全
お子さま専用シート選択の目安 59
お子さま専用シートについて...57
お子さま専用シートの種類..... 58
チャイルドシートを固定するとき 61
オドメーター..... 130
オルタネーターベルト
点検基準値..... 535

カ

外気温表示..... 136
ガソリン (燃料)
使用燃料、容量.....531
燃料補給口..... 78
カップホルダー..... 405
カミング・ホーム・ライト..... 178
カメラ、センサー..... 193
ガラス
曇ったとき (フルオートエアコン).....231
曇ったとき (マニュアルエアコン).....229
手入れ..... 456

リアウインドーデフォッガー(曇り取り) スイッチ.....185

キ

キー.....27
キー車外持ち出し警報.....507
キー車内閉じ込み警報.....507
キーナンバープレート.....27
キーの電池交換.....446
作動しないとき.....489
作動範囲.....30
ドアの施錠/解錠.....34
トランク内キー閉じ込み警報.....507
リクエストスイッチ不作動警報.....507
キー(アドバンストキーレス機能装備車)
ドアの施錠/解錠.....34
キー(アドバンストキーレス機能非装備車)
ギア・シフト・インジケーター(GSI).....157
緊急用具.....471

ク

空気圧 (タイヤ).....539
空調 (エアコン).....224
吹き出し口 (空調).....225
フルオートエアコン.....229
マニュアルエアコン.....227
曇り取り (デフォッガー) スイッチ.....185
クラクション (ホーン).....185
クラッチスタート.....108
クラッチペダル
点検基準値.....535

ケ

警告灯.....149
i-stop 警告灯.....119
警告灯/表示灯が点灯、点滅した...494
警告表示/警告灯
ABS 警告灯.....497
i-ELOOP 警告表示/警告灯...497
i-stop 警告灯.....497
KEY 警告表示/警告灯.....502
LED ヘッドランプ警告灯.....497
アクティブボンネット警告灯.....497
エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯.....497
エンジン警告灯.....497
オートマチックトランスミッション警告表示/警告灯.....497
オイル警告灯.....495
高水温警告表示.....495
シートベルト警告灯.....502
車線逸脱警報システム警告表示/警告灯.....497
充電警告表示/警告灯.....495
電動バキュームポンプ警告灯.....497
電動パワーステアリング警告表示/警告灯.....495
トランク開警告表示.....502
燃料残量灯.....502
燃料残量警告表示.....502
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 警告表示/警告灯.....497
半ドア警告表示/警告灯.....502
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 警告表示.....497
ブレーキ警告灯.....495
マスター警告表示/警告灯.....497
リトラクタブルハードトップ警告表示.....497

警報チャイム..... 507
i-stop 警告チャイム..... 121
アクティブボンネット警告チャイム..... 507
エアバッグ/プリテンショナー警告チャイム..... 507
キー車外持ち出し警報..... 507
キー車内閉じ込み警報..... 507
シートベルト着用忘れチャイム 507
車線逸脱警報..... 507
電源オフ忘れ警報..... 507
電動パワーステアリング警告チャイム..... 507
電動ハンドルロック警告チャイム 507
トランク内キー閉じ込み警報 507
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警報..... 507
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) 警報チャイム 206
ランプ消し忘れ防止チャイム 507
リクエストスイッチ不作動警報 507
リトラクタブルハードトップ警告チャイム..... 507
リバースポジションチャイム 507
化粧鏡
バニティミラー..... 402
けん引..... 490
減光解除機能..... 135

コ

交換
タイヤの位置交換 (タイヤローテーション)..... 427
電球 (バルブ) 交換..... 436
電池交換 (キー)..... 446
ヒューズの交換..... 433
工具..... 472
後退灯 (バックランプ)
電球 (バルブ) 交換..... 436
W (ワット) 数..... 537

サ

サービスデータ
設定変更 (カスタマイズ機能)..... 541
サイドミラー
ドアミラー..... 48
サスペンション
車高調整式サスペンション... 173
サンバイザー..... 402

シ

シート..... 44
正しい運転姿勢..... 43
シートヒーター..... 45
シートベルト
ELR (緊急時固定) 機構..... 51
3 点式シートベルト..... 55
種類..... 51
正しい着用のしかた..... 52
着用忘れチャイム..... 56
手入れ..... 457
プリテンショナー機構..... 51
ロードリミッター機構..... 51
室内照明..... 402
イルミネーテッドエントリーシステム..... 402
ルームランプ..... 403
室内灯 (ルームランプ)
スイッチ..... 403
電球 (バルブ) 交換..... 436

W (ワット) 数.....537
車高調整式サスペンション.....173
車線逸脱警報システム.....197
車幅灯 (スモールランプ)
スイッチ.....174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
収納.....409

ス

水温計.....134
スイッチ
DSC OFF スイッチ.....191
i-stop OFF スイッチ.....121
ウォッシャースイッチ.....181
車線逸脱警報システムスイッチ.....200
ドライブセレクションスイッチ.....170
非常点滅灯スイッチ.....180
ブラインド･スポット･モニタリング (BSM) スイッチ.....207
ヘッドランプスイッチ.....174
ルームランプスイッチ.....403
ワイパースイッチ.....181
スタックしたとき.....469
ステアリング
ハンドル.....47
ロックされたとき.....107
ストップランプ (制動灯)
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
スノータイヤ.....462
スパークプラグ.....537
スピードメーター.....130
スモールランプ (車幅灯)
スイッチ.....174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
スリーフラッシュターンシグナル.....180

セ

制動灯 (ストップランプ)
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
洗車.....450
前照灯 (ヘッドランプ)
スイッチ.....174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537

ソ

ソフトトップ
手入れ.....451

タ

ターンシグナル (方向指示器)
電球 (バルブ) 交換.....436
レバー.....179
W (ワット) 数.....537
ダイナミックスタビリティコントロール (DSC).....190
タイヤ
空気圧.....539
サイズ.....539
チェーン.....462
点検.....423
パンク応急修理キット.....473
パンクしたとき.....473
冬にそなえて.....462
ローテーション (位置交換).....427
ダイレクトモード.....166
タコメーター.....130
脱輪などで動けなくなったとき.....469

チ

チェーン (タイヤチェーン).....462
チャイルドシート..... 57
お子さま専用シート選択の目安 59
お子さま専用シートの種類..... 58
チャイルドシートを固定するとき 61
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)
操作方法..... 172
点検基準値..... 535
チルトステアリング.....47

テ

テールランプ (尾灯)
スイッチ..... 174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
定期点検.....418
手入れ
アルミホイール.....456
外装.....449
外装樹脂部品.....456
ガラス.....456
革張り部分..... 458
シートベルト.....457
樹脂部品..... 459
洗車.....450
ソフトトップ.....451
内装.....457
布張り部分..... 458
ビニール..... 458
フロントガラスの油膜をとるときは.....456
ミラー.....456
リトラクタブルハードトップ 453
ワックスがけ.....450
ディスプレイ
マルチインフォメーションディスプレイ..... 136
ディファレンシャルオイル
推奨オイル、容量.....533
電球
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
点検整備について.....416
電源ソケット..... 404
電源ポジション..... 107
電動ミラー
ドアミラー..... 48

ト

ドア.....33
ドアミラー..... 48
パワードアロック.....39
ドアミラー.....48
角度調節..... 48
格納.....48
盗難防止システム..... 81
ドライバ選択..... 147
ドライブセレクション.....170
トラクションコントロールシステム (TCS).....189
トランク.....40
開けかた..... 40
開けられなくなったとき.....511
閉めかた..... 42
トランスミッション
オートマチック.....158
マニュアル..... 156
トリップコンピューター.....132
トリップメーター.....130

ナ

夏にそなえて.....463
ナンバープレートランプ (番号灯)
スイッチ.....174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537

ニ

日常点検.....418

ネ

燃費モニター.....125
燃料
給油するとき.....78
使用燃料、容量.....531
燃料計.....139
燃料計.....134

ハ

パーキングブレーキ
操作方法.....172
点検基準値.....535
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC).....194
ハイビーム (ヘッドランプ上向き)
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
ハイマウントストップランプ
ハザードランプ (非常点滅灯)
スイッチ.....180
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
発炎筒.....471
バックミラー
ルームミラー.....49
発進補助装置.....122
バッテリー
あがったとき.....482
型式、容量.....537
点検.....426
冬にそなえて.....461
バニティミラー
化粧鏡.....402
パネルライトコントロールスイッチ.....135
バルブ (電球)
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
パワーウインドー.....62
パワードアロック.....39
番号灯 (ナンバープレートランプ)
スイッチ.....174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
ハンドル.....47
ロックされたとき.....107

ヒ

非常点滅灯
スイッチ.....180
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
尾灯 (テールランプ)
スイッチ.....174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
ヒューズ
エンジンルーム内ヒューズボックス.....430
ヒューズ点検、交換.....428
表示.....149
表示灯.....149
DSC OFF 表示灯.....192
i-stop 表示灯.....119
TCS/DSC 作動表示灯.....189

車線逸脱警報システム OFF 表示灯.....201
低水温表示灯 (青)..... 155
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 表示灯 (緑)....196
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) OFF 表示灯...207
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 接近表示灯....206
レンチ表示灯.....155
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) (坂道発進補助機能).....187

フ

ブースターケーブルのつなぎ方... 483
フォワードセンシングカメラ (FSC)..... 212
吹き出し口 (空調)..... 225
フック
けん引.....490
踏切内で動けなくなったとき.....469
冬にそなえて..... 461
冬用タイヤ (スノータイヤ).....462
フューエルキャップ.....80
フューエルリッド
燃料補給口..... 79
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM).....203
ブレーキ液 (フルード)
交換時期、推奨液.....533
ブレーキペダル
点検基準値..... 535
ブレーキランプ (制動灯)
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537

ヘ

ヘッドランプ (前照灯)
スイッチ..... 174
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537

ホ

ホーン.....185
ホイール
サイズ.....539
手入れ.....456
方向指示器
電球 (バルブ) 交換.....436
レバー..... 179
W (ワット) 数.....537
ボンネット.....418

マ

マツダコネクト..... 264
Bluetooth® ハンズフリー 375
Bluetooth® をご使用の前に 361
アンテナ..... 285
オーディオソースの使いかた 302
トラブルシューティング..... 396
マツダコネクトでできること 264
マツダコネクトの設定.....296
マツダコネクトの操作方法... 286
マツダコネクトをご使用の前に 268
マツダコネクト 4 つの操作方法 266
マニュアルトランスミッション... 156
ギア・シフト・インジケーター (GSI).....157
マニュアルトランスミッションオイル
推奨オイル、容量.....532
マニュアルモード.....162

マルチインフォメーションディスプレイ.....136
オドメーター.....138
外気温表示..... 140
警告表示..... 142
コンパス表示.....142
瞬間燃費表示.....141
水温計..... 138
走行可能距離表示.....140
トリップメーター.....138
燃料計..... 139
平均燃費表示.....140
メッセージが表示された..... 504
メンテナンスモニター..... 141

ミ

ミラー
手入れ.....456
ドアミラー..... 48
バニティミラー.....402
ルームミラー..... 49

メ

メーター.....129
メンテナンスモニター.....217

ラ

ライセンスプレートランプ (番号灯)
電球 (バルブ) 交換.....436
W (ワット) 数.....537
ランプ
カミング・ホーム・ライト..... 178
消し忘れ防止チャイム..... 177
スイッチ..... 174
電球 (バルブ) 交換.....436
点灯しないとき.....433
リービング・ホーム・ライト... 178
W (ワット) 数.....537

リ

リービング・ホーム・ライト..... 178
リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA)..... 208
リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ.....185
リトラクタブルハードトップ
閉まらなくなったとき..... 518
手入れ..... 453

ル

ルームミラー..... 49
ルームランプ..... 403
スイッチ..... 403
電球 (バルブ) 交換..... 436
W (ワット) 数.....537

レ

レーダーセンサー (リア).....215
冷却水
交換時期、推奨液、容量..... 534
冬にそなえて (濃度の調節)... 461

ロ

路上で動けなくなったとき..... 468

ワ

ワイパー
寒冷地用ワイパーブレード... 461
スイッチ..... 181
ワックスがけ..... 450

MEMO

MEMO

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、
下記へお願いいたします。

マツダ㈱コールセンター
全国共通フリーダイヤル
0120-386-919
受付時間
平日　　9:00～17:00
土・日・祝日　9:00～12:00 13:00～17:00
携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、
弊社ウェブサイトに掲載しています。
(http：//www.mazda.co.jp)

発行元 マツダ株式会社

〒 730-8670　島県安芸郡府中町新地 3-1
発行　2016 年 10 月
印刷　2017 年 3 月
553 頁 3 版